

ISSN 1349-8428



科学研究費補助金・基盤研究 B (15H03485)・基盤研究 A (26245060)

日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2016

編集・発行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

京都大学大学院 教育学研究科
教育社会学講座

2017 年 10 月

この基礎集計表・コードブックは、
日本版 General Social Surveys<JGSS-2016>
特別利用データのバージョン 5 から作成したものです。

はじめに

本書は、京都大学大学院教育学研究科 教育社会学講座が、日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センターと共同で、2016 年 2 月から 4 月にかけて実施した「日本版総合的社会調査 JGSS-2016」の基礎集計表・コードブックである。

JGSS-2016 は、科学研究費補助金基盤 (B)「東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究」(15H03485；研究代表：岩井八郎)の助成を受けて実施した調査である。

JGSS-2016 は、EASS 2014/2015 ワークライフモジュールを組込んだ JGSS-2015 の母集団のうち、就業率は高いが回収率の低い 25～49 歳の年齢層のオーバーサンプリング調査である。JGSS-2016 の調査票は、JGSS-2015 とほぼ同一で、学歴に関する設問の順序を一部変更した点のみが異なる。JGSS-2015 の 25～49 歳のデータと合わせて分析することを想定しており、調査地点の特性が JGSS-2015 と変わらないように、JGSS-2015 で抽出した 300 の調査地点のうち 140 地点で実施した。

JGSS-2015 調査実施の目的は、グローバル経済の中で経済危機を共に経験しながらも、人口構成、生活水準、産業競争力を異にする東アジアの 4 つの経済大国 (日本・韓国・中国・台湾)における仕事と生活との関係について、4 つの社会の全国調査のデータを基に、共通する傾向と日本独自の特徴を明らかにすることである。さらに、研究代表者らが、2000 年からこれまでに蓄積してきた日本版総合的社会調査と East Asian Social Survey (EASS: 東アジア社会調査；2006 年開始)のデータと合わせて、女性の就業、育児・教育責任、高齢者の生活費・介護責任、再生可能エネルギーの利用、節電行動、自然災害・環境汚染のリスク認知、地域の対応力について、時系列の分析を行い、社会の持続可能性にかかわる人々の意識と行動を明らかにし、解決に向けての提言を行うことである。

調査実施後のデータの入力および職業・産業コーディングに際しては、労働問題に関する調査研究助成金 (研究代表：岩井八郎)、JSPS 科研費 (A) 26245060 (研究代表：岩井紀子)の助成を受けた。

JGSS-2016 実施の軸となった科研費基盤 (B) 15H03485 のメンバーは下記の研究者であるが、調査の企画、データの作成、本書の作成にあたっては、本書の「I.1 JGSS-2016 プロジェクトメンバー」の協力を得ている。

研究課題 「東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究」

研究種目・研究課題/領域番号 基盤研究 (B) 15H03485

研究期間 2015. 4. 1-2018. 3. 31

配分額 18,070,000 円 (直接経費：13,900,000 円、間接経費：4,170,000 円)

研究代表者 岩井 八郎 京都大学大学院教育学研究科 教授

研究分担者	阿形 健司	同志社大学社会学部 教授
	都村 聞人	神戸学院大学現代社会学部 講師
	平尾 桂子	上智大学大学院地球環境学研究科 教授
	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
	宍戸 邦章	大阪商業大学総合経営学部 教授
	佐々木 尚之	大阪商業大学総合経営学部 講師

2017 年 10 月時点

JGSS プロジェクトでは、JGSS と同様に総合的社会調査を実施している韓国・中国・台湾のチームと共同で East Asian Social Survey (東アジア社会調査) プロジェクトを 2003 年末に立ち上げ、共通す

るモジュールを作成して、それぞれの調査に組込んできた。JGSS-2006 には EASS 2006 家族モジュールを、JGSS-2008 には EASS 2008 文化とグローバリゼーションモジュール、JGSS-2010 には EASS 2010 健康と社会モジュール、JGSS-2012 には EASS 2012 社会的ネットワークと社会関係資本モジュール、そして、JGSS-2015 には EASS 2014/2015 仕事と生活モジュールを組み込んだ。ただし、JGSS-2015 は、EASS プロジェクト開始後の 4 つの調査(JGSS-2006/2008/2010/2012)に比べて、サンプルが半減し、EASS モジュールのすべてを組み込むことはできなかった。しかし、東アジアのワークライフバランスと社会持続可能性について、多様な角度から日本社会の現状と変容をとらえ、東アジアにおける日本社会の位置づけを分析することができる調査票となっている。

表 1 日本・中国・台湾チームが実施した調査の概要

	日本		中国	台湾
調査名	JGSS-2015	JGSS-2016	CGSS 2015	TSCS 2015
実施時期	2015 年 2～5 月	2016 年 2～4 月	2015 年 6～11 月	2015 年 8～11 月
調査方法	面接法と留置法併用	面接法と留置法併用	面接法	面接法
調査対象	20～89 歳の男女	25～49 歳の男女	18 歳以上の男女	18 歳以上の男女
抽出方法	層化 2 段無作為抽出	JGSS-2015 の 300 地点のうち 140 地点において隣接町丁目字番地から等間隔抽出	層化 4 段無作為抽出	層化 3 段無作為抽出
計画標本	4500	2100	2500	4090
有効回答数	2079	968	1743	2031
回収率	52.6%	50.8%	69.7%	49.7%

中国チームと台湾チームは、EASS 2014/2015 モジュールを組み込んだ調査をそれぞれ 2015 年 11 月までに実施した。韓国チームは最終的に Korean General Social Survey を実施する研究費を獲得できず、調査を断念した。日本チームは JGSS-2015 のデータから EASS 関連変数を取り出して、2017 年 1 月には、台湾と日本の統合データが作成された。中国のデータも 2017 年 5 月に統合されたが、都市と農村で異なる調査票を用いている中国のデータから EASS に統合する際の問題点が見つかり（EASS 2014/2015 のみならず、EASS 2006/2008/2010/2012 のすべてで修正が必要）、2018 年 3 月末に、日本・台湾・中国の国際統合データが完成する予定である。

JGSS-2015 には、ほかにも新規変数として「外国人の受入・外国人増加による地域への影響」、「公的年金の給付と負担のバランス」、「消費税率への意見」、「先祖の墓」、「技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験」、「仕事に関する女性の扱い」、「老後の不安感」、「地域問題」、「仕事の意識と現在の仕事の状況」、「家庭と仕事の意識」、「会社・事業の開始」「勤め先の評価」を加えた。なお、JGSS-2012 に引き続き、東日本大震災・原発事故発生後の人々の行動と意識についての設問も組み込まれている。

JGSS プロジェクトで作成されたデータは、国内外のデータアーカイブに寄託されている。東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ (SSJDA) での利用は、2017 年 3 月末時点で研究者および学生の数のべ 14,894 名、データセットの利用数はのべ 73,988 件である。SSJDA が所蔵する 1,900 以上 (2016 年度センターパンフレットより) のデータで最も利用が多く、2014 年度の利用件数 1,828 件の 28.1% は JGSS データであった。

ミシガン大学の ICPSR を通したデータセットの利用数は、2017 年 3 月末時点でのべ 26,385 件に上る。「JGSS」は ICPSR で検索される頻度が 13 位である。JGSS データはドイツの GESIS にも寄託されている。SSJDA と ICPSR を通して JGSS を利用した研究者などが所属する機関は、国内 236 大学、海外 336 大

学、国内研究機関 44、海外研究機関 22 にわたっている。海外で利用できる日本の最新のデータが非常に限られている中で、JGSS プロジェクトは、海外の研究者に分析の機会を提供し、国際比較研究を促進する役割を果たしている。JGSS-2015 の公開データの寄託は、2018 年末に予定されている。JGSS-2016 は、JGSS-2015 の特別調査であり、JGSS-2009LCS と JGSS-2013LCSwave2 と同様に、JGSS センターでの公開を予定している。

JGSSプロジェクトは、公開性・継続性・国際性・革新性をモットーにして、前向きにかつ堅実に研究実績、調査についての知識・学術資料・データベース、他大学との共同研究・共同利用の実績を蓄積してきた。今後もこの姿勢の継続が目指されている。

最後に何よりも、本調査に協力して下さった調査対象者の皆様に心からの謝意を申し上げます。

2017 年 10 月

京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座 教授
大阪商業大学 JGSS 研究センター 運営委員
岩井 八郎

目 次

はじめに

I. JGSS-2016 調査概要

1. JGSS-2016 プロジェクトメンバー	1
2. 調査の内容	3
3. 調査の方法	19
4. 回収率ならびに欠票の分析	25
5. データセットの重み付けについて	31
6. データの公開状況と入手方法	35

II. JGSS-2016 集計と索引

1. 基礎集計・コード表：面接調査票	43
2. 基礎集計・コード表：留置調査票	111
3. 事項索引	157
4. 変数名索引	171

III. JGSS-2016 資料

1. 抽出地点リスト	181
2. 産業コード	183
3. 職業コード	185
4. 国際標準職業分類 (ISCO)	191
5. GSS・世論調査と調査項目（面接調査票）の対応表	207
6. GSS・世論調査と調査項目（留置調査票）の対応表	217
7. フローチャート	233
8. 面接調査票	
9. 面接調査票 回答票（サンプル）	
10. 留置調査票	
11. 依頼状（調査へのご協力をお願い）	
12. パンフレット	
13. 調査要領	

I . JGSS-2016 調査概要

I.1 JGSS-2016 プロジェクトメンバー

科学研究費代表者 岩井 八郎 京都大学大学院教育学研究科 教授
大阪商業大学 JGSS 研究センター運営委員

研究分担者

阿形 健司 同志社大学社会学部 教授
都村 聞人 神戸学院大学現代社会学部 講師
平尾 桂子 上智大学大学院地球環境学研究科 教授・JGSS 研究センター 運営委員
岩井 紀子 大阪商業大学総合経営学部 教授・JGSS 研究センター センター長
穴戸 邦章 大阪商業大学総合経営学部 准教授・JGSS 研究センター 運営委員
佐々木 尚之 大阪商業大学総合経営学部 講師・JGSS 研究センター 運営委員

研究協力者：調査対象者からの問い合わせ(京都大学大学院教育学研究科)

伊達 平和 京都大学大学院文学研究科/日本学術振興会特別研究員
園部 香里 京都大学大学院教育学研究科修士課程 2 年
木下 翔太郎 京都大学大学院教育学研究科修士課程 2 年
松尾 大地 京都大学大学院教育学研究科修士課程 2 年

研究協力者：調査票作成

埴淵 知哉 中京大学国際教養学部 准教授
川口 大司 東京大学大学院経済学研究科 教授
仁田 道夫 東京大学社会科学研究所 名誉教授・JGSS 研究センター 運営委員
谷岡 一郎 大阪商業大学総合経営学部 教授・学長・
JGSS 研究センター 運営委員会委員長

(以上、2016 年 3 月時点の所属)

研究協力者：調査対象者からの問い合わせ(JGSS 研究センター)およびデータ作成・クリーニング

角野 隆則 オックスフォード大学社会学部 博士課程 (元 JGSS 研究センターPD 研究員)
西川 一二 京都大学大学院教育学研究科 研究員 (元 JGSS 研究センターPD 研究員)
眞住 優助 金沢大学国際基幹教育院 講師 (元 JGSS 研究センター主任研究員)
孟 哲男 JGSS 研究センター 主任研究員
吉野 智美 JGSS 研究センター PD 研究員

事務局

石神 由健 大阪商業大学 学術研究事務室 室長
平田 順一 大阪商業大学 学術研究事務室 サブマネージャー
肝付 紗矢香 大阪商業大学 アミューズメント産業研究所

(以上、2017 年 10 月時点の所属)

I.2 調査の内容

JGSS-2016 は、JGSS プロジェクトが最初に実施した第 1 回本調査（JGSS-2000）から数えると、第 10 回目の調査にあたる JGSS-2015 の拡張版調査である。JGSS-2015 と調査内容はほぼ同一で、調査対象者が異なる。

JGSS-2015 は、科学研究費基盤（A）「東アジアにおけるワークライフバランスと社会の持続可能性に関する総合的研究」（研究代表：岩井紀子）の助成を基に、2015 年 2～5 月に全国 300 地点で 20～89 歳男女 4,500 人に実施した調査である。JGSS-2015 には、JGSS プロジェクトが 2006 年から、韓国・中国・台湾チームと協力して実施している東アジア社会調査（East Asian Social Survey：EASS）の「東アジアにおける仕事と生活」モジュールの一部、International Social Survey Programme (ISSP) 2015 の「Work Orientation（職業意識）」モジュールの一部、EASS モジュールに関連して「ワークライフバランスと女性の就業」を中心とした JGSS 独自設問を組込んだ。また、「社会の持続可能性」に関する設問として、JGSS-2012 に続いて東日本大震災関連設問を加え、時事設問群として、外国人の増加と受け入れに関する設問、先祖の墓の承継に関する設問、地域の抱える問題の深刻さを加えた。

JGSS-2015 は、予算の制約から、サンプル規模は JGSS-2010 や JGSS-2012（9000 人）の半分であり、さらに、2000 年前後から発生している振り込め詐欺事件の勃発と報道ならびに情報漏洩事件の頻発（2013 年 5 月の Yahoo! JAPAN ID 情報漏洩や 2014 年 7 月のベネッセの顧客情報の流出など）により、JGSS-2015 の回収率は、JGSS-2012 の 59.0%から 52.6%に下がった。結果として、JGSS-2015 では、就業者からの回答は、男性（20 歳代後半 67 人；30 歳代 131 人；40 歳代 143 人）、女性（41 人；124 人；148 人）にとどまった。これでは、統計分析は厳しい。

そこで、JGSS 研究センターの運営委員の一人である岩井八郎京都大学大学院教育学研究科教授が研究代表となり、科学研究費基盤（B）「東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究」の助成を基に、2016 年 2～5 月に、JGSS-2015 を実施した全国 300 地点の内の 140 地点の隣接地点において、25～49 歳の男女 2,100 人を抽出して、JGSS-2015 とほぼ同じ調査票（学歴に関する設問の順序を一部変更）を用いて調査を実施した。

本稿では、JGSS 調査票の出発点となる JGSS-2000 の調査票が確定されるまでの経緯と、その後の調査項目の変遷にふれた上で、JGSS-2016 に組み込んだ調査項目を紹介する。

1. JGSS の調査方法と調査票の確定まで

1.1 2 回の予備調査による検討

JGSS は、GSS に範を取り、国際比較を視野に入れているが、日本の社会と人々の意識や行動の実態を把握することに主眼をおいている。調査対象者の世帯構成、就業や生計の状況、両親や配偶者の職業、対象者の政治意識、家族観、人生観、死生観、宗教、余暇活動、犯罪被害など広範囲の調査項目を網羅し、さまざまな問題関心から分析ができる調査データの構築を目指している。

第 1 回本調査である JGSS-2000 に組み込む項目の選択にあたっては、GSS の 1996 年度の Cumulative Codebook を基に、過去に使用された全調査項目を検討した上で、1990 年以降の 5 回の調査における出現頻度や重要性から判断して、必要な項目を抽出した。さらに、日本における近年の各種の世論調査を参照し、関心が高い項目、あるいは時系列の観察が必要と思われる項目を加えている。JGSS の調査データは、社会科学の多くの問題について基礎的な資料を提供し、多岐にわたる変数の関連を分析することを可能にする。その反面、GSS と同様に、一つの問題関心について詳細な情報を提供することは出来ない。ただし、調査年によってトピックを設定して、その関連の設問を増やす場合もある。

JGSS プロジェクトでは、調査項目と調査方法論上の検討を行うために、第 1 回予備調査を 1999 年 3 月に首都圏と大阪府において、さらに同年 11 月に第 2 回予備調査を全国規模で実施した。第 1 回予備調査と第 2 回予備調査から得た結果の概要は以下のとおりである。

1.2 面接調査と留置調査の併用の可能性・実施順序

GSS は平均 90 分を要する面接調査で、途中 15 分ほど、自記式（対象者自身が調査票に記入する）の部分がある。これは、International Social Survey Programme (ISSP) のための調査票を GSS に組み込んでいるからである。日本の調査環境を考えると、GSS のやり方をそのまま持ち込むことは難しい。そこで JGSS では、面接調査法と留置調査法を併用し、それぞれの所要時間を約 20 分とし、全体として 40 分ほどで調査が終了することを目指した。

日本では、面接と留置を組み合わせた全国調査は少なく、ほとんどの場合、どちらか一方が採用されていた。JGSS では、GSS や NSFH (National Survey of Families and Households) を参照して、面接法と自記式を併用することにした。ただし、自記式を面接の途中に組み込むのではなく、面接調査の前あるいは後に、留め置いた調査票への記入を依頼する形をとった。就労状況、政党支持、婚姻歴、世帯構成など、設問が複雑であったり、枝分かれの多い調査項目は、面接調査票に入れている。一方、面接で尋ねると、社会的望ましさの方向へ回答が振れやすい設問は、留置調査票に入れている。

第 1 回予備調査では、面接調査と留置調査のどちらを先に実施するのがよいかを検討した。split-ballot の方法を用いて、対象者の半数には面接→留置、残りの半数には留置→面接の順に依頼した。ただし、対象者の都合や希望で順序を変更してもよいこととし、調査員には実際に実施した順序を記録させた。この結果、58.7% のケースでは面接を先に、41.3% のケースでは留置を先に行っており、どちらかというところ、面接調査を先に実施する方が、調査がスムーズに運ぶようであった。調査終了後に調査員から聴き取りを行ったところ、対象者の都合や希望に任せる方が調査を実施しやすいという意見が少なくなかった。そこで第 2 回予備調査からは、実施順序は、調査員の状況判断に任せている。どの年度においても、面接を先に行うケースがほぼ 4 分の 3 を占める。また、面接と留置のうちの片方しか実施できなかったケースは非常に少ない。結論として、面接法と留置法の併用は成功したといえよう。

1.3 測定尺度と選択肢の検討

GSS と共通する質問項目を JGSS に組み込むに際しては、GSS で採用されている測定尺度をそのまま採用するのか、あるいは日本の世論調査でなじみのある測定尺度に変更すべきなのかを検討する必要がある。また、尺度そのものの特性や分析方法との兼合いなどについても検討する必要がある。そこで、第 1 回予備調査と第 2 回予備調査では、選択肢やスケール、回答の方法などが一部異なる A 票と B 票の 2 種類の留置調査票を用意して、split-ballot の方法で調査を実施した。全体の半分では A 票を、残りの半分では B 票を使用した。面接調査票は 1 種類である。A 票には GSS と互換性がある選択肢とスケールを、B 票には日本の調査でよく用いられる選択肢やスケールを組み込んだ。

第 1 回予備調査は都市部のサンプル、第 2 回予備調査は全国サンプルという違いはあるが、2 つの調査はいずれも共通した傾向を示した。第 2 回予備調査では、第 1 回予備調査で検討した項目に加えて、選択肢における「中の中」(階層帰属意識)の有無と選択肢の呈示順序(昇順/降順、性別)についても検討している。

この 2 つの予備調査で得た知見に基づいて、JGSS-2000 の調査票の選択肢やスケールを確定した。すなわち、選択肢の用語については、「強く」という言葉を使わずに、日本の調査で使われることの多い「どちらかといえば」という表現を用いる。日本で選択率の高い「場合による」は用いない。「わからない」に関しては、法律の知識を必要とする設問についてはこのカテゴリーを設け、それ以外の設

問では設けない。スケールの対称性の問題とスケールか用語かという問題については、両端にのみカテゴリーを記入する左右対称のスケールを採用する。選択肢の数については、3点尺度ではなく5点尺度を用いる。中間値の有無については、意見項目に関しては「どちらともいえない」を設けない4点尺度とし、階層帰属意識に関しては「中の中」を設けて5点尺度とする。選択肢の呈示順序については、支配的なカテゴリーを最後にもってくる。選択式か記述式かについては、具体的な情報を得られる記述式を用いる。家事の測定に関する絶対尺度と相対尺度については、頻度を尋ねる絶対尺度を用いる。このようにJGSSでは、GSSの選択肢やスケールをそのまま用いるのではなく、JGSS独自の選択肢やスケールを組み込むことにした。

予備調査の結果の詳細は、『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第1回予備調査 基礎集計表・コードブック』と『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備調査 基礎集計表・コードブック』に記録している。

2. JGSS の調査項目の変遷

第1回本調査となるJGSS-2000の調査票は、時系列の変化を見るために継続的に組み込む設問と、調査年度において社会の争点となっている問題について尋ねるいくつかの時事的な設問群から構成された。JGSS-2000、JGSS-2001、JGSS-2002をへてJGSS-2003では、留置調査票を2種類に分け、A票には継続設問と時事設問を、B票にはネットワーク設問を組み込んだ。JGSS-2005からは、JGSSにふさわしい研究課題を、広く国内外の研究者に呼びかけて公募し、採択した課題を設問として組み込んでいる。JGSS-2006からはさらに、EASS（東アジア社会調査：East Asian Social Survey）プロジェクトの開始により、留置B票に台湾・韓国・中国と共通する設問を組み込んでいる。このように、JGSSの調査内容は現在では、継続設問、時事設問、公募設問、東アジア共通設問（EASSモジュール）から構成されている。

JGSS-2000からJGSS-2016に至るまでの調査項目の具体的な変遷をたどる前に、JGSSの設問内容を構成する「研究課題の公募」「EASSプロジェクト」についてふれておく。

2.1 研究課題公募の開始

JGSS-2005～2012では、調査実施の12～24ヶ月前に研究課題を設問の形で公募し、採択したものを調査票に組み込んでいる。募集の目的は、研究者が関心のある研究課題に基づいた設問を組み込むことで、JGSSの調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとする、また、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げるためである。研究課題の採択者は、JGSS研究センターと連携して調査の設計段階から研究会に参加し、必要な調査データの収集・分析によって研究を遂行することになる。

設問のテーマ・条件、応募資格、選考方法などは、次頁の表1のとおりである。JGSSプロジェクトに過去に参加したメンバーであっても、設問の組み込みを希望する場合は、募集要項に沿って応募しなければならない。また、EASSに組み込む設問についても、同様に研究課題を募集しているが、こちらはあらかじめEASSの調査テーマに沿った課題について、英語による設問の作成が求められている。

JGSS-2005では、研究者4名、大学院生8名、JGSS委員会メンバー（当時）5名からの応募があり、研究者3名、大学院生2名、JGSSメンバー3名（2名は過去の設問の復活）の設問を採択した。その結果、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2006では、研究者2名、大学院生16名（1名は在米日本人）、JGSSメンバー5名から応募があり、大学院生2名、JGSSメンバー3名（2名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。「中学3年時になりたかった職業」、「離婚後の親子関係」、「海外援助」などの設問が組み込まれた。

表 1 JGSS 研究課題の公募

- 〈研究課題のテーマ・条件〉 テーマは総合的社会調査にふさわしいもの。課題は、質問文・選択肢ともに完成した設問の形にする。設問の量は 1 問から可能。分量に特別な上限は設けないが、分量が多い場合、全体ではなく一部が採択されることがある。EASS の研究課題は、あらかじめ決められた調査テーマによる英語の設問で提案すること。
- 〈応募資格〉 大学または研究機関の研究者、大学院生。
- 〈応募方法〉 指定の用紙を JGSS の HP からダウンロードし、氏名、所属、連絡先、所属学会、研究課題、設問案、設問を挿入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参照文献・調査、JGSS データの利用経験、これまでの調査経験を明記して、メールに添付して提出。
- 〈選考方法と発表〉 選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、中立なる審査・選考を行う。選考では、設問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮する。
- 〈採択者の義務〉 JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムに参加）となり、採択された設問に関連するデータのアフター・コーディングやクリーニングを担当。調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うことがあり、設問の調整・調査票の作成のために、指定された日時に大阪商業大学で行う研究会に参加する。日時は約 1 ヶ月前に連絡する（センターで開催する研究会の交通費一部支給のほか、センターの施設・設備利用が可能）。一般公開前に分析可能となるデータを使い、研究会に参加・報告、最初の成果を JGSS 研究論文集に掲載する論文として提出する（論文集：毎年 3 月 31 日に刊行、原稿〆切：毎年 1 月中旬）。
- 〈留意事項〉 採択者は、データの一般公開前の特別利用が認められる。ただし、JGSS 研究論文集刊行までの間、研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできない。採択された設問は、JGSS の調査票に帰属する（考案者の名前は明記しない）。

JGSS-2008 では、研究者 5 名（1 名は在米日本人；1 名はアメリカ人）、大学院生 2 名（1 名は在米日本人）、JGSS メンバー 3 名から応募があり、研究者 1 名（在米日本人）、大学院生 1 名、JGSS メンバー 2 名（1 名は過去設問の復活・拡張）の設問を採択した。「貿易に対する態度の規定要因」、「経済的不安感」、「知事の任期と支持率」、「エコ行動の変化」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2010 では、研究者 10 名、大学院生 5 名、JGSS メンバー 4 名から応募があり、研究者 9 名、大学院生 3 名、JGSS メンバー 4 名（3 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。採択した設問の概要は、「裁判員制度」、「身体についての意識と行動」、「観光行動」、「英語の必要性」、「英語教育への意識」、「組織風土」、「耽溺行動」、「中高年の地域活動・ボランティア活動」、「インフルエンザの流行に関する意識と保健行動」、「皮膚のそう痒感」、「将来への希望」「癒し行動」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。「運動習慣」の設問も採択したが、EASS モジュールと重なる部分の整合性がつかず、応募者が希望するほど詳細に尋ねることもできないために、途中で組み込むことをあきらめた。

JGSS-2012 では、研究者 11 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー 2 名から応募があり、研究者 7 名、大学院生 1 名、JGSS メンバー 2 名（1 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。採択した設問の概要は、「社会的承認」、「学齢期の社会活動の経験・生涯学習」、「大規模自然災害の発生可能性と不安感」、「自然災害に対する地域の対応力」、「友人ネットワーク」、「相談相手」、「異世代との会話機会」、「ネットワークの同質性・上下関係」、「垂直的・水平的ネットワーク多様性」、「社会への貢献」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。

JGSS-2015 は、JGSS-2012 までとは異なり、科学研究費補助金「東アジアにおけるワークライフバランスと社会の持続的可能性に関する総合的研究」（JSPS 科研費 26245060 平成 26～28 年度基盤（A）研究代表：岩井紀子）により調査を実施した。研究代表者と研究分担者が、JGSS の継続性と EASS 2014/2015 のテーマに関連する研究課題を練り、科研費を申請し、研究計画に即して調査票を作成した。したがって、JGSS-2015 では設問の公募は行っていない。

JGSS-2016 も、JGSS-2015 と同様に、科学研究費補助金により調査を実施した。この調査は、「東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究」（JSPS 科研費 15H03485 平成 27～29 年度基盤（B）研究代表：岩井八郎）による。この章の冒頭で述べたように、JGSS-2016 は、JGSS-2015 の拡張版調査であり、生産年齢人口のうち回収率の低い 25～49 歳を対象を絞った。調査票は、JGSS-2015 とほぼ同一であり、JGSS-2015 と JGSS-2016 のデータを合わせて、就業者における教育と就業の行動と意識を分析する研究者が、研究代表と分担者を務めている。したがって、JGSS-2016 では設問の公募は行っていない。

2.2 EASS プロジェクトの開始

JGSS-2006 以降は、留置票を常に 2 種類作成し、そのうちの一方（留置 B 票）に EASS モジュールを組み込むことになった。EASS とは、East Asian Social Survey（東アジア社会調査）の略であり、欧米の研究者が中心になりがちな国際比較調査において、東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を行おうとするプロジェクトである。

このプロジェクトは 2003 年 6 月に大阪商業大学において開催した「JGSS 国際シンポジウム 2003」を契機として立ち上がった。JGSS 以外に、GSS に範を取る台湾の TSCS（中央研究院社会学研究所チーム）、韓国の KGSS（成均館大学 Survey Research Center（SRC）チーム）、中国の CGSS（中国人民大学・西安交通大学チーム）がこのプロジェクトに参加している。

EASS プロジェクトの方法的な特徴は、独自の国際比較調査を新たに作り出すのではなく、それぞれの国・地域ですでに継続的に実施されている社会調査の中に、共通の設問群（モジュール）を組み入れることで国際比較を行うという点にある。2006 年を初めとしてその後 2 年に 1 度、継続的にこのモジュールの組み入れを行っている。すでに実績のある継続調査を活用することで効果的・安定的に国際比較調査が継続できることを狙っている。第 1 回となる EASS 2006 のテーマは「家族（Families in East Asia）」であり、第 2 回目の EASS 2008 は「東アジアの文化とグローバリゼーション（Globalization and Culture in East Asia）」、第 3 回目の EASS 2010 は「東アジアにおける健康と社会（Health and Society in East Asia）」、第 4 回の EASS 2012 は「東アジアのネットワーク・社会関係資本（Network Social Capital in East Asia）」である。これらのモジュールを、JGSS-2006、JGSS-2008、JGSS-2010、JGSS-2012 の留置 B 票にそれぞれ組み込んで調査を行った。調査の詳細については、『EASS 2006 Family Module Codebook』『EASS 2008 Culture Module Codebook』『EASS 2010 Health Module Codebook』『EASS 2012 Network Social Capital Module Codebook』を参照されたい。

第 5 回となる EASS 2014/2015 は、「東アジアにおける仕事と生活（Work Life in East Asia）」をテーマとしている。EASS プロジェクトに参加している 4 チームは、7 回のミーティング（台北、大阪、西安、ソウル、北京、横浜、ソウル）で議論を重ね、EASS 2014/2015 のモジュールを完成させた。ただし今回は、EASS の過去のモジュール作成とは、いくつかの点で異なった。

第 1 に、International Social Survey Programme (ISSP) 2015 のテーマが「Work Orientations（職業意識；WO）」であり、EASS のテーマと重なった。TSCS と KGSS は、ISSP と EASS を同一の調査票に組み込むため、二つのモジュールの内容が重複しないように、ISSP 2015 モジュールの確定を待つ必要があった。ISSP は、日本では NHK 放送文化研究所が実施しており、JGSS はこれまで ISSP を組み込んだこと

はない。しかし、EASS と ISSP の両方を組み合わせなくては意味のない分析も出てくることから、NHK 放送文化研究所の了解を得て、ISSP 2015 モジュールの一部を JGSS-2015 に組み込むことにした。

第 2 に、前述したように JGSS-2015 は科学研究費補助金により実査を行い、予算の制約から、サンプル規模は JGSS-2010 や JGSS-2012 の半分であり、留置調査票を 2 種類作成することは出来なかった。そのため、JGSS の継続設問、時事設問、EASS 2014/2015 Work Life モジュール、ISSP 2015 Work Orientations の設問を、すべてひとつの調査票に組み込む必要があった。結果として、EASS モジュールは、これまでのようにすべてではなく、ごく一部を組み込むことにとどまった。JGSS-2015 および EASS 2014/2015 Work Life モジュールの作成の詳細については、岩井・上ノ原 (2015) を参照されたい。

上述したように JGSS-2016 の調査票は JGSS-2015 とほぼ同一であり、EASS 2014/2015 Work Life モジュールの一部、ISSP 2015 Work Orientations モジュールの一部、EASS 2014/2015 に関連する JGSS 独自設問を組み込んでいる。

2.3 調査項目の主な変更点

後掲する表 2 は、JGSS-2000 から JGSS-2016 までの設問の変遷を示している。JGSS-2000 から JGSS-2012 までの調査項目の主な変更点は以下の通りである。

JGSS-2000 (面接調査票：19 頁 143 問 354 変数、留置調査票：15 頁 156 問 186 変数) と **JGSS-2001** (面接調査票：19 頁 146 問 346 変数、留置調査票：15 頁 158 問 189 変数) の調査票は、ほぼ同一である。これは、この二つのデータを合わせることによって、性別、年齢、地域、職業などについて、より詳細な分析が可能となるためである。JGSS-2001 での変更は、面接票に「初職に就いた時期」、「初職の求職方法」、「配偶者のきょうだいの数」の設問を加え、留置票に「サッカーくじ」、本人と配偶者が「家族を介護した経験」の設問を追加、「少年法の改正」の設問を除いた点のみである。

JGSS-2002 (面接調査票：19 頁 110 問 360 変数、留置調査票：15 頁 160 問 261 変数) では、面接調査票の一部と留置調査票のかんりの部分を変えている。JGSS の中心的な設問を残し、争点となっている時事的な設問を組み込んだ。面接票では、「教育訓練や研修」についての設問を除き、新たに、「高校の学科」、「進学率」、「大学の専攻分野」、「教育費の支出」、「住宅関連の支出」の設問を加えた。留置票では、JGSS の基本設問を残し、その他は新規設問群—「英語学習」、「ボランティア活動」、「環境と消費行動」、「ギャンブル」、「カジノ」、「多様な余暇活動」、「アレルギー疾患」、「購読新聞」、「学校教育から得たもの」—と入れ替えた。

JGSS-2003 (面接調査票：12 頁 56 問 237 変数、留置調査票 A 票：14 頁 153 問 250 変数、留置調査票 B 票：22 頁 251 問 505 変数) では、面接調査票の設問数を大幅に減らし、留置調査票を 2 種類用いている。JGSS の基本形を踏襲した留置 A 票と、対象者のネットワークについての設問を中心とする留置 B 票である。後者は、悩み事、政治、仕事のそれぞれに関して相談する相手 (最大 4 人) について詳しく尋ね、この 3 つのネットワークの重なりについても把握するという、大規模調査では、世界でも初めての試みである。JGSS-2003 の面接票は、JGSS-2002 までと比較して、設問数を思い切って削減している。これは、面接調査票を短くすることにより、対象者に対する負担を少しでも減らそうと考えたからである。ネットワークについて尋ねる留置 B 票は、冒頭部分を面接で行う必要があり、記入に関する説明にも時間を要し、対象者への負担が従来よりも大きくなるのではないかと思われたからである。一方、留置 A 票においても、一部の設問は「いじめ」、「代理母」、「女性知事による相撲の表彰」、「消費行動」、「英語を学習する意欲」などの新規設問群との入れ替えを行い、「少年法の改正」の設問を復活した。

JGSS-2005 (面接調査票：15 頁 77 問 201 変数、留置調査票：15 頁 183 問 263 変数) では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を変更した。これまでは、「同居家族 (一時的に

別居している家族を含む」と「子ども（同別居に関わらず）」について尋ねていたが、JGSS-2005 では、「配偶者」、「父母」、「子ども」、「その他の同居家族」、「一時別居家族」の順に尋ねている。また、JGSS-2003 で外していた「初職」と「配偶者のきょうだい」の設問を復活した。「住居形態・住居の所有形態」については、面接調査票から留置調査票に移した。設問の公募を通して、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」を新たに加えた。「寄付・募金」の設問については、JGSS-2002 に組み込んだ「ボランティア活動」の設問に変更を加えて復活させた。また、JGSS-2000 以来組み込んでいる「情報機器の利用」に関する設問を 3 問に分けて、これまでよりも詳細に尋ねるようにした。なお、JGSS-2005 で使用した留置調査票は 1 種類である。

JGSS-2006（面接調査票：16 頁 86 問 259 変数、留置調査票 A 票：14 頁 165 問 198 変数、留置調査票 B 票：14 頁 37 問 161 変数）では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を再び変更した。これは、EASS 2006 のテーマである「Family」モジュールの一部を面接調査票に組み込んだことによる。JGSS-2006 では、「同居家族」、「一時的に別居している家族」、「父母（配偶者の父母を含む）」、「子ども」の順に尋ね、それぞれの属性だけではなく、婚姻状態、就労の有無、調査対象者との居住距離、接触頻度、連絡頻度も尋ねている。また、JGSS-2002 で尋ねた「子どもの教育費」の設問を復活した。

JGSS-2006 では 2 種類の留置調査票を用いている。JGSS の基本形を踏襲した留置 A 票と、EASS 2006 のテーマである「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票である。留置 A 票には、設問の公募を通して「中学 3 年時になりたかった職業」、「開発途上国への援助」を、また、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「監視社会」、「自殺についての意識」を新たに加えた。また、JGSS-2002 で尋ねた「学歴観」の設問の一部を復活させ、新規設問として「教育観」を加えた。「監視社会」については、「監視カメラ」や「ネットの書き込み内容の監視」だけでなく「防犯意識と防犯行動」まで広げて尋ねている。さらに、EASS 2008 モジュールの一部のプリテストとして、JGSS-2002 と 2003 に組み込んだ「英語学習」の設問を復活させ、「国別好感度」の設問を新たに追加した。ほかに時事設問として「憲法第 9 条の改正」、「女性・女系天皇」、「地域での清掃・リサイクル・見守り活動」の設問を組み込んだ。

一方、EASS 2006 「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票では、韓国・中国・台湾との共通設問として、「結婚観・離婚観」、「家族観・性別役割観」、「家意識・扶養意識」、「理想の子ども数と性別」、「配偶者との出会い」、「夫婦間の意思決定」、「家事遂行」、「夫婦の情緒的関係」、「家族行動」、「世代間援助」などを尋ねている。JGSS の中心設問としてこれまでに継続的に尋ねてきた設問と重なる内容もあるが、他のチームとの比較を考えて、選択肢の表現や設問のワーディングを変更した。「Family」モジュール以外には、公募設問のうち「離婚後の親子関係」、「介護の経験と対象」、「ペットの死」を組み込み、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「食の外部化」を加えた。このほかに、調査対象者の意識と行動にかかわる JGSS の中心設問を組み込んでいる。

JGSS-2008（面接調査票：15 頁 86 問 197 変数、留置調査票 A 票：14 頁 152 問 202 変数、留置調査票 B 票：14 頁 163 問 198 変数）では、基本的には JGSS-2006 の面接調査票を引き継ぎ、回答者と配偶者の就労形態が「派遣社員」「自営業主・自由業者」の場合の実態や、「通常労働時間数」を追加して尋ねている。EASS に関連して、JGSS-2006 から面接調査票に加えた「回答者と配偶者の主な仕事以外からの収入を含む年収（非就労者も含む）」、「同居家族員・子ども・父母（配偶者の父母含む）の婚姻状態や就労の有無」は、引き続き尋ねている。また、「配偶者・両親・子ども以外の同居家族」についての設問を復活し、「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を加えている。

JGSS-2008 の留置 A 票に新たに組み込んだ設問は、「知事の任期と支持率」、「経済的不安感」、「子どものしつけに関する意識」、「父親・母親の存在感の変化」、「子どもの道徳意識の変化」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「医療不安」、「地域の救急医療体制」である。医療に関する設問は、JGSS-2010 に組み込みを予定していた EASS 2010 の「Health」モジュールから設問の一部を試験的に加えた。「環境問題」に関しては、JGSS-2002 の設問の一部を復活し、「地球環境と経済成長・利便性」、「環境保護に資するエネルギー利用」、「環境保護のためのボイコット・バイコット行動」、「国産食品の購入」の設問を新たに加えている。「暴行被害経験」については、JGSS-2000/2001 の設問を基に、暴言被害についても尋ね、「体罰意識」の設問も復活した。さらに、JGSS-2000/2001 で尋ねた「少年法の改正」、「死刑制度への賛否」、「政府の役割の範囲」の設問、JGSS-2003 で尋ねた「福祉と税負担」の設問を復活した。

JGSS-2008 の留置 B 票には、JGSS の基本設問の一部と、EASS 2008 の「Culture」モジュールを組み込んだ。EASS モジュールに関連して、一部、JGSS 独自の設問も取り入れている。「環境保護に資するエネルギー利用」は、その普及を広くとらえるために、留置 A 票だけでなく、B 票にも組み込んだ。復活設問は、「婚外交渉」、「同性間の性的関係」、「ポルノの規制」、「ポルノと社会道徳」（以上、JGSS-2000/2001）、「カジノの合法化」（JGSS-2002/2003）である。

JGSS-2010（面接調査票：15 頁 84 問 184 変数、留置調査票 A 票：14 頁 150 問 193 変数、留置調査票 B 票：14 頁 155 問 224 変数）の面接調査票は、JGSS-2008 とほぼ同一である。JGSS-2008 の面接調査票から「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を除いたが、それ以外の部分は、JGSS-2008 と設問の内容・順番ともに同じである。

留置調査票 A 票では、継続設問に加えて、「回答者・同居家族の耽溺行動」、「英語の必要性」、「英語教育の開始学年への意見」、「中学校以前の英語教育経験」、「裁判員制度」、「政策への意見：子ども手当・高校無償化・高速道路無料化・二酸化炭素排出量削減・最低賃金の引き上げ・同一労働同一賃金・配偶者控除の廃止」、「適切な消費税率への意見」、「マニフェスト順守への意見」、「夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見」、「町内会加入の有無」、「町内会での活動頻度」、「ボランティア活動」を新たに組み込んだ。「耽溺行動」については、EASS 2010 の「Health」モジュールにも採用され、留置 A 票とともに B 票にも組み込んでいる。また、新規設問に関連して、JGSS-2006 から「英会話のレベル」、「英語読解力のレベル」、「英語の使用」、「政府の支出」、「夫婦別姓意識」を、また JGSS-2001 から、「最近の判決について」、「ドナーカードの所持」、「自分の墓について」、「共同墓または散骨希望の理由」を復活させた。

留置調査票 B 票には、JGSS の基本設問のほか、EASS の「Health」モジュールが組み込まれている。EASS モジュールには、アメリカの Quality Metric 社が開発し、「認定 NPO 法人 健康医療評価研究機構 iHope International」が日本語版のライセンスを管理している「SF 健康調査票 SF-12v2™」を、ライセンス契約をした上で組み込んでいる。具体的には、「主観的健康状態」、「健康上の理由による日常活動の困難」、「身体的健康の問題」、「精神的健康の問題」、「痛みによる仕事の困難」、「精神的健康状態」、「健康問題による人つきあいの困難」に関する 12 の設問であり、健康関連 QOL（Health-related Quality of Life）指標として利用している。韓国・台湾・中国との共通設問は、このほかに、「慢性的な病気の有無と種類」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「東洋医療の受診経験」、「加入している医療保険の種類」、「医療不安」、「予防接種の経験」、「新型インフルエンザの流行への不安」、「身長・体重・体型に関する意識」、「飲酒・喫煙・運動頻度などの生活習慣」、「飲酒・喫煙・ギャンブル・ゲームなどの耽溺行動」、「近隣の環境と環境被害」、「介護を必要とする家族の存在」、「将来への希望の有無」、「歳をとることへの不安」、「人間の本性」、「他人への信頼観」である。EASS モジュールのうち、「心配事を聞いてくれた人」、「経済的な面で助けてくれた人」、「その他の手助けをしてくれた人」につい

ては、JGSS 独自の設問形式をとっている。また、「環境被害」の中の「日照被害」は、JGSS のみが追加した設問である。

EASS モジュールに関連する設問としては、「体型が気になる程度・理由」、「体型管理」、「日常生活での精神状態（時間的・心のゆとり、孤独感）」、「心身のリラクゼーション行動の頻度」、「生活の享受」、「同居家族のインフルエンザ感染の有無」を新たに加えている。また、耽溺行動の設問と関連して、継続設問である余暇活動に関して、「ナンバーズ・ミニロト・ロト 6」、「サッカーくじ (toto)」、「公営ギャンブル」の項目を JGSS-2001 から復活させ、「ドライブ」、「カラオケ」、「映画鑑賞」、「音楽鑑賞」、「園芸・庭いじり」、「将棋・囲碁」を今回は削除した。また、健康の設問と関連して、「アレルギー関連の症状の有無」を JGSS-2006 から復活させた。さらに EASS モジュール以外の JGSS 設問として、「国内・海外旅行頻度」、「国内・海外旅行頻度に関する希望」、「旅行で重視すること」、「職場の連帯感」を新たに組み込んでいる。

JGSS-2012（面接調査票：16 頁 101 問 243 変数、留置調査票 A 票：15 頁 175 問 250 変数、留置調査票 B 票：15 頁 171 問 242 変数）の面接調査票は、基本的には JGSS-2010 を引き継いでいるが、回答者の現職と初職、配偶者の現職、回答者が 15 歳時の頃の父の職業について、被雇用者であるかどうかを確認する設問を追加した。これは、EASS 2012 統合データにおける就労形態の分類に用いるためである。調査時点で就業していない回答者には、JGSS-2002 以来 10 年ぶりに、最後に就いていた仕事について尋ねている。さらに、離職理由を尋ねる設問を JGSS-2005 から復活させた。また、結婚や出産による離職経験を尋ねる設問も新たに加えた。通勤については、通勤手段を尋ねる設問を JGSS-2005 から復活させた。回答者や配偶者が社会に出た年次を特定するために、卒業した年齢（または中退した年齢）を尋ねる設問を加えた。さらに、結婚経験について、結婚回数やその当時の年齢、初婚年齢を尋ねる設問を JGSS-2006 から復活させ、離婚回数や配偶者との死別回数を尋ねる設問を JGSS-2002 から復活させている。

留置調査票では、2011 年 3 月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故が人々の意識と行動に与えた影響を把握するために、JGSS が過去に尋ねてきた関連設問を継続または復活して組み込むと同時に、新たな設問を組み込んだ。被災地との距離や地域の事情により意識や行動が異なる事柄が少なくないので、スペースの許す範囲で、留置 A 票と B 票の両方に組み込んだ。継続・復活設問としては、「エコ・エネルギーの利用」、「節電行動」、「ボランティア活動」、「環境汚染」、「寄付・募金」、「消費税率」、「メンタルヘルス」、「hopelessness」である。「環境汚染」は、EASS 2010 健康モジュールの設問の項目に「土壌汚染」を加え、「節電」は、JGSS で時々尋ねていた「電気はこまめに消す」に、「消費電力を減らす工夫をする」を加えた。新規設問としては、「生活水準と電力」、「原子力政策」、「大規模災害発生可能性・不安感」、「放射性物質による食品汚染への不安」、「震災の仕事・職場への影響」、「震災関連寄付・支援活動」、「震災後の会話の機会」、「震災復興のための増税への賛否」である。

A 票ではさらに、「震災に対する政府の対応への評価」、「時代をあらわす色・好きな色」、「自助志向」、「TPP への参加への賛否」を尋ねている。また、「女性・長子天皇への賛否」を JGSS-2006 から、「カジノ合法化への賛否」を JGSS-2008 から復活させた。

留置調査票 B 票には、JGSS の基本設問のほか、EASS の「東アジアにおけるネットワークと社会関係資本」(Network Social Capital in East Asia: NSC) モジュールを組み込んだ。韓国・中国・台湾との共通設問として、「ボランティアな組織参加」、「積極的に参加した組織の階層性と同質性」、「親族と非親族との接触ネットワーク」、「ネットワークの垂直的多様性」、「ネットワークの地理的広がり」、「求職ネットワーク」、「会食ネットワーク」、「ソーシャル・サポート・ネットワーク」、「近隣ネットワーク」、「社会的寛容性」、「社会問題についての会合への参加」、「ボランティア活動・政治活動への参加」、「自然災害に対する地域の対応力」、「政治ネットワーク」、「公共問題への関心と政治的有効性感覚」、「信

頼」、「社会関係資本と関連する他の項目（居住年数、人生に対する効力感、公開株の保有）」などを尋ねている。EASS モジュールに関連して、JGSS が追加した独自設問もある。「ボランティア活動・政治活動への参加」に関して「過去1年のその他のボランティア活動・政治活動」の項目を、「近隣ネットワーク」に関して「自分の問題はできるだけ他人に頼らずに解決したい」の項目を、「公開株の保有」に関して「債券（国債、外国債、地方債、社債）」、「外貨預金」、「投資信託」の保有などを尋ねている。

3. JGSS-2015 および JGSS-2016(JGSS-2015 拡張版) の調査項目の概要

3.1 面接調査票

上述したように、JGSS-2016 の調査票は、JGSS-2015 とほぼ同一で、学歴に関する設問の順序が一部異なるだけである。したがって、ここでは JGSS-2015 を基に説明する。

JGSS-2015 の面接調査票は、対象者の属性に関する設問が中心である（17 頁 110 問 206 変数）。JGSS-2012 の面接調査票と基本的に同様であるが、JGSS-2015 では、「結婚（再婚）の意欲」、「希望する結婚（再婚）年齢」、「20 歳の頃の居住地」、「専門学校・専修学校に通った時期」を確認する設問を追加した。さらに、「高校の学科」、「出身高校の進学率」、「大学（大学院）の専攻分野」を尋ねる設問を JGSS-2002 から復活させた。

EASS 2014/2015 の「東アジアにおける仕事と生活」(Work Life Module) に関連して、「通勤時間」、「正規の社員・職員として働いてきた会社・組織の数」を尋ねている。また EASS の他の 3 チームがいずれも ISSP 2015 Work Orientation を組込んでいることから、ISSP 2015 のうち、「これまでの仕事で身につけた経験や技能の効用」を尋ねている。EASS に関連する JGSS 独自設問として、「これまでに受けた学校教育の効用」を尋ねている。

面接調査票には、以下のような項目がある。

- 対象者の属性：学歴、高校の学科、出身高校の進学率、大学（大学院）の専攻分野、専門学校・専修学校への通学経験・通学時期、現在の収入源、年収（主な仕事、全体）、世帯収入、婚姻上の地位、世帯構成、兄弟姉妹の数、15 歳の頃の居住地、20 歳の頃の居住地、自分の位置する階層、
- 現職：雇用関係、雇用形態、役職、職種、事業所形態、企業規模、就労時間／週、所定労働時間／週、副業就労時間／週、就労日数／週、通勤時間、就労年数、現在の仕事への満足度、就業継続意向、失業・再雇用の可能性、労働組合加入の有無、現在仕事を探しているかどうか
- 現在就労していない対象者：不就労の理由、過去就労経験、現在仕事を探しているかどうか
- 初職：就労時期、雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模
- 前職（最終職）：雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、離職年齢、離職理由
- 結婚経験：離婚経験、死別経験、結婚（再婚）する意欲、希望する結婚（再婚）年齢
- 家族：同居世帯員（人数、続柄、性別、年齢）、一時的な別居家族（人数、続柄、別居理由）、世帯主
- 配偶者：年齢、同別居、現在の雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、就労時間／週、所定労働時間／週、副業就労時間／週、就労日数／週、就労年数、学歴、専門学校・専修学校への通学経験、年収（主な仕事、全体）、兄弟姉妹の数
- 両親：年齢、同別居、学歴、婚姻状態、就労の有無、対象者が 15 歳の頃の職業
- 子ども：人数、性別、年齢、同別居、婚姻状態、就労の有無
- 調査員に対して：対象者の調査への協力度、質問への理解度、調査の実施に際して気づいた点、居住地域の特徴、居住形態（一戸建て／集合住宅）、オートロックの有無（集合住宅の場合）、面接票と留置票の実施順序、面接調査開始・終了時刻、所要時間

- EASS モジュール「東アジアにおける仕事と生活」(Work Life in East Asia) の一部
 - 転職・終身雇用：正規の社員・職員として働いてきた会社・組織の数
 - 経営家族主義・資産・相続：持ち家
 - 就業状況：通勤時間（片道）
 - 世帯構成：末子年齢
- ISSP 2015 Work Orientation モジュールの一部：これまでの仕事で身につけた経験や技能の効用、最後の仕事を辞めた年齢、就業希望（現在無就業）、主な収入源
- EASS モジュール関連 JGSS 独自項目：これまでに受けた学校教育の効用

3.2 留置調査票

留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心であり、JGSS の基本形を踏襲している（15 頁 183 問 205 変数）。「2.2 EASS プロジェクトの開始」で述べたように、JGSS-2015 では、予算の制約から、サンプル規模は JGSS-2006～JGSS-2012 までの約半分であり、留置調査票を 2 種類作成することは出来なかった。そのため、JGSS の継続設問、EASS 2014/2015 「Work Life」モジュール、ISSP 2015 「Work Orientations」モジュールの一部、EASS モジュールに関連する JGSS 独自設問（「ワークライフバランスと女性の就業」が中心）、時事設問を、すべてひとつの調査票に組み込む必要があった。結果として、EASS モジュールは、すべてではなく、ごく一部を組み込むことに留まった。JGSS-2015 にはさらに、JGSS-2012 に続いて東日本大震災関連設問を加え、時事設問群として、外国人の増加と受け入れに関する設問、先祖の墓の承継に関する設問、地域の抱える問題の深刻さを加えている。

「家計管理」は JGSS-2001 から復活、「配偶者の健康状態」は JGSS-2002 から復活（JGSS-2006 留置 B 票には EASS スケールが組み込まれている）、「配偶者の家事」は JGSS-2006 から復活、「言葉の暴力の加害者」JGSS-2008 から復活、「家族介護」「自分の墓」「夫婦別姓意識」は JGSS-2010 から復活した。

それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

- 生活習慣：飲酒、喫煙、テレビの視聴時間、新聞の購読、ニュース記事をインターネットで読む頻度、読書量、家族一緒の夕食頻度、友人との会食頻度、定期的に行なうスポーツの頻度、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出しなどの家事に従事する頻度、移動手段
- 団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティアグループ、市民団体、宗教団体、スポーツ・クラブ、趣味の会、消費者組合などへの所属の有無
- 余暇活動：テレビの視聴時間、新聞の購読、読書量、友人との会食頻度、定期的に行なうスポーツの頻度、余暇の過ごし方への満足感、公営ギャンブルの頻度、パチンコ・パチスロの頻度、ギャンブル依存（ウソをつく、回数を増やしたり大金を賭ける）
- 情報機器の利用：ニュース記事をインターネットで読む頻度
- 環境問題：環境保護に資するエネルギー利用（太陽光発電、深夜電力、エコウィル／エコキュート、低公害車）、節電行動（電気はこまめに消す、消費電力を減らす工夫）、環境汚染（大気汚染、水質汚染、土壌汚染）、放射性物質による食品汚染への不安
- 人間観・信頼観：人間の本性、他人への信頼観、学者・地方議員・国会議員などの職業集団に対する信頼観、新聞・テレビに対する信頼観、学校・病院・中央官庁・裁判所・警察・自衛隊・大企業・金融機関・労働組合・宗教団体などの機関や団体に対する信頼観
- 死生観・信仰・宗教活動：信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属の有無、信仰の度合い、宗教団体への信頼観、自分の墓、実家の先祖の墓（承継の有無と今後）
- 家族・ジェンダー：性別役割分業観、結婚・離婚観、三世代同居観、家庭生活に対する満足感、配

偶者との関係に対する満足感、理想の子ども数、希望する子どもの性別、家族一緒の夕食の頻度、家事頻度（炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出し）、配偶者による家事頻度（炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出し）、夫婦間の家計管理、夫婦別姓、自分の墓、実家の先祖の墓（承継の有無と今後）、職場での男女の均等待遇（就職、給与、昇進、雇用の安定）、老後の不安感（年金生活、家族・親族による介護、介護サービスの利用）、介護を必要とする家族の存在・担当者であるかどうか

- 社会階層：階層帰属意識、世帯収入についての主観的水準、家計への満足感、将来の経済的不安、所得格差の拡大、所得格差の是正、適切な消費税率、公的年金の給付と負担のバランス、15歳の頃の家族の生活水準、中学3年の頃の成績、金融資産総額（本人と配偶者）、親・親族からの金銭的援助や贈与された土地の総額（本人と配偶者）
- 政治や政府に対する意識と評価：支持政党、所得格差の拡大、所得格差の是正、適切な消費税率、公的年金の給付と負担のバランス、原子力政策への意見、夫婦別姓、カジノの合法化、外国人労働者の受け入れ（工場、建設、農林漁業、介護・看護、高度専門職）
- 法律関係：夫婦別姓、カジノの合法化、外国人労働者の受け入れ（工場、建設、農林漁業、介護・看護、高度専門職）
- 健康・医療関係：健康状態、喫煙、禁煙努力、飲酒、健康状態への満足感、メンタルヘルス、hopelessness、言葉による暴力の被害と加害者、配偶者の健康状態
- 居住環境・地域環境：地域での居住年数、将来にわたる居住希望、居住地域への満足感、居住地域の存続についての不安、近隣関係（互いに気にかけている、困っていたら手助けしてくれる）、大規模災害発生の可能性（地震、津波、水害、豪雪、噴火、土砂、原子力発電所の事故）、大規模災害発生に対する不安、自然災害に対する地域の対応力、地域問題の深刻さ（高齢化、買い物の不便さ、空き家の増加、犯罪の増加、人口の流出、公共交通機関の不便さ、耕作放棄地の増加、鳥や獣による被害、山林の維持管理）、地域に外国人が増えることへの賛否、外国人増加が地域にもたらす影響（経済の活性化、雇用環境の悪化、地域文化が豊かに、治安・風紀の乱れ）
- 幸福感・満足感：幸福感、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計への満足度、友人関係への満足度、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感、将来の経済的不安、hopelessness
- 外国人の増加と受入れ：地域に外国人が増えることへの賛否、外国人の同僚の有無、外国人増加が地域にもたらす影響（地域経済、雇用環境、地域文化、治安・風紀）、外国人の受け入れ（工場労働者、建設作業員、農林漁業従事者、介護・看護サービス従事者、高度専門職従事者）
- 東日本大震災関連設問：環境保護に資するエネルギー利用（太陽光発電、深夜電力、エコウィル／エコキュート、低公害車）、節電行動（電気はこまめに消す、消費電力を減らす工夫）、環境汚染（大気汚染、水質汚染、土壌汚染）、今後の原子力政策、大規模災害発生の可能性（地震、津波、水害、豪雪、噴火、土砂、原子力発電所の事故）、大規模災害発生に対する不安、放射性物質による食品汚染の不安感、自然災害発生時の地域の対応力
- EASS 2014/2015 モジュール「東アジアにおけるワークライフ」(Work Life in East Asia)
 - 勤務先の雇用慣行：人事上の決定への従業員の意見の反映、給与は成果より年功序列に基づく、
 - 不平等・階層移動・女性労働：所得格差の拡大、15歳の頃の家族の生活水準、世帯収入についての主観的水準、職場での男女の均等待遇（就職、給与、昇進、雇用の安定）、
 - 起業志向：チャンスがあれば起業する
 - 家族主義・資産・相続：金融資産総額（本人と配偶者）、親・親族からの金銭的援助や土地の贈与の有無（本人と配偶者）
 - 健康状態：メンタルヘルス

- 職務内容との適合：受けた学校教育と職務内容の適合、仕事上の能力と職務内容の適合
- ISSP 2015 Work Orientations モジュール関連：
 - 雇用環境についての認識：雇用は安定、高収入、努力次第で昇進できる、社会にとって有益な仕事、会社や組織で働いていることに誇りを感じる
 - 職場状況：職場での暴言被害（過去5年間）
 - 労働組合：強い労働組合の必要性
 - 仕事と家庭生活：仕事が家庭の妨げるなること、家庭生活が仕事の妨げになること
 - 技能向上の訓練受講：職場または職場以外での技能向上の教育・訓練・研修（過去1年）
- EASS モジュール関連 JGSS 独自設問：「ワークライフバランスと女性の就業」を中心として
 - 勤務先の雇用慣行：重要な決定への経営者の家族や親族の影響、家族への配慮の考慮、女性が管理者として働きやすい、人手不足で多忙、1週間の連続休暇の取りやすさ（育児や介護など家族の世話のため、旅行など自分の趣味のため、体調が悪い時）
 - 雇用環境についての認識：勤務時間の柔軟さ、仕事の量のコントロール、やりがいを感じる、仕事と家庭生活の両立、能力の活用、自分と同僚の仕事の分担、退職希望年齢
 - 不平等・階層移動・女性労働：正社員に占める女性の割合、非正規社員の割合
 - 家族主義・資産・相続：親・親族からの金銭的援助や贈与された土地の総額（本人と配偶者）、
 - 家計管理：夫婦間の家計管理

岩井 紀子

[参考文献]

- 岩井紀子・上ノ原秀晃, 2015, 「JGSS-2015 および EASS 2014 Work Life モジュールの作成—プリテストの結果と調査票の確定—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『JGSS Research Series No.12: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[15]』pp.63-84.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第1回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第19集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第21集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2005』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2008, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2006』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009, 『East Asian Social Survey: EASS 2006 Family Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2008』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『East Asian Social Survey: EASS 2008 Culture Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2010』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2010』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012, 『East Asian Social Survey: EASS 2010 Health Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2013, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2012』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2014, 『East Asian Social Survey: EASS 2012 Network Social Capital Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2016, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2015』.

表2 JGSS の中心的な設問と時事的な設問

面接調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010	JGSS-2012	JGSS-2015/JGSS-2016
現職	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副業(時間)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
初職	○	+時期/求職方法	+時期/求職方法	—	+時期	+時期	+時期	+時期	+時期	+時期
最終職	○	○	○	—	—	—	—	—	+離職理由	+離職理由
学歴	○	○	○	○	○	+専門学校通学	+専門学校通学	+専門学校通学	+専門学校通学、卒業・中退年齢	+専門学校通学・時期
収入	○	○	○	○	○	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入
婚姻上の地位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+結婚(再婚)意欲・年齢
配偶者の職業・学歴・収入	○	○	○	○	○	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入
父母の学歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
世帯構成/世帯収入	○	○	○	○	○	+就労・婚姻状態	+就労・婚姻状態	+就労・婚姻状態	+就労・婚姻状態	+就労・婚姻状態
きょうだいの数(本人/配偶者)	本人のみ	○	○	—	○	○	○	○	○	○
政党支持	○	○	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)
婚姻歴	○	○	○	—	—	○(留置B)	—	—	○	—
子の年齢・同別居	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
親の年齢・同別居	—	—	—	—	○	○+義父母	○	○	○	○
15歳時の両親の職業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15歳時の居住地域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+20歳時の居住地域
居住形態	+面積	+面積	+面積	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○
社会的地位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
労働組合	○	○	加入の有無のみ	加入の有無のみ	○	加入の有無のみ	加入の有無のみ	加入の有無のみ	加入の有無のみ	加入の有無のみ
居住地域の特徴 (調査員記入)	—	—	—	○	○	○	○	○	+集合住宅、オートロック(欠票でも)	+集合住宅、オートロック(欠票でも)
時事的な設問群	職業訓練	職業訓練	高校の学科・進学率 大学(大学院)の専攻分野、教育費、住宅関連の支出	通勤手段・時間、休日	通勤手段・時間、休日、自動車の保有、働き方の意識	親や子どもとの居住距離・接触頻度・連絡頻度、教育費	勤務先と海外との取引、15歳時の父親と母親の接し方など		通勤手段・時間、結婚・出産時の離職経験	高校の学科・進学率、大学(大学院)の専攻分野、これまでに受けた学校教育の効用 EASS 2014/2015 Work Life モジュール: 通勤時間、正社員として就業した会社・組織数 ISSP 2015 Work Orientation: 仕事で身につけた経験や技能の効用

○: 設問あり、◎: 設問多い、+: ○に加えて、—: 設問なし

留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010		JGSS-2012		JGSS-2015 JGSS-2016
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票	B票	
幸福感/満足感	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○
結婚幸福感/配偶関係満足度	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	○	○	○	○	○	○
健康状態	+配偶者健康状態	+配偶者健康状態	+配偶者健康状態	○	○	○	○	EASS	○	○	○	EASS	○	EASS	+配偶者健康状態
トラウマの経験	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
家計の状態	+家計管理	+家計管理	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	+家計管理
社会階層	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○
宗教	○	○	○	○	－	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○
性別役割分業観	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	EASS	◎	EASS	◎	○	◎	○	◎
理想の子ども数・性別	○	○	○	○	－	○	○	EASS	○	－	○	－	○	○(人数のみ)	○
家事頻度	+配偶者家事頻度	+配偶者家事頻度	+配偶者家事頻度	○	－	○	○	EASS	○	○	○	○	○	○	+配偶者家事頻度
夫婦別姓	○	○	○	○	－	－	－	○	－	－	+子どもの名字	－	－	－	○
政治についての考え方	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	EASS	○
所属集団	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	EASS	○
一般的信頼感／組織への信頼	○	○	○	○	－	○	○	－	○	○	○	EASS	○	EASS	○
余暇活動	○	○	◎	◎	－	○	○	○	○	EASS	○	◎	○	○	○
犯罪被害	○	○	○	○	－	－	○	－	○	○	○	－	○	○	－
飲酒／喫煙	○	○	○	○	－	－	○	－	○	－	○	EASS	○	－	○
読書頻度(本、新聞)	○	○	+新聞名	+新聞名	－	+新聞名	○	○	○	○	○	○	○	○	+ネットでのニュース記事
情報機器の利用	○	○	○	○	－	○	◎	－	◎	○	◎	○	○	○	－
安楽死	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－
外国人	○	○	○	◎	－	○	+国別好感度	－	○	EASS	○	－	○	EASS	+外国人労働者の受け入れ
環境問題	○	○	◎	◎	○	－	○	－	◎	○	○	EASS	◎	◎	◎
高齢化／社会保障	○	○	○	○	－	○	○	EASS	○	－	○	EASS	○	○	◎
居住年数／永住意識	－	－	－	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+地域の抱える問題

○: 設問あり、◎: 設問多い、+: ○に加えて、－: 設問なし、EASS: EASSモジュール

留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010		JGSS-2012		JGSS-2015
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票	B票	JGSS-2016
時事的な設問群	墓、ペット、援助交際、裁判所の判決、少年法の改正、死刑制度、女性知事、臓器提供意思表示カード、死後の世界、暴行被害、体罰、道徳／倫理観(ボルノ/婚外関係)	JGSS-2000に加えて、介護経験(本人/配偶者)、サッカーくじ[少年法の改正は除いた]	環境と消費行動、アレルギー性疾患、ボランティア活動、英語学習、いじめ、少年法、カジノの合法化、代理母、教育から得たものの、ギャンブル、カジノの合法化	アレルギー性疾患、消費行動、英語学習、いじめ、少年法、カジノの合法化、代理母、女性知事と相撲	社会的ネットワーク(悩み事・政治・仕事について相談する相手とその属性)、政治についての考え	アレルギー性疾患、ボランティア活動、寄付・募金、クレジットカード、消費者金融、カウンセリング、少年少女による凶悪犯罪、遺伝子組換え食品、自動車保有・利用、高齢期の過ごし方	学歴・教育観、教育支出のレベル		エコ・エネルギー利用、国産食品の購入		経済的不安感、耽溺行動(飲酒、喫煙、ギャンブル、ネットゲーム)		メンタルヘルス、hopelessness、好きな色・時代の色、経済的不安感、自助志向、今後の政権、消費税率		移動手段、hopelessness、地域の存続、経済的不安感、暴言被害、要介護の家族、年金給付と負担のバランス、ギャンブル、カジノの合法化、消費税率、墓、先祖の墓の継承
													東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、ボランティア参加意思、寄付・募金、生活水準と電力消費、原子力政策、大規模災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、震災の仕事・職場への影響、自然災害時の地域の対応力、震災関連寄付・支援活動、震災後の会話機会、震災復興のための増税		EASS 2014/2015 Work Life モジュール：勤務先の雇用慣行(人事の決定への従業員の影響、成果主義)、職場での男女の均等待遇(就職、給与、昇進、雇用の安定)、教育と職務の適合性、能力と職務の適合性、15歳時の世帯収入レベル所得格差の拡大、起業志向、金融資産、親族からの経済的援助・相続、メンタルヘルス
							中学3年時になりたかった職業、外国語学習、開発途上国への援助、憲法第9条改正、女性・女系天皇、防犯意識・行動、監視社会、自殺、地域での清掃・リサイクル・見守り活動	EASS 2006 Familyモジュール：結婚観・離婚観、家族観・性別役割観、家意識・扶養意識、配偶者との出会い、夫婦の意思決定・情緒関係、家族行動、世代間援助	知事任期・支持率、経済的不安感、しつけ、父親・母親の存在感・道徳意識、暴行・暴言被害経験、体罰、少年法、死刑制度、受診頻度、通院阻害要因、健康診断、医療不安、救急医療体制、地球環境と経済成長・利便性、バイコット・バイコット行動	EASS 2008 Cultureモジュール：文化接触、儀礼、友人に望む資質、価値観、好きな音楽、海外経験・知人、英語能力、社会的距離観、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバリゼーション、ナショナリズム、国際問題	英語教育・能力・学習、エコ・エネルギー利用、バイコット・バイコット行動、マニフェスト(子ども手当、高校無償化、高速道路無料化、CO ² 排出量削減、最低賃金引き上げ、同一労働同一賃金、配偶者控除廃止)、消費税率、臓器提供の意思、移植を受けたいか、裁判所の判決、死刑制度、裁判員制度、墓、町内会活動	EASS 2010 Healthモジュール：SF-12v2™ Health Survey、Hopelessness、慢性的な病気の有無と種類、身長・体重、体重・体型管理、耽溺行動、運動習慣、健康診断、受診頻度、通院阻害要因、医療保険、東洋医学、医療不安、相談相手、近隣環境、環境汚染、時間・心のゆとり、孤独感、リラクゼーション行動、生活の享受、インフルエンザ、要介護の家族、加齢への不安	教養・実務講座の受講経験、学齢期の習い事・地域活動、異世代との会話機会、友人ネットワーク、TPPへの参加、女性・長子天皇、政治への関心、社会への貢献、近隣関係、カジノの合法化、社会的承認、相談相手、町内会・自治会活動、ボランティア活動、死刑制度	EASS 2012 Network Social Capitalモジュール：組織参加(頻度、上下関係、異質性)、接触ネットワーク(規模、垂直的・水平的異質性)、position generator、求職ネットワーク、会食ネットワーク、援助を求める相手(悩み、健康、家事・育児・介護、金銭、緊急・災害時)、近隣ネットワーク、意見交換(頻度、上下関係)、ボランティア活動、災害時の地域効力感、政治・政策活動、選挙運動、政治的効力感、政治への関心、社会への貢献、近隣関係、職業集団への信頼感、人生に対する自己効力感、公開株の保有	ISSP 2015 Work Orientation：雇用環境についての認識(安定、高収入、昇進の可能性、社会に有益、仕事に誇り)、職場での暴言被害、強い労働組合の必要性、仕事と家庭の干渉、技能向上的教育・訓練・研修の受講
															東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、原子力政策、大規模災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、自然災害発生時の地域の対応力
															外国人：外国人増加が地域にもたらす影響、外国人の同僚の有無、外国人の受け入れ(製造、建設、農林漁、介護・看護、高度専門)

○:設問あり、◎:設問多い、+:○に加えて、-:設問なし、EASS: EASSモジュール

I.3 調査の方法

JGSS-2016 の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問ルール・訪問記録、実査の観点に分けて、以下にまとめる。

1. 調査設計

実査時期 : 2016 年 2～4 月

調査対象* : 2015 年 12 月 31 日時点で満 25 歳以上 49 歳以下の男女個人
(昭和 41 年 1 月 1 日～平成 2 年 12 月 31 日までに生まれた男女)

標本数 : 2,100 人

地点数 : 140 地点

抽出方法* : 層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳 : 住民基本台帳

抽出間隔* : 抽出台帳の並び順が地番順の場合

20 歳以上人口が 4 万人以上の区と市では、7

20 歳以上人口が 4 万人未満の市郡では、5

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、5

* JGSS-2016 は、JGSS-2015 と同一の母集団のうち、一部年齢層のオーバーサンプリング調査であり、JGSS の通常調査と、対象年齢、抽出方法、抽出間隔が異なる

2. 層化の方法

JGSS-2016 は、EASS 2014/2015 ワークライフモジュールを組込んだ JGSS-2015 の母集団のうち、就業率は高いが回収率の低い 25～49 歳の年齢層のオーバーサンプリング調査である。JGSS-2015 の 25～49 歳のデータと合わせて分析することを想定しており、調査地点の特性が JGSS-2015 と変わらないように、JGSS-2015 で抽出した 300 の調査地点から調査地点を抽出することにした。JGSS-2016 はこのように、JGSS-2015 の調査地点をベースとしているため、以下、JGSS-2015 の調査方法も併記する。

JGSS-2015 では、6 つの地域ブロックと 4 つの市郡規模の計 24 層に対して、母集団の人口比例により標本数 4,500 を比例配分し、各地点の標本数が 15 前後になるようにすると、地点数は 300 となった。JGSS-2016 においても、同様に 24 層に対して、母集団の人口比例により標本数 2,100 を比例配分し、各地域の標本数が 15 前後になるように調整した結果、地点数は 140 となった。

6 つの地域ブロックと各ブロック内の 4 つの市郡規模の区分は下記の通りである。JGSS-2005 までの市郡規模は、「大都市（東京都区部と政令指定都市）」、「その他の市」、「郡部」の 3 区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006 以降は「その他の市」を「人口 20 万人以上の市」と「人口 20 万人未満の市」の 2 つに分けている。

＜地域ブロック＞

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関 東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中 部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近 畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

＜市郡規模＞

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市
- 2) 人口 20 万人以上の市
- 3) 人口 20 万人未満の市
- 4) 郡 部

3. 標本数の配分

JGSS-2015 では、各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 4,500 の標本を比例配分した。2014 年 1 月 1 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2010 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

JGSS-2016 では、各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 2,100 の標本を比例配分した。JGSS-2015 と同様に、2014 年 1 月 1 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とし、80～89 歳の人口は、2010 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

4. 地点の抽出方法

JGSS-2015

- 1) 平成 22 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
 - 2) 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 前後になるように設定した。
 - 3) 各層ごとに抽出間隔（層における母集団人口の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番号の人が属する基本単位区を抽出した。
 - 4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードの順序に従った。
- 以上の結果、ブロック・市郡規模別(24 層)の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 1 のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表 2 のとおりである。

JGSS-2016

- 1) 第 1 次抽出単位となる調査地点として、JGSS-2015 の調査地点（平成 22 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区をベースにして無作為抽出したもの）300 地点分を使用した。
- 2) 各層の調査地点数は、各層における推定母集団の大きさから標本数を比例配分し、そこから 1 地点の標本数の基準として 15 前後になるよう調整し、140 地点とした。
- 3) 調査地点の抽出は、層ごとに抽出間隔（層における JGSS-2015 調査地点自治体の 20～89 歳人口の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、等間隔抽出法によって当該人数番号のものが含まれる JGSS-2015 調査地点自治体を抽出し、その自治体の JGSS-2015 調査地点を JGSS-2016 の調査地点とした。JGSS-2016 の調査地点は、原則として、JGSS-2015 の調査地点と同一町字だが、調査実施上の都合などにより、一部隣接町字で設定した地点もある。

JGSS-2016 のブロック・市郡規模別の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 3 のとおりである。

表 1 各層の母集団人口・標本数・地点数 (JGSS-2015)

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡部	計
北海道・東北	2,435,414 107(7)	2,416,922 106(7)	4,842,329 213(14)	2,258,584 99(7)	11,953,249 525(35)
関東	13,728,430 603(40)	7,955,279 350(23)	11,055,907 486(32)	1,588,026 70(5)	34,327,642 1,509(100)
中部	3,650,851 160(10)	4,405,267 194(13)	8,870,717 390(26)	1,750,293 77(5)	18,677,128 821(54)
近畿	5,148,422 226(15)	4,906,904 216(15)	5,583,076 245(16)	962,004 42(3)	16,600,406 729(49)
中国・四国	1,484,207 65(5)	2,563,031 113(8)	4,165,533 183(12)	1,007,457 44(3)	9,220,228 405(28)
九州	2,529,050 111(7)	2,416,565 106(7)	5,016,960 221(15)	1,653,996 73(5)	11,616,571 511(34)
計 母集団人口 標本数(地点数)	28,976,374 1,272(84)	24,663,968 1,085(73)	39,534,522 1,738(115)	9,220,360 405(28)	102,395,224 4,500(300)

市町村の合併状況は 2015 年 3 月 1 日時点まで反映

表 2 各層の母集団人口の構成割合 (全体%)

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万未満 の市	郡部	計
北海道・東北	2.4	2.4	4.7	2.2	11.7
関東	13.4	7.8	10.8	1.6	33.5
中部	3.6	4.3	8.7	1.7	18.2
近畿	5.0	4.8	5.5	0.9	16.2
中国・四国	1.4	2.5	4.1	1.0	9.0
九州	2.5	2.4	4.9	1.6	11.3
計	28.3	24.1	38.6	9.0	100

表 3 各層の母集団人口・標本数・地点数 (JGSS-2016)

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡部	計
北海道・東北	2,435,414 50(3)	2,416,922 50(3)	4,842,329 99(7)	2,258,584 46(3)	11,953,249 245(16)
関東	13,728,430 281(18)	7,955,279 163(10)	11,055,907 227(15)	1,588,026 33(2)	34,327,642 704(45)
中部	3,650,851 75(5)	4,405,267 90(6)	8,870,717 182(12)	1,750,293 36(3)	18,677,128 383(26)
近畿	5,148,422 106(7)	4,906,904 101(7)	5,583,076 114(7)	962,004 20(2)	16,600,406 341(23)
中国・四国	1,484,207 30(2)	2,563,031 53(4)	4,165,533 85(6)	1,007,457 21(2)	9,220,228 189(14)
九州	2,529,050 52(4)	2,416,565 49(3)	5,016,960 103(7)	1,653,996 34(2)	11,616,571 238(16)
計 母集団人口 標本数(地点数)	28,976,374 594(39)	24,663,968 506(33)	39,534,522 810(54)	9,220,360 190(14)	102,395,224 2,100(140)

市町村の合併状況は 2015 年 3 月 1 日時点まで反映

5. 対象者の抽出方法

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（10～17 名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

1) 地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

- ①指定の調査地点において、JGSS-2015 で抽出した最後の人の番地の次の番地を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに抽出して対象者名簿に記載されている「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（昭和 41 年 1 月 1 日～平成 2 年 12 月 31 日生まれ）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（7 または 5）番目にあたる人を第 1 対象者として抽出する。
- ②第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。
- ③指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町丁目字番地の台帳に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

2) 50 音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

- ①JGSS-2015 で抽出した人と重ならないように、指定の調査地点において、JGSS-2015 で抽出した最後の人の町丁目字番地と地理的に隣接する町丁字番地が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（昭和 41 年 1 月 1 日～平成 2 年 12 月 31 日生まれ）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（5）番目にあたる人を第 1 対象者として抽出する。
- ②第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。
- ③指定の町・丁目・字（番地範囲）を含む台帳の名字の「ワ」まで抽出しても、指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初の「ア」に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ④抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注 1) 同一世帯内で 2 人目が抽出されそうになった場合には、2 人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

3) 男女別の台帳の場合

①スタート番号が偶数の場合

対象者が 17 名の地点：男 9 名(対象番号 01～09)、女 8 名(対象番号 10～17)
 対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)
 対象者が 15 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 7 名(対象番号 09～15)
 対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)
 対象者が 13 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 6 名(対象番号 08～13)

対象者が 12 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 6 名(対象番号 07～12)
 対象者が 11 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 5 名(対象番号 07～11)
 対象者が 10 名の地点：男 5 名(対象番号 01～05)、女 5 名(対象番号 06～10)

②スタート番号が奇数の場合

対象者が 17 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 9 名(対象番号 09～17)
 対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)
 対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)
 対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)
 対象者が 13 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 7 名(対象番号 07～13)
 対象者が 12 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 6 名(対象番号 07～12)
 対象者が 11 名の地点：男 5 名(対象番号 01～05)、女 6 名(対象番号 06～11)
 対象者が 10 名の地点：男 5 名(対象番号 01～05)、女 5 名(対象番号 06～10)

③抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順、50 音順、生年月日順などのいずれかの方法に従う。

④男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

- ・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
- ・50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

6. 留置調査と面接調査の実施順序

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行なうが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接→留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置→面接）を記録させる。

7. 対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方

JGSS-2016 では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

1) 謝礼の渡し方

謝礼は 2 つ用意している。図書カードとペンセット（2 本組）である。図書カードは 500 円のものを 2 枚用意しており、1 枚は依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡しした。もう一枚は面接調査と留置調査の両方に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード（500 円分）とペンセットを御用意しております」と記している。ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

2) 依頼状

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトにした。謝礼の先渡しで反発を招かないように、文面を丁寧なものにしている。

3) パンフレット

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレット（A3 判用紙 2 枚折り両面）を同封した。

4) 封筒

依頼状とパンフレットの入った封筒がすぐに捨てられないことがないように、A4 判用紙の入る薄いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。

8. 調査員の訪問ルール・訪問記録

JGSS-2005 では、調査員に対して、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日の両方に訪問する、という 2 つの訪問ルールを求めている。しかし、JGSS-2005 の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったため、この制約を外した。したがって、JGSS-2006 以降では、「対象者と会えるまで 4 日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めている。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めている。ただし、訪問が 10 回を超えた場合は、11 回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2 頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006 以降では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

9. 実査

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、一般社団法人中央調査社に委託した。

岩井八郎

I.4 回収率ならびに欠票の分析

1. 回収率

1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

2) JGSS-2016 の回収率

JGSS-2016 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）： 2,100 ケース

有効回収数： 968 ケース

回収率： 50.8%

$$968 / (2,100 - \text{住所不明 } 14 - \text{転居 } 117 - \text{長期不在 } 31 - \text{病気 } 18 - \text{入院 } 7 - \text{死亡 } 1 - \text{その他 } 6) = 968 / 1,906 = 50.8\%$$

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

3) AAPOR の標準定義との対応

回収率の算出方法については、The American Association for Public Opinion Research (AAPOR) が標準化の議論を進めており、一定の成果を収めている。参考のために、AAPOR の標準定義に照らし合わせた JGSS の回収状況を表 1 に整理しておく。

コードの定義は、2011 年改訂の *Standard Definitions: Final Dispositions of Case Codes and Outcome Rates for Surveys, 7th edition* (AAPOR, 2011, <http://www.aapor.org/>) から「個別訪問調査 (In-Person Household Surveys)」用のものを参照した。ただし、このコードの定義は、世帯員の情報を事前に知ることができない状況を前提としている。日本のように世帯員個人の性別や年齢を名簿で把握できる状況を想定していないため、対応の悪い点があることには注意が必要である。また、JGSS-2010 のコードブックでは 2009 年版の 6th edition を参照しており、今回参照した 7th edition とは版が異なるが、ここで行っている集計の範囲では改訂の影響はない。

表 1 AAPOR 標準定義による回収状況

AAPOR コード ¹⁾	JGSS 欠票理由コードとの対応 ²⁾	
1.0 Interview: 回収	88	968
1.1 Complete: 完全回収【I】	88	968
1.2 Partial: 部分回収【P】	部分回収の理由による ³⁾	(28)
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収		1117
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止【R】	5	598
2.2 Non-contact: 接触不能【NC】	2, 3, 4	488
2.3 Other: その他の理由で接触不能【O】	6, 7, 8, 9(抽出間違い以外)	31
3.0 Unknown eligibility, non-interview: 適格か不明で非回収	1	14
3.1 Unknown if housing unit: 住宅かどうか不明【UH】	1	14
3.2 Housing unit/Unknown if eligible respondent: 住宅であるが適格者がいるか不明【UO】	—	—
3.9 Other: その他の理由で適格かどうか不明【UO】	—	—
4.0 Not eligible: 不適格	9のうち抽出間違い	1
4.1 Out of sample: 回答者が標本の範囲外	9のうち抽出間違い	1
4.5 Not a housing unit: 住宅ではない	—	—
4.6 Vacant housing unit: 居住者のいない住宅	—	—
4.7 No eligible respondent: 適格者のいない住宅	—	—
4.8 Quota filled: 割り当て量を越える	—	—

注 1) AAPOR ではさらに細かい下位分類が定義されているが、JGSS にはそぐわない場合や、ケース数が特定できない場合が多いので省略する。

注 2) JGSS 欠票理由コードの内容は以下のとおり。1=住所不明、2=転居、3=長期不在、4=一時不在、5=拒否、6=病気・ケガ・聴力/言語障害、7=入院中・入所中、8=死亡、9=その他、88=非該当（回収票）。「—」は JGSS の抽出方法では起こりえない分類を指す。

注 3) 面接票か留置票の一方だけが回収できた場合が JGSS の部分回収ケースとみなせる。ただし、JGSS の部分回収ケースは公開データセットに含めず欠票として扱っているため、ここで示すケース数は参考値であり、集計上は、部分回収に至った理由によって他の分類コードに計上されている。部分回収ケースの内訳は、下の参考表のとおりである。

(参考表 部分回収ケースの内訳)

	面接のみ 完了	留置のみ 完了
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収	16	12
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止	10	9
2.2 Non-contact: 接触不能	2	3
2.3 Other: その他の理由で接触不能	4	0

AAPOR 標準定義では、回収率(response rate: RR)の算出方法を RR1~RR6 までの 6 種類示している。これらの回収率を算出した結果が表 2 である。

表2 AAPOR 標準定義による各種の回収率

$RR1 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	45.5%
$RR2 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	46.8%
$RR3 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	45.5%
$RR4 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	46.8%
$RR5 = I / ((I+P) + (R+NC+O))$	45.8%
$RR6 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O))$	47.1%

注1) I、P、R、NC、O、UH、UO の記号は表1 の分類コードに対応する。

注2) e は、「適格 (eligible) かどうか不明なケース」に占める「適格であるケース」の推定割合であり、(分類コードが 1.0、2.0 のケース数) / (分類コードが 1.0、2.0、4.0 のケース数) が推定値となる。JGSS では、99% 以上が適格と推定されるので、ほぼ $RR1=RR3$ 、 $RR2=RR4$ となる。

注3) この表では、面接票か留置票の一方だけが回収できたケースを部分回収 (P) とみなして回収率を算出している。

2. データの偏りと欠票の分析

1) データの偏り

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の分布と比較することで確認している。JGSS-2008 以降は、年齢層に加えて性別の分布を確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している日本人の人口推計 (2015 年 10 月 1 日現在) にもとづく。この母集団人口をもとに、性別・年齢層別の期待標本サイズと期待回答者数を算出すると、表3 のようになる。

表3 期待標本サイズおよび期待回答者数との残差

	年齢	推計人口 (千人)	推計人口 比率	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差 (抽出標本)	回答者数	期待 回答者数	残差 (回答者)
男性	25-29 歳	3211	0.08023	161	168.48	-0.58	67	77.66	-1.21
	30-34 歳	3653	0.09127	187	191.68	-0.34	82	88.35	-0.68
	35-39 歳	4192	0.10474	226	219.96	0.41	83	101.39	-1.83
	40-44 歳	4922	0.12298	255	258.26	-0.20	102	119.05	-1.56
	45-49 歳	4366	0.10909	259	229.09	1.98	108	105.60	0.23
女性	25-29 歳	3083	0.07703	139	161.77	-1.79	57	74.57	-2.03
	30-34 歳	3531	0.08823	163	185.28	-1.64	78	85.40	-0.80
	35-39 歳	4046	0.10109	202	212.30	-0.71	114	97.86	1.63
	40-44 歳	4764	0.11903	253	249.97	0.19	130	115.23	1.38
	45-49 歳	4254	0.10629	255	223.21	2.13	147	102.89	4.35
合計		40022	1	2100	2100		968	968	

注) 抽出ミスで欠票となった 1 ケース (20 代女性) は 25-29 歳のカテゴリーに含めている。

抽出標本の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する 3 シグマルルール（参考：日本規格協会，1998「シェーハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、いずれの年齢層においても抽出の大きな偏りはない。

回答者の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

偏りの傾向は、調査年度ごとにややことなるが、若年層の回収が少なく、中年・壮年層の回収が多くなるこれまでの JGSS の傾向と同様である。3 シグマルルールに従うならば、45-49 歳の女性回答者が多い。また、25-29 歳の女性の回答者はやや少ない。

2) 欠票の性別・年齢層別の分布

JGSS-2016 では、面接調査票か留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の 2 頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、1,132 である（計画標本サイズ 2,100－回収票数 968）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表 4 のとおりである。全体的な傾向は、これまでの JGSS と同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造にも依存している。

表 4 欠票の性別・年齢層別分布

（括弧内は％）

	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	合計
男性	94 (8.3)	105 (9.3)	143 (12.6)	153 (13.5)	151 (13.3)	646
女性	82 (7.2)	85 (7.5)	88 (7.8)	123 (10.9)	108 (9.5)	486
合計	176 (15.5)	190 (16.8)	231 (20.4)	276 (24.4)	259 (22.9)	1132

注) 抽出ミスで欠票となった 1 ケース（20 代女性）は 25-29 歳のカテゴリーに含めている。

3) 欠票理由の分布

性別・年齢層別の欠票理由の分布は表 5、6 のとおりである（JGSS-2006 までのコードブックとは項目の並び順が異なるので注意）。拒否を理由とする欠票が 5 割以上を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでの JGSS の傾向と同じである。

表 5 欠票理由の年齢層別分布（男性）

単位：ケース数（％）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力／ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
25-29 歳	1 (1.1)	19 (20.2)	3 (3.2)	30 (31.9)	38 (40.4)	1 (1.1)			2 (2.1)	94
30-34 歳	1 (1.0)	14 (13.3)	4 (3.8)	36 (34.3)	46 (43.8)	3 (2.9)			1 (1.0)	105
35-39 歳	2 (1.4)	14 (9.8)	5 (3.5)	55 (38.5)	64 (44.8)	3 (2.1)				143
40-44 歳	3 (2.0)	7 (4.6)	6 (3.9)	44 (28.8)	91 (59.5)	1 (0.7)			1 (0.7)	153
45-49 歳	2 (1.3)	13 (8.6)	6 (4.0)	41 (27.2)	86 (57)	1 (0.7)		1 (0.7)	1 (0.7)	151
合計	9 (1.4)	67 (10.4)	24 (3.7)	206 (31.9)	325 (50.3)	9 (1.4)		1 (0.2)	5 (0.8)	646

表 6 欠票理由の年齢層別分布（女性）

単位：ケース数（％）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力／ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
25-29 歳		12 (14.6)	5 (6.1)	30 (36.6)	32 (39.0)	3 (3.7)				82
30-34 歳		10 (11.8)		25 (29.4)	47 (55.3)	2 (2.4)			1 (1.2)	85
35-39 歳		12 (13.6)	1 (1.1)	24 (27.3)	49 (55.7)	1 (1.1)	1 (1.1)			88
40-44 歳	3 (2.4)	8 (6.5)		29 (23.6)	79 (64.2)	2 (1.6)	2 (1.6)			123
45-49 歳	2 (1.9)	8 (7.4)	1 (0.9)	26 (24.1)	66 (61.1)	1 (0.9)	4 (3.7)			108
合計	5 (1.0)	50 (10.3)	7 (1.4)	134 (27.6)	273 (56.2)	9 (1.9)	7 (1.4)		1 (0.2)	486

注) 抽出ミスで欠票となった 1 ケース（20 代女性）は 25-29 歳のカテゴリーに含めている。

3. 補足

1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表 7 のとおりである。面接を先に行ったケースが約 8 割以上の大多数を占めている。

表 7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

面接が先	留置が先	無回答	合計
805 (83.2)	161 (16.6)	2 (0.2)	968 (100)

2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表8のとおりである（時間が不明のケースを除く）。全体的として、25分弱が平均的な所要時間である。男女間に大きな差異はないが、年齢層別で見ると、20代（25-29歳）よりも30代・40代の方が、平均所要時間が1～1.5分ほど長い。

表8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分（標準偏差）

	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	合計
男性	22.6 (7.03)	24.4 (6.73)	24.7 (7.78)	24.7 (8.16)	25.0 (6.78)	24.4 (7.34)
女性	24.8 (7.88)	24.7 (7.12)	25.3 (8.09)	24.8 (6.29)	25.9 (7.73)	25.2 (7.40)
合計	23.7 (7.48)	24.5 (6.91)	25.0 (7.94)	24.7 (7.16)	25.5 (7.34)	24.8 (7.38)

3) 訪問回数

JGSS-2005以降は、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表9は、回収票について、回答者本人に会えるまでの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。25-29歳の若年者に対する訪問回数が多い（なかなか会えない）ことが分かる。25-29歳以外の各年齢層の平均訪問回数は、女性よりも男性対象者が多い。

表10は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。全体として女性よりも男性対象者への平均訪問回数が多い（なかなか会えない）が、25-29歳の年齢層において、男性よりも女性対象者への平均訪問回数が0.4ポイント多い。また、25-29歳の女性対象者、および35-39歳の男性対象者への平均訪問回数が比較的多い。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が0として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表9 性別・年齢層別の平均訪問回数（回収票）

単位：回（標準偏差）

	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	合計
男性	3.3 (1.70)	3.0 (1.77)	3.3 (2.17)	2.9 (2.01)	3.0 (1.97)	3.1 (1.94)
女性	3.3 (1.82)	2.7 (1.66)	2.5 (1.55)	2.5 (1.58)	2.8 (1.91)	2.7 (1.72)
合計	3.3 (1.75)	2.9 (1.72)	2.8 (1.86)	2.7 (1.79)	2.9 (1.93)	2.9 (1.83)

表10 性別・年齢層別の平均訪問回数（欠票）

単位：回（標準偏差）

	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	合計
男性	4.0 (2.73)	4.0 (2.78)	4.5 (2.87)	4.2 (3.06)	4.0 (2.95)	4.1 (2.90)
女性	4.4 (3.07)	3.8 (2.86)	3.5 (2.91)	3.7 (2.81)	3.5 (2.73)	3.8 (2.87)
合計	4.2 (2.89)	3.9 (2.81)	4.1 (2.92)	4.0 (2.95)	3.8 (2.86)	4.0 (2.89)

注) 抽出ミスで欠票となった1ケース（20代女性）は25-29歳のカテゴリーに含めている。

孟 哲男
吉野 智美
角野 隆則

I.5 データセットの重み付けについて

この節では、JGSS-2016 データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

1. JGSS-2016 の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している（「I.3 調査の方法」参照）。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる¹⁾。

一方、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りが無いことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている²⁾。

補助情報を用いる推定法では、乗率＝「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注 1) ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

2) 清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」 SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2016 データセットには、推定用ウェイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票1枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の14区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2015年10月1日現在推計人口」（総務省）の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウェイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2016 回答者数」}$$

表1 男女、年齢階級別ウェイト計算表ーJGSS-2016

		人口（千人）	回答者数	ウェイト
男	25-29	3,211	67	47,925
	30-34	3,653	82	44,549
	35-39	4,192	83	50,506
	40-44	4,922	102	48,255
	45-49	4,366	108	40,426
女	25-29	3,083	57	54,088
	30-34	3,531	78	45,269
	35-39	4,046	114	35,491
	40-44	4,764	130	36,646
	45-49	4,254	147	28,939

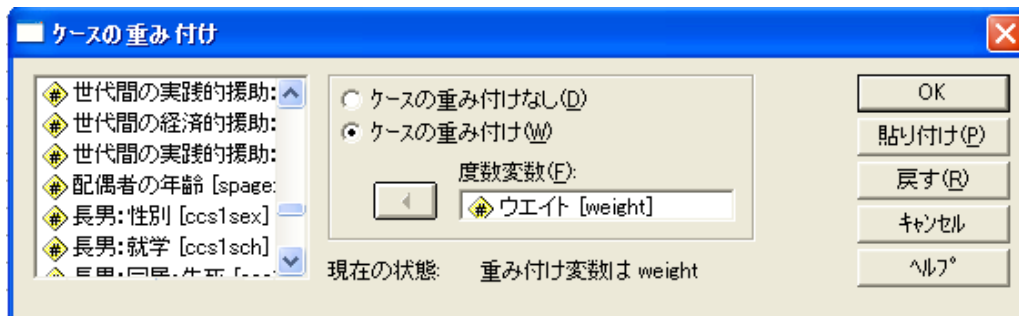
算出されたウェイトの値を男女別で比較すると、25-29歳と30-34歳では女性が高く、35歳以上の階級では男性が高い。年齢で比較すると、女性では若年層で高いが、男性では35-39歳で高い。ウェイトの最大値は25-29歳女性の54,088、最小値は45-49歳女性の28,939であり、最大値は最小値の約1.9倍となっており、このウェイトによる補正の効果がうかがわれる。

このようなウェイト値の差は、調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、高齢になると再度低下していることを意味している。

3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」→「ケースの重み付け (W)」を選択
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」
- (3) 通常どおりに集計・解析



4 推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2016 の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表 2 のとおりである。表には参考として、JGSS-2016 と同じころに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する）。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。
- (2) 配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査を上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。
- (3) 就業状態の構成比は、ウエイトによる補正の効果が概して小さい。いずれの場合も、ウエイトを用いた集計結果とウエイトを用いない修正結果がほとんど変化しない。性別や年齢に偏りなく、様々な就業状態の対象者が回答していることを示唆する。
- (4) ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる意識項目、例えば、生活の程度に対する意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値にはほとんど差が生じていない。

表2 推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較（％）－JGSS-2016

	単純集計 ¹⁾	ウエイト付集計 ²⁾	参考値	
男女【SEXA】				
男	45.7	50.8	50.8	2015年10月現在 推計人口 ³⁾ (総務省)
女	54.3	49.2	49.2	
年齢【AGEB】				
25～29歳	12.8	15.7	15.7	2015年10月現在 推計人口 ³⁾ (総務省)
30～34歳	16.5	18.0	18.0	
35～39歳	20.4	20.6	20.6	
40～44歳	24.0	24.2	24.2	
45～49歳	26.3	21.5	21.5	
配偶関係【DOMARRY】				
有配偶	68.6	66.9	62.6	2016年1月 労働力調査 ⁴⁾ (総務省)
離死別	4.4	4.1	4.8	
未婚	27.0	29.0	32.6	
就業状態 ⁵⁾ 【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】				
従業	85.0	85.7	81.2	2016年1月 労働力調査 ⁶⁾ (総務省)
休業	0.9	1.0	1.9	
失業	1.4	1.5	2.9	
家事	10.7	9.9	11.2	
学生	0.5	0.5	0.5	
その他	1.3	1.4	2.3	
生活の程度【OP5LEVK】				
上	1.2	1.3	1.0	2015年6月 国民生活に関する 世論調査 ⁷⁾ (内閣府)
中の上	14.1	14.2	14.6	
中の中	46.0	45.5	57.1	
中の下	31.2	31.2	22.6	
下	7.5	7.8	4.8	

1) 単純集計は、ウエイトを用いないで集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。

2) ウエイト付集計は、ウエイトで重み付けを行って集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。

3) 推計人口の集計は、25～49歳の日本人についてである。

4) 労働力調査の集計は、25～49歳の者についてであり、日本人以外の者も含む。配偶関係が不詳の者は集計対象から除いている。

5) 就業状態の単純集計、ウエイト付集計は、従業（XJOB1WK=1）、休業（XJOB1WK=2）、失業（TP5UNEMP=1）、家事（TP5UNEMP=4）、学生（TP5UNEMP=3）、その他（TP5UNEMP=2, 5, 6, 7, 9）と集計している。

6) 労働力調査の集計は4)と同様である。集計の定義は、従業（就業者中の従業者）、休業（就業者中の休業者）、失業（完全失業者）、家事（非労働力人口中の家事）、学生（非労働力人口中の通学）、その他（非労働力人口中のその他）であり、就業状態不詳の者は集計対象から除いている。

7) 国民生活に関する世論調査の集計は、20～49歳の日本人についてであり、「わからない」「無回答」は集計対象から除いている。また、質問文（お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください）や調査方法（面接）が、JGSSとは異なる。

孟 哲男

I.6 データの公開状況と入手方法

1. データセットの公開方針

2017 年 10 月現在、公開している JGSS のデータセットは、2 回の予備調査（第 1 回予備調査、第 2 回予備調査） 9 回の本調査（JGSS-2000, 2001, 2002, 2003, 2005, 2006, 2008, 2010, 2012）、2 回の特別調査（JGSS-2009LCS, JGSS-20013LCS wave2）、複数年のデータをひとまとまりにした JGSS 累積データ 2000-2003 である。

データセットを寄託しているデータ・アーカイブは、国内では、東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センターの SSJ データ・アーカイブ（SSJDA）である。海外では、アメリカの ICPSR（Inter-university Consortium for Political and Social Research）およびドイツの GESIS（German Social Science Infrastructure Services）に寄託している。1999 年に実施した予備調査のデータセットは、SSJ データ・アーカイブのみに寄託している（日本語版のみ）。JGSS-2009LCS と JGSS-2013LCS wave2 は、大阪商業大学 JGSS 研究センターで公開利用を受け付けている（日本語版のみ）。予備調査と LCS のデータ以外は、全てのアーカイブに同じデータセット（日本語版・英語版）を寄託している。

JGSS-2015 の公開データの寄託は、2018 年末を予定している。JGSS-2016 は、JGSS-2015 の特別調査であり、JGSS-2009LCS と JGSS-2013LCS wave2 と同様に、本センターでの公開を予定している。最新の公開状況は、http://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat_top.html を参照ください。

2. データセットの内容

寄託しているデータセットには、SPSS 形式のデータ・ファイル（OS に依存しない portable file）および ASCII（テキスト）形式（JGSS-2010 データからは CSV（カンマ区切り）形式）のデータ・ファイルが含まれている。分析に必要な関連資料（『基礎集計表・コードブック』の PDF ファイルなど）も含まれている。データセットの本質的な内容は、どのデータ・アーカイブでも同じであるが、アーカイブによっては寄託したファイルを一部加工した上で公開している。例えば、ICPSR で公開されているものには、STATA と SAS のデータ読み取りフォーマットが含まれている。

それぞれのデータセットは、日本語版と英語版が一組になっている。国内、海外いずれのデータ・アーカイブでも、日本語版・英語版両方のデータが 1 つのデータセットに含まれている。当初は日本語のみのデータセットを作成していたが、現在は同時に英語版のデータを作成している。英語版の作成は、全ての調査について遡及して行ったので、現在公開されているデータセットには、全て日本語版と英語版が含まれている（予備調査・LCS を除く）。

3. データセット利用者の留意事項

JGSS では、データセットの利用者について以下のような制限・義務を設けている。ただし、データ・アーカイブによって若干方針に違いがある。基本的に、詳細は各アーカイブの指示に従ってください。

学術研究目的の利用である限り、大学などの研究機関の研究者、大学院生、および教員の指導を受けている大学生は、データセットを利用することができる。また、教員は授業などの教育目的でデータセットを利用することも可能である。

研究目的の利用の場合、使用期間の期限はないので、一度入手したデータセットはそのまま使い続けることができる。一方、教育目的でデータセットを入手した場合、その使用期限は 1 年間である。つまり、同じ授業を毎年行う場合、毎年利用の申請を行ってください。これは、データに触れる学生にも誓約が必要なことと、教育目的の利用の程度を把握するためである。

利用者は、データ・アーカイブの定める誓約事項（目的外の利用の禁止、個別データの秘密保護、第三者への提供の禁止、利用期限終了後の対処など）を厳守しなければならない。とくに、データセットを利用して研究成果を論文などで発表する際には、Acknowledgement（謝辞）を明記する必要があるので注意してください。

また、論文などを発表した場合は、データ・アーカイブの定める所に従い、その成果をアーカイブに報告する必要がある。SSJDA でデータを入手した場合は、アーカイブ宛に論文などのコピーを 2 部送付してください。ICPSR や GESIS でデータを入手した場合は、その利用の成果が JGSS 研究センターまで届かないので、別途、発表された論文などのコピー（1 部）を、郵送かメールの添付ファイルで、下記宛に送付ください。

大阪商業大学 JGSS 研究センター 〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4 丁目 1-10

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

また、データ内容などに修正が発生した場合、JGSS のホームページから随時情報を発信している。2005 年 4 月以降に発生した修正は、データ・アーカイブで公開中のデータセットには反映されていない。分析の前に必ず修正の有無を各自でご確認ください。修正が必要な場合は、JGSS のホームページから SPSS の修正用シンタックスをダウンロードし、お持ちのデータに適用していただくことで修正が反映される。

4. データセットの入手方法

データセットの具体的な入手方法は、データ・アーカイブによって異なります。利用の制限や義務についても、若干の違いがあるので、それぞれのアーカイブでご確認ください。

SSJDA <http://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

ICPSR* <http://www.icpsr.umich.edu/>

GESIS <http://www.gesis.org/en/institute/>

*ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従ってください。
詳細については、所属機関の担当部署にお問い合わせください。

以下に、参考のために SSJDA から JGSS のデータセットを入手する手順の概要を記す。詳細な手続きは、SSJDA のホームページの「データの利用」のページおよび「SSJDA Direct 利用マニュアル」に記されているので、そちらに従ってください。

SSJDA では、データダウンロードシステム（SSJDA Direct）および郵送による配布の両方で、JGSS のデータセットを入手することができる。特別な理由がない限り、ダウンロードシステムを利用する方が簡便である。

SSJDA Direct（データダウンロードシステム）を利用するには、まずオンラインで利用者登録を行う。登録した ID でログインすると、マイページから利用申請を行うことができる。データの一覧から必要なデータを選択し、研究計画（研究目的の場合）や授業名（教育目的の場合）などの必要事項を入力し、誓約事項に同意すれば、申請は完了である。申請が承認されると、後日、登録したメールアドレスに「利用承認のお知らせ」が届き、マイページからデータのダウンロードが可能になる。

利用者が学部学生の場合は、指導教員/授業担当の教員によるオンラインでの承認手続きが求められる。教育目的の利用の場合は、授業担当の教員が申請時に、学生自身が署名した受講者リストを送付する必要がある。

データを利用して論文などを発表する場合は、Acknowledgement（謝辞）を明記します。JGSS の

Acknowledgement は、下記のように定められているので、このまま記載してください。

研究成果はそのつどアーカイブに報告する必要がある。SSJDA Direct のマイページから成果物登録を行い、論文などのコピー2部を SSJDA に郵送してください。そのうちの1部が JGSS 研究センターに届くことになっている。

ICPSR で利用した場合も、研究成果を登録して、1部を JGSS 研究センターに直接送付してください。

JGSS 研究センターで利用した場合も、研究成果を報告して、1部を JGSS 研究センターに送付してください。

SSJDA から入手した場合の JGSS の Acknowledgement (日本語・英語のいずれかを明記)

利用したデータセットが JGSS-2015 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2015 は、JSPS 科研費 JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金 2014 年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金 2015 年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2015 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2015 と、JGSS-2000～2012 のいずれかを含む場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2012 は東京大学社会科学研究所の協力を得た。JGSS-2000～2008 は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012 は共同研究拠点の推進事業、JGSS-2015 は JSPS 科研費 JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金 2014 年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金 2015 年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2000-2012 was conducted in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo. JGSS-2000-2008 was financially assisted by the Gakujutsu Frontier Grant and JGSS-2010/2012 were supported by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. JGSS-2015 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2006～2012 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が東京大学社会科学研究所の協力を受けて実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2008 は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012 は共同研究拠点の推進事業と大阪商業大学の支援を受けている。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo. The project is financially assisted by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and Osaka University of Commerce.

利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2005 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2008 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：岩井紀子、代表副幹事：保田時男）。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Noriko IWAI and Tokio YASUDA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2008 academic years..

利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2003 以前の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2003 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：佐藤博樹・岩井紀子、事務局長：大澤美苗）。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Hiroki SATO and Noriko IWAI with Project Manager, Minae OSAWA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2003 academic years.

ICPSR から入手した場合には、上記の Acknowledgement に加えて、ICPSR が定めている下記の citation を参考文献のリストに加えること（データの version は改定されることがある）

JGSS-2012 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, and Maeda, Yukio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2012. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2016-10-21. https://doi.org/10.3886/ICPSR36577.v1
JGSS-2010 Tanioka, Ichiro, Maeda, Yukio, and Iwai, Noriko. Japanese General Social Survey (JGSS), 2010. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2015-07-22. https://doi.org/10.3886/ICPSR34623.v3
JGSS-2008 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2008. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2015-07-21. https://doi.org/10.3886/ICPSR30661.v3
JGSS-2006 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2006. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2010-05-06. https://doi.org/10.3886/ICPSR25181.v1
JGSS-2005 Tanioka, Ichiro, Nitta, Michio, Iwai, Noriko, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2005. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-08-13. https://doi.org/10.3886/ICPSR04703.v1
JGSS Cumulative Data 2000-2003 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Surveys (JGSS) Cumulative Data, 2000-2003. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2008-12-08. https://doi.org/10.3886/ICPSR04472.v1
JGSS-2003 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2003. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2005-09-30. https://doi.org/10.3886/ICPSR04242.v1
JGSS-2002 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2002. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-03-30. https://doi.org/10.3886/ICPSR04214.v2
JGSS-2001 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2001. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-03-30. https://doi.org/10.3886/ICPSR04213.v2
JGSS-2000 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey, 2000. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-04-05. https://doi.org/10.3886/ICPSR03593.v2

JGSS 研究センターから入手した場合の JGSS の Acknowledgement

利用したデータセットが JGSS-2016 の場合

日本版General Social Survey (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2016は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施し、JSPS科研費JP15H03485、JP26245060、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2016 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project was financially assisted by JSPS KAKENHI Grant Numbers JP15H03485, JP26245060, and Research Grant on Labor Issues (PI: Hachiro Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2015 と JGSS-2016 の場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2016は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施した。JGSS-2015/2016は、JSPS 科研費JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）、日本経済研究センター研究奨励金（岩井紀子）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2016 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. JGSS-2015/2016 were financially assisted by JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai), and Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2015 と JGSS-2016 と、JGSS-2000～2012 のいずれかを含む場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2012は東京大学社会科学研究所の協力を得て、JGSS-2016は京都大学大学院教育学研究科と共同で実施した。JGSS-2000～2008は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012は共同研究拠点の推進事業、JGSS-2015/2016は、JSPS科研費JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）、日本経済研究センター研究奨励金（岩井紀子）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2000-2012 was conducted in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo, and JGSS-2016 was with the Graduate School of Education, Kyoto University. JGSS-2000-2008 was financially assisted by the Gakujutsu Frontier Grant and JGSS-2010/2012 were supported by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education,

Culture, Sports, Science and Technology. JGSS-2015/2016 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai), and Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2009LCS の場合

日本版 General Social Survey 2009 ライフコース調査 (JGSS-2009LCS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター (文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点) が実施した研究プロジェクトである。共同研究拠点の推進事業と大阪商業大学の支援を受けた。

The Japanese General Social Survey 2009 Life Course Study (JGSS-2009LCS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage/Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology). It is financially assisted by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and Osaka University of Commerce.

利用したデータセットが JGSS-2009LCS と JGSS-2013LCS wave2 の場合

日本版 General Social Survey 2009 ライフコース調査 (JGSS-2009LCS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター (文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点) が実施した研究プロジェクトである。JGSS-2013 ライフコース調査 wave2 (JGSS-2013LCSwave2) は、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施したプロジェクトである。共同研究拠点の推進事業、JSPS 科研費 24330236 (研究代表：岩井八郎) と大阪商業大学の支援を受けた。

The Japanese General Social Survey 2009 Life Course Study (JGSS-2009LCS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage/Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology). The Japanese General Social Survey 2013 Life Course Study wave2 (JGSS-2013LCS wave2) is conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project is financially assisted by JSPS KAKENHI Grant Number 24330236 (PI: Hachiro Iwai), the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and Osaka University of Commerce.

岩井紀子

Ⅱ．JGSS-2016 集計と索引

Ⅱ.1 基礎集計・コード表：面接調査票

BLOCK 地域ブロック

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道・東北	140	14.5
2	関東	280	28.9
3	中部	201	20.8
4	近畿	140	14.5
5	中国・四国	98	10.1
6	九州	109	11.3
計		968	100.0

PREF 都道府県名

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道	46	4.8
2	青森	22	2.3
3	岩手	10	1.0
4	宮城	27	2.8
5	秋田	15	1.5
6	山形	11	1.1
7	福島	9	0.9
8	茨城	33	3.4
9	栃木	19	2.0
10	群馬	24	2.5
11	埼玉	54	5.6
12	千葉	47	4.9
13	東京	103	10.6
14	神奈川	0	0.0
15	新潟	19	2.0
16	富山	0	0.0
17	石川	7	0.7
18	福井	11	1.1
19	山梨	6	0.6
20	長野	26	2.7
21	岐阜	20	2.1
22	静岡	24	2.5
23	愛知	65	6.7
24	三重	23	2.4
25	滋賀	10	1.0
26	京都	14	1.4
27	大阪	54	5.6
28	兵庫	39	4.0
29	奈良	16	1.7
30	和歌山	7	0.7
31	鳥取	8	0.8
32	島根	12	1.2
33	岡山	17	1.8
34	広島	11	1.1
35	山口	20	2.1
36	徳島	9	0.9
37	香川	7	0.7

38	愛媛	10	1.0
39	高知	4	0.4
40	福岡	23	2.4
41	佐賀	7	0.7
42	長崎	10	1.0
43	熊本	16	1.7
44	大分	9	0.9
45	宮崎	18	1.9
46	鹿児島	9	0.9
47	沖縄	17	1.8
計		968	100.0

SIZE 市郡規模

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	大都市	380	39.3
2	人口 20 万人以上の市	325	33.6
3	人口 20 万人未満の市	233	24.1
4	町村	30	3.1
計		968	100.0

SEXA 性別

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	男	442	45.7
2	女	526	54.3
計		968	100.0

DOBYEAR 生年

この変数の単純集計は掲載していません。

AGE 年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	25～29 歳	124	12.8
	30～34 歳	160	16.5
	35～39 歳	197	20.4
	40～44 歳	232	24.0
	45～49 歳	255	26.3
計		968	100.0

MARC 配偶者 (DOMARRY の転記)

D 欄：婚姻状態（面接調査票 問 27-1 に対する回答を転記）

この変数の単純集計は記載していません。問 27-1 DOMARRY の集計をご覧ください。

問1〔回答票1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をする事になっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK 先週の就労経験

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	823	85.0
2	(イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	9	0.9
3	(ウ) 仕事をしていない	136	14.0
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

問1に「1 (ア) 仕事をした」「2 (イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

問2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

XJOBHWK 就労時間数/週

コード		ケース数	%
実数記入	0 時間	0	0.0
	1 ～ 9 時間	16	1.9
	10～19 時間	48	5.8
	20～29 時間	88	10.6
	30～39 時間	110	13.2
	40～49 時間	320	38.5
	50～59 時間	127	15.3
	60～69 時間	84	10.1
	70～79 時間	28	3.4
	80 時間以上	10	0.7
999	無回答	1	0.1
計		832	100.0
888	非該当	136	
計		968	

SZSJBHWK 副業就労時間数/週

コード		ケース数	%
実数記入	0 時間	815	98.0
	1 ～ 9 時間	6	0.7
	10～19 時間	7	0.8
	20～29 時間	2	0.2
	30～39 時間	0	0.0
	40～49 時間	0	0.0
	50 時間以上	2	0.2
999	無回答	0	0.0
計		832	100.0
888	非該当	136	
計		968	

問 3-1〔回答票 2〕 あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPJB 雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	723	86.9
2	(イ) 会社などの役員	19	2.3
3	(ウ) 自営業主・自由業者	63	7.6
4	(エ) 自家営業の手伝い	24	2.9
5	(オ) 内職	3	0.4
6	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 3-1 に「1 (ア) 雇われている人」の場合

問 3-2〔回答票 3〕 あなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPJBS 雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	492	68.0
2	(イ) パート・アルバイト	171	23.7
3	(ウ) 派遣社員	17	2.4
4	(エ) 契約社員	37	5.1
5	(オ) 嘱託	6	0.8
6	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		723	100.0
8	非該当	245	
計		968	

問 3-2 に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 3-3〔回答票 4〕 あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP 役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	321	65.2
2	(イ) 職長・班長・組長など	53	10.8
3	(ウ) 係長（係長相当）	64	13.0
4	(エ) 課長（課長相当）	35	7.1
5	(オ) 部長（部長相当）	13	2.6
6	(カ) その他の役職（具体的に	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	6	1.2
計		492	100.0
8	非該当	476	
計		968	

問 3-1 に「3 (ウ) 自営業主・自由業者」の場合

問 3-4 家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

TPJBSE 従業員を持つ自営業者

コード		ケース数	%
1	はい	17	27.0
2	いいえ	46	73.0
9	無回答	0	0.0
計		63	100.0
8	非該当	905	
計		968	

問 4-1 [回答票 5] あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT 通勤の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) およそ____時間____分	759	91.2
2	(イ) 住まいと職場は同じ	50	6.0
3	(ウ) 日によって行き先が違う	22	2.6
9	無回答	1	0.1
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 4-1 に「1 (ア) およそ____時間____分」の場合

SZCMTHR 通勤時間: 時間

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

SZCMTMIN 通勤時間: 分

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88	非該当
99	無回答

SZCMTTL 通勤時間: 合計

コード		ケース数	%
実数記入	1～9 分	85	11.2
	10～19 分	212	27.9
	20～29 分	131	17.3
	30～39 分	127	16.7
	40～49 分	71	9.4
	50～59 分	15	2.0
	1 時間～1 時間半未満	88	11.6
	1 時間半～2 時間未満	22	2.9
	2 時間以上	8	1.1
9999	無回答	0	0.0
計		759	100.0
8888	非該当	209	
計		968	

問 5〔回答票 7〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

TP4WPLA 事業所形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 官公庁	71	8.5
2	(イ) 単独事業所（他に事業所はない）	301	36.2
3	(ウ) 支店・支所（本社・本店は他にある）	301	36.2
4	(エ) 本社・本店（他に支店・支所などがある）	146	17.5
5	わからない	5	0.6
9	無回答	8	1.0
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 6 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

XXWPL 業種

コード		ケース数	%
10	農業	4	0.5
20	林業	0	0.0
30	漁業	0	0.0
40	鉱業	1	0.1
50	建設業	50	6.0
60	製造業	178	21.4
70	電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.8
80	運輸業	51	6.1
91	卸売業	24	2.9
92	小売業	101	12.1
93	飲食店	38	4.6
100	金融・保険業	16	1.9
110	不動産業	6	0.7
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	3	0.4
130	情報・通信サービス業	26	3.1
140	医療・福祉サービス業	118	14.2
150	教育・研究サービス業	44	5.3
160	法律・会計サービス業	9	1.1
170	その他のサービス業	115	13.8
180	公務	28	3.4
999	無回答	13	1.6
計		832	100.0
998	非該当	136	
計		968	

問7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。
 (例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

XXJOB 職種

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
503	機械・電気・化学技術者	14	1.7
504	建築・土木技術者	3	0.4
505	農林技術者	3	0.4
506	情報処理技術者	18	2.2
508	医師	2	0.2
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	6	0.7
511	助産師(助産婦)	1	0.1
513	栄養士	1	0.1
514	看護師(看護婦・看護師)	24	2.9
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	3	0.4
516	その他の保健医療従事者	14	1.7
518	その他の法務従事者	1	0.1
520	幼稚園教員	3	0.4
521	小学校教員	11	1.3
522	中学校教員	10	1.2
523	高等学校教員	2	0.2
524	大学教員	2	0.2
525	盲・ろう・養護学校教員	2	0.2
526	その他の教員	1	0.1
527	宗教家	2	0.2
531	デザイナー	1	0.1
532	写真家、カメラマン	2	0.2
537	保育士(保母、保父)	13	1.6
538	社会福祉事業専門職員	4	0.5
539	個人教師	14	1.7
543	図書館司書	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	4	0.5
548	会社役員	2	0.2
550	会社・団体等の管理職員	17	2.0
552	郵便局長、電報・電話局長	1	0.1
553	その他の管理的職業従事者	3	0.4
554	総務・企画事務員	85	10.2
555	受付・案内事務員	27	3.2
556	出荷・受荷事務員	8	1.0
557	営業・販売事務員	15	1.8
558	その他の一般事務員	12	1.4
559	会計事務員	32	3.8
560	郵便・通信事務員	1	0.1
562	その他の外勤事務従事者	2	0.2
563	運輸事務員	2	0.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	9	1.1
565	電子計算機等操作員	3	0.4
566	小売店主	3	0.4
567	卸売店主	1	0.1
568	飲食店主	3	0.4
569	販売店員	44	5.3

570	行商人、呼売人、露天商	3	0.4
573	外交員(保険、不動産を除く)	45	5.4
574	保険代理人・外交員	4	0.5
575	不動産仲買人・売買人	1	0.1
577	その他の販売類似職業従事者	4	0.5
578	家政婦、家事サービス職業従事者	25	3.0
579	理容師、美容師	16	1.9
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	20	2.4
583	給仕係	14	1.7
586	娯楽場等の接客員	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	3	0.4
592	その他のサービス職業従事者	7	0.8
593	自衛官	1	0.1
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	2	0.2
595	消防員	2	0.2
596	看守、守衛、監視員	2	0.2
599	農耕・養蚕作業者	2	0.2
600	植木職、造園師	1	0.1
603	その他の農林業作業者	1	0.1
606	電車・機関車運転士	1	0.1
607	自動車運転者	33	4.0
614	その他の運輸従事者	2	0.2
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	1	0.1
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	2	0.2
629	化学製品製造作業者	2	0.2
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	9	1.1
631	鉄工、板金工	1	0.1
632	金属溶接工	1	0.1
633	一般機械組立工・修理工	17	2.0
634	電気機械器具組立工・修理工	9	1.1
635	自動車組立工・整備工	8	1.0
636	鉄道車両組立工・修理工	1	0.1
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	1	0.1
640	その他の輸送機械組立・修理作業者	1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	4	0.5
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	9	1.1
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	12	1.4
650	漂白工、染色工	1	0.1
652	縫製工、裁断工	1	0.1
653	製材工、木工	1	0.1
654	指物職、家具職、建具職	1	0.1
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	4	0.5
658	印刷・製本作業者	3	0.4
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	5	0.6
661	塗装工、画工、看板工	5	0.6
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工	1	0.1
670	製図工、現図工	8	1.0
672	その他の技能工・生産工程作業者	10	1.2
674	起重機・建設機械運転作業者	2	0.2
675	その他の定置機関運転作業者	2	0.2
676	発電員、変電員	1	0.1

	677	電気工事・電話工事作業	6	0.7
	678	土木・建築請負師	1	0.1
	679	左官、とび職	3	0.4
	680	れんが積工、配管工	4	0.5
	682	土工、道路工夫	2	0.2
	683	鉄道線路工夫	1	0.1
	684	現場監督、その他の建設作業	9	1.1
	685	倉庫夫、仲仕	6	0.7
	686	運搬労務者	15	1.8
	687	清掃員	5	0.6
	688	その他の労務作業	3	0.4
	701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	6	0.7
	702	大工	10	1.2
	999	不明、無回答	14	1.7
		計	832	100.0
998		非該当	136	
		計	968	

XXJE08 職種(ISCO08)

コード		ケース数	%	
	Managers	22	2.6	
	Professionals	121	14.5	
	Technicians and associate professionals	131	15.7	
	Clerical support workers	168	20.2	
	Service and sales workers	173	20.8	
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	2	0.2	
	Craft and related trades workers	95	11.4	
	Plant and machine operators, and assemblers	69	8.3	
	Elementary occupations	37	4.4	
	Armed forces occupations	0	0.0	
99999	分類不能、不明、無回答	14	1.7	
		計	832	100.0
88888	非該当	136		
		計	968	

問8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

XJOBWDK 就労日数/週

コード		ケース数	%	
実数記入	0 日	0	0.0	
	1 日	6	0.7	
	2 日	12	1.4	
	3 日	36	4.3	
	4 日	76	9.1	
	5 日	492	59.1	
	6 日	179	21.5	
	7 日	27	3.2	
99	無回答	4	0.5	
		計	832	100.0
88	非該当	136		
		計	968	

問 9 あなたは、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

XJBSCH 通常労働時間数／週

コード [※]		ケース数	%
実数記入	0 時間	0	0.0
	1 ～ 9 時間	13	1.6
	10 ～ 19 時間	43	5.2
	20 ～ 29 時間	87	10.5
	30 ～ 39 時間	136	16.3
	40 ～ 49 時間	452	54.3
	50 ～ 59 時間	32	3.8
	60 ～ 69 時間	34	4.1
	70 ～ 79 時間	10	1.2
	80 時間以上	4	0.5
999	無回答	21	2.5
計		832	100.0
888	非該当	136	
計		968	

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR 就労年数

コード [※]		ケース数	%
実数記入	1 年未満	63	7.6
	1 ～ 4 年	229	27.5
	5 ～ 9 年	187	22.5
	10 ～ 19 年	234	28.1
	20 ～ 29 年	110	13.2
	30 年以上	8	1.0
999	無回答	1	0.1
計		832	100.0
888	非該当	136	
計		968	

問 11 〔回答票 7〕あなたが、これまでの仕事で身につけた経験や技能は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。

USFLSKL 経験や技能が仕事に役立った程度

コード [※]		ケース数	%
1	とても役立っている	343	41.2
2	ある程度役立っている	354	42.5
3	あまり役立っていない	97	11.7
4	ほとんど役立っていない	33	4.0
9	無回答	5	0.6
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 12〔回答票 8〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SZTTLSTA 企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	33	4.0
2	(イ) 2～4 人	66	7.9
3	(ウ) 5～9 人	62	7.5
4	(エ) 10～29 人	106	12.7
5	(オ) 30～99 人	119	14.3
6	(カ) 100～299 人	84	10.1
7	(キ) 300～499 人	45	5.4
8	(ク) 500～999 人	39	4.7
9	(ケ) 1,000～1,999 人	39	4.7
10	(コ) 2,000～9,999 人	83	10.0
11	(サ) 1 万人以上	43	5.2
12	(シ) 官公庁	71	8.5
13	わからない	39	4.7
99	無回答	3	0.4
計		832	100.0
88	非該当	136	
計		968	

問 13〔回答票 9〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

JOINUNI 労働組合加入の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) 職場の労働組合に入っている	226	27.2
2	(イ) 職場以外の労働組合に入っている	12	1.4
3	(ウ) 入っていない	574	69.0
4	わからない	17	2.0
9	無回答	3	0.4
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 14〔回答票 10〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

ST5JOB 現在の仕事の満足度

コード		ケース数	%
1	(ア) 満足している	200	24.0
2	(イ) どちらかといえば満足している	386	46.4
3	(ウ) どちらともいえない	167	20.1
4	(エ) どちらかといえば不満である	57	6.9
5	(オ) 不満である	21	2.5
6	わからない	0	0.0
9	無回答	1	0.1
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 15〔回答票 11〕今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA 現在の会社・組織での就労継続意向

コード		ケース数	%
1	(ア) 近いうちにやめるつもり	66	7.9
2	(イ) 当分やめるつもりはない	398	47.8
3	(ウ) まったくやめるつもりはない	352	42.3
4	わからない	15	1.8
9	無回答	1	0.1
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 16〔回答票 12〕今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

OP4UNEMP 失業の可能性

コード		ケース数	%
1	(ア) かなりある	25	3.0
2	(イ) ある程度ある	56	6.7
3	(ウ) あまりない	305	36.7
4	(エ) まったくない	424	51.0
5	わからない	21	2.5
9	無回答	1	0.1
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

問 17〔回答票 13〕もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB 再就労の容易さ

コード		ケース数	%
1	(ア) 非常に容易である	58	7.0
2	(イ) ある程度容易である	291	35.0
3	(ウ) 容易ではない	451	54.2
4	わからない	31	3.7
9	無回答	1	0.1
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

（現在働いていない人に）

問 18〔回答票 14〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP 不就労の理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	16	11.8
2	(イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている	0	0.0
3	(ウ) 学生	5	3.7
4	(エ) 主に家事をしている	104	76.5
5	(オ) 心身上の事情で働けない	9	6.6
6	(カ) その他（具体的に）	2	1.5
7	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		136	100.0
8	非該当	832	
計		968	

問 19 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

XWORK 就労経験

コード		ケース数	%
1	はい	127	93.4
2	いいえ	9	6.6
9	無回答	0	0.0
計		136	100.0
8	非該当	832	
計		968	

問 19 に「1 はい」の場合

問 20 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK 離職年齢

コード		ケース数	%
実数記入	15～19 歳	0	0.0
	20～29 歳	45	35.4
	30～39 歳	63	49.6
	40～49 歳	16	12.6
999	無回答	3	2.4
計		127	100.0
888	非該当	841	
計		968	

問 21 [回答票 15] あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB 離職理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 定年など退職（引退）する年齢になった	0	0.0
2	(イ) 早期退職（引退）を選んだ	0	0.0
3	(ウ) 早期退職（引退）をさせられた	0	0.0
4	(エ) 健康上の理由で働けなくなった	12	9.4
5	(オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された	2	1.6
6	(カ) 解雇された	3	2.4
7	(キ) 雇用期間や契約期間が終了した	6	4.7
8	(ク) 仕事や労働条件等が不満だったので	13	10.2
9	(ケ) 開業や転職のため	2	1.6
10	(コ) 家族の介護のため	6	4.7
11	(サ) 結婚したため	32	25.2
12	(シ) 出産・育児のため	45	35.4
13	(ス) その他（具体的に)	5	3.9
14	わからない	1	0.8
99	無回答	0	0.0
計		127	100.0
88	非該当	841	
計		968	

問 22-1〔回答票 16〕その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJB 前職の雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	122	96.1
2	(イ) 会社などの役員	0	0.0
3	(ウ) 自営業主・自由業者	0	0.0
4	(エ) 自家営業の手伝い	5	3.9
5	(オ) 内職	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		127	100.0
8	非該当	841	
計		968	

問 22-1 に「1 (ア) 雇われている人」の場合

問 22-2〔回答票 17〕当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJBS 前職の雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	63	51.6
2	(イ) パート・アルバイト	39	32.0
3	(ウ) 派遣社員	11	9.0
4	(エ) 契約社員	8	6.6
5	(オ) 嘱託	1	0.8
6	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		122	100.0
8	非該当	846	
計		968	

問 22-2 に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 22-3〔回答票 18〕当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJBP 前職の役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	57	90.5
2	(イ) 職長・班長・組長など	2	3.2
3	(ウ) 係長 (係長相当)	3	4.8
4	(エ) 課長 (課長相当)	0	0.0
5	(オ) 部長 (部長相当)	0	0.0
6	(カ) その他の役職 (具体的に)	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	1	1.6
計		63	100.0
8	非該当	905	
計		968	

問 23 あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。
 (例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

XXLSTJB 前職の職種

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	1	0.8
504	建築・土木技術者	1	0.8
513	栄養士	1	0.8
514	看護師(看護婦・看護師)	8	6.3
520	幼稚園教員	2	1.6
521	小学校教員	2	1.6
523	高等学校教員	1	0.8
531	デザイナー	1	0.8
537	保育士(保母、保父)	3	2.4
538	社会福祉事業専門職員	2	1.6
539	個人教師	3	2.4
554	総務・企画事務員	14	11.0
555	受付・案内事務員	4	3.1
556	出荷・受荷事務員	2	1.6
557	営業・販売事務員	6	4.7
558	その他の一般事務員	1	0.8
559	会計事務員	9	7.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	2	1.6
565	電子計算機等操作員	3	2.4
569	販売店員	17	13.4
573	外交員(保険、不動産を除く)	1	0.8
574	保険代理人・外交員	2	1.6
578	家政婦、家事サービス職業従事者	4	3.1
579	理容師、美容師	1	0.8
580	クリーニング職、洗張職	1	0.8
581	料理人	3	2.4
583	給仕係	4	3.1
585	接客社交係	1	0.8
592	その他のサービス職業従事者	2	1.6
596	看守、守衛、監視員	1	0.8
607	自動車運転者	1	0.8
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	1	0.8
631	鉄工、板金工	1	0.8
633	一般機械組立工・修理工	2	1.6
634	電気機械器具組立工・修理工	1	0.8
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	2	1.6
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	3	2.4
653	製材工、木工	1	0.8
661	塗装工、画工、看板工	1	0.8
670	製図工、現図工	2	1.6
672	その他の技能工・生産工程作業	1	0.8
677	電気工事・電話工事作業	1	0.8
679	左官、とび職	2	1.6
685	倉庫夫、仲仕	2	1.6
686	運搬労務者	2	1.6
687	清掃員	1	0.8
999	不明、無回答	0	0.0

		計	127	100.0
998	非該当		841	
		計	968	

XXLJE08 前職の職種(ISCO08)

コード		ケース数	%
	Managers	0	0.0
	Professionals	20	15.7
	Technicians and associate professionals	12	9.4
	Clerical support workers	36	28.3
	Service and sales workers	36	28.3
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	0	0.0
	Craft and related trades workers	13	10.2
	Plant and machine operators, and assemblers	3	2.4
	Elementary occupations	7	5.5
	Armed forces occupations	0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答	0	0.0
	計	127	100.0
88888	非該当	841	
	計	968	

問 24 [回答票 19] その会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

SZSTFLS 前職の企業規模(6分類)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	0	0.0
2	(イ) 小企業 (2～29 人)	29	22.8
3	(ウ) 中企業 (30～299 人)	32	25.2
4	(エ) 大企業 (300～999 人)	18	14.2
5	(オ) 大手大企業 (1,000 人以上)	33	26.0
6	(カ) 官公庁	6	4.7
7	わからない	9	7.1
9	無回答	0	0.0
計		127	100.0
8	非該当	841	
計		968	

問 25 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB 求職の有無(全員)

コード		ケース数	%	
1	はい	81	8.4	
2	いいえ	881	91.0	
9	無回答	6	0.6	
		計	968	100.0

問 26〔回答票 20〕あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

XNUMCOWK 転職数*

コード		ケース数	%
1	0 社	50	5.2
2	1 社	397	41.0
3	2 社	251	25.9
4	3 社	131	13.5
5	4 社	55	5.7
6	5 社	31	3.2
7	6 社以上	14	1.4
99	無回答	39	4.0
計		968	100.0

問 27-1〔回答票 21〕あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

DOMARRY 結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	662	68.4
2	(イ) 離別	43	4.4
3	(ウ) 死別	0	0.0
4	(エ) 未婚	260	26.9
5	離婚を前提に別居中	2	0.2
6	同棲中	1	0.1
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

「2 (イ) 離別」、「3 (ウ) 死別」、「4 (エ) 未婚」の場合
問 27-2〔回答票 22〕あなたは何歳までに結婚（再婚）したいですか。

WNTMRY 結婚・再婚の意欲

コード		ケース数	%
1	(ア) () 歳までに結婚（再婚）したい	84	27.7
2	(イ) 年齢にはこだわらない	144	47.5
3	(ウ) 結婚（再婚）するつもりはない	72	23.8
9	無回答	3	1.0
計		303	100.0
8	非該当	665	
計		968	

WNTMRYAG 結婚・再婚の意欲：何歳までに

コード		ケース数	%
実数記入	25～29 歳	6	7.1
	30～34 歳	32	38.1
	35～39 歳	21	25.0
	40 歳以上	23	27.4
999	無回答	2	2.4
計		84	100.0
888	非該当	884	
計		968	

問 28-1〔回答票 23〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK 先週の就労経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	539	81.3
2	(イ) 仕事をもっているが、病気・休暇などで先週は仕事を休んだ	13	2.0
3	(ウ) 仕事をしていない	110	16.6
9	無回答	1	0.2
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

「3 (ウ) 仕事をしていない」の場合

問 28-2〔回答票 24〕配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPUNEM 不就労の理由(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	1	0.9
2	(イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている	1	0.9
3	(ウ) 学生	0	0.0
4	(エ) 主に家事をしている	104	94.5
5	(オ) 心身上の事情で働けない	3	2.7
6	(カ) その他 (具体的に)	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	1	0.9
計		110	100.0
8	非該当	858	
計		968	

問 28-1に「1 (ア) 仕事をした」、「2 (イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

問 29 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

SSJBHRWK 就労時間数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	1～9 時間	6	1.1
	10～19 時間	19	3.4
	20～29 時間	31	5.6
	30～39 時間	46	8.3
	40～49 時間	227	41.1
	50～59 時間	115	20.8
	60～69 時間	55	10.0
	70～79 時間	19	3.4
	80 時間以上	12	2.2
999	無回答	22	4.0
計		552	100.0
888	非該当	416	
計		968	

SSSJBHWK 副業就労時間数／週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	0 時間	541	98
	1 ～ 9 時間	2	0.4
	10～19 時間	2	0.4
	20～29 時間	1	0.2
	30～39 時間	0	0.0
	40～49 時間	0	0.0
	50～59 時間	0	0.0
999	無回答	6	0.0
計		552	100.0
888	非該当	416	
計		968	

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 30-1〔回答票 25〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

SSTPJB 雇用関係(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	463	83.9
2	(イ) 会社などの役員	24	4.3
3	(ウ) 自営業主・自由業者	51	9.2
4	(エ) 自家営業の手伝い	12	2.2
5	(オ) 内職	0	0.0
6	わからない	1	0.2
9	無回答	1	0.2
計		552	100.0
8	非該当	416	
計		968	

「1 (ア) 雇われている人」の場合

問 30-2〔回答票 26〕配偶者の方の雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJBS 役職(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	368	79.5
2	(イ) パート・アルバイト	77	16.6
3	(ウ) 派遣社員	6	1.3
4	(エ) 契約社員	10	2.2
5	(オ) 嘱託	1	0.2
6	わからない	1	0.2
9	無回答	0	0.0
計		463	100.0
8	非該当	505	
計		968	

問 30-1 に「1 (ア) 雇われている人」、問 30-2 で「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合
問 30-3 [回答票 27] 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOBP 役職(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	185	50.3
2	(イ) 職長・班長・組長など	41	11.1
3	(ウ) 係長 (係長相当)	50	13.6
4	(エ) 課長 (課長相当)	50	13.6
5	(オ) 部長 (部長相当)	15	4.1
6	(カ) その他の役職 (具体的に)	0	0.0
7	わからない	15	4.1
9	無回答	12	3.3
計		368	100.0
8	非該当	600	
計		968	

問 30-1 に「3 (ウ) 自営業主・自由業者」の場合

問 30-4 配偶者の方は、家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

SSTPJBSE 従業員を持つ自営業者(配偶者)

コード		ケース数	%
1	はい	18	35.3
2	いいえ	33	64.7
9	無回答	0	0.0
計		51	100.0
8	非該当	917	
計		968	

問 31 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX 業種(配偶者)

コード		ケース数	%
10	農業	2	0.4
20	林業	0	0.0
30	漁業	2	0.4
40	鉱業	1	0.2
50	建設業	59	10.7
60	製造業	116	21.0
70	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0
80	運輸業	30	5.4
91	卸売業	14	2.5
92	小売業	66	11.9
93	飲食店	15	2.7
100	金融・保険業	18	3.3
110	不動産業	3	0.5
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	1	0.2
130	情報・通信サービス業	20	3.6
140	医療・福祉サービス業	67	12.1
150	教育・研究サービス業	22	4.0
160	法律・会計サービス業	5	0.9
170	その他のサービス業	61	11.0
180	公務	30	5.4
999	無回答	21	3.8

		計	553	100.0
998	非該当		415	
		計	968	

問 32 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。
 (例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

SSXXJOB 職種(配偶者)

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	11	2.0
505	農林技術者	1	0.2
506	情報処理技術者	14	2.5
508	医師	4	0.7
511	助産師(助産婦)	3	0.5
514	看護師(看護婦・看護師)	18	3.3
516	その他の保健医療従事者	13	2.4
517	裁判官、検察官、弁護士	1	0.2
521	小学校教員	5	0.9
522	中学校教員	3	0.5
523	高等学校教員	6	1.1
524	大学教員	1	0.2
525	盲・ろう・養護学校教員	2	0.4
527	宗教家	1	0.2
531	デザイナー	1	0.2
532	写真家、カメラマン	1	0.2
537	保育士(保母、保父)	6	1.1
538	社会福祉事業専門職員	1	0.2
539	個人教師	3	0.5
541	経営コンサルタント	1	0.2
543	図書館司書	1	0.2
544	その他の専門的・技術的職業従事者	3	0.5
548	会社役員	11	2.0
549	その他の法人・団体の役員	1	0.2
550	会社・団体等の管理職員	28	5.1
553	その他の管理的職業従事者	1	0.2
554	総務・企画事務員	53	9.6
555	受付・案内事務員	16	2.9
556	出荷・受荷事務員	6	1.1
557	営業・販売事務員	10	1.8
558	その他の一般事務員	6	1.1
559	会計事務員	19	3.4
562	その他の外勤事務従事者	1	0.2
565	電子計算機等操作員	6	1.1
566	小売店主	7	1.3
568	飲食店主	2	0.4
569	販売店員	18	3.3
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.2
572	商品仲立人	2	0.4
573	外交員(保険、不動産を除く)	32	5.8
574	保険代理人・外交員	5	0.9
577	その他の販売類似職業従事者	1	0.2

578	家政婦、家事サービス職業従事者	4	0.7	
579	理容師、美容師	7	1.3	
581	料理人	10	1.8	
583	給仕係	6	1.1	
592	その他のサービス職業従事者	4	0.7	
593	自衛官	1	0.2	
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	2	0.4	
595	消防員	7	1.3	
596	看守、守衛、監視員	1	0.2	
599	農耕・養蚕作業者	1	0.2	
604	漁業作業者	1	0.2	
607	自動車運転者	16	2.9	
614	その他の運輸従事者	1	0.2	
625	ガラス・セメント製品製造作業者	3	0.5	
629	化学製品製造作業者	2	0.4	
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	5	0.9	
631	鉄工、板金工	2	0.4	
632	金属溶接工	2	0.4	
633	一般機械組立工・修理工	12	2.2	
634	電気機械器具組立工・修理工	8	1.4	
635	自動車組立工・整備工	6	1.1	
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	1	0.2	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	3	0.5	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	7	1.3	
650	漂白工、染色工	2	0.4	
652	縫製工、裁断工	2	0.4	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	1	0.2	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	3	0.5	
661	塗装工、画工、看板工	4	0.7	
670	製図工、現図工	6	1.1	
672	その他の技能工・生産工程作業者	9	1.6	
674	起重機・建設機械運転作業者	3	0.5	
675	その他の定置機関運転作業者	1	0.2	
677	電気工事・電話工事作業者	6	1.1	
679	左官、とび職	4	0.7	
680	れんが積工、配管工	4	0.7	
682	土工、道路工夫	6	1.1	
684	現場監督、その他の建設作業者	10	1.8	
685	倉庫夫、仲仕	2	0.4	
686	運搬労務者	7	1.3	
687	清掃員	5	0.9	
688	その他の労務作業者	3	0.5	
701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	8	1.4	
702	大工	7	1.3	
999	不明、無回答	22	4.0	
		計	553	100.0
998	非該当		415	
		計	968	

SSXXJE08 職種(配偶者)(ISCO08)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	Managers	36	6.5
	Professionals	72	13.0
	Technicians and associate professionals	93	16.8
	Clerical support workers	102	18.4
	Service and sales workers	91	16.5
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	2	0.4
	Craft and related trades workers	67	12.1
	Plant and machine operators, and assemblers	41	7.4
	Elementary occupations	27	4.9
	Armed forces occupations	0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答	22	4.0
		計	553
88888	非該当	415	100.0
		計	968

問 33 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

SSJBDWK 就労日数/週(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	1	2	0.4
	2	6	1.1
	3	17	3.1
	4	27	4.9
	5	327	59.2
	6	144	26.1
	7	21	3.8
99	無回答	8	1.4
		計	552
88	非該当	416	100.0
		計	968

問 34 配偶者の方は、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

SSXJBSC 通常労働時間数/週(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	1～9 時間	4	0.7
	10～19 時間	15	2.7
	20～29 時間	30	5.4
	30～39 時間	50	9.1
	40～49 時間	356	64.5
	50～59 時間	30	5.4
	60～69 時間	21	3.8
	70 時間以上	11	2.0
999	無回答	35	6.3
		計	552
888	非該当	416	100.0
		計	968

問 35 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR 就労年数(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	0～4 年	119	21.6
	5～9 年	112	20.3
	10～19 年	157	28.4
	20～29 年	134	24.3
	30 年以上	25	4.5
999	無回答	5	0.9
		計	552
888	非該当	416	100.0
		計	968

問 36 [回答票 28] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SSSZSTFA 企業規模(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	20	3.6
2	(イ) 2～4 人	41	7.4
3	(ウ) 5～9 人	33	6.0
4	(エ) 10～29 人	58	10.5
5	(オ) 30～99 人	59	10.7
6	(カ) 100～299 人	42	7.6
7	(キ) 300～499 人	24	4.3
8	(ク) 500～999 人	30	5.4
9	(ケ) 1,000～1,999 人	22	4.0
10	(コ) 2,000～9,999 人	36	6.5
11	(サ) 1 万人以上	45	8.2
12	(シ) 官公庁	57	10.3
13	わからない	82	14.9
99	無回答	3	0.5
		計	552
88	非該当	416	100.0
		計	968

(配偶者がいる方に)

問 37 配偶者の方の年齢を教えてください。

SPAGEX 配偶者の年齢

コード		ケース数	%
実数記入	20～29 歳	35	5.3
	30～39 歳	235	35.4
	40～49 歳	324	48.9
	50～59 歳	66	10.0
	60～69 歳	1	0.2
	70 歳以上	1	0.2
999	無回答	1	0.2
		計	663
888	非該当	305	100.0
		計	968

問 38 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG 配偶者との同居

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	646	97.4
2	別居・単身赴任中	16	2.4
3	別居・その他の理由	1	0.2
9	無回答	0	0.0
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

問 39-1 あなた自身のお父様とお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

PPLV4G 父親：同居・別居距離・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	225	23.2
2	別居（30 分未満）	263	27.2
3	別居（30 分以上）	288	29.8
4	死亡	181	18.7
9	無回答	11	1.1
計		968	100.0

MMLV4G 母親：同居・別居距離・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	277	28.6
2	別居（30 分未満）	303	31.3
3	別居（30 分以上）	311	32.1
4	死亡	75	7.7
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

問 39-2 お父様、お母様の年齢を教えてください。

PPAGE 父親:年齢

コード		ケース数	%	
実数記入	40～49 歳	1	0.1	
	50～59 歳	100	12.7	
	60～69 歳	311	39.5	
	70～79 歳	293	37.2	
	80～89 歳	54	6.9	
	90 歳以上	0	0.0	
	999	無回答	28	3.6
		計	787	100.0
888	非該当	181		
		計	968	

MMAGE 母親:年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>	
実数記入	30～39 歳	1	0.1	
	40～49 歳	2	0.2	
	50～59 歳	155	17.4	
	60～69 歳	382	42.8	
	70～79 歳	312	34.9	
	80～89 歳	23	2.6	
	90 歳以上	0	0.0	
999	無回答	18	2.0	
		計	893	100.0
888	非該当	75		
		計	968	

問 39-3 [回答票 30] お父様、お母様の現在の婚姻状態を教えてください。

PPMG 父親:結婚状況

コード		ケース数	%	
1	(ア) 現在、配偶者がいる	694	88.2	
2	(イ) 離別	32	4.1	
3	(ウ) 死別	47	6.0	
4	(エ) 未婚	0	0.0	
9	無回答	14	1.8	
		計	787	100.0
8	非該当	181		
		計	968	

MMMGM 母親:結婚状況

コード*		ケース数	%	
1	(ア) 現在、配偶者がいる	694	77.7	
2	(イ) 離別	38	4.3	
3	(ウ) 死別	152	17.0	
4	(エ) 未婚	1	0.1	
9	無回答	8	0.9	
		計	893	100.0
8	非該当	75		
		計	968	

問 39-4 お父様、お母様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

PPJOB 父親:就労の有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	している	390	49.6
2	していない	377	47.9
9	無回答	20	2.5
計		787	100.0
8	非該当	181	
計		968	

MMJOB 母親:就労の有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	している	328	36.7
2	していない	560	62.7
9	無回答	5	0.6
計		893	100.0
8	非該当	75	
計		968	

問 40-1 これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください

CCNUMTTL 子どもの人数

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	353	36.5
	1 人	178	18.4
	2 人	305	31.5
	3 人	104	10.7
	4 人	25	2.6
	5 人	2	0.2
	6 人	1	0.1
計		968	100.0

そのお子様全員についてうかがいます。

問 40-2 そのお子様の性別を教えてください。

問 40-3 [回答票 31] そのお子様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

問 40-4 そのお子様の年齢を教えてください。

問 40-5 [回答票 31] そのお子様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 40-6 そのお子様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

1 人目

CC01SEX 子ども 01:性別

コード		ケース数	%
1	男	320	52.0
2	女	294	47.8
9	無回答	1	0.2
計		615	100.0
8	非該当	353	
計		968	

CC01LV4G 子ども 01:同居・別居距離・生死

コード		ケース数	%
1	(ア) 同居	561	91.2
2	(イ) 別居 (30 分未満)	14	2.3
3	(ウ) 別居 (30 分以上)	39	6.3
4	(エ) 死亡	1	0.2
9	無回答	0	0.0
計		615	100.0
8	非該当	353	
計		968	

CC01AGE 子ども 01:年齢

コード		ケース数	%
実数記入	0～9 歳	250	40.7
	10～19 歳	275	44.8
	20～29 歳	85	13.8
	30 歳以上	2	0.3
999	無回答	2	0.3
計		614	100.0
888	非該当	354	
計		968	

CC01MG 子ども 01:結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	9	1.5
2	(イ) 離別	0	0.0
3	(ウ) 死別	0	0.0
4	(エ) 未婚	605	98.5
9	無回答	0	0.0
計		614	100.0
8	非該当	354	
計		968	

CC01JOB 子ども 01:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	60	9.8
2	していない	554	90.2
9	無回答	0	0.0
計		614	100.0
8	非該当	354	
計		968	

2人目

CC02SEX 子ども02:性別

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	男	243	55.6
2	女	193	44.2
9	無回答	1	0.2
計		437	100.0
8	非該当	531	
計		968	

CC02LVT4G 子ども02:同居・別居距離・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 同居	408	93.4
2	(イ) 別居 (30 分未満)	4	0.9
3	(ウ) 別居 (30 分以上)	25	5.7
4	(エ) 死亡	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		437	100.0
8	非該当	531	
計		968	

CC02AGE 子ども02:年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0～9 歳	210	48.1
	10～19 歳	193	44.2
	20～29 歳	31	7.1
	30 歳以上	2	0.5
999	無回答	1	0.2
計		437	100.0
888	非該当	531	
計		968	

CC02MG 子ども02:結婚状況

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 現在、配偶者がいる	4	0.9
2	(イ) 離別	1	0.2
3	(ウ) 死別	0	0.0
4	(エ) 未婚	432	98.9
9	無回答	0	0.0
計		437	100.0
8	非該当	531	
計		968	

CC02JOB 子ども02:就労の有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	している	24	5.5
2	していない	413	94.5
9	無回答	0	0.0
計		437	100.0
8	非該当	531	
計		968	

3 人目

CC03SEX 子ども 03:性別

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	男	65	49.2
2	女	66	50.0
9	無回答	1	0.8
計		132	100.0
8	非該当	236	
計		968	

CC03LVT4G 子ども 03:同居・別居距離・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 同居	128	97.0
2	(イ) 別居 (30 分未満)	0	0.0
3	(ウ) 別居 (30 分以上)	4	3.0
4	(エ) 死亡	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		132	100.0
8	非該当	236	
計		968	

CC03AGE 子ども 03:年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0～9 歳	80	60.6
	10～19 歳	50	37.9
	20～29 歳	1	0.8
	30 歳以上	0	0.0
999	無回答	1	0.8
計		132	100.0
888	非該当	236	
計		968	

CC03MG 子ども 03:結婚状況

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 現在、配偶者がいる	0	0.0
2	(イ) 離別	0	0.0
3	(ウ) 死別	0	0.0
4	(エ) 未婚	132	100
9	無回答	0	0.0
計		132	100.0
8	非該当	236	
計		968	

CC03JOB 子ども 03:就労の有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	している	2	1.5
2	していない	130	98.5
9	無回答	0	0.0
計		132	100.0
8	非該当	236	
計		968	

4 人目

CC04SEX 子ども 04: 性別

コード		ケース数	%
1	男	15	53.6
2	女	13	46.4
9	無回答	0	0.0
計		28	100.0
8	非該当	940	
計		968	

CC04LVT4G 子ども 04: 同居・別居距離・生死

コード		ケース数	%
1	(ア) 同居	27	96.4
2	(イ) 別居 (30 分未満)	0	0.0
3	(ウ) 別居 (30 分以上)	1	3.6
4	(エ) 死亡	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		28	100.0
8	非該当	940	
計		968	

CC04AGE 子ども 04: 年齢

コード		ケース数	%
実数記入	0～9 歳	19	67.9
	10～19 歳	8	28.6
	20～29 歳	1	3.6
	30 歳以上	0	0.0
999	無回答	0	0.0
計		28	100.0
888	非該当	940	
計		968	

CC04MG 子ども 04: 結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	0	0.0
2	(イ) 離別	0	0.0
3	(ウ) 死別	0	0.0
4	(エ) 未婚	28	100
9	無回答	0	0.0
計		28	100.0
8	非該当	940	
計		968	

CC04JOB 子ども 04: 就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	28	100.0
2	していない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		28	100.0
8	非該当	940	
計		968	

5人目～6人目

CC[[05-06]-06]SEX 子ども[05-06]:性別

CC[05-06]LVT4G 子ども[05-06]:同居・生死

CC[05-06]AGE 子ども[05-06]:年齢

CC[05-06]MG 子ども[05-06]:結婚状況

CC[05-06]JOB 子ども[05-06]:就労の有無

これらの変数の単純集計は記載していません。

問 41-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだい、配偶者のご両親などです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。

SZFFOTHR その他の家族の人数

コード	ケース数	%
実数記入	0人	805
	1人	99
	2人	48
	3人	8
	4人	3
	5人以上	4
999	無回答	1
計		968
		100.0

問 41-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、年齢を教えてください。

FFH[01-05]REL その他の家族[1-5]:続柄

この変数の単純集計は記載していません。

続柄コード表

コード	コード	コード
0 本人	30 孫 (男)	62 義理の祖父 (配偶者の祖父)
1 夫	31 孫 (女)	63 義理の祖母 (配偶者の祖母)
2 妻	32 孫の配偶者	64 兄の子
3 子	33 ひ孫 (男)	65 弟の子
10 子 (男)	34 ひ孫 (女)	66 姉の子
11 長男	35 孫	67 妹の子
12 次男	40 父	68 甥
13 三男	41 母	69 姪
14 長男の妻	42 義父 (配偶者の父)	71 父母の兄弟姉妹
15 次男の妻	43 義母 (配偶者の母)	72 父母の兄弟姉妹の配偶者
16 三男の妻	44 兄の妻	73 おじ
17 四男	45 弟の妻	74 おば
18 四男の妻	46 姉の夫	75 おじ・おばの子
19 五男	47 妹の夫	76 曾祖父
20 子 (女)	50 兄	77 曾祖母
21 長女	51 弟	80 親 (男)
22 次女	52 姉	81 親 (女)
23 三女	53 妹	88 非該当
24 長女の夫	54 配偶者の兄	90 使用人・雇い人
25 次女の夫	55 配偶者の弟	97 続柄がその他のもの
26 三女の夫	56 配偶者の姉	99 無回答
27 四女	57 配偶者の妹	62 義理の祖父 (配偶者の祖父)
28 四女の夫	60 祖父	63 義理の祖母 (配偶者の祖母)
29 五女	61 祖母	64 兄の子

FFH[01-05]SEX その他の家族[1-5]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

FFH[01-05]AGE その他の家族[1-5]:年齢

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
888	非該当
999	無回答

問 42 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY 家族人数(本人除く)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	68	7.0
	1 人	122	12.6
	2 人	279	28.8
	3 人	283	29.2
	4 人	122	12.6
	5 人以上	93	9.6
999	無回答	1	0.1
計		968	100.0

SZFFTTL 家族人数(本人含む)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	1 人	68	7.0
	2 人	122	12.6
	3 人	279	28.8
	4 人	283	29.2
	5 人以上	215	22.2
999	無回答	1	0.1
計		968	100.0

問 43 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

FFHEAD 世帯主

コード		ケース数	%
1	(ア) あなたご自身	371	38.3
2	(イ) 配偶者	356	36.8
3	(ウ) あなたの子ども	0	0.0
4	(エ) 子どもの配偶者	0	0.0
5	(オ) 孫	0	0.0
6	(カ) あなたの父親	187	19.3
7	(キ) あなたの母親	25	2.6
8	(ク) 配偶者の父親	15	1.6
9	(ケ) 配偶者の母親	4	0.4
10	(コ) あなたの祖父	2	0.2
11	(サ) あなたの祖母	1	0.1
12	(シ) 配偶者の祖父	1	0.1
13	(ス) 配偶者の祖母	0	0.0
14	(セ) あなたの兄弟姉妹	0	0.0
15	(ソ) 配偶者の兄弟姉妹	3	0.3
16	(タ) 続柄がその他のもの	1	0.1
99	無回答	2	0.2
計		968	100.0

問 44-1 あなたには、ここにあげるような理由で一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、「単身赴任」や「離れた大学に通う」等の理由です。いらっしゃる場合、何人ですか。

SZFFOUT 一時的な別居家族の人数

コード		ケース数	%
実数記入	0 人	886	91.5
	1 人	66	6.8
	2 人	12	1.2
	3 人	0	0.0
	4 人	3	0.3
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	0	0.0
計		968	100.0

問 44-2 その全員について、うかがいます。

A あなたからみた続柄を教えてください。

FFO[01-04]REL 一時的な別居家族[1-4]

この変数の単純集計は記載していません。74 ページの続柄コード表参照

B [回答票 33] その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。

FFO[01-04]WHY 一時的な別居家族[1-4]:別居理由

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア) あなたの仕事の都合
2	(イ) あなたの学業
3	(ウ) 家族の仕事の都合
4	(エ) 家族の学業
5	(オ) 長期入院
6	(カ) 老人・福祉施設に入所
7	(キ) その他 ()
888	非該当
999	無回答

問 45-1 [回答票 34] 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

INCSELF~INCNOKN 現在の収入源:(全員)

コード	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		選択者数	%
INCSELF	1 (ア) 自分の収入	821	84.8
INCSP	2 (イ) 配偶者の収入	546	56.4
INCPAR	3 (ウ) 親の収入	189	19.5
INCFAM	4 (エ) 配偶者・親以外の家族の収入	36	3.7
INCPEN	5 (オ) 年金	56	5.8
INCUEB	6 (カ) 失業保険	0	0.0
INCSAVE	7 (キ) 貯蓄	45	4.6
INCSOC	8 (ク) 社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	10	1.0
INCIRR	9 (ケ) 不定期的な仕事	1	0.1
INCREMENT	10 (コ) 賃貸料所得 (家賃、土地、駐車場料金など)	15	1.5
INCINVST	11 (サ) 投資運用	5	0.5
INCOTHER	12 (シ) その他 (具体的に)	3	0.3
INCNOKN	13 わからない	1	0.1
		該当者数	968
			100.0

問 45-2 [回答票 34] そのうち、一番中心となる収入源を 1 つだけ教えてください。

INCMAIN 現在の収入源: 中心となるもの(全員)

コード		ケース数	%
1	(ア) 自分の収入	457	47.2
2	(イ) 配偶者の収入	368	38.0
3	(ウ) 親の収入	107	11.1
4	(エ) 配偶者・親以外の家族の収入	7	0.7
5	(オ) 年金	7	0.7
6	(カ) 失業保険	0	0.0
7	(キ) 貯蓄	6	0.6
8	(ク) 社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	0	0.0
9	(ケ) 不定期的な仕事	0	0.0
10	(コ) 賃貸料所得 (家賃、土地、駐車場料金など)	2	0.2
11	(サ) 投資運用	0	0.0
12	(シ) その他 (具体的に)	2	0.2
13	わからない	5	0.5
99	無回答	7	0.7
計		968	100.0

問 46 [回答票 35] かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入りますか。

OP10LVL 自分の位置する階層

コード		ケース数	%
1	一番上	4	0.4
2	・	6	0.6
3	・	54	5.6
4	・	108	11.2
5	・	347	35.8
6	・	169	17.5
7	・	111	11.5
8	・	125	12.9
9	・	28	2.9
10	一番下	12	1.2
99	無回答	4	0.4
計		968	100.0

問 47 [回答票 36] あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを 1 つ選んでください。

SIZEHMT 居住地域の規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 大都市の中心部	49	5.1
2	(イ) 大都市の郊外	147	15.2
3	(ウ) 中小都市	485	50.1
4	(エ) 町村部	263	27.2
5	(オ) 人家がまばらな農山漁村	23	2.4
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

問 48 [回答票 37] あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE 居住形態:持ち家

コード		ケース数	%
1	持ち家	720	74.4
2	民間の賃貸住宅	214	22.1
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	16	1.7
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	14	1.4
5	その他	4	0.4
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

問 49-1 [回答票 38] 昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

SZHSINCM 世帯年収

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	3	0.3
2	(イ) 70 万円未満	2	0.2
3	(ウ) 70～100 万円未満	2	0.2
4	(エ) 100～130 万円未満	5	0.5
5	(オ) 130～150 万円未満	8	0.8
6	(カ) 150～250 万円未満	25	2.6
7	(キ) 250～350 万円未満	58	6.0
8	(ク) 350～450 万円未満	94	9.7
9	(ケ) 450～550 万円未満	117	12.1
10	(コ) 550～650 万円未満	117	12.1
11	(サ) 650～750 万円未満	73	7.5
12	(シ) 750～850 万円未満	69	7.1
13	(ス) 850～1,000 万円未満	65	6.7
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	56	5.8
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	12	1.2
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	19	2.0
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	6	0.6
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	4	0.4
19	(テ) 2,300 万円以上	3	0.3
20	回答したくない	69	7.1
21	わからない	158	16.3
99	無回答	3	0.3
計		968	100.0

問 49-2〔回答票 38〕 そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

SZINCOMA 本人年収:全体

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) なし	105	10.8
2	(イ) 70 万円未満	49	5.1
3	(ウ) 70～100 万円未満	65	6.7
4	(エ) 100～130 万円未満	69	7.1
5	(オ) 130～150 万円未満	37	3.8
6	(カ) 150～250 万円未満	95	9.8
7	(キ) 250～350 万円未満	130	13.4
8	(ク) 350～450 万円未満	103	10.6
9	(ケ) 450～550 万円未満	102	10.5
10	(コ) 550～650 万円未満	58	6.0
11	(サ) 650～750 万円未満	32	3.3
12	(シ) 750～850 万円未満	17	1.8
13	(ス) 850～1,000 万円未満	12	1.2
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	1	0.1
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	3	0.3
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	2	0.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	1	0.1
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.1
19	(テ) 2,300 万円以上	2	0.2
20	回答したくない	66	6.8
21	わからない	3	0.3
99	無回答	15	1.5
計		968	100.0

問 49-3 (仕事をしている方にのみ質問) [回答票 38] あなたの収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

SZINCOMX 本人年収:主な仕事

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) なし	4	0.5
2	(イ) 70 万円未満	49	5.9
3	(ウ) 70～100 万円未満	60	7.2
4	(エ) 100～130 万円未満	68	8.2
5	(オ) 130～150 万円未満	35	4.2
6	(カ) 150～250 万円未満	89	10.7
7	(キ) 250～350 万円未満	129	15.5
8	(ク) 350～450 万円未満	98	11.8
9	(ケ) 450～550 万円未満	101	12.1
10	(コ) 550～650 万円未満	57	6.9
11	(サ) 650～750 万円未満	32	3.8
12	(シ) 750～850 万円未満	16	1.9
13	(ス) 850～1,000 万円未満	13	1.6
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	2	0.2
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	2	0.2
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	2	0.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	1	0.1
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.1
19	(テ) 2,300 万円以上	1	0.1
20	回答したくない	62	7.5
21	わからない	3	0.4
99	無回答	7	0.8
計		832	100.0
23	仕事はしていない	136	
計		968	

問 49-4（現在、配偶者がいる方にのみ質問）〔回答票 38〕配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

SSSZINCA 配偶者年収:全体

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	76	11.5
2	(イ) 70 万円未満	24	3.6
3	(ウ) 70～100 万円未満	28	4.2
4	(エ) 100～130 万円未満	28	4.2
5	(オ) 130～150 万円未満	12	1.8
6	(カ) 150～250 万円未満	36	5.4
7	(キ) 250～350 万円未満	62	9.4
8	(ク) 350～450 万円未満	80	12.1
9	(ケ) 450～550 万円未満	69	10.4
10	(コ) 550～650 万円未満	39	5.9
11	(サ) 650～750 万円未満	21	3.2
12	(シ) 750～850 万円未満	25	3.8
13	(ス) 850～1,000 万円未満	18	2.7
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	7	1.1
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	3	0.5
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	5	0.8
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	3	0.5
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.2
19	(テ) 2,300 万円以上	0	0.0
20	回答したくない	57	8.6
21	わからない	40	6.0
99	無回答	29	4.4
計		663	100.0
22	配偶者はいない	305	
計		968	

問 49-5 (配偶者が仕事をしている方に) [回答票 38] 配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

SSSZINCM 配偶者年収:主な仕事

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	4	0.7
2	(イ) 70 万円未満	24	4.3
3	(ウ) 70～100 万円未満	26	4.7
4	(エ) 100～130 万円未満	28	5.1
5	(オ) 130～150 万円未満	12	2.2
6	(カ) 150～250 万円未満	36	6.5
7	(キ) 250～350 万円未満	60	10.8
8	(ク) 350～450 万円未満	81	14.6
9	(ケ) 450～550 万円未満	69	12.5
10	(コ) 550～650 万円未満	37	6.7
11	(サ) 650～750 万円未満	20	3.6
12	(シ) 750～850 万円未満	26	4.7
13	(ス) 850～1,000 万円未満	18	3.3
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	6	1.1
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	1	0.2
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	5	0.9
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	2	0.4
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.2
19	(テ) 2,300 万円以上	0	0.0
20	回答したくない	56	10.1
21	わからない	35	6.3
99	無回答	6	0.1
計		553	100.0
22	配偶者はいない	305	
23	仕事はしていない	110	
計		968	

問 50-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

兄

XNUMBROE 兄弟姉妹人数(兄)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	668	69
	1 人	259	26.8
	2 人	34	3.5
	3 人	4	0.4
	4 人	1	0.1
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.2
計		968	100.0

姉

XNUMSISE 兄弟姉妹人数(姉)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	665	68.7
	1 人	249	25.7
	2 人	49	5.1
	3 人	2	0.2
	4 人	1	0.1
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.2
計		968	100.0

弟

XNUMBROY 兄弟姉妹人数(弟)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	641	66.2
	1 人	269	27.8
	2 人	50	5.2
	3 人	5	0.5
	4 人	1	0.1
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.2
計		968	100.0

妹

XNUMSISY 兄弟姉妹人数(妹)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	681	70.4
	1 人	235	24.3
	2 人	42	4.3
	3 人	7	0.7
	4 人	1	0.1
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.2
計		968	100.0

問 50-2 現在、結婚されている方（あるいは配偶者の方と死別された方）は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者の兄

XSSNBROE 配偶者の兄弟姉妹人数(兄)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	463	69.6
	1 人	165	24.8
	2 人	31	4.7
	3 人	3	0.5
	4 人	1	0.2
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.3
		計	665
			100.0
888	非該当	303	
		計	968

配偶者の姉

XSSNSISE 配偶者の兄弟姉妹人数(姉)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	451	67.8
	1 人	181	27.2
	2 人	26	3.9
	3 人	3	0.5
	4 人	1	0.2
	5 人以上	1	0.2
999	無回答	2	0.3
		計	665
			100.0
888	非該当	303	
		計	968

配偶者の弟

XSSNBROY 配偶者の兄弟姉妹人数(弟)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	457	68.7
	1 人	177	26.6
	2 人	26	3.9
	3 人	3	0.5
	4 人	0	0.0
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.3
		計	665
888	非該当	303	100.0
		計	968

配偶者の妹

XSSNSISY 配偶者の兄弟姉妹人数(妹)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	470	70.7
	1 人	160	24.1
	2 人	33	5.0
	3 人	0	0.0
	4 人	0	0.0
	5 人以上	0	0.0
999	無回答	2	0.3
		計	665
888	非該当	303	100.0
		計	968

あなたが子どもの頃のことについておうかがいします。

問 50-1 あなたが 15 歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

PREF15 15 歳の頃の居住地(本人):都道府県名

コード		ケース数	%
1	北海道	47	4.9
2	青森	26	2.7
3	岩手	10	1.0
4	宮城	28	2.9
5	秋田	16	1.7
6	山形	12	1.2
7	福島	15	1.5
8	茨城	21	2.2
9	栃木	17	1.8
10	群馬	25	2.6
11	埼玉	26	2.7
12	千葉	36	3.7
13	東京	69	7.1
14	神奈川	44	4.5
15	新潟	20	2.1
16	富山	1	0.1
17	石川	10	1.0
18	福井	9	0.9
19	山梨	6	0.6
20	長野	28	2.9
21	岐阜	22	2.3
22	静岡	27	2.8
23	愛知	54	5.6
24	三重	25	2.6
25	滋賀	12	1.2
26	京都	15	1.5
27	大阪	56	5.8
28	兵庫	44	4.5
29	奈良	22	2.3
30	和歌山	11	1.1
31	鳥取	7	0.7
32	島根	12	1.2
33	岡山	14	1.4
34	広島	12	1.2
35	山口	22	2.3
36	徳島	8	0.8
37	香川	6	0.6
38	愛媛	13	1.3
39	高知	5	0.5
40	福岡	27	2.8
41	佐賀	9	0.9
42	長崎	9	0.9
43	熊本	15	1.5
44	大分	8	0.8
45	宮崎	17	1.8
46	鹿児島	13	1.3
47	沖縄	16	1.7
48	外国	1	0.1
99	無回答	0	0.0
計		968	100.0

問 51-2〔回答票 39〕当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC15 15 歳の頃の居住地(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 大都市	100	10.3
2	(イ) 中小都市	503	52.0
3	(ウ) 町	316	32.6
4	(エ) 村	49	5.1
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

問 51-3 そこは農山漁村地域でしたか。

REMOTE15 15 歳の頃の居住地(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	219	22.6
2	いいえ	738	76.2
9	無回答	11	1.1
計		698	100.0

問 52-1〔回答票 40〕あなたが 20 歳の頃、15 歳の頃と同じ市区町村にお住まいでしたか。15 歳の頃と別の都道府県の場合は、都道府県名をお答えください。

CTVW20 20 歳の頃の居住地(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 15 歳の頃と同じ市区町村	691	71.4
2	(イ) 15 歳の頃と同じ都道府県内の別の市区町村	87	9.0
3	(ウ) 15 歳の頃と別の都道府県	190	19.6
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

「3 (ウ) 15 歳の頃と別の都道府県」の場合
 PREF20 20 歳の頃の居住地(本人)

コード		ケース数	%
1	北海道	5	2.6
2	青森	1	0.5
3	岩手	1	0.5
4	宮城	7	3.7
5	秋田	1	0.5
6	山形	1	0.5
7	福島	1	0.5
8	茨城	5	2.6
9	栃木	1	0.5
10	群馬	5	2.6
11	埼玉	9	4.7
12	千葉	8	4.2
13	東京	43	22.6
14	神奈川	13	6.8
15	新潟	1	0.5
16	富山	0	0.0
17	石川	1	0.5
18	福井	2	1.1
19	山梨	1	0.5
20	長野	2	1.1
21	岐阜	0	0.0
22	静岡	0	0.0
23	愛知	14	7.4
24	三重	0	0.0
25	滋賀	1	0.5
26	京都	11	5.8
27	大阪	11	5.8
28	兵庫	5	2.6
29	奈良	2	1.1
30	和歌山	1	0.5
31	鳥取	0	0.0
32	島根	0	0.0
33	岡山	2	1.1
34	広島	7	3.7
35	山口	2	1.1
36	徳島	1	0.5
37	香川	2	1.1
38	愛媛	1	0.5
39	高知	0	0.0
40	福岡	9	4.7
41	佐賀	1	0.5
42	長崎	2	1.1
43	熊本	4	2.1
44	大分	0	0.0
45	宮崎	1	0.5
46	鹿児島	2	1.1
47	沖縄	0	0.0
48	外国	3	1.6
99	無回答	0	0.0
計		190	100.0
88	非該当	778	
計		968	

問 52-1 に「2（イ）15 歳の頃と同じ都道府県内の別の市区町村」、「3（ウ）15 歳の頃と別の都道府県」の場合

問 52-2〔回答票 41〕20 歳の頃、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC20 20 歳の頃の居住地(本人):居住地の規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 大都市	91	32.9
2	(イ) 中小都市	147	53.1
3	(ウ) 町	35	12.6
4	(エ) 村	4	1.4
9	無回答	0	0.0
計		277	100.0
8	非該当	691	
計		968	

問 53-1〔回答票 42〕あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJB15 15 歳の頃の父:雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	655	67.8
2	(イ) 会社などの役員	33	3.4
3	(ウ) 自営業主・自由業者	229	23.7
4	(エ) 自家営業の手伝い	1	0.1
5	(オ) 内職	0	0.0
6	(カ) 働いていなかった	3	0.3
7	(キ) 父はいなかった	44	4.5
8	わからない	2	0.2
99	無回答	1	0.1
計		968	100.0

問 53-1 に「(ア) 雇われている人」の場合

問 53-2〔回答票 43〕当時のお父さんの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15S 15 歳の頃の父:雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	640	97.7
2	(イ) パート・アルバイト	1	0.2
3	(ウ) 派遣社員	2	0.3
4	(エ) 契約社員	4	0.6
5	(オ) 嘱託	1	0.2
6	わからない	5	0.8
9	無回答	2	0.3
計		655	100.0
8	非該当	313	
計		968	

問 53-2 に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 53-3 [回答票 44] 当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15P 15 歳の頃の父:役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	205	32.0
2	(イ) 職長・班長・組長など	38	5.9
3	(ウ) 係長 (係長相当)	50	7.8
4	(エ) 課長 (課長相当)	85	13.3
5	(オ) 部長 (部長相当)	61	9.5
6	(カ) その他の役職 (具体的に)	0	0.0
7	わからない	185	28.9
9	無回答	16	2.5
計		640	100.0
8	非該当	328	
計		968	

問 54 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

PPJBXX15 15 歳の頃の父:職種

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	11	1.2
504	建築・土木技術者	7	0.8
505	農林技術者	4	0.4
506	情報処理技術者	4	0.4
507	その他の技師・技術者	1	0.1
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	2	0.2
514	看護師(看護婦・看護師)	1	0.1
516	その他の保健医療従事者	2	0.2
518	その他の法務従事者	1	0.1
519	公認会計士、税理士	4	0.4
521	小学校教員	8	0.9
522	中学校教員	6	0.7
523	高等学校教員	4	0.4
524	大学教員	1	0.1
527	宗教家	7	0.8
529	記者、編集者	1	0.1
531	デザイナー	2	0.2
533	音楽家(個人に教授するものを除く)	1	0.1
539	個人教師	4	0.4
541	経営コンサルタント	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	5	0.5
545	管理的公務員	15	1.6
547	地方議員	1	0.1
548	会社役員	11	1.2
549	その他の法人・団体の役員	5	0.5
550	会社・団体等の管理職員	94	10.2
552	郵便局長、電報・電話局長	2	0.2
553	その他の管理的職業従事者	6	0.7

554	総務・企画事務員	73	7.9
556	出荷・受荷事務員	1	0.1
557	営業・販売事務員	1	0.1
558	その他の一般事務員	1	0.1
559	会計事務員	12	1.3
560	郵便・通信事務員	8	0.9
562	その他の外勤事務従事者	2	0.2
563	運輸事務員	7	0.8
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	1	0.1
566	小売店主	32	3.5
567	卸売店主	8	0.9
568	飲食店主	7	0.8
569	販売店員	10	1.1
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.1
573	外交員(保険、不動産を除く)	46	5.0
574	保険代理人・外交員	5	0.5
575	不動産仲買人・売買人	8	0.9
577	その他の販売類似職業従事者	1	0.1
579	理容師、美容師	4	0.4
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	10	1.1
583	給仕係	1	0.1
584	スチュワーデス、スチュワード	1	0.1
586	娯楽場等の接客員	2	0.2
587	旅行・観光案内人	1	0.1
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
593	自衛官	7	0.8
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	5	0.5
595	消防員	3	0.3
596	看守、守衛、監視員	7	0.8
599	農耕・養蚕作業	22	2.4
600	植木職、造園師	2	0.2
601	畜産作業	1	0.1
604	漁業作業	7	0.8
606	電車・機関車運転士	3	0.3
607	自動車運転者	68	7.4
608	船長・航海士(漁船を除く)、水先人	1	0.1
614	その他の運輸従事者	1	0.1
618	郵便・電報外務員	3	0.3
620	採鉱員、採炭員	1	0.1
624	石工	2	0.2
625	ガラス・セメント製品製造作業	4	0.4
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	3	0.3
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	0.1
629	化学製品製造作業	5	0.5
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	12	1.3
631	鉄工、板金工	13	1.4
632	金属溶接工	3	0.3
633	一般機械組立工・修理工	24	2.6
634	電気機械器具組立工・修理工	12	1.3
635	自動車組立工・整備工	12	1.3
636	鉄道車両組立工・修理工	2	0.2

637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	2	0.2	
639	自転車組立工・修理工	1	0.1	
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	3	0.3	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	4	0.4	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	3	0.3	
648	製糸作業者	1	0.1	
649	織布工、紡織作業者	1	0.1	
651	洋服・和服仕立職	3	0.3	
652	縫製工、裁断工	6	0.7	
653	製材工、木工	2	0.2	
654	指物職、家具職、建具職	4	0.4	
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業者	1	0.1	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	6	0.7	
658	印刷・製本作業者	3	0.3	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	1	0.1	
661	塗装工、画工、看板工	6	0.7	
663	表具師、内張工	1	0.1	
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工	1	0.1	
670	製図工、現図工	6	0.7	
672	その他の技能工・生産工程作業者	3	0.3	
674	起重機・建設機械運転作業者	2	0.2	
677	電気工事・電話工事作業者	14	1.5	
679	左官、とび職	10	1.1	
680	れんが積工、配管工	7	0.8	
682	土工、道路工夫	15	1.6	
683	鉄道線路工夫	2	0.2	
684	現場監督、その他の建設作業者	10	1.1	
685	倉庫夫、仲仕	1	0.1	
686	運搬労務者	1	0.1	
687	清掃員	6	0.7	
688	その他の労務作業者	2	0.2	
702	大工	36	3.9	
999	不明、無回答	75	0.1	
		計	921	100.0
998	非該当	47		
		計	968	

PPJXXE08 15歳の頃の父:職種(ISCO08)

コード		ケース数	%
	Managers	98	10.6
	Professionals	75	8.1
	Technicians and associate professionals	120	13.0
	Clerical support workers	102	11.1
	Service and sales workers	98	10.6
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	32	3.5
	Craft and related trades workers	173	18.8
	Plant and machine operators, and assemblers	122	13.2
	Elementary occupations	21	2.3
	Armed forces occupations	0	0.0
99999	分類不能、不明、無回答	80	8.7
	計	921	100.0
88888	非該当	47	
	計	968	

問 55〔回答票 45〕お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

PPJBSZ15 15歳の頃の父:企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	70	7.6
2	(イ) 小企業	251	27.3
3	(ウ) 中企業	157	17.0
4	(エ) 大企業	50	5.4
5	(オ) 大手大企業	124	13.5
6	(カ) 官公庁	129	14.0
7	わからない	136	14.8
9	無回答	4	0.4
	計	921	100.0
8	非該当	47	
	計	968	

問 56〔回答票 46〕あなたが 15歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15 15歳の頃の母:就労地位

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事はもっていなかった	249	25.7
2	(イ) 臨時雇用・パート・アルバイト	318	32.9
3	(ウ) 常時雇用:一般職・役職なし	161	16.6
4	(エ) 常時雇用:管理職	9	0.9
5	(オ) 常時雇用:専門的な仕事	33	3.4
6	(カ) 常時雇用:仕事内容はわからない	9	0.9
7	(キ) 自営業・家族従業者:農林漁業	96	9.9
8	(ク) 自営業・家族従業者:農林漁業以外	50	5.2
9	(ケ) 内職	13	1.3
10	(コ) 経営者・役員	6	0.6
11	(サ) 母はいなかった	11	1.1
12	わからない	10	1.0
99	無回答	3	0.3
	計	968	100.0

問 57〔回答票 47〕あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。
あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱い
でお答えください。

XXLSTSCH 最終学校(本人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	0	0.0
2	(イ) 旧制高等小学校	0	0.0
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	0	0.0
4	(エ) 旧制実業・商業学校	0	0.0
5	(オ) 旧制師範学校	0	0.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	0	0.0
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	0	0.0
8	(ク) 新制中学校	29	3.0
9	(ケ) 新制高校	488	50.4
10	(コ) 新制高専	5	0.5
11	(サ) 新制短大	127	13.1
12	(シ) 新制大学	281	29.0
13	(ス) 新制大学院	33	3.4
14	わからない	0	0.0
16	大学校	3	0.3
99	無回答	2	0.2
計		968	100.0

SSLSTSCH 最終学校(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	0	0.0
2	(イ) 旧制高等小学校	0	0.0
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	0	0.0
4	(エ) 旧制実業・商業学校	0	0.0
5	(オ) 旧制師範学校	0	0.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	0	0.0
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	0	0.0
8	(ク) 新制中学校	12	1.2
9	(ケ) 新制高校	329	34.0
10	(コ) 新制高専	7	0.7
11	(サ) 新制短大	70	7.2
12	(シ) 新制大学	216	22.3
13	(ス) 新制大学院	22	2.3
14	わからない	3	0.3
15	結婚したことはない・離別した	305	31.5
99	無回答	4	0.4
計		968	100.0

PPLSTSCH 最終学校(父親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	4	0.4
2	(イ) 旧制高等小学校	2	0.2
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	9	0.9
4	(エ) 旧制実業・商業学校	0	0.0
5	(オ) 旧制師範学校	0	0.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	3	0.3
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	1	0.1
8	(ク) 新制中学校	167	17.3
9	(ケ) 新制高校	406	41.9
10	(コ) 新制高専	11	1.1
11	(サ) 新制短大	12	1.2
12	(シ) 新制大学	198	20.5
13	(ス) 新制大学院	12	1.2
14	わからない	118	12.2
99	無回答	25	2.6
計		968	100.0

MMLSTSCH 最終学校(母親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	1	0.1
2	(イ) 旧制高等小学校	0	0.0
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	2	0.2
4	(エ) 旧制実業・商業学校	0	0.0
5	(オ) 旧制師範学校	0	0.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	3	0.3
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	0	0.0
8	(ク) 新制中学校	159	16.4
9	(ケ) 新制高校	519	53.6
10	(コ) 新制高専	11	1.1
11	(サ) 新制短大	79	8.2
12	(シ) 新制大学	59	6.1
13	(ス) 新制大学院	1	0.1
14	わからない	108	11.2
99	無回答	26	2.7
計		968	100.0

問 58 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH 最終学校の卒業・中退(本人)

コード		ケース数	%
1	卒業	926	95.7
2	中退	33	3.4
3	在学中 (年生)	6	0.6
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

XGRADE 在学中の場合の学年(本人)

コード		ケース数	%
実数記入	1 年生	1	16.7
	2 年生	1	16.7
	3 年生	0	0.0
	4 年生	2	33.3
	6 年生	1	16.7
99	無回答	1	16.7
計		6	100.0
88	非該当	962	
計		968	

問 57 で本人が (ケ) 新制高校、(コ) 新制高専、(サ) 新制短大 (シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に

問 59-1 [回答票 48] あなたが通った高校で学んだ学科は何でしたか。2 つ以上の場合は主な学科を 1 つお答えください。

XHSSUB 高校:学んだ学科

コード		ケース数	%
1	(ア) 普通科	664	70.9
2	(イ) 工業に関する学科	81	8.6
3	(ウ) 商業に関する学科	97	10.4
4	(エ) 農業に関する学科	19	2.0
5	(オ) 家庭・家政に関する学科	32	3.4
6	(カ) その他の学科 (具体的に)	37	3.9
7	(キ) 高校には行っていない	6	0.6
8	わからない	1	0.1
99	無回答	0	0.0
計		937	100.0
88	非該当	31	
計		968	

問 59-2 [回答票 49] その高校では、どのくらいの割合の人が大学・短大に進学しましたか。

XHSRATE 高校:進学率

コード		ケース数	%
1	(ア) ほとんど全員	209	22.4
2	(イ) 7～8 割程度	197	21.2
3	(ウ) 半数くらい	167	17.9
4	(エ) 2～3 割程度	198	21.3
5	(オ) ほとんどいない	102	11.0
6	わからない	57	6.1
9	無回答	1	0.1
計		931	100.0
8	非該当	37	
計		968	

問 60-1 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。

XSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験(本人)

コード		ケース数	%
1	通ったことがある	198	20.5
2	通ったことがない	768	79.3
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

問 60-2 その学校であなたが学んだ学科もしくは分野を教えてください。複数の専門学校・専修学校に通った場合は、最後に通った専門学校・専修学校での学科もしくは分野を教えてください。

XXSPSTDY 専修学校・専門学校:学科・分野

コード		ケース数	%
21	工業関係	52	26.3
22	農業関係	0	0.0
23	医療関係	46	23.2
24	衛生関係	28	14.1
25	教育・社会福祉関係	12	6.1
26	商業実務関係	19	9.6
27	服飾・家政関係	3	1.5
28	文化・教養関係	29	14.6
29	その他	5	2.5
99	無回答	4	2.0
計		198	100.0
88	非該当	770	
計		968	

問 60-3 [回答票 50] その専門学校・専修学校に通った時期は、問 57 の「本人」の回答より前ですか、後ですか、同時期ですか。

WHNSPSCH 専修学校・専門学校:通った時期

コード		ケース数	%
1	前	3	1.5
2	後	184	92.9
3	同時期	9	4.5
9	無回答	2	1.0
計		198	100.0
8	非該当	770	
計		968	

問 60-4 [回答票 51] その専門学校・専修学校で受けた教育は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。現在仕事をなさっていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

USFLSPS 専修学校・専門学校:教育が仕事に役立った程度

コード		ケース数	%
1	(ア) とても役立っている (とても役立った)	92	46.5
2	(イ) ある程度役立っている (ある程度役立った)	47	23.7
3	(ウ) あまり役立っていない (あまり役立たなかった)	21	10.2
4	(エ) ほとんど役立っていない (ほとんど役立たなかった)	36	18.2
5	(オ) 働いたことがない	1	0.5
9	無回答	1	0.5
計		198	100.0
8	非該当	770	
計		968	

問 60-5 その学校であなたは、高等課程を修了しましたか。

DOSPSUSC 専修学校・専門学校: 高等課程の修了

コード		ケース数	%
1	修了した	148	74.7
2	修了してない	39	19.7
9	無回答	11	5.6
計		198	100.0
8	非該当	770	
計		968	

問 57 で本人が (コ) 新制高専、(サ) 新制短大、(シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に
問 61-1 [回答票 52] あなたが通った (または現在通っている) 問 57 の「本人」の回答は、国立でし
か、公立でしたか、あるいは私立 (わたくしりつ) でしたか。

XUPUBLIC 大学など: 国・公・私立

コード		ケース数	%
1	(ア) 国立	76	16.9
2	(イ) 公立	33	7.3
3	(ウ) 私立	338	75.3
4	わからない	1	0.2
9	無回答	1	0.2
計		449	100.0
8	非該当	519	
計		968	

問 61-2 [回答票 53] その学校でのあなたの学部・学科を教えてください。

XXSCHDPT 大学など: 学部

コード		ケース数	%
101	機械工学科	0	0.0
102	電気工学科	2	0.4
103	電子制御工学科	1	0.2
104	情報工学科	0	0.0
105	物質工学科	1	0.2
106	建築学科	0	0.0
107	環境都市工学科	0	0.0
108	商船学科	0	0.0
120	工学系学科	0	0.0
201	英文 (学) 科	22	4.9
202	国文 (学) 科	11	2.4
203	経済 (学) 科	3	0.7
204	商業 (学) 科	4	0.9
205	看護 (学) 科	4	0.9
206	社会福祉 (学) 科	2	0.4
207	家政 (学) 科	11	2.4
208	生活科学 (学) 科	5	1.1
209	食物栄養 (学) 科	17	3.8
210	服飾 (学) 科	3	0.7
211	保育 (学) 科・幼児教育 (学) 科	28	6.2
212	音楽 (学) 科	5	1.1
213	デザイン (学) 科	2	0.4
220	文学系学科	1	0.2
221	人間関係	0	0.0

225	秘書科	1	0.2
226	医療事務	0	0.0
230	工学系学科	1	0.2
231	情報関係	2	0.4
240	農業関係	0	0.0
241	生物系学科	0	0.0
242	造園	0	0.0
250	歯科	0	0.0
251	医療関係	0	0.0
252	環境・衛生	0	0.0
253	介護	0	0.0
254	動物介護	0	0.0
260	体育関係	1	0.2
261	保健関係	0	0.0
270	芸術系学科	0	0.0
280	観光	0	0.0
290	普通科	0	0.0
301	文学部	22	4.9
302	外国語学部	8	1.8
303	人文学部	5	1.1
304	法学部	24	5.3
305	政経学部	3	0.7
306	経済学部	35	7.8
307	商学部	12	2.7
308	経営学部	10	2.2
309	社会学部	7	1.6
310	工学部	45	10.0
311	理工学部	9	2.0
312	理学部	2	0.4
313	農学部	11	2.4
314	薬学部	6	1.3
315	医学部	2	0.4
316	看護学部	2	0.4
317	社会福祉学部	12	2.7
318	家政学部	6	1.3
319	生活科学部	3	0.7
321	教育学部	28	6.2
322	芸術学部	6	1.3
323	音楽学部	4	0.9
330	歯学部	1	0.2
340	文系学部	1	0.2
341	教養・人間関係・心理・国際文化	5	1.1
342	国際コミュニケーション	1	0.2
343	社会科学系学部	0	0.0
350	産業系学部	0	0.0
360	情報	0	0.0
370	医療技術関係	0	0.0
380	スポーツ・体育	5	1.1
390	普通科	0	0.0
401	文学研究科	2	0.4
402	外国語学研究科	1	0.2
403	人文科学研究科	3	0.7

404	法学研究科	0	0.0	
405	政治学研究科	0	0.0	
406	法科大学院	0	0.0	
407	経済学研究科	2	0.4	
408	商学研究科	0	0.0	
409	経営学研究科	2	0.4	
410	社会学研究科	1	0.2	
411	工学研究科	10	2.2	
412	理工学研究科	5	1.1	
413	理学研究科	2	0.4	
414	農学研究科	0	0.0	
415	薬学研究科	1	0.2	
416	医学研究科	2	0.4	
417	看護学研究科	1	0.2	
418	社会福祉学研究科	0	0.0	
419	教育学研究科	0	0.0	
420	芸術学研究科	1	0.2	
421	音楽研究科	0	0.0	
440	文系研究科	0	0.0	
441	人間文化創成	0	0.0	
442	文化人類学	0	0.0	
443	総合科学	0	0.0	
450	理系研究科	0	0.0	
451	危機管理	0	0.0	
452	新領域創成	0	0.0	
453	情報生産システム	0	0.0	
455	情報	0	0.0	
460	獣医学	0	0.0	
501	農業大学校	2	0.4	
502	職業能力開発大学校	1	0.2	
777	その他	7	1.6	
999	無回答	3	0.7	
		計	449	100.0
888	非該当		519	
		計	968	

(全員に)

問 62 [回答票 54] あなたが通った（または現在通っている）_____（問 57 の「本人」の回答）で受けた教育は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。現在仕事をなさっていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

USFLLSTS 最終学校の教育が仕事に役立った程度

コード		ケース数	%
1	(ア) とても役立っている (とても役立った)	193	19.9
2	(イ) ある程度役立っている (ある程度役立った)	297	30.7
3	(ウ) あまり役立っていない (あまり役立たなかった)	270	27.9
4	(エ) ほとんど役立っていない (ほとんど役立たなかった)	193	19.9
5	(オ) 働いたことがない	9	0.9
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

16 ページ問 57 の配偶者の学歴について答えた人にものみ

問 63 あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

SSDOLSTS 最終学校の卒業・中退(配偶者)

コード		ケース数	%
1	卒業	643	98.0
2	中退	12	1.8
3	在学中 (年生)	0	0.0
9	無回答	1	0.2
計		656	100.0
8	非該当	312	
計		968	

問 64 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

PSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	通ったことがある	134	20.4
2	通ったことがない	516	78.7
9	無回答	6	0.9
計		656	100.0
8	非該当	312	
計		968	

(全員に)

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

問 65 [回答票 55] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB 初職の就労時期

コード		ケース数	%
1	(ア) すぐついた (3ヶ月たたないうちについた)	854	88.2
2	(イ) 3ヶ月以上たってからついた	104	10.7
3	(ウ) 仕事についたことはない	9	0.9
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

問 65 に「(ア) すぐついた (3 ヶ月たたないうちについた)」、「(イ) 3 ヶ月以上たってからついた」の場合

問 66-1〔回答票 56〕あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TP1STJB 初職の雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	936	97.7
2	(イ) 会社などの役員	0	0.0
3	(ウ) 自営業主・自由業者	8	0.8
4	(エ) 自家営業の手伝い	14	1.5
5	(オ) 内職	0	0.0
6	わからない	0	0.0
9	無回答	0	0.0
計		958	100.0
8	非該当	10	
計		968	

問 66-1 に「(ア) 雇われている人」の場合

問 66-2〔回答票 57〕当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TP1STJBS 初職の雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	794	84.8
2	(イ) パート・アルバイト	104	11.1
3	(ウ) 派遣社員	8	0.9
4	(エ) 契約社員	25	2.7
5	(オ) 嘱託	2	0.2
6	わからない	1	0.1
9	無回答	2	0.2
計		936	100.0
8	非該当	32	
計		968	

問 66-2 に「(ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 66-3〔回答票 58〕当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPFSTJBP 初職の雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	751	94.6
2	(イ) 職長・班長・組長など	5	0.6
3	(ウ) 係長 (係長相当)	4	0.5
4	(エ) 課長 (課長相当)	2	0.3
5	(オ) 部長 (部長相当)	0	0.0
6	(カ) その他の役職	0	0.0
7	わからない	0	0.0
9	無回答	32	4.0
計		794	100.0
8	非該当	174	
計		968	

問 67 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXFSTJB 初職の職種

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	1	0.1
502	人文科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	13	1.4
504	建築・土木技術者	4	0.4
506	情報処理技術者	18	1.9
508	医師	2	0.2
510	薬剤師	4	0.4
511	助産師(助産婦)	1	0.1
513	栄養士	8	0.8
514	看護師(看護婦・看護師)	31	3.2
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	2	0.2
516	その他の保健医療従事者	15	1.6
520	幼稚園教員	8	0.8
521	小学校教員	14	1.5
522	中学校教員	7	0.7
523	高等学校教員	4	0.4
525	盲・ろう・養護学校教員	1	0.1
527	宗教家	1	0.1
529	記者、編集者	1	0.1
531	デザイナー	2	0.2
532	写真家、カメラマン	1	0.1
537	保育士(保母、保父)	19	2.0
538	社会福祉事業専門職員	3	0.3
539	個人教師	9	0.9
541	経営コンサルタント	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	4	0.4
554	総務・企画事務員	113	11.8
555	受付・案内事務員	31	3.2
556	出荷・受荷事務員	7	0.7
557	営業・販売事務員	28	2.9
558	その他の一般事務員	12	1.3
559	会計事務員	46	4.8
560	郵便・通信事務員	1	0.1
561	集金人	1	0.1
562	その他の外勤事務従事者	1	0.1
563	運輸事務員	1	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	7	0.7
565	電子計算機等操作員	13	1.4
566	小売店主	1	0.1
567	卸売店主	1	0.1
568	飲食店主	1	0.1
569	販売店員	95	9.9
572	商品仲立人	1	0.1
573	外交員(保険、不動産を除く)	50	5.2
574	保険代理人・外交員	1	0.1
577	その他の販売類似職業従事者	3	0.3
578	家政婦、家事サービス職業従事者	14	1.5

579	理容師、美容師	17	1.8
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	18	1.9
583	給仕係	29	3.0
586	娯楽場等の接客員	7	0.7
587	旅行・観光案内人	3	0.3
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
592	その他のサービス職業従事者	8	0.8
593	自衛官	4	0.4
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	2	0.2
595	消防員	1	0.1
596	看守、守衛、監視員	5	0.5
599	農耕・養蚕作業者	1	0.1
600	植木職、造園師	1	0.1
601	畜産作業者	1	0.1
607	自動車運転者	14	1.5
618	郵便・電報外務員	1	0.1
623	陶磁器工、絵付作業者	1	0.1
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	2	0.2
629	化学製品製造作業者	4	0.4
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	7	0.7
631	鉄工、板金工	2	0.2
632	金属溶接工	1	0.1
633	一般機械組立工・修理工	23	2.4
634	電気機械器具組立工・修理工	20	2.1
635	自動車組立工・整備工	16	1.7
636	鉄道車両組立工・修理工	2	0.2
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	8	0.8
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	9	0.9
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造作業者	10	1.0
648	製糸作業者	1	0.1
649	織布工、紡織作業者	1	0.1
651	洋服・和服仕立職	1	0.1
652	縫製工、裁断工	5	0.5
653	製材工、木工	1	0.1
654	指物職、家具職、建具職	2	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	3	0.3
658	印刷・製本作業者	5	0.5
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	2	0.2
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業者	1	0.1
661	塗装工、画工、看板工	3	0.3
670	製図工、現図工	11	1.1
672	その他の技能工・生産工程作業者	6	0.6
675	その他の定置機関運転作業者	1	0.1
676	発電員、変電員	3	0.3
677	電気工事・電話工事作業者	8	0.8
679	左官、とび職	6	0.6
680	れんが積工、配管工	1	0.1
682	土工、道路工夫	3	0.3
683	鉄道線路工夫	1	0.1
684	現場監督、その他の建設作業者	7	0.7

685	倉庫夫、仲仕	6	0.6
686	運搬労務者	7	0.7
687	清掃員	5	0.5
688	その他の労務作業	6	0.6
701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー	10	1.0
702	大工	7	0.7
703	教員	1	0.1
999	不明、無回答	22	2.3
		計	959
998	非該当	9	100.0
		計	968

問 68 [回答票 59] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SZSTFFST 初職の企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	4	0.4
2	(イ) 2～4 人	35	3.7
3	(ウ) 5～9 人	61	6.4
4	(エ) 10～29 人	119	12.4
5	(オ) 30～99 人	117	12.2
6	(カ) 100～299 人	124	12.9
7	(キ) 300～499 人	59	6.2
8	(ク) 500～999 人	64	6.7
9	(ケ) 1,000～1,999 人	83	8.7
10	(コ) 2,000～9,999 人	85	8.9
11	(サ) 1 万人以上	60	6.3
12	(シ) 官公庁	64	6.7
13	わからない	79	8.2
99	無回答	4	0.4
		計	958
88	非該当	10	100.0
		計	968

(全員に)最後に、あなたの結婚歴についておうかがいします。

問 69-1 あなたはこれまでに結婚したことがありますか。ある方は何回ありますか。

XMARRY 結婚経験

コード		ケース数	%
1	結婚したことがある	707	73.0
2	結婚したことがない	260	26.9
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

NUMMARRY 結婚の回数

コード		ケース数	%
実数記入	1	678	70.0
	2	25	2.6
	3	3	0.3
	4	1	0.1
計		707	100.0
88	非該当	261	
計		968	

問 69-1 に「1 結婚したことがある」の場合

問 69-1 結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

AGE1MG 初婚年齢

コード		ケース数	%
実数記入	15～19 歳	15	2.1
	20～29 歳	524	74.1
	30～39 歳	155	21.9
	40～49 歳	8	1.1
	50～59 歳	0	0.0
	60～69 歳	0	0.0
999	無回答	5	0.7
計		707	100.0
888	非該当	261	
計		968	

AGE2MG 結婚した年齢:2 回目

コード		ケース数	%
実数記入	15～19 歳	0	0.0
	20～29 歳	7	24.1
	30～39 歳	19	65.5
	40～49 歳	2	6.9
	50～59 歳	0	0.0
	60～69 歳	0	0.0
999	無回答	1	3.4
計		29	100.0
888	非該当	939	
計		968	

AGE[3-4]MG 結婚した年齢:[3-4]回目

これらの変数の単純集計は記載していません。

[調査員記入]

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP 調査員への質問:回答者の協力度

コード		ケース数	%
1	とても協力的	678	70.0
2	どちらかといえば協力的	241	24.9
3	それほど協力的ではなかった	46	4.8
4	まったく協力的ではなかった	2	0.2
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND 調査員への質問:回答者の理解度

コード		ケース数	%
1	非常に良い	680	70.2
2	どちらかといえば良い	268	27.7
3	あまり良くない	18	1.9
4	まったく良くない	1	0.1
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA 調査員への質問:回答者の居住地域

コード		ケース数	%
1	工場の多い地域	8	0.8
2	商店・事業所の多い地域	80	8.3
3	主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）	336	34.7
4	主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）	436	45.0
5	農山漁村	99	10.2
6	その他	3	0.3
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

F6-1 対象者の家の種類はどれでしたか。

TPHOUSE 調査員への質問:回答者の居住形態

コード		ケース数	%
1	一戸建て	721	74.5
2	集合住宅	246	25.4
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

(F6-1「2 集合住宅」の場合)

F6-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

AUTOLOCK 集合住宅でのオートロックの有無

コード		ケース数	%
1	はい	55	22.4
2	いいえ	185	75.2
9	無回答	6	2.4
計		246	100.0
8	非該当	722	
計		968	

F7 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

PROC 調査手順(留置／面接の順序)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	面接→留置	805	83.2
2	留置→面接	161	16.6
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

F8 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

DURATION 調査所要時間(分)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	7～19 分	152	15.7
	20～29 分	555	57.3
	30～39 分	203	21.0
	40～49 分	45	4.6
	50～59 分	8	0.8
	60 分以上	2	0.2
999	無回答	3	0.3
計		968	100.0

面接調査票冒頭 回収状況欄

DATE 面接完了日

MONTH 面接完了日:月

DAY 面接完了日:日

DATEB 留置回収完了日

MONTHB 留置回収完了日:月

DAYB 留置回収完了日:日

これらの変数の単純集計は記載していません。

WEIGHT ウェイト

この変数の単純集計は記載していません。

園部 香里
木下 翔太郎
西川 一二
孟 哲男

Ⅱ.2 基礎集計・コード表：留置調査票

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV テレビ視聴時間

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 時間くらい	52	5.4
	1 時間くらい	249	25.7
	2 時間くらい	227	23.5
	3 時間くらい	204	21.1
	4 時間くらい	106	11.0
	5 時間くらい	63	6.5
	6 時間くらい	36	3.7
	7 時間くらい	7	0.7
	8 時間くらい	3	0.3
	9 時間くらい	0	0.0
	10 時間くらい	8	0.8
	11 時間以上	7	0.7
999	無回答	6	0.6
計		968	100.0

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ 1ヶ月の読書冊数

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
0	ほとんど読まない	561	58.0
1	1 冊程度	226	23.3
2	2 冊程度	84	8.7
3	3 冊程度	40	4.1
4	4 冊以上	51	5.3
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP 新聞を読む頻度

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほぼ毎日	310	32.0
2	週数回	144	14.9
3	週1回程度	71	7.3
4	それ以下	123	12.7
5	まったく読まない	316	32.6
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q4 あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。

FQ6NWSIN インターネットでニュース記事を読む頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	654	67.6
2	週数回	146	15.1
3	週 1 回程度	48	5.0
4	それ以下	33	3.4
5	まったく読まない	39	4.0
6	インターネットは利用していない	45	4.6
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT 定期的に行なうスポーツ:頻度

コード		ケース数	%
1	週に数回以上	144	14.9
2	週に 1 回程度	175	18.1
3	月に 1 回程度	88	9.1
4	年に数回程度	91	9.4
5	ほとんどしない	465	48.0
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒の夕食

FQ7FFDNR 家族と一緒の夕食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	574	59.3
2	週に数回	223	23.0
3	週に 1 回程度	79	8.2
4	月に 1 回程度	19	2.0
5	年に数回	21	2.2
6	年に 1 回程度	3	0.3
7	まったくしていない	45	4.6
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

B 友人との会食や集まり

FQ7FRSEE 友人との会食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	2	0.2
2	週に数回	37	3.8
3	週に 1 回程度	110	11.4
4	月に 1 回程度	332	34.3
5	年に数回	323	33.4
6	年に 1 回程度	63	6.5
7	まったくしていない	96	9.9
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

C 夕食の用意

FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	410	42.4
2	週に数回	120	12.4
3	週に1回程度	79	8.2
4	月に1回程度	74	7.6
5	年に数回	90	9.3
6	年に1回程度	18	1.9
7	まったくしていない	173	17.9
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

D 洗濯

FQ7WASH 洗濯:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	395	40.8
2	週に数回	160	16.5
3	週に1回程度	95	9.8
4	月に1回程度	43	4.4
5	年に数回	66	6.8
6	年に1回程度	19	2.0
7	まったくしていない	186	19.2
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

E 買い物(日用品や食料品の買い物)

FQ7SHOP 買い物:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	171	17.7
2	週に数回	387	40.0
3	週に1回程度	220	22.7
4	月に1回程度	83	8.6
5	年に数回	38	3.9
6	年に1回程度	7	0.7
7	まったくしていない	58	6.0
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

F 家の掃除

FQ7CLEAN 家の掃除:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	174	18.0
2	週に数回	258	26.7
3	週に1回程度	251	25.9
4	月に1回程度	121	12.5
5	年に数回	72	7.4
6	年に1回程度	15	1.5
7	まったくしていない	72	7.4
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

G ゴミ出し

FQ7GARB ゴミ出し:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	90	9.3
2	週に数回	455	47.0
3	週に1回程度	121	12.5
4	月に1回程度	70	7.2
5	年に数回	62	6.4
6	年に1回程度	22	2.3
7	まったくしていない	144	14.9
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q7 あなたは、普段の生活で外出する際に（通勤・通学を含む）、どの移動手段を用いていますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

TRNBIKE～TRNWALK 移動手段

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
TRNBIKE	自転車	263	27.2
TRNMTRBK	バイク	61	6.3
TRNTRAIN	電車	261	27.0
TRNBUS	バス	133	13.7
TRNMCAR	自動車（自分で運転）	714	73.8
TRNFCAR	自動車（家族が運転）	181	18.7
TRNTAXI	タクシー	37	3.8
TRNOTHER	その他の移動手段	0	0.0
TRNWALK	主に徒歩	15	1.5
該当者数		968	100.0

Q8 あなたは過去1年間に、公営ギャンブル（競馬、競輪、競艇など）を何回くらい行ないましたか。
1日に複数レースに賭けた場合も1回と数えます。

FQRACE 公営ギャンブル:頻度(回数/年)

コード		ケース数	%
1	賭けなかった	877	90.6
2	1～2回	45	4.6
3	3～5回	13	1.3
4	6～10回	7	0.7
5	11～20回	9	0.9
6	21回以上	13	1.3
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q9 あなたは過去1年間に、パチンコまたはパチスロを何回くらい行ないましたか。

FQPACHI パチンコ・パチスロ:プレイ頻度(回/年)

コード		ケース数	%
1	やらなかった	815	84.2
2	1年に数回	58	6.0
3	月に1回程度	33	3.4
4	週に1回程度	44	4.5
5	週に2～3回以上	14	1.4
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q10 あなたは過去1年間に、ギャンブルで使った(賭けた)金額に関して、あなたにとって重要な人にウソをつかざるをえなかったことがありますか。パチンコ・パチスロも含まれます。

XGMBLLIE 過去1年間のギャンブル:重要な人へのうそ

コード		ケース数	%
1	ある	31	3.2
2	ない	925	95.6
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

Q11 あなたは過去1年間に、もっとギャンブルを行う回数を増やしたり、大きな金額の賭けが必要だと感じたことがありますか。

XGMBLBET 過去1年間のギャンブル:回数や金額を増やす

コード		ケース数	%
1	ある	29	3.0
2	ない	928	95.9
9	無回答	11	1.1
計		968	100.0

Q12 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ 健康状態(本人)

コード		ケース数	%
1	良い	285	29.4
2	・	282	29.1
3	・	285	29.4
4	・	96	9.9
5	悪い	15	1.5
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q13-1 あなたは煙草(タバコ)を吸いますか。

DOSMOKEX 喫煙経験

コード		ケース数	%
1	現在吸っている	227	23.5
2	以前は吸っていたがやめた	196	20.2
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	542	56.0
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

「1 現在吸っている」の場合

Q13-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE 禁煙努力

コード		ケース数	%
1	はい	119	52.4
2	いいえ	108	47.6
9	無回答	0	0.0
計		227	100.0
8	非該当	741	
計		968	

Q14 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK 飲酒頻度

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	168	17.4
2	週に数回	132	13.6
3	週に1回程度	140	14.5
4	月に1回程度	134	13.8
5	年に数回	162	16.7
6	年に1回程度	32	3.3
7	まったく飲まない	197	20.4
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

Q15 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

A 住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度:居住地域

コード		ケース数	%
1	満足	268	27.7
2	・	333	34.4
3	・	257	26.5
4	・	81	8.4
5	不満	17	1.8
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

B 余暇の過ごし方

ST5LEISY 生活満足度:余暇利用

コード		ケース数	%
1	満足	159	16.4
2	・	324	33.5
3	・	337	34.8
4	・	113	11.7
5	不満	25	2.6
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

C 家庭生活

ST5LIFEY 生活満足度:家庭生活

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	256	26.4
2	・	317	32.7
3	・	300	31.0
4	・	65	6.7
5	不満	19	2.0
9	無回答	11	1.1
計		968	100.0

D 現在の会計の状態

ST5ECNY 生活満足度:家計状態

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	116	12.0
2	・	232	24.0
3	・	338	34.9
4	・	209	21.6
5	不満	63	6.5
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

E 友人関係

ST5FRIY 生活満足度:友人関係

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	225	23.2
2	・	312	32.2
3	・	345	35.6
4	・	61	6.3
5	不満	15	1.5
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

F 健康状態

ST5HLTHY 生活満足度:健康状態

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	189	19.5
2	・	287	29.6
3	・	344	35.5
4	・	111	11.5
5	不満	25	2.6
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

G 配偶者（夫や妻）との関係

ST5SSREL 生活満足度:配偶者との関係

コード		ケース数	%
1	満足	247	25.5
2	・	200	20.7
3	・	155	16.0
4	・	36	3.7
5	不満	15	1.5
6	配偶者はいない	305	31.5
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

Q16 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ 幸福度

コード		ケース数	%
1	幸せ	309	31.9
2	・	348	36.0
3	・	243	25.1
4	・	55	5.7
5	不幸せ	8	0.8
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q17 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない

NOFUTR 希望のなさ:将来の希望が持てない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	28	2.9
2	どちらかといえば賛成	99	10.2
3	どちらともいえない	382	39.5
4	どちらかといえば反対	278	28.7
5	強く反対	169	17.5
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

B 私が目指している目標は達成できないだろう

NOGOAL 目標は達成できない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	24	2.5
2	どちらかといえば賛成	86	8.9
3	どちらともいえない	443	45.8
4	どちらかといえば反対	254	26.2
5	強く反対	149	15.4
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

Q18 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

A おちついていておだやかな気分でしたか

SFMHPEAC 精神的健康:おちついた気分

コード		ケース数	%
1	いつも	42	4.3
2	ほとんどいつも	375	38.7
3	ときどき	366	37.8
4	まれに	125	12.9
5	ぜんぜんない	51	5.3
9	無回答	9	0.9
計		968	100.0

B 活力（エネルギー）にあふれていましたか

SFMHENGY 精神的健康:活力にあふれる

コード		ケース数	%
1	いつも	39	4.0
2	ほとんどいつも	250	25.8
3	ときどき	432	44.6
4	まれに	172	17.8
5	ぜんぜんない	65	6.7
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

C おちこんで、ゆううつな気分でしたか

SFMHDPRS 精神的健康:おちこんだ気分

コード		ケース数	%
1	いつも	17	1.8
2	ほとんどいつも	82	8.5
3	ときどき	343	35.4
4	まれに	338	34.9
5	ぜんぜんない	179	18.5
9	無回答	9	0.9
計		968	100.0

Q19 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR 現在の居住地への居住年数

コード		ケース数	%
1	生まれてからずっと	172	17.8
2	1年未満	28	2.9
3	1年～3年未満	78	8.1
4	3年～5年未満	75	7.7
5	5年～10年未満	148	15.3
6	10年～20年未満	224	23.1
7	20年～30年未満	118	12.2
8	30年以上	97	10.0
99	無回答	28	2.9
計		968	100.0

Q20 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

DOECSLP～DOECNONE エコ商品の利用

<u>コード</u>		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
DOECSLP	1 ソーラーパネル（太陽光発電）	101	10.4
DOECMNP	2 深夜電力（深夜電力の割引契約）	181	18.7
DOECWC	3 エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など	179	18.5
DOECLMC	4 低公害車（LPG 車やハイブリッド車、電気自動車など）	112	11.6
DOECNONE	5 いずれも利用していない	616	63.6
該当者数		968	100.0

Q21 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

A 電気は、こまめに消す

FQ4DENKI 電気はこまめに消す

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	447	46.2
2	時々する	381	39.4
3	あまりしない	119	12.3
4	全くしない	19	2.0
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

B 消費電力を減らす工夫をする

FQ4ELC 消費電力を減らす工夫

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	187	19.3
2	時々する	460	47.5
3	あまりしない	264	27.3
4	まったくしない	49	5.1
9	無回答	8	0.8
計		968	100.0

Q22 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE 現在の居住地域に住み続けたいか

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ずっと住みたい	385	39.8
2	当分の間は住みたい	465	48.0
3	できれば他の地域に引越したい	108	11.2
4	すぐにも他の地域に引越したい	7	0.7
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

Q23 あなたが今お住まいの地域の存続について、不安を感じることはありますか。

AXCONTCM 居住地域の存続についての不安感

コード		ケース数	%
1	とても感じている	34	3.5
2	ある程度感じている	213	22.0
3	あまり感じていない	512	52.9
4	まったく感じていない	207	21.4
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

Q24 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	83	8.6
2	平均より少ない	258	26.7
3	ほぼ平均	451	46.6
4	平均より多い	159	16.4
5	平均よりかなり多い	10	1.0
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

Q25 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15 15 歳の頃の世帯収入レベル

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	55	5.7
2	平均より少ない	205	21.2
3	ほぼ平均	466	48.1
4	平均より多い	217	22.4
5	平均よりかなり多い	13	1.3
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

Q26 中学 3 年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。

OP5SCHPF 中学3年生の頃の成績

コード		ケース数	%
1	下の方	97	10.0
2	やや下の方	190	19.6
3	真ん中のあたり	378	39.0
4	やや上の方	197	20.4
5	上の方	103	10.6
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

Q27 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身は、どれに入ると考えますか。

OP5LEVK 階層帰属意識

コード		ケース数	%
1	上	12	1.2
2	中の上	136	14.0
3	中の中	443	45.8
4	中の下	300	31.0
5	下	72	7.4
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q28 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

AXECNSF 将来の経済的不安

コード		ケース数	%
1	とても感じている	181	18.7
2	ある程度感じている	420	43.4
3	どちらともいえない	201	20.8
4	あまり感じていない	145	15.0
5	まったく感じていない	18	1.9
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

Q29-1 あなたは過去5年間に、ひどくけなされたり、怒鳴られたりした経験がありますか。

XSCYP 言葉の暴力の被害経験

コード		ケース数	%
1	はい	374	38.6
2	いいえ	586	60.5
9	無回答	8	0.8
計		968	100.0

「1 はい」の場合

Q29-2 それは誰からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

XSCYPPA~XSCYPST 言葉の暴力の加害者

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
XSCYPPA	1 親	56	15.0
XSCYPSP	2 配偶者・恋人	117	31.3
XSCYPCC	3 子ども	13	3.5
XSCYPFM	4 その他の家族・親族	20	5.3
XSCYPSV	5 職場の上司	192	51.3
XSCYPCW	6 職場の同僚や部下	56	15.0
XSCYPFA	7 その他の知人・友人	29	7.8
XSCYPST	8 知らない人	38	10.2
該当者数		374	100.0

Q30 あなたと、あなたの配偶者が所有している資産（預貯金・株式・不動産などすべて含みます）を合わせると、その総額は時価でどのくらいになりますか。配偶者のいない方はあなた自身の資産についてお答えください。

SZHSASST 資産総額(本人と配偶者)

コード		ケース数	%
1	負債が残る	54	5.6
2	なし	76	7.9
3	300 万円未満	192	19.8
4	500 万円位	119	12.3
5	1000 万円位	72	7.4
6	1500 万円位	34	3.5
7	2000 万円位	63	6.5
8	3000 万円位	35	3.6
9	4000 万円位	12	1.2
10	5000 万円位	16	1.7
11	6000 万円位	4	0.4
12	8000 万円位	4	0.4
13	1 億円～2 億円未満	7	0.7
14	2 億円以上	2	0.2
15	わからない	252	26.0
99	無回答	26	2.7
計		968	100.0

Q31 あなたと、あなたの配偶者は、これまでに、あなたまたは配偶者の親・親族から金銭的援助や土地の贈与を受けたことがありますか（遺産相続も含みます）。総額は時価でおよそどのくらいですか。配偶者のいない方はあなた自身への援助や贈与についてお答えください。

SZHSDEBT 親・親族からの金銭的援助や土地の贈与(本人と配偶者)

コード		ケース数	%
1	なし	458	47.3
2	100 万円未満	87	9.0
3	200 万円位	51	5.3
4	300 万円位	60	6.2
5	500 万円位	44	4.5
6	1000 万円位	34	3.5
7	2000 万円位	18	1.9
8	3000 万円以上	8	0.8
9	わからない	187	19.3
99	無回答	21	2.2
計		968	100.0

Q32-1 あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方はいますか。（あなたと別々に暮らしている方も含めてお答えください）

CRNDFF 介護を必要とする家族の有無

コード		ケース数	%
1	いる	236	24.4
2	いない	726	75.0
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

「1 いる」の場合

Q32-2 あなたは、そのご家族のケアを主にしていますか。

CRGIVFF 回答者が家族の主な介護者

コード		ケース数	%
1	はい	62	26.3
2	いいえ	173	73.3
9	無回答	1	0.4
計		236	100.0
8	非該当	732	
計		968	

Q33 現在、配偶者（夫や妻）はいますか。

MARRYZ 配偶者の有無

コード		ケース数	%
1	現在、配偶者がいる	663	68.5
2	現在、配偶者はいない	305	31.5
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

Q34 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ 健康状態(配偶者)

コード		ケース数	%
1	良い	240	36.2
2	・	203	30.6
3	・	179	27.0
4	・	32	4.8
5	悪い	6	0.9
9	無回答	3	0.5
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

Q35 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 夕食の用意

SSFQ7CK 夕食の用意:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	249	37.6
2	週に数回	62	9.4
3	週に1回程度	49	7.4
4	月に1回程度	42	6.3
5	年に数回	59	8.9
6	年に1回程度	18	2.7
7	まったくしていない	181	27.3
9	無回答	3	0.5
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

B 洗濯

SSFQ7WSH 洗濯:頻度(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほとんど毎日	219	33.0
2	週に数回	97	14.6
3	週に 1 回程度	62	9.4
4	月に 1 回程度	27	4.1
5	年に数回	56	8.4
6	年に 1 回程度	7	1.1
7	まったくしていない	191	28.8
9	無回答	4	0.6
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

C 買い物 (日用品や食料品の買い物)

SSFQ7SHP 買い物:頻度(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほとんど毎日	120	18.1
2	週に数回	202	30.5
3	週に 1 回程度	130	19.6
4	月に 1 回程度	77	11.6
5	年に数回	56	8.4
6	年に 1 回程度	6	0.9
7	まったくしていない	68	10.3
9	無回答	4	0.6
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

D 家の掃除

SSFQ7CLN 家の掃除:頻度(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほとんど毎日	113	17.0
2	週に数回	132	19.9
3	週に 1 回程度	125	18.9
4	月に 1 回程度	71	10.7
5	年に数回	87	13.1
6	年に 1 回程度	18	2.7
7	まったくしていない	113	17.0
9	無回答	4	0.6
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

E ゴミ出し

SSFQ7GRB ゴミ出し:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	82	12.4
2	週に数回	242	36.5
3	週に1回程度	70	10.6
4	月に1回程度	62	9.4
5	年に数回	67	10.1
6	年に1回程度	12	1.8
7	まったくしていない	124	18.7
9	無回答	4	0.6
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

Q36 家計の管理のことについておたずねします。あなた方ご夫婦の場合は、収入をどのように管理していますか。

RR6ACCT 家計管理

コード		ケース数	%
1	夫のこづかい以外は、妻がすべて管理している	364	54.9
2	妻のこづかい以外は、夫がすべて管理している	31	4.7
3	日常の支出以外は、夫が管理している	77	11.6
4	すべての収入をまとめて、必要な額をそこから支出	77	11.6
5	収入の一部を一緒にして、大部分は別々に管理している	60	9
6	それぞれの収入を別々に管理している	44	6.6
9	無回答	10	1.5
計		663	100.0
8	非該当	305	
計		968	

Q37 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA 貧富解消政策への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	223	23
2	どちらかといえば賛成	308	31.8
3	どちらともいえない	347	35.8
4	どちらかといえば反対	55	5.7
5	反対	29	3
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

Q38 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY 支持政党

コード		ケース数	%
1	自民党	234	24.2
2	民主党	24	2.5
3	公明党	30	3.1
4	共産党	20	2.1
5	社民党	6	0.6
6	維新の党	3	0.3
7	おおさか維新の会	16	1.7
8	その他の政党 ()	1	0.1
9	特に支持する政党はない	492	50.8
10	わからない	134	13.8
16	次世代の党	1	0.1
17	生活の党	1	0.1
18	日本のこころ	1	0.1
99	無回答	5	0.5
計		968	100.0

コード「16～18」は「7 その他の政党」の具体的記述から追加した。

Q39 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCCNUM 理想的な子どもの人数(一般論)

コード		ケース数	%
0	0人	5	0.5
1	1人	14	1.4
2	2人	561	58.0
3	3人	356	36.8
4	4人	15	1.5
5	5人以上(具体的に 人)	6	0.6
9	無回答	11	1.1
計		968	100.0

「5 5人以上(具体的に 人)」の場合

APPCCNMX 理想的な子どもの人数:5人以上の場合(具体的記述)

コード		ケース数	%
実数記入	5人	1	16.7
	6人	1	16.7
999	無回答	4	66.7
計		6	100.0
888	非該当	962	
計		968	

Q40 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB 希望する子どもの性別

コード		ケース数	%
1	男の子	442	45.7
2	女の子	480	49.6
9	無回答	46	4.8
計		968	100.0

Q41 あなたは一般に、三世代同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

OP2GNR 三世代同居観

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	望ましい	572	59.1
2	望ましくない	373	38.5
9	無回答	23	2.4
計		968	100.0

Q42 次の A～I の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい

Q4DIVOK 意見についての賛否:離婚

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	賛成	84	8.7
2	どちらかといえば賛成	309	31.9
3	どちらかといえば反対	435	44.9
4	反対	128	13.2
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

B 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい

Q4WWJBIA 意見についての賛否:妻の仕事

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	賛成	81	8.4
2	どちらかといえば賛成	251	25.9
3	どちらかといえば反対	456	47.1
4	反対	166	17.1
9	無回答	14	1.4
計		968	100.0

C なんとんでも女性の幸福は結婚にある

Q4WNMGA 意見についての賛否:女性の幸福

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	賛成	27	2.8
2	どちらかといえば賛成	228	23.6
3	どちらかといえば反対	452	46.7
4	反対	248	25.6
9	無回答	13	1.3
計		968	100.0

D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ

Q4MNCOOK 意見についての賛否:男性の家事

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	賛成	350	36.2
2	どちらかといえば賛成	515	53.2
3	どちらかといえば反対	72	7.4
4	反対	17	1.8
9	無回答	14	1.4
計		968	100.0

E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q4WWHHX 意見についての賛否:性役割分担

コード		ケース数	%
1	賛成	43	4.4
2	どちらかといえば賛成	261	27.0
3	どちらかといえば反対	435	44.9
4	反対	217	22.4
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

F なんといっても男性の幸福は結婚にある

Q4MNMGA 意見についての賛否:男性の幸福

コード		ケース数	%
1	賛成	23	2.4
2	どちらかといえば賛成	248	25.6
3	どちらかといえば反対	442	45.7
4	反対	236	24.4
9	無回答	19	2.0
計		968	100.0

G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える

Q4JBMMCC 意見についての賛否:子どもへの影響

コード		ケース数	%
1	賛成	58	6.0
2	どちらかといえば賛成	233	24.1
3	どちらかといえば反対	449	46.4
4	反対	218	22.5
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

Q4NOCCMG 意見についての賛否:子どもをもつ必要

コード		ケース数	%
1	賛成	190	19.6
2	どちらかといえば賛成	365	37.7
3	どちらかといえば反対	320	33.1
4	反対	77	8.0
9	無回答	16	1.7
計		968	100.0

I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

Q4WWHPHH 意見についての賛否:妻は夫の手助け

コード		ケース数	%
1	賛成	28	2.9
2	どちらかといえば賛成	214	22.1
3	どちらかといえば反対	523	54.0
4	反対	188	19.4
9	無回答	15	1.5
計		968	100.0

Q43 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR 外国人増加の賛否

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	賛成	407	42.0
2	反対	535	55.3
9	無回答	26	2.7
計		968	100.0

Q44 あなたは、以下の職種で働く外国人をどの程度受け入れるのがよいと思いますか。それぞれについてお答えください。

A 工場労働者（食品加工、自動車組立、縫製など）

OPFNWFC 外国人の受入：工場労働者

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	積極的に受け入れる	209	21.6
2	ある程度受け入れる	662	68.4
3	受け入れたくない	91	9.4
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

B 建設作業員（現場労働、資材組立など）

OPFNWNC 外国人の受入：建設作業員

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	積極的に受け入れる	218	22.5
2	ある程度受け入れる	639	66.0
3	受け入れたくない	105	10.8
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

C 農林漁業従事者（野菜や果物の栽培・収穫、酪農など）

OPFNWAG 外国人の受入：農林漁業従事者

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	積極的に受け入れる	236	24.4
2	ある程度受け入れる	626	64.7
3	受け入れたくない	100	10.3
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

D 介護・看護サービス従事者

OPFNWCR 外国人の受入：介護・看護サービス従事者

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	積極的に受け入れる	194	20.0
2	ある程度受け入れる	545	56.3
3	受け入れたくない	223	23.0
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

E 高度専門職従事者（研究者、技術者、経営者など）

OPFNWPR 外国人の受入:高度専門職従事者

コード		ケース数	%
1	積極的に受け入れる	263	27.2
2	ある程度受け入れる	558	57.6
3	受け入れたくない	141	14.6
9	無回答	6	0.6
計		968	100.0

Q45 あなたが生活している地域に外国人が増えると、どのような影響があると思いますか。次の A～D の意見についてお答えください。

A 地域経済が活性化する

OP4FNECN 外国人増加による地域への影響:地域経済の活性化

コード		ケース数	%
1	そう思う	90	9.3
2	どちらかといえばそう思う	406	41.9
3	どちらかといえばそう思わない	370	38.2
4	そう思わない	92	9.5
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

B 地域住民の雇用環境が悪化する

OP4FNEMP 外国人増加による地域への影響:雇用環境の悪化

コード		ケース数	%
1	そう思う	76	7.9
2	どちらかといえばそう思う	306	31.6
3	どちらかといえばそう思わない	488	50.4
4	そう思わない	88	9.1
9	無回答	10	1.0
計		968	100.0

C 地域社会の文化を豊かにする

OP4FNCLT 外国人増加による地域への影響:文化を豊かにする

コード		ケース数	%
1	そう思う	132	13.6
2	どちらかといえばそう思う	434	44.8
3	どちらかといえばそう思わない	303	31.3
4	そう思わない	90	9.3
9	無回答	9	0.9
計		968	100.0

D 地域の治安・風紀が乱れる

OP4FNSFE 外国人増加による地域への影響:治安・風紀が乱れる

コード		ケース数	%
1	そう思う	159	16.4
2	どちらかといえばそう思う	464	47.9
3	どちらかといえばそう思わない	281	29.0
4	そう思わない	53	5.5
9	無回答	11	1.1
計		968	100.0

Q46 公的年金の給付と負担のバランスについて、あなたの考えに近いもの1つに○をつけてください。

OP4PENSN 公的年金の給付と負担のバランス

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	給付水準を下げて、負担を減らす	285	29.4
2	給付水準をある程度下げて、従来どおりの負担を維持する	323	33.4
3	給付水準を維持して、負担をある程度増やす	232	24.0
4	給付水準を上げて、負担を増やす	97	10.0
9	無回答	31	3.2
計		968	100.0

Q47 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

A 近所の人は、お互いに気にかけている

OPNBMTCN 近隣状況: 互いに気にかけている

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくあてはまる	66	6.8
2	あてはまる	328	33.9
3	どちらともいえない	379	39.2
4	あてはまらない	133	13.7
5	まったくあてはまらない	58	6.0
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

B 近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる

OPNBASS 近隣状況: 手助けしてくれる

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくあてはまる	57	5.9
2	あてはまる	286	29.5
3	どちらともいえない	416	43.0
4	あてはまらない	121	12.5
5	まったくあてはまらない	83	8.6
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q48 現在いくつかの自治体において、カジノの合法化に関する議論が起こっています。あなたは賛成ですか、反対ですか。一番近いものに○をつけてください。

OPCASINO カジノ合法化の賛否

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	日本でのカジノの合法化には反対	207	21.4
2	特定の場所に限定するならば、合法化に賛成	401	41.4
3	日本でのカジノの合法化には賛成	36	3.7
4	賛成とも反対とも決められない	144	14.9
5	カジノについて、よく知らない	176	18.2
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q49 あなたは消費税をどのくらいにすべきだと思いますか。

OP7CNSTX 適切な消費税率への意見 2015

コード		ケース数	%
1	0 %	69	7.1
2	3 % (1989～1997 年)	74	7.6
3	5 % (1997～2014 年)	407	42.0
4	8 % (現在)	180	18.6
5	10%	203	21.0
6	11～14%	7	0.7
7	15%以上	25	2.6
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

Q50 日本では所得格差が大きくなりつつあると思いますか。

OP1NCDF 所得格差への意見

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	198	20.5
2	そう思う	309	31.9
3	どちらかといえばそう思う	300	31.0
4	どちらともいえない	117	12.1
5	どちらかといえばそう思わない	27	2.8
6	そう思わない	14	1.4
7	強くそう思わない	2	0.2
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

Q51 最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ○をつけてください。

OP7CMTRA 自分の墓について

コード		ケース数	%
1	私の家（実家）の墓に入りたい	348	36.0
2	配偶者の家の墓に入りたい	111	11.5
3	自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい	149	15.4
4	自分と配偶者だけの墓に入りたい	72	7.4
5	自分一人の墓に入りたい	26	2.7
6	合葬式の共同墓に入りたい	27	2.8
7	墓に入らず、海や山への散骨にしたい	220	22.7
9	無回答	15	1.5
計		968	100.0

Q52-1 あなたは、あなたのご実家の「先祖の墓」を受け継いでいますか。

X1NHRGRV 先祖の墓の受け継ぎ

コード		ケース数	%
1	受け継いでいる	162	16.7
2	まだ受け継いでいないが、将来受け継ぐことになる	313	32.3
3	きょうだい、または他の親族が受け継ぐので、受け継ぐことはない	395	40.8
4	「先祖の墓」はない（どこにあるかわからない）	49	5.1
5	その他	7	0.7
6	永代供養・共同墓に入っている（入ることになっている）	3	0.3
7	決めていない／わからない	27	2.8
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

Q52-2 あなたは、「先祖の墓」をどのようにしたいと思っていますか。

WLMNGGRV 先祖の墓: 今後どのように受け継ぐか

コード		ケース数	%
1	現在の場所で子どもや親族で引き継ぐ	329	69.1
2	お参りしやすい場所に移して、子どもや親族で引き継ぐ	58	12.2
3	合葬式の共同墓（家族以外の人も入る）に移して、家族が引き継ぐ形はとらない	14	2.9
4	永代供養・管理料などを収めて、墓地の管理者（寺や教会など）に管理をお願いする	51	10.7
5	その他	3	0.6
7	決めていない／わからない	6	1.3
9	無回答	15	3.2
計		476	100.0
8	非該当	492	
計		968	

Q53 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME 夫婦別姓意識

コード		ケース数	%
1	当然、妻が名字を改めて、夫の名字を名のるべきだ	145	15
2	現状では、妻が名字を改めて、夫の名字を名のった方がよい	225	23.2
3	夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい	448	46.3
4	一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでよい	138	14.3
9	無回答	12	1.2
計		968	100.0

Q54 年金支給開始年齢や退職年齢が変化していますが、あなたは何歳まで仕事をしたいと思いますか。
すでに退職されている方は、何歳まで仕事をしたかったですか。

AGERETR 何歳まで仕事をしたいか

コード		ケース数	%
1	50 歳より前	33	3.4
2	50 歳くらいまで	40	4.1
3	55 歳くらいまで	51	5.3
4	60 歳くらいまで	286	29.5
5	65 歳くらいまで	359	37.1
6	70 歳くらいまで	138	14.3
7	75 歳くらいまで	19	2
8	76 歳以上	35	3.6
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

Q55 もしチャンスとお金があれば、自分で会社・事業を始めてみたいと思いますか。

OP7STBSN 起業意欲

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	94	9.7
2	そう思う	159	16.4
3	どちらかといえばそう思う	157	16.2
4	どちらともいえない	168	17.4
5	どちらかといえばそう思わない	121	12.5
6	そう思わない	177	18.3
7	強くそう思わない	88	9.1
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q56 あなたが受けた学校教育は、あなたの現在の職務内容に見合っていると思いますか。現在仕事をしていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

OVEREDUC 学校教育は職務内容に見合っている

コード		ケース数	%
1	見合っている	493	50.9
2	職務内容に求められる以上の学校教育を受けた	128	13.2
3	職務内容に求められるほどの学校教育は受けていない	323	33.4
4	仕事についたことはない	9	0.9
9	無回答	15	1.5
計		968	100.0

Q57 あなたの仕事上の能力は、あなたの現在の職務内容に見合っていると思いますか。現在仕事をしていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

DOUSESKL 仕事上の能力は職務内容に見合っている

コード		ケース数	%
1	見合っている	630	65.1
2	職務内容に求められる以上の能力をもっていると思う	152	15.7
3	職務内容に求められる能力をもっていないと思う	167	17.3
4	仕事についたことはない	9	0.9
9	無回答	10	1
計		968	100.0

Q58 この1年間に、あなたは職場やそれ以外の場所で、仕事の技能を高めるための教育・訓練・研修を受けたことがありますか。

XJOBW XJOBOW XJOBNO 技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
XJOBW	職場で受けた	272	28.1
XJOBOW	職場以外の場所で受けた	180	18.6
XJOBNO	受けていない	525	54.2
該当者数		968	100.0

Q59 現在の日本社会では、仕事に関する以下の点について、女性は男性と同じ扱いを受けていると思いますか。

A 就職について

OP5JOB 女性の就業:就職

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	強くそう思う	33	3.4
2	そう思う	206	21.3
3	どちらともいえない	340	35.1
4	そう思わない	347	35.8
5	強くそう思わない	41	4.2
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

B 給与について

OP5WINC 女性の就業:給与

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	強くそう思う	22	2.3
2	そう思う	188	19.4
3	どちらともいえない	321	33.2
4	そう思わない	369	38.1
5	強くそう思わない	67	6.9
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

C 昇進について

OP5WPROM 女性の就業:昇進

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	強くそう思う	23	2.4
2	そう思う	103	10.6
3	どちらともいえない	293	30.3
4	そう思わない	449	46.4
5	強くそう思わない	99	10.2
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

D 雇用の安定について

OP5WJBSC 女性の就業:雇用の安定

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	強くそう思う	19	2
2	そう思う	136	14
3	どちらともいえない	347	35.8
4	そう思わない	378	39
5	強くそう思わない	87	9
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

Q60 あなたは、「従業員の利益を守るためには強い労働組合が必要である」という意見について、賛成ですか、反対ですか。

OP5UNION 強い労働組合の賛否

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	強く賛成	91	9.4
2	賛成	369	38.1
3	どちらともいえない	452	46.7
4	反対	44	4.5
5	強く反対	11	1.1
9	無回答	1	.1
計		968	100.0

Q61 あなたは以下のことについて、どの程度不安を感じていますか。

A 高齢になり仕事からの収入（配偶者の収入も含む）がなくなった後、年金で生活を維持できるか不安だ

OP4FRPSN 老後の不安感:年金生活

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても感じている	600	62
2	ある程度感じている	301	31.1
3	あまり感じていない	60	6.2
4	まったく感じていない	6	0.6
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

B 高齢になり体が不自由になった時に、家族・親族の介護を受けられるか不安だ

OP4FRFCR 老後の不安感:家族・親族の介護

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても感じている	371	38.3
2	ある程度感じている	391	40.4
3	あまり感じていない	186	19.2
4	まったく感じていない	18	1.9
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

C 高齢になり体が不自由になった時に、十分な介護サービスを利用できるか不安だ

OP4FRCRS 老後の不安感:十分な介護サービス

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても感じている	461	47.6
2	ある程度感じている	363	37.5
3	あまり感じていない	132	13.6
4	まったく感じていない	11	1.1
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

Q62 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

OP4TRUST 人への信頼感

コード		ケース数	%
1	ほとんどの場合、信用できる	20	2.1
2	たいていは、信用できる	490	50.6
3	たいていは、用心したほうがよい	387	40.0
4	ほとんどの場合、用心したほうがよい	66	6.8
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q63 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO 人間観(一般):人間の本性

コード		ケース数	%
1	人間の本性は本来「悪」である	29	3.0
2	・	57	5.9
3	・	119	12.3
4	・	331	34.2
5	・	238	24.6
6	・	130	13.4
7	人間の本性は本来「善」である	57	5.9
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

Q64 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

A 大企業

TR3CORPZ 組織への信頼:大企業

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	77	8.0
2	少しは信頼している	665	68.7
3	ほとんど信頼していない	147	15.2
4	わからない	75	7.7
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

B 宗教団体

TR3RLGPZ 組織への信頼:宗教団体

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	9	0.9
2	少しは信頼している	71	7.3
3	ほとんど信頼していない	733	75.7
4	わからない	153	15.8
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

C 学校

TR3SCHLZ 組織への信頼: 学校

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	81	8.4
2	少しは信頼している	702	72.5
3	ほとんど信頼していない	135	13.9
4	わからない	47	4.9
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

D 中央官庁

TR3BCRAZ 組織への信頼: 中央官庁

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	31	3.2
2	少しは信頼している	478	49.4
3	ほとんど信頼していない	276	28.5
4	わからない	178	18.4
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

E 労働組合

TR3UNNZ 組織への信頼: 労働組合

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	37	3.8
2	少しは信頼している	484	50.0
3	ほとんど信頼していない	210	21.7
4	わからない	235	24.3
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

F 新聞

TR3NWSPZ 組織への信頼: 新聞

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	132	13.6
2	少しは信頼している	640	66.1
3	ほとんど信頼していない	136	14.0
4	わからない	58	6.0
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

G 病院

TR3HSPLZ 組織への信頼: 病院

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	165	17.0
2	少しは信頼している	706	72.9
3	ほとんど信頼していない	63	6.5
4	わからない	32	3.3
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

H テレビ

TR3TVZ 組織への信頼:テレビ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	58	6.0
2	少しは信頼している	562	58.1
3	ほとんど信頼していない	288	29.8
4	わからない	58	6.0
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

I 裁判所

TR3SPCAZ 組織への信頼:裁判所

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	171	17.7
2	少しは信頼している	584	60.3
3	ほとんど信頼していない	85	8.8
4	わからない	125	12.9
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

J 学者・研究者

TR3ACDAZ 組織への信頼:学者・研究者

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	110	11.4
2	少しは信頼している	594	61.4
3	ほとんど信頼していない	114	11.8
4	わからない	147	15.2
9	無回答	3	0.3
計		968	100.0

K 国会議員

TR3GMNZ 組織への信頼:国会議員

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	9	0.9
2	少しは信頼している	199	20.6
3	ほとんど信頼していない	640	66.1
4	わからない	118	12.2
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

L 市町村議会議員

TR3CITYZ 組織への信頼:市区町村議会議員

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	14	1.4
2	少しは信頼している	278	28.7
3	ほとんど信頼していない	528	54.5
4	わからない	141	14.6
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

M 自衛隊

TR3DEFZ 組織への信頼: 自衛隊

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	225	23.2
2	少しは信頼している	551	56.9
3	ほとんど信頼していない	80	8.3
4	わからない	110	11.4
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

N 警察

TR3COPZ 組織への信頼: 警察

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	120	12.4
2	少しは信頼している	598	61.8
3	ほとんど信頼していない	179	18.5
4	わからない	69	7.1
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

O 金融機関

TR3FINZ 組織への信頼: 金融機関

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	98	10.1
2	少しは信頼している	605	62.5
3	ほとんど信頼していない	164	16.9
4	わからない	99	10.2
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

Q65 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

A 政治関係の団体や会

MEMPLTGP 組織への所属: 政治団体

コード		ケース数	%
1	はい	10	1.0
2	いいえ	953	98.5
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

B 業界団体・同業者団体

MEMIND 組織への所属: 業界団体

コード		ケース数	%
1	はい	52	5.4
2	いいえ	912	94.2
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

C ボランティアのグループ

MEMVLNTR 組織への所属:ボランティアのグループ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	41	4.2
2	いいえ	922	95.2
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

D 市民運動・消費者運動のグループ

MEMCIVIL 組織への所属:市民運動のグループ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	0	0
2	いいえ	963	99.5
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

E 宗教の団体や会

MEMREL 組織への所属:宗教の団体や会

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	32	3.3
2	いいえ	932	96.3
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

F スポーツ関係のグループやクラブ

MEMSPORT 組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	141	14.6
2	いいえ	823	85
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

G 趣味の会(コーラス・写真・山歩きなど)

MEMHOBBY 組織への所属:趣味の会

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	78	8.1
2	いいえ	885	91.4
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

H 消費生活協同組合(生協)

MEMCOOP 組織への所属:生協

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	163	16.8
2	いいえ	801	82.7
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q66-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL 信仰する宗教の有無(本人)

コード		ケース数	%
1	ある	60	6.2
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	134	13.8
3	ない	773	79.9
9	無回答	1	0.1
計		968	100.0

Q66-2 それは何ですか。

XXRL 信仰する宗教(本人)

コード		ケース数	%
10	仏教	57	29.4
11	禅宗(曹洞宗・臨済宗)	11	5.7
12	天台宗	1	0.5
14	浄土真宗(本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏)	27	13.9
15	真言宗	19	9.8
16	日蓮宗	8	4.1
20	神道	7	3.6
30	キリスト教	3	1.5
31	カトリック	3	1.5
41	創価学会	20	10.3
51	崇教真光・真光	1	0.5
52	天理教	3	1.5
82	日蓮正宗	1	0.5
85	その他	7	3.6
87	わからない	2	1.0
99	無回答	24	12.4
計		194	100.0
88	非該当	774	
計		968	

Q66-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS 信仰の度合い(本人)

コード		ケース数	%
1	熱心である	9	4.6
2	まあまあ熱心である	25	12.9
3	そんなに熱心ではない	151	77.8
9	無回答	9	4.6
計		194	100.0
8	非該当	774	
計		968	

Q67 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような以下の大規模な災害が発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

A 地震

DISQUAKE 災害発生の可能性:地震

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	325	33.6
2	かなり有りうる	245	25.3
3	ある程度有りうる	356	36.8
4	ほとんど有りえない	42	4.3
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

B 津波

DISTSNM 災害発生の可能性:津波

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	76	7.9
2	かなり有りうる	80	8.3
3	ある程度有りうる	191	19.7
4	ほとんど有りえない	621	64.2
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

C 高潮や河川の氾濫による水害

DISFLOOD 災害発生の可能性:高潮や河川の氾濫

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	104	10.7
2	かなり有りうる	136	14.0
3	ある程度有りうる	350	36.2
4	ほとんど有りえない	376	38.8
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

D 豪雪

DISTSNOW 災害発生の可能性:豪雪

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	63	6.5
2	かなり有りうる	86	8.9
3	ある程度有りうる	272	28.1
4	ほとんど有りえない	547	56.5
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

E 噴火による災害

DISVOLC 災害発生の可能性:噴火

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	30	3.1
2	かなり有りうる	32	3.3
3	ある程度有りうる	189	19.5
4	ほとんど有りえない	715	73.9
9	無回答	2	0.2
計		968	100.0

F 土砂災害(地滑り、土石流など)

DISLAND 災害発生の可能性:土砂災害

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	56	5.8
2	かなり有りうる	108	11.2
3	ある程度有りうる	279	28.8
4	ほとんど有りえない	525	54.2
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

G 原子力発電所の事故

DISNUC 災害発生の可能性:原子力発電所の事故

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	55	5.7
2	かなり有りうる	51	5.3
3	ある程度有りうる	245	25.3
4	ほとんど有りえない	617	63.7
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

Q68 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような大規模な災害が発生することに対して、どの程度不安を感じていますか。

AXDIS 災害発生に対する不安

コード		ケース数	%
1	とても不安	131	13.5
2	ある程度不安	372	38.4
3	少し不安	388	40.1
4	まったく不安ではない	77	8.0
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

Q69 日本の原子力政策は、今後どの方向に進めるべきだとあなたは思いますか。

OPNUCPOL 原子力政策への意見

コード		ケース数	%
1	原子炉をさらに増やす	28	2.9
2	今ある原子炉は稼働し、数は増やさない	269	27.8
3	原子炉の数は減らす、全廃はしない	249	25.7
4	原子炉を長期的にはすべて廃止する	315	32.5
5	原子炉を即時全廃する	91	9.4
9	無回答	16	1.7
計		968	100.0

Q70 あなたは、放射性物質による食品の汚染にどの程度不安を感じていますか。

AXFDRAD 放射性物質による食品汚染の不安感

コード		ケース数	%
1	とても不安	163	16.8
2	ある程度不安	292	30.2
3	少し不安	422	43.6
4	まったく不安ではない	87	9.0
9	無回答	4	0.4
計		968	100.0

Q71 あなたの地域で自然災害が起こった場合、あなたの地域の人々は、お互いに協力して当面の危機を乗り切ることができると思いますか。

COMMDIS 自然災害時の地域の人どうしの協力

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	24	2.5
2	そう思う	171	17.7
3	どちらかといえばそう思う	408	42.1
4	どちらともいえない	264	27.3
5	どちらかといえばそう思わない	51	5.3
6	そう思わない	34	3.5
7	強くそう思わない	11	1.1
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

Q72 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

A 大気汚染

ENHMAP 環境被害:大気汚染*

コード		ケース数	%
1	とても深刻	32	3.3
2	ある程度深刻	198	20.5
3	あまり深刻ではない	572	59.1
4	まったく深刻ではない	159	16.4
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

B 水質汚染

ENHMWP 環境被害:水質汚染*

コード		ケース数	%
1	とても深刻	18	1.9
2	ある程度深刻	131	13.5
3	あまり深刻ではない	636	65.7
4	まったく深刻ではない	176	18.2
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

C 土壌汚染

ENHMSP 環境被害:土壌汚染

コード		ケース数	%
1	とても深刻	20	2.1
2	ある程度深刻	108	11.2
3	あまり深刻ではない	643	66.4
4	まったく深刻ではない	190	19.6
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

D 高齢化

ENHMAGNG 地域問題: 高齢化

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても深刻	255	26.3
2	ある程度深刻	481	49.7
3	あまり深刻ではない	201	20.8
4	まったく深刻ではない	26	2.7
9	無回答	5	0.5
計		968	100.0

E 買い物の不便さ(店が遠いなど)

ENHMSHOP 地域問題: 買い物の不便さ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても深刻	83	8.6
2	ある程度深刻	198	20.5
3	あまり深刻ではない	456	47.1
4	まったく深刻ではない	224	23.1
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

F 空き家の増加

ENHMEMP 地域問題: 空き家の増加

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても深刻	70	7.2
2	ある程度深刻	234	24.2
3	あまり深刻ではない	518	53.5
4	まったく深刻ではない	138	14.3
9	無回答	8	0.8
計		968	100.0

G 犯罪の増加

ENHMDCRM 地域問題: 犯罪の増加

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても深刻	31	3.2
2	ある程度深刻	234	24.2
3	あまり深刻ではない	587	60.6
4	まったく深刻ではない	107	11.1
9	無回答	9	0.9
計		968	100.0

H 人口の流出

ENHMDEPP 地域問題: 人口の流出

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても深刻	82	8.5
2	ある程度深刻	244	25.2
3	あまり深刻ではない	517	53.4
4	まったく深刻ではない	118	12.2
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

I 公共交通機関の不便さ

ENHMTNRNS 地域問題: 公共交通機関の不便さ

コード		ケース数	%
1	とても深刻	105	10.8
2	ある程度深刻	295	30.5
3	あまり深刻ではない	424	43.8
4	まったく深刻ではない	137	14.2
9	無回答	7	0.7
計		968	100.0

J 耕作放棄地の増加

ENHMDSLD 地域問題: 耕作放棄地の増加

コード		ケース数	%
1	とても深刻	45	4.6
2	ある程度深刻	175	18.1
3	あまり深刻ではない	536	55.4
4	まったく深刻ではない	203	21.0
9	無回答	9	0.9
計		968	100.0

K 鳥や獣(イノシシ、シカなど)による被害

ENHMANML 地域問題: 鳥や獣による被害

コード		ケース数	%
1	とても深刻	37	3.8
2	ある程度深刻	133	13.7
3	あまり深刻ではない	478	49.4
4	まったく深刻ではない	312	32.2
9	無回答	8	0.8
計		968	100.0

L 山林の維持管理

ENHMD 地域問題: 山林の維持管理

コード		ケース数	%
1	とても深刻	38	3.9
2	ある程度深刻	144	14.9
3	あまり深刻ではない	458	47.3
4	まったく深刻ではない	320	33.1
9	無回答	8	0.8
計		968	100.0

Q73 あなたは現在、収入をとまなう仕事をもっていますか。

DOWORK 仕事の有無

コード		ケース数	%
1	もっている	832	86.0
2	もっていない	136	14.0
9	無回答	0	0.0
計		968	100.0

Q74 あなたの職場には、非正規社員の方（派遣社員、契約社員、パート、アルバイト、臨時雇用）は、どれくらいいますか。

SZNRWRKR 職場の非正規社員の割合

コード		ケース数	%
1	0～1 割くらい	347	41.7
2	2～4 割くらい	221	26.6
3	5 割くらい	73	8.8
4	6～8 割くらい	126	15.1
5	9～10 割くらい	52	6.3
9	無回答	13	1.6
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

Q75 あなたの職場で働いている正社員のうち、女性の割合はどれくらいですか。

SZFWRK 職場の正社員のうち女性の割合

コード		ケース数	%
1	0～1 割くらい	269	32.3
2	2～4 割くらい	236	28.4
3	5 割くらい	97	11.7
4	6～8 割くらい	130	15.6
5	9～10 割くらい	84	10.1
9	無回答	16	1.9
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

Q76 あなたの職場では、外国出身の人が働いていますか。

CLLGFRGN 職場の外国人労働者の有無

コード		ケース数	%
1	働いている	188	22.6
2	働いていない	633	76.1
9	無回答	11	1.3
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

Q77 以下の事柄は、あなたのお勤め先にどの程度あてはまりますか。

A 人事上の決定は、それによって影響を受ける従業員の意見を反映していない

OP5CPDCS 勤め先: 人事上の決定は従業員の意見を反映しない

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	107	12.9
2	そう思う	211	25.4
3	どちらともいえない	314	37.7
4	そう思わない	150	18.0
5	強くそう思わない	32	3.8
9	無回答	18	2.2
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

B 重要な決定は、経営者の家族や親族に よって行われている

OP5FMCMP 勤め先:重要な決定は経営者の家族や親族が行う

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	109	13.1
2	そう思う	144	17.3
3	どちらともいえない	185	22.2
4	そう思わない	188	22.6
5	強くそう思わない	189	22.7
9	無回答	17	2.0
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

C 仕事の分担について、家族の事情（育児 や介護など）を考慮してもらえる

OP5FMMTR 勤め先:仕事の分担について家族の事情を考慮

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	105	12.6
2	そう思う	361	43.4
3	どちらともいえない	244	29.3
4	そう思わない	76	9.1
5	強くそう思わない	31	3.7
9	無回答	15	1.8
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

D 給与は、仕事の成果よりも年功序列に基づいている

OP5SENIR 勤め先:給与は仕事の成果よりも年功序列

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	77	9.3
2	そう思う	182	21.9
3	どちらともいえない	281	33.8
4	そう思わない	202	24.3
5	強くそう思わない	74	8.9
9	無回答	16	1.9
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

E 従業員が不足気味で多忙である

OP5MNPWR 勤め先:従業員が不足気味で多忙

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	171	20.6
2	そう思う	257	30.9
3	どちらともいえない	244	29.3
4	そう思わない	113	13.6
5	強くそう思わない	31	3.7
9	無回答	16	1.9
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

F 女性が管理職として働きやすい

OP5FMMGR 勤め先: 女性が管理職として働きやすい

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	55	6.6
2	そう思う	150	18.0
3	どちらともいえない	372	44.7
4	そう思わない	160	19.2
5	強くそう思わない	78	9.4
9	無回答	17	2.0
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

Q78 あなたは、次のような事柄をどの程度頻繁に感じますか。

A 仕事が家庭生活の妨げになること

FQ5JBIF 仕事が家庭生活の妨げになること

コード		ケース数	%
1	いつも感じる	52	6.3
2	よく感じる	144	17.3
3	時々感じる	319	38.3
4	あまり感じない	253	30.4
5	まったく感じない	59	7.1
9	無回答	5	0.6
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

B 家庭生活が仕事の妨げになること

FQ5FLIF 家庭生活が仕事の妨げになること

コード		ケース数	%
1	いつも感じる	16	1.9
2	よく感じる	52	6.3
3	時々感じる	218	26.2
4	あまり感じない	408	49.0
5	まったく感じない	131	15.7
9	無回答	7	0.8
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

Q79 あなたは、以下のような理由で仕事を1週間連続して休むことができますか。

A 家族の世話（育児や介護など）

HDFMCARE 仕事を1週間連続して休むことができる：家族の世話

コード		ケース数	%
1	容易にできる	81	9.7
2	できる	360	43.3
3	難しい	226	27.2
4	とても難しい	155	18.6
9	無回答	10	1.2
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

B 旅行など自分の趣味のため

HDHOBBY 仕事を1週間連続して休むことができる：旅行など自分の趣味

コード		ケース数	%
1	容易にできる	40	4.8
2	できる	199	23.9
3	難しい	289	34.7
4	とても難しい	296	35.6
9	無回答	8	1.0
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

C 自分の体調が悪い時

HDSICK 仕事を1週間連続して休むことができる：体調が悪い時

コード		ケース数	%
1	容易にできる	127	15.3
2	できる	432	51.9
3	難しい	188	22.6
4	とても難しい	80	9.6
9	無回答	5	0.6
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

Q80 以下の項目は、あなたの現在の仕事にどの程度あてはまりますか。

A 雇用が安定している

WRKSECUR 現在の仕事：雇用が安定している

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	120	14.4
2	あてはまる	335	40.3
3	どちらともいえない	242	29.1
4	あてはまらない	97	11.7
5	まったくあてはまらない	31	3.7
9	無回答	7	0.8
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

B 高収入である

WRKHIPAY 現在の仕事:高収入である

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	15	1.8
2	あてはまる	87	10.5
3	どちらともいえない	277	33.3
4	あてはまらない	273	32.8
5	まったくあてはまらない	176	21.2
9	無回答	4	0.5
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

C 努力しだいで昇進できる

WRKPROMO 現在の仕事:努力しだいで昇進できる

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	42	5.0
2	あてはまる	191	23.0
3	どちらともいえない	254	30.5
4	あてはまらない	194	23.3
5	まったくあてはまらない	145	17.4
9	無回答	6	0.7
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

D 勤務時間を柔軟に決められる

WRKFREE 現在の仕事:勤務時間を柔軟に決められる

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	61	7.3
2	あてはまる	190	22.8
3	どちらともいえない	185	22.2
4	あてはまらない	238	28.6
5	まったくあてはまらない	154	18.5
9	無回答	4	0.5
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

E 仕事の量を自分で決められる

WRKVLM 現在の仕事:仕事の量を自分で決められる

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	50	6.0
2	あてはまる	157	18.9
3	どちらともいえない	192	23.1
4	あてはまらない	263	31.6
5	まったくあてはまらない	165	19.8
9	無回答	5	0.6
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

F 仕事にやりがいを感じる

WRKRWRD 現在の仕事:仕事にやりがいを感じる

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	96	11.5
2	あてはまる	303	36.4
3	どちらともいえない	280	33.7
4	あてはまらない	110	13.2
5	まったくあてはまらない	39	4.7
9	無回答	4	0.5
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

G 仕事と家庭生活を両立できる

WRKFAMIL 現在の仕事:仕事と家庭生活を両立できる

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	76	9.1
2	あてはまる	338	40.6
3	どちらともいえない	292	35.1
4	あてはまらない	91	10.9
5	まったくあてはまらない	28	3.4
9	無回答	7	0.8
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

H 自分の能力を活かしている

WRKABLT 現在の仕事:自分の能力を活かしている

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	74	8.9
2	あてはまる	330	39.7
3	どちらともいえない	303	36.4
4	あてはまらない	92	11.1
5	まったくあてはまらない	29	3.5
9	無回答	4	0.5
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

I 社会にとって有益な仕事である

WRKSOCTY 現在の仕事:社会にとって有益な仕事である

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	127	15.3
2	あてはまる	378	45.4
3	どちらともいえない	254	30.5
4	あてはまらない	50	6.0
5	まったくあてはまらない	17	2.0
9	無回答	6	0.7
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

J 自分の仕事の分担をこなさないと、同僚の負担が増える

WRKSHARE 現在の仕事: 自分の仕事の分担をこなさないと同僚の負担が増える

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	149	17.9
2	あてはまる	363	43.6
3	どちらともいえない	176	21.2
4	あてはまらない	95	11.4
5	まったくあてはまらない	43	5.2
9	無回答	6	0.7
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

K 今の会社や組織で働いていることに誇りを感じる

WRKPRIDE 現在の仕事: 今の会社や組織で働いていることに誇りを感じる

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	77	9.3
2	あてはまる	279	33.5
3	どちらともいえない	320	38.5
4	あてはまらない	98	11.8
5	まったくあてはまらない	52	6.3
9	無回答	6	0.7
計		832	100.0
8	非該当	136	
計		968	

園部 香里
木下 翔太郎
西川 一二
孟 哲男

Ⅱ.3 事項索引

事項索引には、JGSS-2016 の変数を見出しの 50 音順に掲載している。それ以外の変数については JGSS ホームページを参照のこと。

[略号・記号]

面：面接調査票，留：留置調査票，調：調査員記入票（面接調査票末尾），＊：調査票冒頭欄，F：調査員記入欄，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし]

大見出し	小見出し	変数名	質問概要	調査票	質問番号
ISSP 2015 モジュール	雇用環境	WRKSECUR	現在の仕事：雇用が安定している	留	Q80 A
	人的資本	USFLSKL	経験や技能が仕事に役立った程度	面	問 11
		XJOBNO	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：なし	留	Q58 3
		XJOBOW	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：職場以外	留	Q58 2
		XJOBW	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：職場	留	Q58 1
	労働組合	OP5UNION	強い労働組合の賛否	留	Q60
	ワークライフバランス	FQ5FLIF	家庭生活が仕事の妨げになること	留	Q78 B
		FQ5JBIF	仕事が生計生活の妨げになること	留	Q78 A
		WRKHIPAY	現在の仕事：高収入である	留	Q80 B
		WRKPROMO	現在の仕事：努力しだいで昇進できる	留	Q80 C
		WRKSOCTY	現在の仕事：社会にとって有益な仕事である	留	Q80 I
		XNUMCOWK	転職数	面	問 26
		WRKPRIDE	現在の仕事：今の会社や組織で働いていることに誇りを感じる	留	Q80 K
ウェイト	ウェイト	WEIGHT	ウェイト		◇
エコロジー	エコ行動	DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車	留	Q20 4
		DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力	留	Q20 2
		DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない	留	Q20 5
		DOECSLP	エコ商品の利用：ソーラーパネル	留	Q20 1
		DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	留	Q20 3
		FQ4DENKI	電気はこまめに消す	留	Q21 A
		FQ4ELC	消費電力を減らす工夫	留	Q21 B

エコロジー	環境問題	AXFDRAD	放射性物質による食品汚染の不安感	留	Q70
		ENHMSP	環境被害:土壌汚染	留	Q72 C
NSC モジュール	地域環境	COMMDIS	自然災害時の地域の人どうしの協力	留	Q71
外国	外国人とのつき合い	OPFNWAG	外国人の受入:農林漁業従事者	留	Q44 C
		OPFNWCN	外国人の受入:建設作業者	留	Q44 B
		OPFNWCR	外国人の受入:介護・看護サービス従事者	留	Q44 D
		OPFNWFC	外国人の受入:工場労働者	留	Q44 A
		OPFNWPR	外国人の受入:高度専門職従事者	留	Q44 E
	外国人増加	OP4FNCLT	外国人増加による地域への影響:文化を豊かにする	留	Q45 C
		OP4FNECN	外国人増加による地域への影響:地域経済の活性化	留	Q45 A
		OP4FNEMP	外国人増加による地域への影響:雇用環境の悪化	留	Q45 B
		OP4FNSFE	外国人増加による地域への影響:治安・風紀が乱れる	留	Q45 D
		QFNRINCR	外国人増加の賛否	留	Q43
階層	階層	OP10LVL	自分の位置する階層	面	問 46
		OP5LEVK	階層帰属意識	留	Q27
	格差	OPINCDIF	所得格差への意見	留	Q50
	経済的不安	AXECNSF	将来の経済的不安	留	Q28
	資産	SZHSASST	資産総額(本人と配偶者)	留	Q30
	世帯収入	OP5FFINX	世帯収入のレベル	留	Q24
		OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル	留	Q25
	贈与	SZHSDEBT	親・親族からの金銭的援助や土地の贈与(本人と配偶者)	留	Q31
家族	親	MMAGE	母親:年齢	面	問 39-2
		MMJOB	母親:就労の有無	面	問 39-4
		MMLV4G	母親:同居・別居距離・生死	面	問 39-1
		MMMG	母親:結婚状況	面	問 39-3
		PPAGE	父親:年齢	面	問 39-2
		PPJOB	父親:就労の有無	面	問 39-4
		PPLV4G	父親:同居・別居距離・生死	面	問 39-1
		PPMG	父親:結婚状況	面	問 39-3

家族	義きょうだい	XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数(兄)	面	問 50-2
		XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数(弟)	面	問 50-2
		XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数(姉)	面	問 50-2
		XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数(妹)	面	問 50-2
	きょうだい	XNUMBROE	兄弟姉妹人数(兄)	面	問 50-1
		XNUMBROY	兄弟姉妹人数(弟)	面	問 50-1
		XNUMSISE	兄弟姉妹人数(姉)	面	問 50-1
		XNUMSISY	兄弟姉妹人数(妹)	面	問 50-1
	子ども	CC01LV4G	子ども 01:同居・別居距離・生死	面	問 40-3
		CC02LV4G	子ども 02:同居・別居距離・生死	面	問 40-3
		CC03LV4G	子ども 03:同居・別居距離・生死	面	問 40-3
		CC04LV4G	子ども 04:同居・別居距離・生死	面	問 40-3
		CC05LV4G	子ども 05:同居・別居距離・生死	面	問 40-3
		CC06LV4G	子ども 06:同居・別居距離・生死	面	問 40-3
		CCNUMTTL	子どもの人数	面	問 40-1
	婚姻	AGE1MG	初婚年齢	面	問 69-2
		DOMARRY	結婚状況	面	問 27-1
		MARRYZ	配偶者の有無	留	Q33
		XMARRY	結婚経験	面	問 69-1
	世帯員	FFHEAD	世帯主	面	問 43
		SZFFONLY	家族人数(本人除く)	面	問 42
		SZFFOUT	一時的な別居家族の人数	面	問 44-1
		SZFFTTL	家族人数(本人含む)	面	問 42
	世帯年収	SZHSINCM	世帯年収	面	問 49-1
	その他	SZFFOTHR	その他の家族の人数	面	問 41-1
	配偶者	SPAGEX	配偶者の年齢	面	問 37
		SPLVTG	配偶者との同居	面	問 38
家族観・行動	家事	FQ7CKDNR	夕食の用意:頻度(本人)	留	Q06 C
		FQ7CLEAN	家の掃除:頻度(本人)	留	Q06 F
		FQ7GARB	ゴミ出し:頻度(本人)	留	Q06 G
		FQ7SHOP	買い物:頻度(本人)	留	Q06 E

家族観・行動	家事	FQ7WASH	洗濯:頻度(本人)	留	Q06 D
		RR6ACCT	家計管理	留	Q36
	家族観	APPCCNMX	理想的な子どもの人数:5人以上の場合(具体的記述)	留	Q39
		APPCCNUM	理想的な子どもの人数(一般論)	留	Q39
		APPCCSXB	希望する子どもの性別	留	Q40
		OP2GNR	三世代同居観	留	Q41
		Q4DIVOK	意見についての賛否:離婚	留	Q42 A
		WNTMRY	結婚・再婚の意欲	面	問 27-2
		WNTMRYAG	結婚・再婚の意欲:何歳までに	面	問 27-2
	家族行動	FQ7FFDNR	家族と一緒にの夕食:頻度	留	Q06 A
	ジェンダー	OP4NAME	夫婦別姓意識	留	Q53
		Q4JBMMCC	意見についての賛否:子どもへの影響	留	Q42 G
		Q4MNCOOK	意見についての賛否:男性の家事	留	Q42 D
		Q4MNMGA	意見についての賛否:男性の幸福	留	Q42 F
		Q4NOCCMG	意見についての賛否:子どもをもつ必要	留	Q42 H
		Q4WNMGA	意見についての賛否:女性の幸福	留	Q42 C
		Q4WWHHX	意見についての賛否:性役割分担	留	Q42 E
		Q4WWPHH	意見についての賛否:妻は夫の手助け	留	Q42 I
		Q4WWJBIA	意見についての賛否:妻の仕事	留	Q42 B
	配偶者家事	SSFQ7CK	夕食の用意:頻度(配偶者)	留	Q35 A
		SSFQ7CLN	家の掃除:頻度(配偶者)	留	Q35 D
		SSFQ7GRB	ゴミ出し:頻度(配偶者)	留	Q35 E
		SSFQ7SHP	買い物:頻度(配偶者)	留	Q35 C
		SSFQ7WSH	洗濯:頻度(配偶者)	留	Q35 B
	墓	OP7CMTRA	自分の墓について	留	Q51
		WLMNGGRV	先祖の墓:今後どのように受け継ぐか	留	Q52-2
		XINHRGRV	先祖の墓の受け継ぎ	留	Q52-1
	友人	FQ7FRSEE	友人との会食:頻度	留	Q06 B
家族モジュール	婚姻	AGE2MG	結婚した年齢:2回目	面	問 69-2
		AGE3MG	結婚した年齢:3回目	面	問 69-2
		AGE4MG	結婚した年齢:4回目	面	問 69-2

家族モジュール	婚姻	NUMMARRY	結婚の回数	面	問 69-1
教育歴	高校	HSCGRT	高校:進学率	面	問 60-2
		HSSTDY	高校:学んだ学科	面	問 60-1
	在学中	XGRADE	在学中の場合の学年(本人)	面	問 58
	最終学歴	DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退(本人)	面	問 58
		XXLSTSCH	最終学校(本人)	面	問 57
		XXSCHDPT	最終学校での学部・学科	面	問 61-2
	就業	USFLLSTS	最終学校の教育が仕事に役立った程度	面	問 62
	成績	OP5SCHPF	中学3年生の頃の成績	留	Q26
	専修学校・専門学校	DOSPSUSC	専修学校・専門学校:高等課程の修了	面	問 59-3
		USFLSPS	専修学校・専門学校:教育が仕事に役立った程度	面	問 59-5
		WHNSPSCCH	専修学校・専門学校:通った時期	面	問 59-4
	大学	SCHSCT	最終学校の種類	面	問 61-1
		XXSPSTDY	専修学校・専門学校:学科・分野	面	問 59-2
	父最終学歴	PPLSTSCH	最終学校(父親)	面	問 57
	通学経験	XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験(本人)	面	問 59-1
	配偶者最終学歴	SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退(配偶者)	面	問 63
		SSLSTSCH	最終学校(配偶者)	面	問 57
	配偶者在学中	SSXGRADE	在学中の場合の学年(配偶者)	面	問 63
	配偶者通学経験	PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)	面	問 64
	母最終学歴	MMLSTSCH	最終学校(母親)	面	問 57
居住地域	愛着	WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留	Q22
	居住年数	XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留	Q19
	地域問題	AXCONTCM	居住地域の存続についての不安感	留	Q23
		ENHMAGNG	地域問題:高齢化	留	Q72 D
		ENHMANML	地域問題:鳥や獣による被害	留	Q72 K
		ENHMD	地域問題:山林の維持管理	留	Q72 L
		ENHMDCRM	地域問題:犯罪の増加	留	Q72 G
		ENHMDEPP	地域問題:人口の流出	留	Q72 H
		ENHMDSLD	地域問題:耕作放棄地の増加	留	Q72 J
		ENHMEMP	地域問題:空き家の増加	留	Q72 F

居住地域	地域問題	ENHMSHOP	地域問題: 買い物の不便さ	留	Q72 E
		ENHMTRNS	地域問題: 公共交通機関の不便さ	留	Q72 I
	20歳の頃の居住地	CTVW20	20 歳の頃の居住地(本人)	面	問 52-1
		PREF20	20 歳の頃の居住地(本人): 都道府県名	面	問 52-1
		TP5LOC20	20 歳の頃の居住地(本人): 居住地域の規模	面	問 52-2
健康	飲酒	DO7DRINK	飲酒頻度	留	Q14
	喫煙	DOSMOKE	喫煙経験	留	Q13-1
	喫煙	XQTSMOKE	禁煙努力	留	Q13-2
	健康状態	OP5HLTHZ	健康状態(本人)	留	Q12
	耽溺行動	XGMBLBET	過去 1 年間のギャンブル: 回数や金額を増やす	留	Q11
	耽溺行動	XGMBLLIE	過去 1 年間のギャンブル: 重要な人へのうそ	留	Q10
	配偶者健康状態	SS5HLTHZ	健康状態(配偶者)	留	Q34
健康モジュール	SF12	SFMHDPRS	精神的健康: おちこんだ気分	留	Q18 C
		SFMHENGY	精神的健康: 活力にあふれる	留	Q18 B
		SFMHPEAC	精神的健康: おちついた気分	留	Q18 A
	介護	CRGIVFF	回答者が家族の主な介護者	留	Q32-2
		CRNDFF	介護を必要とする家族の有無	留	Q32-1
	希望	NOFUTR	希望のなさ: 将来の希望が持てない	留	Q17 A
		NOGOAL	希望のなさ: 目標は達成できない	留	Q17 B
	信頼	OP4TRUST	人への信頼感	留	Q62
	地域環境	ENHMAP	環境被害: 大気汚染	留	Q72 A
		ENHMWP	環境被害: 水質汚染	留	Q72 B
		OPNBASS	近隣状況: 手助けしてくれる	留	Q47 B
		OPNBMTCN	近隣状況: 互いに気にかけている	留	Q47 A
幸福度	幸福度	OP5HAPPZ	幸福度	留	Q16
	生活満足度	ST5AREAY	生活満足度: 居住地域	留	Q15 A
		ST5ECNY	生活満足度: 家計状態	留	Q15 D
		ST5FRIY	生活満足度: 友人関係	留	Q15 E
		ST5HLTHY	生活満足度: 健康状態	留	Q15 F
		ST5LEISY	生活満足度: 余暇利用	留	Q15 B
		ST5LIFEY	生活満足度: 家庭生活	留	Q15 C

幸福感	生活満足度	ST5SSREL	生活満足度:配偶者との関係	留	Q15 G
高齢者	不安感	OP4FRCRS	老後の不安感:十分な介護サービス	留	Q61 C
		OP4FRFCR	老後の不安感:家族・親族の介護	留	Q61 B
		OP4FRPSN	老後の不安感:年金生活	留	Q61 A
子どもの頃	居住地	PREF15	15 歳の頃の居住地(本人):都道府県名	面	問 51-1
		REMOTE15	15 歳の頃の居住地(本人):農山村地域	面	問 51-3
		TP5LOC15	15 歳の頃の居住地(本人)	面	問 51-2
子どもの頃	父職	PPJB15	15 歳の頃の父:雇用関係	面	問 53-1
		PPJBSZ15	15 歳の頃の父:企業規模	面	問 55
		PPJBT15P	15 歳の頃の父:役職	面	問 53-3
		PPJBT15S	15 歳の頃の父:雇用形態	面	問 53-2
		PPJBXX15	15 歳の頃の父:職種	面	問 54
		PPJXXE08	15 歳の頃の父:職種(ISCO08)	面	問 55
	母職	MMJBTP15	15 歳の頃の母:就労地位	面	問 56
災害	災害可能性	AXDIS	災害発生に対する不安	留	Q68
		DISFLOOD	災害発生の可能性:高潮や河川の氾濫	留	Q67 C
		DISLAND	災害発生の可能性:土砂災害	留	Q67 F
		DISNUC	災害発生の可能性:原子力発電所の事故	留	Q67 G
		DISQUAKE	災害発生の可能性:地震	留	Q67 A
		DISTSNM	災害発生の可能性:津波	留	Q67 B
		DISTSNOW	災害発生の可能性:豪雪	留	Q67 D
		DISVOLC	災害発生の可能性:噴火	留	Q67 E
住居	住居	AUTOLOCK	集合住宅でのオートロックの有無	面	F6-2
		OWNHOUSE	居住形態:持ち家	面	問 48
		TPHOUSE	居住形態:一戸建て	面	F6-1
集団参加	組織への所属	MEMCIVIL	組織への所属:市民運動のグループ	留	Q65 D
		MEMCOOP	組織への所属:生協	留	Q65 H
		MEMHOBBY	組織への所属:趣味の会	留	Q65 G
		MEMIND	組織への所属:業界団体	留	Q65 B
		MEMPLTGP	組織への所属:政治団体	留	Q65 A
		MEMRL	組織への所属:宗教の団体や会	留	Q65 E

趣味	娯楽	MEMSPORT	組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ	留	Q65 F
		MEMVLNTR	組織への所属:ボランティアのグループ	留	Q65 C
		FQPACHI	パチンコ・パチスロ:プレイ頻度(回/年)	留	Q09
		FQRACE	公営ギャンブル:頻度(回数/年)	留	Q08
		FQSPORT	定期的に行なうスポーツ:頻度	留	Q05
		OPCASINO	カジノ合法化の賛否	留	Q48
信仰	宗教	DO3PIOUS	信仰の度合い(本人)	留	Q66-3
		DORL	信仰する宗教の有無(本人)	留	Q66-1
		XXRL	信仰する宗教(本人)	留	Q66-2
信頼	人間観	OP7GDEVO	人間観(一般):人間の本性	留	Q63
	組織への信頼	TR3ACDAZ	組織への信頼:学者・研究者	留	Q64 J
		TR3BCRAZ	組織への信頼:中央官庁	留	Q64 D
		TR3CGMNZ	組織への信頼:国会議員	留	Q64 K
		TR3CITYZ	組織への信頼:市区町村議会議員	留	Q64 L
		TR3COPZ	組織への信頼:警察	留	Q64 N
		TR3CORPZ	組織への信頼:大企業	留	Q64 A
		TR3DEFZ	組織への信頼:自衛隊	留	Q64 M
		TR3FINZ	組織への信頼:金融機関	留	Q64 O
		TR3HSPLZ	組織への信頼:病院	留	Q64 G
		TR3NWSPZ	組織への信頼:新聞	留	Q64 F
		TR3RLGPZ	組織への信頼:宗教団体	留	Q64 B
		TR3SCHLZ	組織への信頼:学校	留	Q64 C
		TR3SPCAZ	組織への信頼:裁判所	留	Q64 I
		TR3TVZ	組織への信頼:テレビ	留	Q64 H
		TR3UNNZ	組織への信頼:労働組合	留	Q64 E
政治	政策	OP4PENSN	公的年金の給付と負担のバランス	留	Q46
		OP7CNSTX	適切な消費税率への意見 2015	留	Q49
		OPNUCPOL	原子力政策への意見	留	Q69
		Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留	Q37
	政党	XX8PLPTY	支持政党	留	Q38

調査基本情報	回答者	AGEB	年齢	面	*
		DOBYEAR	生年	面	*
		MARC	配偶者(DOMARRY の転記)	面	*
		SEXA	性別	面	*
	居住地	BLOCK	地域ブロック		◇
		PREF	都道府県名		◇
		SIZE	市郡規模		◇
		SIZE2K	市郡規模(2000 年時点)		◇
調査基本情報	調査員設問	SIZEHMT	居住地域の規模		◇
		AREA	調査員への質問:回答者の居住地域	面	F5
		COOP	調査員への質問:回答者の協力度	面	F1
	調査情報	USTAND	調査員への質問:回答者の理解度	面	F2
		DATE	面接完了日	面	*
		DATEB	留置回収完了日	面	*
		DAY	面接完了日:日	面	*
		DAYB	留置回収完了日:日	面	*
		DURATION	調査所要時間(分)	面	F8
		IDUSE	識別番号		◇
		MONTH	面接完了日:月	面	*
		MONTHB	留置回収完了日:月	面	*
		PROC	調査手順(留置／面接の順序)	面	F7
乗り物	外出	TRNBIKE	移動手段:自転車	留	Q07 1
		TRNBUS	移動手段:バス	留	Q07 4
		TRNFCAR	移動手段:自動車(家族が運転)	留	Q07 6
		TRNMCAR	移動手段:自動車(自分で運転)	留	Q07 5
		TRNMTRBK	移動手段:バイク	留	Q07 2
		TRNOTHER	移動手段:その他	留	Q07 8
		TRNTAXI	移動手段:タクシー	留	Q07 7
		TRNTRAIN	移動手段:電車	留	Q07 3
		TRNWALK	移動手段:主に徒歩	留	Q07 9

暴行・犯罪	暴行	XSCYP	言葉の暴力の被害経験	留	Q29-1
		XSCYPCC	言葉の暴力の加害者:子ども	留	Q29-2 3
		XSCYPCW	言葉の暴力の加害者:職場の同僚や部下	留	Q29-2 6
		XSCYPFA	言葉の暴力の加害者:その他の知人・友人	留	Q29-2 7
		XSCYPFM	言葉の暴力の加害者:その他の家族・親族	留	Q29-2 4
		XSCYPPA	言葉の暴力の加害者:親	留	Q29-2 1
		XSCYPSP	言葉の暴力の加害者:配偶者・恋人	留	Q29-2 2
		XSCYPST	言葉の暴力の加害者:知らない人	留	Q29-2 8
		XSCYPSV	言葉の暴力の加害者:職場の上司	留	Q29-2 5
メディア	インターネット	FQ6NWSIN	インターネットでニュース記事を読む頻度	留	Q04
	テレビ	HRTV	テレビ視聴時間	留	Q01
	新聞	FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留	Q03
	読書	FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留	Q02
労働	現職	CLLGFRGN	職場の外国人労働者の有無	留	Q76
		SZFWRKR	職場の正社員うち女性の割合	留	Q75
		SZNRWRKR	職場の非正規社員の割合	留	Q74
	雇用環境	HDFMCARE	仕事を1週間連続して休むことができる:家族の世話	留	Q79 A
		HDHOBBY	仕事を1週間連続して休むことができる:旅行など自分の趣味	留	Q79 B
		HDSICK	仕事を1週間連続して休むことができる:体調が悪い時	留	Q79 C
		JOINUNI	労働組合加入の有無	面	問 13
		OP5FMCMP	勤め先:重要な決定は経営者の家族や親族が行う	留	Q77 B
		OP5FMMGR	勤め先:女性が管理職として働きやすい	留	Q77 F
		OP5FMMTR	勤め先:仕事の分担について家族の事情を考慮	留	Q77 C
		OP5MNPWR	勤め先:従業員が不足気味で多忙	留	Q77 E
		SZINCOMA	本人年収:全体	面	問 49-2
		SZINCOMX	本人年収:主な仕事	面	問 49-3
		SZSJBHWK	副業就労時間数/週	面	問 02
		SZTTLSTA	企業規模	面	問 12
		TP4WPLA	事業所形態	面	問 05
		TPJB	雇用関係	面	問 03-1
		TPJBS	雇用形態	面	問 03-2

労働	雇用環境	TPJBSE	従業員を持つ自営業者	面	問 03-4
		TPJOBP	役職	面	問 03-3
		XJBSCB	通常労働時間数／週	面	問 09
		XJOB1WK	先週の就労経験	面	問 01
		XJOB1WK	就労日数／週	面	問 08
		XJOB1WK	就労時間数／週	面	問 02
		XJOB1WK	就労年数	面	問 10
		XXJE08	職種 (ISCO08)	面	問 07
		XXJOB	職種	面	問 07
		XXWPL	業種	面	問 06
	就業	AGSTPWK	離職年齢	面	問 20
		DOLOOKJB	求職の有無 (全員)	面	問 25
		DOWORK	仕事の有無	留	Q73
		TP5UNEMP	不就労の理由	面	問 18
		XWORK	就労経験	面	問 19
		XXSTPJB	離職理由	面	問 21
労働	就業観	AGERETR	何歳まで仕事をしたいか	留	Q54
		OP3NEWJB	再就労の容易さ	面	問 17
		OP4UNEMP	失業の可能性	面	問 16
		ST5JOB	現在の仕事の満足度	面	問 14
		WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	面	問 15
		WRKABLT	現在の仕事: 自分の能力を活かしている	留	Q80 H
		WRKFAMIL	現在の仕事: 仕事と家庭生活を両立できる	留	Q80 G
		WRKFREE	現在の仕事: 勤務時間を柔軟に決められる	留	Q80 D
		WRKRWRD	現在の仕事: 仕事にやりがいを感じる	留	Q80 F
		WRKSHARE	現在の仕事: 自分の仕事の分担をこなさないと同僚の負担が増える	留	Q80 J
		WRKVLM	現在の仕事: 仕事の量を自分で決められる	留	Q80 E
	収入源	INCFAM	現在の収入源: 他の家族の収入 (全員)	面	問 45-1
		INCINVST	現在の収入源: 投資運用 (全員)	面	問 45-1
		INCIRR	現在の収入源: 不定期的な仕事 (全員)	面	問 45-1
		INCMAIN	現在の収入源: 中心となるもの (全員)	面	問 45-2

労働

収入源	INCNOKN	現在の収入源: わからない(全員)	面	問 45-1
	INCOTHER	現在の収入源: その他(全員)	面	問 45-1
	INCPAR	現在の収入源: 親の収入(全員)	面	問 45-1
	INCPEN	現在の収入源: 年金(全員)	面	問 45-1
	INCRENT	現在の収入源: 賃貸料所得(全員)	面	問 45-1
	INCSAVE	現在の収入源: 貯蓄(全員)	面	問 45-1
	INCSELF	現在の収入源: 自分の収入(全員)	面	問 45-1
収入源	INCSOC	現在の収入源: 社会福祉(全員)	面	問 45-1
	INCSP	現在の収入源: 配偶者の収入(全員)	面	問 45-1
	INCUEB	現在の収入源: 失業保険(全員)	面	問 45-1
初職	SZSTFFST	初職の企業規模	面	問 68
	TP1STJB	初職の雇用関係	面	問 66-1
	TP1STJBS	初職の雇用形態	面	問 66-2
	TPFSTJBP	初職の役職	面	問 66-3
	XGETJOB	初職の就労時期	面	問 65
	XXFSTJB	初職の職種	面	問 67
前職	SZSTFLS	前職の企業規模(6 分類)	面	問 24
	TPLSTJB	前職の雇用関係	面	問 22-1
	TPLSTJBP	前職の役職	面	問 22-3
	TPLSTJBS	前職の雇用形態	面	問 22-2
	XXLJE08	前職の職種(ISCO08)	面	問 23
	XXLSTJB	前職の職種	面	問 23
通勤	DOCMT	通勤の有無	面	問 04-1
	SZCMTHR	通勤時間: 時間	面	問 04-1
	SZCMTMIN	通勤時間: 分	面	問 04-1
	SZCMTTL	通勤時間: 合計	面	問 04-1
配偶者現職	SSJB1WK	先週の就労経験(配偶者)	面	問 28-1
	SSJBDWK	就労日数/週(配偶者)	面	問 33
	SSJBHRWK	就労時間数/週(配偶者)	面	問 29
	SSSJBHWK	副業就労時間数/週(配偶者)	面	問 29
	SSSZINCA	配偶者年収: 全体	面	問 49-4

労働	配偶者意識	SSSZINCM	配偶者年収:主な仕事	面	問 49-5
		SSSZSTFA	企業規模(配偶者)	面	問 36
		SSSZWKYR	就労年数(配偶者)	面	問 35
		SSTPJB	雇用関係(配偶者)	面	問 30-1
		SSTPJBS	雇用形態(配偶者)	面	問 30-2
		SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者(配偶者)	面	問 30-4
		SSTPJOBP	役職(配偶者)	面	問 30-3
労働	配偶者現職	SSTPUNEM	不就労の理由(配偶者)	面	問 28-2
		SSXJBSC	通常労働時間数/週(配偶者)	面	問 34
		SSXXHQX	業種(配偶者)	面	問 31
		SSXXJE08	職種(配偶者)(ISCO08)	面	問 32
		SSXXJOB	職種(配偶者)	面	問 32
ワークライフ モジュール	起業意欲	OP7STBSN	起業意欲	留	Q55
	雇用環境	OP5CPDCS	勤め先:人事上の決定は従業員の意見を反映しない	留	Q77 A
		OP5SENIR	勤め先:給与は仕事の成果よりも年功序列	留	Q77 D
		OP5WINC	女性の就業:給与	留	Q59 B
	女性の就業	OP5WJBSC	女性の就業:雇用の安定	留	Q59 D
		OP5WJOB	女性の就業:就職	留	Q59 A
		OP5WPROM	女性の就業:昇進	留	Q59 C
		OVEREDUC	学校教育は職務内容に見合っている	留	Q56
	人的資本	DOUSESCL	仕事上の能力は職務内容に見合っている	留	Q57

Ⅱ.4 変数名索引

アルファベット順

[略号・記号]

面：面接調査票，留：留置調査票，調：調査員記入票（面接調査票末尾）

*：調査票冒頭欄，F：調査員記入欄，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし

変数名	質問概要	調査票	質問番号
AGE1MG	初婚年齢	面	問 69-2
AGE2MG	結婚した年齢：2 回目	面	問 69-2
AGE3MG	結婚した年齢：3 回目	面	問 69-2
AGE4MG	結婚した年齢：4 回目	面	問 69-2
AGEB	年齢	面	*
AGERETR	何歳まで仕事をしたいか	留	Q54
AGESTPWK	離職年齢	面	問 20
APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5 人以上の場合（具体的記述）	留	Q39
APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留	Q39
APPCCSXB	希望する子どもの性別	留	Q40
AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	面	F5
AUTOLOCK	集合住宅でのオートロックの有無	面	F6-2
AXCONTCM	居住地域の存続についての不安感	留	Q23
AXDIS	災害発生に対する不安	留	Q68
AXECNSF	将来の経済的不安	留	Q28
AXFDRAD	放射性物質による食品汚染の不安感	留	Q70
BLOCK	地域ブロック		◇
CC01LV4G	子ども 01：同居・別居距離・生死	面	問 40-3
CC02LV4G	子ども 02：同居・別居距離・生死	面	問 40-3
CC03LV4G	子ども 03：同居・別居距離・生死	面	問 40-3
CC04LV4G	子ども 04：同居・別居距離・生死	面	問 40-3
CC05LV4G	子ども 05：同居・別居距離・生死	面	問 40-3
CC06LV4G	子ども 06：同居・別居距離・生死	面	問 40-3
CCNUMTTL	子どもの人数	面	問 40-1
CLLGFRGN	職場の外国人労働者の有無	留	Q76
COMMDIS	自然災害時の地域の人どうしの協力	留	Q71
COOP	調査員への質問：回答者の協力度	面	F1
CRGIVFF	回答者が家族の主な介護者	留	Q32-2
CRNDF	介護を必要とする家族の有無	留	Q32-1
CTVW20	20 歳の頃の居住地（本人）	面	問 52-1
DATE	面接完了日	面	*
DATEB	留置回収完了日	面	*
DAY	面接完了日：日	面	*
DAYB	留置回収完了日：日	面	*
DISFLOOD	災害発生の可能性：高潮や河川の氾濫	留	Q67 C
DISLAND	災害発生の可能性：土砂災害	留	Q67 F
DISNUC	災害発生の可能性：原子力発電所の事故	留	Q67 G
DISQUAKE	災害発生の可能性：地震	留	Q67 A
DISTSNM	災害発生の可能性：津波	留	Q67 B

DISTSNOW	災害発生の可能性：豪雪	留	Q67 D
DISVOLC	災害発生の可能性：噴火	留	Q67 E
DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留	Q66-3
DO7DRINK	飲酒頻度	留	Q14
DOBYEAR	生年	面	*
DOCMT	通勤の有無	面	問 04-1
DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車	留	Q20 4
DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力	留	Q20 2
DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない	留	Q20 5
DOECSLP	エコ商品の利用：ソーラーパネル	留	Q20 1
DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	留	Q20 3
DOLOOKJB	求職の有無（全員）	面	問 25
DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	面	問 58
DOMARRY	結婚状況	面	問 27-1
DORL	信仰する宗教の有無（本人）	留	Q66-1
DOSMOKEX	喫煙経験	留	Q13-1
DOSPSUSC	専修学校・専門学校：高等課程の修了	面	問 60-5
DOUSESGL	仕事上の能力は職務内容に見合っている	留	Q57
DOWORK	仕事の有無	留	Q73
DURATION	調査所要時間（分）	面	F8
ENHMAGNG	地域問題：高齢化	留	Q72 D
ENHMANML	地域問題：鳥や獣による被害	留	Q72 K
ENHMAP	環境被害：大気汚染	留	Q72 A
ENHMD	地域問題：山林の維持管理	留	Q72 L
ENHMDCRM	地域問題：犯罪の増加	留	Q72 G
ENHMDEPP	地域問題：人口の流出	留	Q72 H
ENHMDSLD	地域問題：耕作放棄地の増加	留	Q72 J
ENHMEMP	地域問題：空き家の増加	留	Q72 F
ENHMSHOP	地域問題：買い物の不便さ	留	Q72 E
ENHMSP	環境被害：土壌汚染	留	Q72 C
ENHMTRNS	地域問題：公共交通機関の不便さ	留	Q72 I
ENHMWP	環境被害：水質汚染	留	Q72 B
FFHEAD	世帯主	面	問 43
FQ4DENKI	電気はこまめに消す	留	Q21 A
FQ4ELC	消費電力を減らす工夫	留	Q21 B
FQ5FLIF	家庭生活が仕事の妨げになること	留	Q78 B
FQ5JBIF	仕事が家庭生活の妨げになること	留	Q78 A
FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留	Q03
FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留	Q02
FQ6NWSIN	インターネットでニュース記事を読む頻度	留	Q04
FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）	留	Q06 C
FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）	留	Q06 F
FQ7FFDNR	家族と一緒に夕食：頻度	留	Q06 A
FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留	Q06 B
FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）	留	Q06 G
FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）	留	Q06 E
FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）	留	Q06 D
FQPACHI	パチンコ・パチスロ：プレイ頻度（回/年）	留	Q09

FQRACE	公営ギャンブル：頻度（回数/年）	留	Q08
FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留	Q05
HDFMCARE	仕事を1週間連続して休むことができる：家族の世話	留	Q79 A
HDHOBBY	仕事を1週間連続して休むことができる：旅行など自分の趣味	留	Q79 B
HDSICK	仕事を1週間連続して休むことができる：体調が悪い時	留	Q79 C
HRTV	テレビ視聴時間	留	Q01
XHSRATE	高校：進学率	面	問 59-2
XHSSUB	高校：学んだ学科	面	問 59-1
IDUSE	識別番号		◇
INCFAM	現在の収入源：他の家族の収入（全員）	面	問 45-1
INCINVEST	現在の収入源：投資運用（全員）	面	問 45-1
INCIRR	現在の収入源：不定期的な仕事（全員）	面	問 45-1
INCMAN	現在の収入源：中心となるもの（全員）	面	問 45-2
INCNOKN	現在の収入源：わからない（全員）	面	問 45-1
INCOTHER	現在の収入源：その他（全員）	面	問 45-1
INCPAR	現在の収入源：親の収入（全員）	面	問 45-1
INCPEN	現在の収入源：年金（全員）	面	問 45-1
INCRENT	現在の収入源：賃貸料所得（全員）	面	問 45-1
INCSAVE	現在の収入源：貯蓄（全員）	面	問 45-1
INSELF	現在の収入源：自分の収入（全員）	面	問 45-1
INCSOC	現在の収入源：社会福祉（全員）	面	問 45-1
INCSP	現在の収入源：配偶者の収入（全員）	面	問 45-1
INCUEB	現在の収入源：失業保険（全員）	面	問 45-1
JOINUNI	労働組合加入の有無	面	問 13
MARC	配偶者（DOMARRY の転記）	面	*
MARRYZ	配偶者の有無	留	Q33
MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留	Q65 D
MEMCOOP	組織への所属：生協	留	Q65 H
MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留	Q65 G
MEMIND	組織への所属：業界団体	留	Q65 B
MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留	Q65 A
MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留	Q65 E
MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留	Q65 F
MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留	Q65 C
MMAGE	母親：年齢	面	問 39-2
MMJBTP15	15歳の頃の母：就労地位	面	問 56
MMJOB	母親：就労の有無	面	問 39-4
MMLSTSCH	最終学校（母親）	面	問 57
MMLV4G	母親：同居・別居距離・生死	面	問 39-1
MMMG	母親：結婚状況	面	問 39-3
MONTH	面接完了日：月	面	*
MONTHB	留置回収完了日：月	面	*
NOFUTR	希望のなさ：将来の希望が持てない	留	Q17 A
NOGOAL	希望のなさ：目標は達成できない	留	Q17 B
NUMMARRY	結婚の回数	面	問 69-1
OP10LVL	自分の位置する階層	面	問 46
OP2GNR	三世代同居観	留	Q41
OP3NEWJB	再就労の容易さ	面	問 17

OP4FNCLT	外国人増加による地域への影響：文化を豊かにする	留	Q45 C
OP4FNECN	外国人増加による地域への影響：地域経済の活性化	留	Q45 A
OP4FNEMP	外国人増加による地域への影響：雇用環境の悪化	留	Q45 B
OP4FNSFE	外国人増加による地域への影響：治安・風紀が乱れる	留	Q45 D
OP4FRCRS	老後の不安感：十分な介護サービス	留	Q61 C
OP4FRFCR	老後の不安感：家族・親族の介護	留	Q61 B
OP4FRPSN	老後の不安感：年金生活	留	Q61 A
OP4NAME	夫婦別姓意識	留	Q53
OP4PENSN	公的年金の給付と負担のバランス	留	Q46
OP4TRUST	人への信頼感	留	Q62
OP4UNEMP	失業の可能性	面	問 16
OP5CPDCS	勤め先：人事上の決定は従業員の意見を反映しない	留	Q77 A
OP5FFINX	世帯収入のレベル	留	Q24
OP5FMCMP	勤め先：重要な決定は経営者の家族や親族が行う	留	Q77 B
OP5FMMGR	勤め先：女性が管理職として働きやすい	留	Q77 F
OP5FMMTR	勤め先：仕事の分担について家族の事情を考慮	留	Q77 C
OP5HAPPZ	幸福度	留	Q16
OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留	Q12
OP5LEVK	階層帰属意識	留	Q27
OP5MNPWR	勤め先：従業員が不足気味で多忙	留	Q77 E
OP5SCHPF	中学3年生の頃の成績	留	Q26
OP5SENIR	勤め先：給与は仕事の成果よりも年功序列	留	Q77 D
OP5UNION	強い労働組合の賛否	留	Q60
OP5WINC	女性の就業：給与	留	Q59 B
OP5WJBSC	女性の就業：雇用の安定	留	Q59 D
OP5WJOB	女性の就業：就職	留	Q59 A
OP5WPROM	女性の就業：昇進	留	Q59 C
OP7CMTRA	自分の墓について	留	Q51
OP7CNSTX	適切な消費税率への意見 2015	留	Q49
OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留	Q63
OP7STBSN	起業意欲	留	Q55
OPCASINO	カジノ合法化の賛否	留	Q48
OPFFIX15	15歳の頃の世帯収入レベル	留	Q25
OPFNWAG	外国人の受入：農林漁業従事者	留	Q44 C
OPFNWCN	外国人の受入：建設作業員	留	Q44 B
OPFNWCR	外国人の受入：介護・看護サービス従事者	留	Q44 D
OPFNWFC	外国人の受入：工場労働者	留	Q44 A
OPFNWPR	外国人の受入：高度専門職従事者	留	Q44 E
OPINCDIF	所得格差への意見	留	Q50
OPNBASS	近隣状況：手助けしてくれる	留	Q47 B
OPNBMTCN	近隣状況：互いに気にかけている	留	Q47 A
OPNUCPOL	原子力政策への意見	留	Q69
OVEREDUC	学校教育は職務内容に見合っている	留	Q56
OWNHOUSE	居住形態：持ち家	面	問 48
PPAGE	父親：年齢	面	問 39-2
PPJB15	15歳の頃の父：雇用関係	面	問 53-1
PPJBSZ15	15歳の頃の父：企業規模	面	問 55
PPJBT15P	15歳の頃の父：役職	面	問 53-3

PPJBT15S	15歳の頃の父：雇用形態	面	問 53-2
PPJBXX15	15歳の頃の父：職種	面	問 54
PPJOB	父親：就労の有無	面	問 39-4
PPJXXE08	15歳の頃の父：職種（ISCO08）	面	問 55
PPLSTSCH	最終学校（父親）	面	問 57
PPLV4G	父親：同居・別居距離・生死	面	問 39-1
PPMG	父親：結婚状況	面	問 39-3
PREF	都道府県名		◇
PREF15	15歳の頃の居住地（本人）：都道府県名	面	問 51-1
PREF20	20歳の頃の居住地（本人）：都道府県名	面	問 52-1
PROC	調査手順（留置／面接の順序）	面	F7
PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）	面	問 64
Q4DIVOK	意見についての賛否：離婚	留	Q42 A
Q4JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響	留	Q42 G
Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留	Q42 D
Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福	留	Q42 F
Q4NOCCMG	意見についての賛否：子どもをもつ必要	留	Q42 H
Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福	留	Q42 C
Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留	Q42 E
Q4WWHPHH	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留	Q42 I
Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事	留	Q42 B
Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留	Q37
QFNRINCR	外国人増加の賛否	留	Q43
REMOTE15	15歳の頃の居住地（本人）：農山村地域	面	問 51-3
RR6ACCT	家計管理	留	Q36
XUPUBLIC	大学など：国・公・私立	面	問 61-1
SEXA	性別	面	*
SFMHDPRS	精神的健康：おちこんだ気分	留	Q18 C
SFMHENGY	精神的健康：活力にあふれる	留	Q18 B
SFMHPEAC	精神的健康：おちついた気分	留	Q18 A
SIZE	市郡規模		◇
SIZE2K	市郡規模（2000年時点）		◇
SIZEHMT	居住地域の規模		◇
SPAGEX	配偶者の年齢	面	問 37
SPLVTG	配偶者との同居	面	問 38
SS5HLTHZ	健康状態（配偶者）	留	Q34
SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退（配偶者）	面	問 63
SSFQ7CK	夕食の用意：頻度（配偶者）	留	Q35 A
SSFQ7CLN	家の掃除：頻度（配偶者）	留	Q35 D
SSFQ7GRB	ゴミ出し：頻度（配偶者）	留	Q35 E
SSFQ7SHP	買い物：頻度（配偶者）	留	Q35 C
SSFQ7WSH	洗濯：頻度（配偶者）	留	Q35 B
SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）	面	問 28-1
SSJBDWK	就労日数／週（配偶者）	面	問 33
SSJBHRWK	就労時間数／週（配偶者）	面	問 29
SSLSTSCH	最終学校（配偶者）	面	問 57
SSSJBHWK	副業就労時間数／週（配偶者）	面	問 29
SSSZINCA	配偶者年収：全体	面	問 49-4

SSSZINCM	配偶者年収：主な仕事	面	問 49-5
SSSZSTFA	企業規模（配偶者）	面	問 36
SSSZWKYR	就労年数（配偶者）	面	問 35
SSTPJB	雇用関係（配偶者）	面	問 30-1
SSTPJBS	雇用形態（配偶者）	面	問 30-2
SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者（配偶者）	面	問 30-4
SSTPJOBP	役職（配偶者）	面	問 30-3
SSTPUNEM	不就労の理由（配偶者）	面	問 28-2
SSXGRADE	在学中の場合の学年（配偶者）	面	問 63
SSXJBSC	通常労働時間数／週（配偶者）	面	問 34
SSXXHQX	業種（配偶者）	面	問 31
SSXXJE08	職種（配偶者）（ISCO08）	面	問 32
SSXXJOB	職種（配偶者）	面	問 32
ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留	Q15 A
ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留	Q15 D
ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留	Q15 E
ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留	Q15 F
ST5JOB	現在の仕事の満足度	面	問 14
ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留	Q15 B
ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留	Q15 C
ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係	留	Q15 G
SZCMTHR	通勤時間：時間	面	問 04-1
SZCMTMIN	通勤時間：分	面	問 04-1
SZCMTTL	通勤時間：合計	面	問 04-1
SZFFONLY	家族人数（本人除く）	面	問 42
SZFFOTHR	その他の家族の人数	面	問 41-1
SZFFOUT	一時的な別居家族の人数	面	問 44-1
SZFFTTL	家族人数（本人含む）	面	問 42
SZFWRKR	職場の正社員うち女性の割合	留	Q75
SZHSASST	資産総額（本人と配偶者）	留	Q30
SZHSDEBT	親・親族からの金銭的援助や土地の贈与（本人と配偶者）	留	Q31
SZHSINCM	世帯年収	面	問 49-1
SZINCOMA	本人年収：全体	面	問 49-2
SZINCOMX	本人年収：主な仕事	面	問 49-3
SZNRWRKR	職場の非正規社員の割合	留	Q74
SZSJBHVK	副業就労時間数／週	面	問 02
SZSTFFST	初職の企業規模	面	問 68
SZSTFLS	前職の企業規模（6 分類）	面	問 24
SZTTLSTA	企業規模	面	問 12
TP1STJB	初職の雇用関係	面	問 66-1
TP1STJBS	初職の雇用形態	面	問 66-2
TP4WPLA	事業所形態	面	問 05
TP5LOC15	15 歳の頃の居住地（本人）	面	問 51-2
TP5LOC20	20 歳の頃の居住地（本人）：居住地域の規模	面	問 52-2
TP5UNEMP	不就労の理由	面	問 18
TPFSTJBP	初職の役職	面	問 66-3
TPHOUSE	居住形態：一戸建て	面	F6-1
TPJB	雇用関係	面	問 03-1

TPJBS	雇用形態	面	問 03-2
TPJBSE	従業員を持つ自営業者	面	問 03-4
TPJOBP	役職	面	問 03-3
TPLSTJB	前職の雇用関係	面	問 22-1
TPLSTJBP	前職の役職	面	問 22-3
TPLSTJBS	前職の雇用形態	面	問 22-2
TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者	留	Q64 J
TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁	留	Q64 D
TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員	留	Q64 K
TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員	留	Q64 L
TR3COPZ	組織への信頼：警察	留	Q64 N
TR3CORPZ	組織への信頼：大企業	留	Q64 A
TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊	留	Q64 M
TR3FINZ	組織への信頼：金融機関	留	Q64 O
TR3HSPLZ	組織への信頼：病院	留	Q64 G
TR3NWSPLZ	組織への信頼：新聞	留	Q64 F
TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体	留	Q64 B
TR3SCHLZ	組織への信頼：学校	留	Q64 C
TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所	留	Q64 I
TR3TVZ	組織への信頼：テレビ	留	Q64 H
TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合	留	Q64 E
TRNBIKE	移動手段：自転車	留	Q07 1
TRNBUS	移動手段：バス	留	Q07 4
TRNFCAR	移動手段：自動車（家族が運転）	留	Q07 6
TRNMCAR	移動手段：自動車（自分で運転）	留	Q07 5
TRNMTRBK	移動手段：バイク	留	Q07 2
TRNOTHER	移動手段：その他	留	Q07 8
TRNTAXI	移動手段：タクシー	留	Q07 7
TRNTRAIN	移動手段：電車	留	Q07 3
TRNWALK	移動手段：主に徒歩	留	Q07 9
USFLLSTS	最終学校の教育が仕事に役立った程度	面	問 62
USFLSKL	経験や技能が仕事に役立った程度	面	問 11
USFLSPS	専修学校・専門学校：教育が仕事に役立った程度	面	問 60-4
USTAND	調査員への質問：回答者の理解度	面	F2
WHNSPSCH	専修学校・専門学校：通った時期	面	問 60-3
WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	面	問 15
WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留	Q22
WLMNGGRV	先祖の墓：今後どのように受け継ぐか	留	Q52-2
WNTMRY	結婚・再婚の意欲	面	問 27-2
WNTMRYAG	結婚・再婚の意欲：何歳までに	面	問 27-2
WRKABLT	現在の仕事：自分の能力を活かしている	留	Q80 H
WRKFAMIL	現在の仕事：仕事と家庭生活を両立できる	留	Q80 G
WRKFREE	現在の仕事：勤務時間を柔軟に決められる	留	Q80 D
WRKHIPAY	現在の仕事：高収入である	留	Q80 B
WRKPRIDE	現在の仕事：今の会社や組織で働いていることに誇りを感じる	留	Q80 K
WRKPROMO	現在の仕事：努力しだけで昇進できる	留	Q80 C
WRKRWRD	現在の仕事：仕事にやりがいを感じる	留	Q80 F
WRKSECUR	現在の仕事：雇用が安定している	留	Q80 A

WRKSHARE	現在の仕事：自分の仕事の分担をこなさないと同僚の負担が増える	留	Q80 J
WRKSOCTY	現在の仕事：社会にとって有益な仕事である	留	Q80 I
WRKVLM	現在の仕事：仕事の量を自分で決められる	留	Q80 E
XGETJOB	初職の就労時期	面	問 65
XGMBLBET	過去 1 年間のギャンブル：回数や金額を増やす	留	Q11
XGMBLLIE	過去 1 年間のギャンブル：重要な人へのうそ	留	Q10
XGRADE	在学中の場合の学年（本人）	面	問 58
XINHRGRV	先祖の墓の受け継ぎ	留	Q52-1
XJBSCHE	通常労働時間数／週	面	問 09
XJOB1WK	先週の就労経験	面	問 01
XJOBWDK	就労日数／週	面	問 08
XJOBHWK	就労時間数／週	面	問 02
XJOBNO	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：なし	留	Q58 3
XJOBOW	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：職場以外	留	Q58 2
XJOBW	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：職場	留	Q58 1
XJOBYR	就労年数	面	問 10
XLIVEYR	現在の居住地への居住年数	留	Q19
XMARRY	結婚経験	面	問 69-1
XNUMBROE	兄弟姉妹人数（兄）	面	問 50-1
XNUMBROY	兄弟姉妹人数（弟）	面	問 50-1
XNUMCOWK	転職数	面	問 26
XNUMSISE	兄弟姉妹人数（姉）	面	問 50-1
XNUMSISY	兄弟姉妹人数（妹）	面	問 50-1
XQTSMOKE	禁煙努力	留	Q13-2
XSCYP	言葉の暴力の被害経験	留	Q29-1
XSCYPCC	言葉の暴力の加害者：子ども	留	Q29-2 3
XSCYPCW	言葉の暴力の加害者：職場の同僚や部下	留	Q29-2 6
XSCYPFA	言葉の暴力の加害者：その他の知人・友人	留	Q29-2 7
XSCYPFM	言葉の暴力の加害者：その他の家族・親族	留	Q29-2 4
XSCYPPA	言葉の暴力の加害者：親	留	Q29-2 1
XSCYPSP	言葉の暴力の加害者：配偶者・恋人	留	Q29-2 2
XSCYPST	言葉の暴力の加害者：知らない人	留	Q29-2 8
XSCYPSV	言葉の暴力の加害者：職場の上司	留	Q29-2 5
XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（本人）	面	問 60-1
XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）	面	問 50-2
XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）	面	問 50-2
XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）	面	問 50-2
XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）	面	問 50-2
XWORK	就労経験	面	問 19
XX8PLPTY	支持政党	留	Q38
XXFSTJB	初職の職種	面	問 67
XXJE08	職種（ISCO08）	面	問 07
XXJOB	職種	面	問 07
XXLJE08	前職の職種（ISCO08）	面	問 23
XXLSTJB	前職の職種	面	問 23
XXLSTSCH	最終学校（本人）	面	問 57
XXRL	信仰する宗教（本人）	留	Q66-2

XXSCHDPT	大学など：学部	面	問 61-2
XXSPSTDY	専修学校・専門学校：学科・分野	面	問 60-2
XXSTPJB	離職理由	面	問 21
XXWPL	業種	面	問 06

西川 一二

III. JGSS-2016 資料

Ⅲ.1 抽出地点リスト

(公開は控えさせていただきます)

Ⅲ.2 産業コード

10	農業
20	林業
30	漁業
40	鉱業
50	建設業
60	製造業
70	電気・ガス・熱供給・水道業
80	運輸業
91	卸売業
92	小売業
93	飲食店
100	金融・保険業
110	不動産業
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業
130	情報・通信サービス業
140	医療・福祉サービス業
150	教育・研究サービス業
160	法律・会計サービス業
170	その他のサービス業
180	公務
190	分類不能の産業
987	兵役
998	非該当
999	無回答

産業カテゴリーの分類コードについては、原則として『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年 SSM 調査研究会)を利用した。1995年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授(当時)の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。

Ⅲ.3 職業コード

501 (専門)	自然科学系研究者
502 (専門)	人文科学系研究者
503 (専門)	機械・電気・化学技術者
504 (専門)	建築・土木技術者
505 (専門)	農林技術者
506 (専門)	情報処理技術者
507 (専門)	その他の技師・技術者
508 (専門)	医師
509 (専門)	歯科医師
510 (専門)	薬剤師
511 (専門)	助産師 (助産婦)
512 (専門)	保健師 (保健婦)
513 (専門)	栄養士
514 (専門)	看護師 (看護婦、看護師)
515 (専門)	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516 (専門)	その他の保健医療従事者
517 (専門)	裁判官、検察官、弁護士
518 (専門)	その他の法務従事者
519 (専門)	公認会計士、税理士
520 (専門)	幼稚園教員
521 (専門)	小学校教員
522 (専門)	中学校教員
523 (専門)	高等学校教員
524 (専門)	大学教員
525 (専門)	盲・ろう・養護学校教員
526 (専門)	その他の教員
527 (専門)	宗教家
528 (専門)	文芸家、著述家
529 (専門)	記者、編集者
530 (専門)	彫刻家、画家、工芸美術家
531 (専門)	デザイナー
532 (専門)	写真家、カメラマン
533 (専門)	音楽家 (個人に教授するものを除く)
534 (専門)	俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するものを除く)
535 (専門)	職業スポーツ家 (個人に教授するものを除く)
536 (専門)	獣医師
537 (専門)	保育士 (保母、保父)
538 (専門)	社会福祉事業専門職員
539 (専門)	個人教師

540 (専門)	不動産鑑定士
541 (専門)	経営コンサルタント
542 (専門)	アナウンサー (ラジオ・テレビ)
543 (専門)	図書館司書
544 (専門)	その他の専門的・技術的職業従事者
545 (管理)	管理的公務員
546 (管理)	国会議員
547 (管理)	地方議員
548 (管理)	会社役員
549 (管理)	その他の法人・団体の役員
550 (管理)	会社・団体等の管理職員
551 (管理)	駅長、区長
552 (管理)	郵便局長、電報・電話局長
553 (管理)	その他の管理的職業従事者
554 (事務)	総務・企画事務員
555 (事務)	受付・案内事務員
556 (事務)	出荷・受荷事務員
557 (事務)	営業・販売事務員
558 (事務)	その他の一般事務員
559 (事務)	会計事務員
560 (事務)	郵便・通信事務員
561 (事務)	集金人
562 (事務)	その他の外勤事務従事者
563 (事務)	運輸事務員
564 (事務)	速記者、タイピスト、キーパンチャー
565 (事務)	電子計算機等操作員
566 (販売)	小売店主
567 (販売)	卸売店主
568 (販売)	飲食店主
569 (販売)	販売店員
570 (販売)	行商人、呼売人、露天商
571 (販売)	再生資源卸売人・回収人
572 (販売)	商品仲立人
573 (販売)	外交員 (保険、不動産を除く)
574 (販売)	保険代理人・外交員
575 (販売)	不動産仲買人・売買人
576 (販売)	質屋店主・店員
577 (販売)	その他の販売類似職業従事者
578 (非熟練)	家政婦、家事サービス職業従事者
579 (熟練)	理容師、美容師
580 (半熟練)	クリーニング職、洗張職
581 (熟練)	料理人

582 (販売)	バーテンダー
583 (販売)	給仕係
584 (販売)	スチュワーデス、スチュワード
585 (販売)	接客社交係
586 (事務)	娯楽場等の接客員
587 (販売)	旅行・観光案内人
588 (販売)	その他の個人サービス職業従事者
589 (販売)	旅館主人・番頭、ホテル支配人
590 (事務)	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591 (非熟練)	ファッションモデル
592 (非熟練)	その他のサービス職業従事者
593 (事務)	自衛官
594 (事務)	警察官、海上保安官、鉄道公安員
595 (事務)	消防員
596 (事務)	看守、守衛、監視員
597 (事務)	その他の保安職業従事者
598 (事務)	旧職業軍人
599 (農林)	農耕・養蚕作業者
600 (農林)	植木職、造園師
601 (農林)	畜産作業者
602 (農林)	林業作業者
603 (農林)	その他の農林業作業者
604 (農林)	漁業作業者
605 (農林)	漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606 (半熟練)	電車・機関車運転士
607 (半熟練)	自動車運転者
608 (管理)	船長・航海士（漁船を除く）、水先人
609 (専門)	船舶機関長・機関士（漁船を除く）
610 (専門)	航空機操縦士、航空士、航空機関士
611 (半熟練)	車掌
612 (半熟練)	鉄道員
613 (半熟練)	船員
614 (半熟練)	その他の運輸従事者
615 (専門)	無線通信士、無線技術士
616 (事務)	有線通信士
617 (事務)	電話交換手
618 (事務)	郵便・電報外務員
619 (事務)	その他の通信従事者
620 (非熟練)	採鉱員、採炭員
621 (非熟練)	石切出作業者
622 (非熟練)	その他の採掘作業者
623 (熟練)	陶磁器工、絵付作業者

624 (熟練)	石工
625 (半熟練)	ガラス・セメント製品製造作業
626 (熟練)	その他の窯業・土石製品製造作業
627 (半熟練)	製鉄工、製鋼工、精錬工
628 (熟練)	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業
629 (半熟練)	化学製品製造作業
630 (半熟練)	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業
631 (熟練)	鉄工、板金工
632 (半熟練)	金属溶接工
633 (熟練)	一般機械組立工・修理工
634 (半熟練)	電気機械器具組立工・修理工
635 (熟練)	自動車組立工・整備工
636 (熟練)	鉄道車両組立工・修理工
637 (熟練)	船舶ぎ装工 (他に分類されない)
638 (熟練)	航空機組立工・整備工
639 (熟練)	自転車組立工・修理工
640 (熟練)	その他の輸送機械組立・修理作業
641 (熟練)	時計組立工・修理工
642 (熟練)	光学機械・精密機械器具組立工・修理工
643 (熟練)	精穀工、製粉工
644 (熟練)	パン・菓子・めん類・豆腐製造工
645 (半熟練)	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造作業
646 (半熟練)	たばこ製造工
647 (熟練)	酒類製造工
648 (半熟練)	製糸作業
649 (半熟練)	織布工、紡織作業
650 (半熟練)	漂白工、染色工
651 (熟練)	洋服・和服仕立職
652 (半熟練)	縫製工、裁断工
653 (半熟練)	製材工、木工
654 (熟練)	指物職、家具職、建具職
655 (熟練)	船大工
656 (熟練)	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業
657 (半熟練)	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業
658 (熟練)	印刷・製本作業
659 (半熟練)	ゴム・プラスチック製品製造作業
660 (熟練)	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業
661 (熟練)	塗装工、画工、看板工
662 (熟練)	漆塗師、まき絵師
663 (熟練)	表具師、内張工
664 (熟練)	和がさ・ちょうちん・うちわ職
665 (熟練)	貴金属・宝石・甲・角等細工

666 (熟練)	印判師
667 (半熟練)	洋傘組立工
668 (熟練)	かばん・袋物製造工
669 (半熟練)	がん具製造工
670 (熟練)	製図工、現図工
671 (熟練)	映写技士
672 (半熟練)	その他の技能工・生産工程作業
673 (熟練)	汽かん士、汽かん火夫
674 (熟練)	起重機・建設機械運転作業
675 (熟練)	その他の定置機関運転作業
676 (半熟練)	発電員、変電員
677 (熟練)	電気工事・電話工事作業
678 (熟練)	土木・建築請負師
679 (熟練)	左官、とび職
680 (熟練)	れんが積工、配管工
681 (熟練)	畳職
682 (非熟練)	土工、道路工夫
683 (非熟練)	鉄道線路工夫
684 (熟練)	現場監督、その他の建設作業
685 (非熟練)	倉庫夫、仲仕
686 (非熟練)	運搬労務者
687 (非熟練)	清掃員
688 (非熟練)	その他の労務作業
689 (分類不能)	分類不能の職業
690 (分類不能)	旧地主
691 (分類不能)	名目上の役員
701 (事務)	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702 (分類不能)	大工
703 (専門)	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704 (分類不能)	製品製造作業：(特に父職で) 作っている製品が明記されていない場合
705 (分類不能)	会社員：(特に父職で) 記入が「会社員」とあった場合
707 (分類不能)	自営業：(特に父職で) 記入が「自営業」とあった場合
986 (分類不能)	無職
987 (分類不能)	兵役
998 (非該当)	非該当
999 (無回答)	不明、無回答

※括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2003 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類 (95 年版)』(1995 年 SSM 調査研究会)における 1995 年 SSM 分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995 年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS 分類と SSM 分類との相違点は、以下のとおりである。

SSM 分類と内容が若干異なるコード

511	助産師 (助産婦)
512	保健師 (保健婦)
514	看護師 (看護婦、看護師)
537	保育士 (保母、保父)
578	家政婦、家事サービス職業従事者

SSM 分類にはないコード

701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー：「559 会計事務員」から分離
702	大工：「679 大工・左官、とび職」から分離
703	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704	製品製造作業者：(特に父職で) 作っている製品が明記されていない場合に用いた
705	会社員：(特に父職で) 記入が「会社員」とあった場合
707	自営業：(特に父職で) 記入が「自営業」とあった場合

SSM 分類には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

988	大学生、短大生
989	大学院生
990	その他の生徒・学生

また、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい (所属は 2005 年 3 月現在)。

高橋 和子 (敬愛大学国際学部 助教授)
 奥村 学 (東京工業大学精密工学研究所 助教授)
 高村 大也 (東京工業大学精密工学研究所 助手)
 須山 敦 (東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年)
 村山 紀文 (東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年)

Ⅲ. 4 国際標準職業分類 (ISCO)

国際標準職業分類 (International Standard Classification of Occupations: ISCO) は、国際労働機関 (International Labour Organization: ILO) が定めている職業分類コード (詳細は <http://www.ilo.org/>) である。JGSS-2015、JGSS-2016 では、本人 (前職含む)・配偶者・15 歳の頃の父親の職種について ISCO-08 を用いて従来の職業分類とは別に変数を作成した。コーディングはもっとも細かい 4 桁 (Unit group) の水準で行ったが、基礎集計は Major group にまとめている。

MAJOR GROUP 1: MANAGERS

11 Chief executives, senior officials and legislators

111 Legislators and senior officials

1111 Legislators

1112 Senior government officials

1113 Traditional chiefs and heads of village

1114 Senior officials of special-interest organizations

112 Managing directors and chief executives

1120 Managing directors and chief executives

12 Administrative and commercial managers

121 Business services and administration managers

1211 Finance managers

1212 Human resource managers

1213 Policy and planning managers

1219 Business services and administration managers not elsewhere classified

122 Sales, marketing and development managers

1221 Sales and marketing managers

1222 Advertising and public relations managers

1223 Research and development managers

13 Production and specialised services managers

131 Production managers in agriculture, forestry and fisheries

1311 Agricultural and forestry production managers

1312 Aquaculture and fisheries production managers

132 Manufacturing, mining, construction, and distribution managers

1321 Manufacturing managers

1322 Mining managers

1323 Construction managers

1324 Supply, distribution and related managers

133 Information and communications technology service managers

1330 Information and communications technology service managers

134 Professional services managers

1341 Child care services managers

1342 Health services managers

- 1343 Aged care services managers
- 1344 Social welfare managers
- 1345 Education managers
- 1346 Financial and insurance services branch managers
- 1349 Professional services managers not elsewhere classified
- 14 Hospitality, retail and other services managers
 - 141 Hotel and restaurant managers
 - 1411 Hotel managers
 - 1412 Restaurant managers
 - 142 Retail and wholesale trade managers
 - 1420 Retail and wholesale trade managers
 - 143 Other services managers
 - 1431 Sports, recreation and cultural centre managers
 - 1439 Services managers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 2: PROFESSIONALS

- 21 Science and engineering professionals
 - 211 Physical and earth science professionals
 - 2111 Physicists and astronomers
 - 2112 Meteorologists
 - 2113 Chemists
 - 2114 Geologists and geophysicists
 - 212 Mathematicians, actuaries and statisticians
 - 2120 Mathematicians, actuaries and statisticians
 - 213 Life science professionals
 - 2131 Biologists, botanists, zoologists and related professionals
 - 2132 Farming, forestry and fisheries advisers
 - 2133 Environmental protection professionals
 - 214 Engineering professionals (excluding electrotechnology)
 - 2141 Industrial and production engineers
 - 2142 Civil engineers
 - 2143 Environmental engineers
 - 2144 Mechanical engineers
 - 2145 Chemical engineers
 - 2146 Mining engineers, metallurgists and related professionals
 - 2149 Engineering professionals not elsewhere classified
 - 215 Electrotechnology engineers
 - 2151 Electrical engineers
 - 2152 Electronics engineers
 - 2153 Telecommunications engineers
 - 216 Architects, planners, surveyors and designers
 - 2161 Building architects

- 2162 Landscape architects
- 2163 Product and garment designers
- 2164 Town and traffic planners
- 2165 Cartographers and surveyors
- 2166 Graphic and multimedia designers
- 22 Health professionals
 - 221 Medical doctors
 - 2211 Generalist medical practitioners
 - 2212 Specialist medical practitioners
 - 222 Nursing and midwifery professionals
 - 2221 Nursing professionals
 - 2222 Midwifery professionals
 - 223 Traditional and complementary medicine professionals
 - 2230 Traditional and complementary medicine professionals
 - 224 Paramedical practitioners
 - 2240 Paramedical practitioners
 - 225 Veterinarians
 - 2250 Veterinarians
 - 226 Other health professionals
 - 2261 Dentists
 - 2262 Pharmacists
 - 2263 Environmental and occupational health and hygiene professionals
 - 2264 Physiotherapists
 - 2265 Dieticians and nutritionists
 - 2266 Audiologists and speech therapists
 - 2267 Optometrists and ophthalmic opticians
 - 2269 Health professionals not elsewhere classified
- 23 Teaching professionals
 - 231 University and higher education teachers
 - 2310 University and higher education teachers
 - 232 Vocational education teachers
 - 2320 Vocational education teachers
 - 233 Secondary education teachers
 - 2330 Secondary education teachers
 - 234 Primary school and early childhood teachers
 - 2341 Primary school teachers
 - 2342 Early childhood educators
 - 235 Other teaching professionals
 - 2351 Education methods specialists
 - 2352 Special needs teachers
 - 2353 Other language teachers
 - 2354 Other music teachers

- 2355 Other arts teachers
- 2356 Information technology trainers
- 2359 Teaching professionals not elsewhere classified
- 24 Business and administration professionals
 - 241 Finance professionals
 - 2411 Accountants
 - 2412 Financial and investment advisers
 - 2413 Financial analysts
 - 242 Administration professionals
 - 2421 Management and organization analysts
 - 2422 Policy administration professionals
 - 2423 Personnel and careers professionals
 - 2424 Training and staff development professionals
 - 243 Sales, marketing and public relations professionals
 - 2431 Advertising and marketing professionals
 - 2432 Public relations professionals
 - 2433 Technical and medical sales professionals (excluding ICT)
 - 2434 Information and communications technology sales professionals
- 25 Information and communications technology professionals
 - 251 Software and applications developers and analysts
 - 2511 Systems analysts
 - 2512 Software developers
 - 2513 Web and multimedia developers
 - 2514 Applications programmers
 - 2519 Software and applications developers and analysts not elsewhere classified
 - 252 Database and network professionals
 - 2521 Database designers and administrators
 - 2522 Systems administrators
 - 2523 Computer network professionals
 - 2529 Database and network professionals not elsewhere classified
- 26 Legal, social and cultural professionals
 - 261 Legal professionals
 - 2611 Lawyers
 - 2612 Judges
 - 2619 Legal professionals not elsewhere classified
 - 262 Librarians, archivists and curators
 - 2621 Archivists and curators
 - 2622 Librarians and related information professionals
 - 263 Social and religious professionals
 - 2631 Economists
 - 2632 Sociologists, anthropologists and related professionals
 - 2633 Philosophers, historians and political scientists

- 2634 Psychologists
- 2635 Social work and counselling professionals
- 2636 Religious professionals
- 264 Authors, journalists and linguists
 - 2641 Authors and related writers
 - 2642 Journalists
 - 2643 Translators, interpreters and other linguists
- 265 Creative and performing artists
 - 2651 Visual artists
 - 2652 Musicians, singers and composers
 - 2653 Dancers and choreographers
 - 2654 Film, stage and related directors and producers
 - 2655 Actors
 - 2656 Announcers on radio, television and other media
 - 2659 Creative and performing artists not elsewhere classified

MAJOR GROUP 3: TECHNICIANS AND ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 31 Science and engineering associate professionals
 - 311 Physical and engineering science technicians
 - 3111 Chemical and physical science technicians
 - 3112 Civil engineering technicians
 - 3113 Electrical engineering technicians
 - 3114 Electronics engineering technicians
 - 3115 Mechanical engineering technicians
 - 3116 Chemical engineering technicians
 - 3117 Mining and metallurgical technicians
 - 3118 Draughtspersons
 - 3119 Physical and engineering science technicians not elsewhere classified
 - 312 Mining, manufacturing and construction supervisors
 - 3121 Mining supervisors
 - 3122 Manufacturing supervisors
 - 3123 Construction supervisors
 - 313 Process control technicians
 - 3131 Power production plant operators
 - 3132 Incinerator and water treatment plant operators
 - 3133 Chemical processing plant controllers
 - 3134 Petroleum and natural gas refining plant operators
 - 3135 Metal production process controllers
 - 3139 Process control technicians not elsewhere classified
 - 314 Life science technicians and related associate professionals
 - 3141 Life science technicians (excluding medical)
 - 3142 Agricultural technicians

- 3143 Forestry technicians
- 315 Ship and aircraft controllers and technicians
 - 3151 Ships' engineers
 - 3152 Ships' deck officers and pilots
 - 3153 Aircraft pilots and related associate professionals
 - 3154 Air traffic controllers
 - 3155 Air traffic safety electronics technicians
- 32 Health associate professionals
 - 321 Medical and pharmaceutical technicians
 - 3211 Medical imaging and therapeutic equipment technicians
 - 3212 Medical and pathology laboratory technicians
 - 3213 Pharmaceutical technicians and assistants
 - 3214 Medical and dental prosthetic technicians
 - 322 Nursing and midwifery associate professionals
 - 3221 Nursing associate professionals
 - 3222 Midwifery associate professionals
 - 323 Traditional and complementary medicine associate professionals
 - 3230 Traditional and complementary medicine associate professionals
 - 324 Veterinary technicians and assistants
 - 3240 Veterinary technicians and assistants
 - 325 Other health associate professionals
 - 3251 Dental assistants and therapists
 - 3252 Medical records and health information technicians
 - 3253 Community health workers
 - 3254 Dispensing opticians
 - 3255 Physiotherapy technicians and assistants
 - 3256 Medical assistants
 - 3257 Environmental and occupational health inspectors and associates
 - 3258 Ambulance workers
 - 3259 Health associate professionals not elsewhere classified
- 33 Business and administration associate professionals
 - 331 Financial and mathematical associate professionals
 - 3311 Securities and finance dealers and brokers
 - 3312 Credit and loans officers
 - 3313 Accounting associate professionals
 - 3314 Statistical, mathematical and related associate professionals
 - 3315 Valuers and loss assessors
 - 332 Sales and purchasing agents and brokers
 - 3321 Insurance representatives
 - 3322 Commercial sales representatives
 - 3323 Buyers
 - 3324 Trade brokers

- 333 Business services agents
 - 3331 Clearing and forwarding agents
 - 3332 Conference and event planners
 - 3333 Employment agents and contractors
 - 3334 Real estate agents and property managers
 - 3339 Business services agents not elsewhere classified
- 334 Administrative and specialised secretaries
 - 3341 Office supervisors
 - 3342 Legal secretaries
 - 3343 Administrative and executive secretaries
 - 3344 Medical secretaries
- 335 Regulatory government associate professionals
 - 3351 Customs and border inspectors
 - 3352 Government tax and excise officials
 - 3353 Government social benefits officials
 - 3354 Government licensing officials
 - 3355 Police inspectors and detectives
 - 3359 Regulatory government associate professionals not elsewhere classified
- 34 Legal, social, cultural and related associate professionals
 - 341 Legal, social and religious associate professionals
 - 3411 Police inspectors and detectives
 - 3412 Social work associate professionals
 - 3413 Religious associate professionals
 - 342 Sports and fitness workers
 - 3421 Athletes and sports players
 - 3422 Sports coaches, instructors and officials
 - 3423 Fitness and recreation instructors and program leaders
 - 343 Artistic, cultural and culinary associate professionals
 - 3431 Photographers
 - 3432 Interior designers and decorators
 - 3433 Gallery, museum and library technicians
 - 3434 Chefs
 - 3435 Other artistic and cultural associate professionals
- 35 Information and communications technicians
 - 351 Information and communications technology operations and user support technicians
 - 3511 Information and communications technology operations technicians
 - 3512 Information and communications technology user support technicians
 - 3513 Computer network and systems technicians
 - 3514 Web technicians
 - 352 Telecommunications and broadcasting technicians
 - 3521 Broadcasting and audio-visual technicians
 - 3522 Telecommunications engineering technicians

MAJOR GROUP 4: CLERICAL SUPPORT WORKERS

41 General and keyboard clerks

411 General office clerks

4110 General office clerks

412 Secretaries (general)

4120 Secretaries (general)

413 Keyboard operators

4131 Typists and word processing operators

4132 Data entry clerks

42 Customer services clerks

421 Tellers, money collectors and related clerks

4211 Bank tellers and related clerks

4212 Bookmakers, croupiers and related gaming workers

4213 Pawnbrokers and money-lenders

4214 Debt-collectors and related workers

422 Client information workers

4221 Travel consultants and clerks

4222 Contact centre information clerks

4223 Telephone switchboard operators

4224 Hotel receptionists

4225 Enquiry clerks

4226 Receptionists (general)

4227 Survey and market research interviewers

4229 Client information workers not elsewhere classified

43 Numerical and material recording clerks

431 Numerical clerks

4311 Accounting and bookkeeping clerks

4312 Statistical, finance and insurance clerks

4313 Payroll clerks

432 Material-recording and transport clerks

4321 Stock clerks

4322 Production clerks

4323 Transport clerks

44 Other clerical support workers

441 Other clerical support workers

4411 Library clerks

4412 Mail carriers and sorting clerks

4413 Coding, proof-reading and related clerks

4414 Scribes and related workers

4415 Filing and copying clerks

4416 Personnel clerks

4419 Clerical support workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 5: SERVICE AND SALES WORKERS

51 Personal service workers

511 Travel attendants, conductors and guides

5111 Travel attendants and travel stewards

5112 Transport conductors

5113 Travel guides

512 Cooks

5120 Cooks

513 Waiters and bartenders

5131 Waiters

5132 Bartenders

514 Hairdressers, beauticians and related workers

5141 Hairdressers

5142 Beauticians and related workers

515 Building and housekeeping supervisors

5151 Cleaning and housekeeping supervisors in offices, hotels and other establishments

5152 Domestic housekeepers

5153 Building caretakers

516 Other personal services workers

5161 Astrologers, fortune-tellers and related workers

5162 Companions and valets

5163 Undertakers and embalmers

5164 Pet groomers and animal care workers

5165 Driving instructors

5169 Personal services workers not elsewhere classified

52 Sales workers

521 Street and market salespersons

5211 Stall and market salespersons

5212 Street food salespersons

522 Shop salespersons

5221 Shop keepers

5222 Shop supervisors

5223 Shop sales assistants

523 Cashiers and ticket clerks

5230 Cashiers and ticket clerks

524 Other sales workers

5241 Fashion and other models

5242 Sales demonstrators

5243 Door to door salespersons

5244 Contact centre salespersons

- 5245 Service station attendants
- 5246 Food service counter attendants
- 5249 Sales workers not elsewhere classified
- 53 Personal care workers
 - 531 Child care workers and teachers' aides
 - 5311 Child care workers
 - 5312 Teachers' aides
 - 532 Personal care workers in health services
 - 5321 Health care assistants
 - 5322 Home-based personal care workers
 - 5329 Personal care workers in health services not elsewhere classified
- 54 Protective services workers
 - 541 Protective services workers
 - 5411 Fire-fighters
 - 5412 Police officers
 - 5413 Prison guards
 - 5414 Security guards
 - 5419 Protective services workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 6: SKILLED AGRICULTURAL, FORESTRY AND FISHERY WORKERS

- 61 Market-oriented skilled agricultural workers
 - 611 Market gardeners and crop growers
 - 6111 Field crop and vegetable growers
 - 6112 Tree and shrub crop growers
 - 6113 Gardeners, horticultural and nursery growers
 - 6114 Mixed crop growers
 - 612 Animal producers
 - 6121 Livestock and dairy producers
 - 6122 Poultry producers
 - 6123 Apiarists and sericulturists
 - 6129 Animal producers not elsewhere classified
 - 613 Mixed crop and animal producers
 - 6130 Mixed crop and animal producers
- 62 Market-oriented skilled forestry, fishery and hunting workers
 - 621 Forestry and related workers
 - 6210 Forestry and related workers
 - 622 Fishery workers, hunters and trappers
 - 6221 Aquaculture workers
 - 6222 Inland and coastal waters fishery workers
 - 6223 Deep-sea fishery workers
 - 6224 Hunters and trappers
- 63 Subsistence farmers, fishers, hunters and gatherers

- 631 Subsistence crop farmers
 - 6310 Subsistence crop farmers
- 632 Subsistence livestock farmers
 - 6320 Subsistence livestock farmers
- 633 Subsistence mixed crop and livestock farmers
 - 6330 Subsistence mixed crop and livestock farmers
- 634 Subsistence fishers, hunters, trappers and gatherers
 - 6340 Subsistence fishers, hunters, trappers and gatherers

MAJOR GROUP 7: CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS

- 71 Building and related trades workers, excluding electricians
 - 711 Building frame and related trades workers
 - 7111 House builders
 - 7112 Bricklayers and related workers
 - 7113 Stonemasons, stone cutters, splitters and carvers
 - 7114 Concrete placers, concrete finishers and related workers
 - 7115 Carpenters and joiners
 - 7119 Building frame and related trades workers not elsewhere classified
 - 712 Building finishers and related trades workers
 - 7121 Roofers
 - 7122 Floor layers and tile setters
 - 7123 Plasterers
 - 7124 Insulation workers
 - 7125 Glaziers
 - 7126 Plumbers and pipe fitters
 - 7127 Air conditioning and refrigeration mechanics
 - 713 Painters, building structure cleaners and related trades workers
 - 7131 Painters and related workers
 - 7132 Spray painters and varnishers
 - 7133 Building structure cleaners
- 72 Metal, machinery and related trades workers
 - 721 Sheet and structural metal workers, moulders and welders, and related workers
 - 7211 Metal moulders and coremakers
 - 7212 Welders and flamecutters
 - 7213 Sheet-metal workers
 - 7214 Structural-metal preparers and erectors
 - 7215 Riggers and cable splicers
 - 722 Blacksmiths, toolmakers and related trades workers
 - 7221 Blacksmiths, hammersmiths and forging press workers
 - 7222 Toolmakers and related workers
 - 7223 Metal working machine tool setters and operators
 - 7224 Metal polishers, wheel grinders and tool sharpeners

- 723 Machinery mechanics and repairers
 - 7231 Motor vehicle mechanics and repairers
 - 7232 Aircraft engine mechanics and repairers
 - 7233 Agricultural and industrial machinery mechanics and repairers
 - 7234 Bicycle and related repairers
- 73 Handicraft and printing workers
 - 731 Handicraft workers
 - 7311 Precision-instrument makers and repairers
 - 7312 Musical instrument makers and tuners
 - 7313 Jewellery and precious-metal workers
 - 7314 Potters and related workers
 - 7315 Glass makers, cutters, grinders and finishers
 - 7316 Sign writers, decorative painters, engravers and etchers
 - 7317 Handicraft workers in wood, basketry and related materials
 - 7318 Handicraft workers in textile, leather and related materials
 - 7319 Handicraft workers not elsewhere classified
 - 732 Printing trades workers
 - 7321 Pre-press technicians
 - 7322 Printers
 - 7323 Print finishing and binding workers
- 74 Electrical and electronic trades workers
 - 741 Electrical equipment installers and repairers
 - 7411 Building and related electricians
 - 7412 Electrical mechanics and fitters
 - 7413 Electrical line installers and repairers
 - 742 Electronics and telecommunications installers and repairers
 - 7421 Electronics mechanics and servicers
 - 7422 Information and communications technology installers and servicers
- 75 Food processing, wood working, garment and other craft and related trades workers
 - 751 Food processing and related trades workers
 - 7511 Butchers, fishmongers and related food preparers
 - 7512 Bakers, pastry-cooks and confectionery makers
 - 7513 Dairy-products makers
 - 7514 Fruit, vegetable and related preservers
 - 7515 Food and beverage tasters and graders
 - 7516 Tobacco preparers and tobacco products makers
 - 752 Wood treaters, cabinet-makers and related trades workers
 - 7521 Wood treaters
 - 7522 Cabinet-makers and related workers
 - 7523 Woodworking-machine tool setters and operators
 - 753 Garment and related trades workers
 - 7531 Tailors, dressmakers, furriers and hatters

- 7532 Garment and related pattern-makers and cutters
- 7533 Sewing, embroidery and related workers
- 7534 Upholsterers and related workers
- 7535 Pelt dressers, tanners and fellmongers
- 7536 Shoemakers and related workers
- 754 Other craft and related workers
 - 7541 Underwater divers
 - 7542 Shotfirers and blasters
 - 7543 Product graders and testers (excluding foods and beverages)
 - 7544 Fumigators and other pest and weed controllers
 - 7549 Craft and related workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 8: PLANT AND MACHINE OPERATORS, AND ASSEMBLERS

- 81 Stationary plant and machine operators
 - 811 Mining and mineral processing plant operators
 - 8111 Miners and quarriers
 - 8112 Mineral and stone processing plant operators
 - 8113 Well drillers and borers and related workers
 - 8114 Cement, stone and other mineral products machine operators
 - 812 Metal processing and finishing plant operators
 - 8121 Metal processing plant operators
 - 8122 Metal finishing, plating and coating machine operators
 - 813 Chemical and photographic products plant and machine operators
 - 8131 Chemical products plant and machine operators
 - 8132 Photographic products machine operators
 - 814 Rubber, plastic and paper products machine operators
 - 8141 Rubber products machine operators
 - 8142 Plastic products machine operators
 - 8143 Paper products machine operators
 - 815 Textile, fur and leather products machine operators
 - 8151 Fibre preparing, spinning and winding machine operators
 - 8152 Weaving and knitting machine operators
 - 8153 Sewing machine operators
 - 8154 Bleaching, dyeing and fabric cleaning machine operators
 - 8155 Fur and leather preparing machine operators
 - 8156 Shoemaking and related machine operators
 - 8157 Laundry machine operators
 - 8159 Textile, fur and leather products machine operators not elsewhere classified
 - 816 Food and related products machine operators
 - 8160 Food and related products machine operators
 - 817 Wood processing and papermaking plant operators
 - 8171 Pulp and papermaking plant operators

- 8172 Wood processing plant operators
- 818 Other stationary plant and machine operators
 - 8181 Glass and ceramics plant operators
 - 8182 Steam engine and boiler operators
 - 8183 Packing, bottling and labelling machine operators
 - 8189 Stationary plant and machine operators not elsewhere classified
- 82 Assemblers
 - 821 Assemblers
 - 8211 Mechanical machinery assemblers
 - 8212 Electrical and electronic equipment assemblers
 - 8219 Assemblers not elsewhere classified
- 83 Drivers and mobile plant operators
 - 831 Locomotive engine drivers and related workers
 - 8311 Locomotive engine drivers
 - 8312 Railway brake, signal and switch operators
 - 832 Car, van and motorcycle drivers
 - 8321 Motorcycle drivers
 - 8322 Car, taxi and van drivers
 - 833 Heavy truck and bus drivers
 - 8331 Bus and tram drivers
 - 8332 Heavy truck and lorry drivers
 - 834 Mobile plant operators
 - 8341 Mobile farm and forestry plant operators
 - 8342 Earthmoving and related plant operators
 - 8343 Crane, hoist and related plant operators
 - 8344 Lifting truck operators
 - 835 Ships' deck crews and related workers
 - 8350 Ships' deck crews and related workers

MAJOR GROUP 9: ELEMENTARY OCCUPATIONS

- 91 Cleaners and helpers
 - 911 Domestic, hotel and office cleaners and helpers
 - 9111 Domestic cleaners and helpers
 - 9112 Cleaners and helpers in offices, hotels and other establishments
 - 912 Vehicle, window, laundry and other hand cleaning workers
 - 9121 Hand launderers and pressers
 - 9122 Vehicle cleaners
 - 9123 Window cleaners
 - 9129 Other cleaning workers
- 92 Agricultural, forestry and fishery labourers
 - 921 Agricultural, forestry and fishery labourers
 - 9211 Crop farm labourers

- 9212 Livestock farm labourers
- 9213 Mixed crop and livestock farm labourers
- 9214 Garden and horticultural labourers
- 9215 Forestry labourers
- 9216 Fishery and aquaculture labourers
- 93 Labourers in mining, construction, manufacturing and transport
 - 931 Mining and construction labourers
 - 9311 Mining and quarrying labourers
 - 9312 Civil engineering labourers
 - 9313 Building construction labourers
 - 932 Manufacturing labourers
 - 9321 Hand packers
 - 9329 Manufacturing labourers not elsewhere classified
 - 933 Transport and storage labourers
 - 9331 Hand and pedal vehicle drivers
 - 9332 Drivers of animal-drawn vehicles and machinery
 - 9333 Freight handlers
 - 9334 Shelf fillers
- 94 Food preparation assistants
 - 941 Food preparation assistants
 - 9411 Fast food preparers
 - 9412 Kitchen helpers
- 95 Street and related sales and service workers
 - 951 Street and related service workers
 - 9510 Street and related service workers
 - 952 Street vendors (excluding food)
 - 9520 Street vendors (excluding food)
- 96 Refuse workers and other elementary workers
 - 961 Refuse workers
 - 9611 Garbage and recycling collectors
 - 9612 Refuse sorters
 - 9613 Sweepers and related labourers
 - 962 Other elementary workers
 - 9621 Messengers, package deliverers and luggage porters
 - 9622 Odd job persons
 - 9623 Meter readers and vending-machine collectors
 - 9624 Water and firewood collectors
 - 9629 Elementary workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 0: ARMED FORCES OCCUPATIONS

- 01 Commissioned armed forces officers
 - 011 Commissioned armed forces officers

- 0110 Commissioned armed forces officers
- 02 Non-commissioned armed forces officers
 - 021 Non-commissioned armed forces officers
 - 0210 Non-commissioned armed forces officers
- 03 Armed forces occupations, other ranks
 - 031 Armed forces occupations, other ranks
 - 0310 Armed forces occupations, other ranks

※ISCO-08 には、「自衛官」に対応するコードがない。「自衛官」については、「MAJOR GROUP 5: SERVICE AND SALES WORKERS」の「54 Protective services workers」に、JGSS の独自コードとして「5415 Self-Defense Forces」を割り当てた。

Ⅲ.5 GSS・世論調査と JGSS-2016 調査項目（面接調査票）の対応表

注：1）GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。

2）GSS は 1972 年から 2010 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。

3）※：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	最近の世論調査など
	識別番号	IDUSE		
	地域ブロック	BLOCK	REGION	※
	都道府県名	PREF		※
	市郡規模	SIZE	SIZE SRCBELT KNORCSIZ	※
	市郡規模（2000 年時点）	SIZE2K	SIZE SRCBELT KNORCSIZ	※
冒頭欄	性別	SEXA	SEX	※
	生年	DOBYEAR	COHORT	※
	年齢	AGEB	AGE	※
	配偶者（DOMARRY の転記）	MARC	MARITAL POSSLQ	※
	留置票の種別	FORM	VERSION	
	面接完了日	DATE	DATEINTV	
	面接完了日：月	MONTH	DATEINTV	
	面接完了日：日	DAY	DATEINTV	
	留置回収完了日	DATEB		
	留置回収完了日：月	MONTHB		
	留置回収完了日：日	DAYB		
問 1	先週の就労経験	XJOB1WK	CURWKPAY WORKNOW WRKSTAT	※
問 2	就労時間数／週	XJOBHWK	HRS1-2 (WORKWEEK)	※
問 2	副業就労時間数／週	SZSJJBHWK	OTHHRS (MOREDAYS) (OTHERWRK) (SECONDWK)	※
問 3-1	雇用関係	TPJB	EMPLOYER WKFAMBIZ WRKSLF	※
問 3-2	雇用形態	TPJB5	PARTFULL WRKTYPE	※
問 3-3	役職	TPJOBP		※
問 3-4	従業員を持つ自営業者	TPJBSE	EMPLOYER NUMEMPS NUMEMPLY PAIDEMPS	2002. 8 国民生活金融公庫総合研究所「自己雇用者（≡自営業者）に関する実態調査」 2003. 11 リクルートワークス研究所「個人事業主（サービス業）の独立開業に関する実態調査 2004」 1985, 1992, 1997, 2002, 2007, 2012 総務省統計局「就労構造基本調査」
問 4	通勤の有無	DOCMT	COMMUTE PLACEWRK	総務省統計局「国勢調査」（年号末尾 0 の大規模調査のみ） 2007. 1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS）
問 4 1S	通勤時間：時間	SZCMTHR	COMMUTE	総務省統計局「国勢調査」（年号末尾 0 の大規模調査のみ） 2001, 2006, 2011 総務省「社会生活基本調査」 2004 内閣府「住宅に関する世論調査」
問 4 1S	通勤時間：分	SZCMTMIN	COMMUTE	2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」（NFRJ03） 2005. 1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
問 4 1S	通勤時間：合計	SZCMTTL	COMMUTE	2007. 1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS） 2009. 2 内閣府男女共同参画局「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査 2009」

問 5	事業所形態	TP4WPLA	NUMSITES PARTORG TYPEORG WRKGOVT	※
問 6	業種	XXWPL	INDUS80 INDUSTRY WORKFOR	※
問 7	職種	XXJOB	ISCO68 ISCO681 ISCO88 OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
問 7	職種 (ISCO)	XXJE08	ISCO68 ISCO681 ISCO88 OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
問 8	就労日数／週	XJOBWDK		※
問 9	通常労働時間数／週	XJBSC		1995, 1996, 1997, 1998 厚生労働省「賃金労働時間制度等総合調査」 2001-2015 厚生労働省「就労条件総合調査」 2001～ 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2004. 1 労働政策研究・研修機構「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」 2005. 11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007. 1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 10	就労年数	XJOBYR	CUREMPYR EMPYEARS JOBYEAS OTHYRS YEARSJOB	※
問 11	経験や技能が仕事に役立った程度	USFLSKL		2014. 5 労働政策研究所・研究機構「雇用創出基金事業の政策効果の検証」
問 12	企業規模	SZTTLSTA	NUMEMPS NUMORG ORGSIZE TOTALNUM	※
問 13	労働組合加入の有無	JOINUNI	MEMUNION UNION	※
問 14	現在の仕事の満足度	ST5JOB	JOBSAT SATJOB SATJOB1 SATJOB7 (WKTOPSAT)	※
問 15	現在の会社・組織での就労継続意向	WLKEEPJA	CHNGEORG LEAVEJOB TRYNEWJB	※
問 16	失業の可能性	OP4UNEMP	JOBLOSE LOSEJB12 WORRYJOB	2001～ 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2004. 8 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2007. 1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2010. 8 東京大学社会科学研究所「請負会社・派遣会社の社員として取引先の生産現場で働く皆さんの働き方とキャリアに関するアンケート調査」
問 17	再就労の容易さ	OP3NEWJB	FINDNWJB JOBEASY JOBFIND JOBFIND1	1999, 2003, 2004, 2005, 2006 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」 2004. 10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」

				2010.8 東京大学社会科学研究所「請負会社・派遣会社の社員として取引先の生産現場で働く皆さんの働き方とキャリアに関するアンケート調査」
問 18	不就労の理由	TP5UNEMP	WRKSTAT	※
問 19	就労経験	XWORK	EVJOB EVWORK NEVERWK	2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 20	離職年齢	AGESTPWK	LASTWKYR YRJOBEND	※
問 21	離職理由	XXSTPJJB	LEAVEJB WHYJBEND WHYLEAVE WHYJBCT1 WHYJBCT2 WHYNOJB1 WHYNOJB2	※
問 22-1	前職の雇用関係	TPLSTJB	(FIRSTSLF) (WRKSLFST)	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95)
問 22-2	前職の雇用形態	TPLSTJBS	(PARTFULL)	2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
問 22-3	前職の役職	TPLSTJBP		2008-2016 総務省統計「労働力調査」
問 23	前職の職種	XXLSTJB	(LASTJOB)	※
問 23	前職の職種 (ISCO)	XXLJE08	(LASTJOB)	※
問 24	前職の企業規模 (6 分類)	SZSTFLS		※
問 25	求職の有無 (全員)	DOLOOKJB	LOOKJOB	※
問 26	転職数	XNUMCOWK		2006.9 厚生労働省「転職者実態調査」 2007-2014 株式会社インテリジェンス DODA「転職経験と成功率の関連性調査」
問 27-1	結婚状況	DOMARRY	MARITAL MARUNION POSSLQ	※
問 27-2	結婚・再婚の意欲	WNTMRV		1997, 2002, 2005, 2010, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査」
	結婚・再婚の意欲: 何歳までに	WNTMRVAG		1997, 2002, 2005, 2010, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査」
問 28-1	先週の就労経験 (配偶者)	SSJB1WK	SPWRKSTA	※
問 28-2	不就労の理由 (配偶者)	SSTPUNEM	SPWRKSTA	1985, 1992, 1997, 2002, 2007, 2012 総務省統計局「就労構造基本調査」
問 29	就労時間数/週 (配偶者)	SSJBHRWK	SPHRS1 SPHRS2	※
	副業就労時間数/週 (配偶者)	SSSJHBWK		1996.4 マルチプルジョブホルダー研究委員会「サラリーマンの社外活動の実態と支援策に関する調査」
問 30-1	雇用関係 (配偶者)	SSTPJJB		※
問 30-2	雇用形態 (配偶者)	SSTPJBS		
問 30-3	役職 (配偶者)	SSTPJJB		1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2010.6-7 厚生労働省「雇用の構造に関する実態調査(パートタイム労働者総合実態調査)」
問 30-4	従業員を持つ自営業者 (配偶者)	SSTPJJBSE		
問 31	業種 (配偶者)	SSXXHQX	SPIND SPIND80	※
問 32	職種 (配偶者)	SSXXJOB	SPISC681 SPISC068 SPISC088 SPOCC SPOCC80 SPPRES SPPRES80	※
問 32	職種 (配偶者) (ISC008)	SSXXJE08	SPISC681 SPISC068 SPISC088 SPOCC	※

			SPOCC80 SPPRES SPPRES80	
問 33	就労日数／週（配偶者）	SSJBDWK		※
問 34	通常労働時間数／週（配偶者）	SSXJBSC		2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 35	就労年数（配偶者）	SSSZWKYR		2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 36	企業規模（配偶者）	SSSZSTFA	SPLOCNUM	※
問 37	配偶者の年齢	SPAGEX	SPYRBORN	1995. 10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1999. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98) 2002. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2005. 11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08)
問 38	配偶者との同居	SPLVTG		1999. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98) 2002. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 39-1	父親：同居・別居距離・生死	PPLV4G	PADEATH PALIVE PALIVE1	1999. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98) 2002. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
問 39-1	母親：同居・別居距離・生死	MMLV4G	MADEATH MALIVE MALIVE1	2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08)
問 39-2	父親：年齢	PPAGE	PAYRBORN	1999. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
問 39-2	母親：年齢	MMAGE	MAYRBORN	2005. 11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 39-3	父親：結婚状況	PPMG		2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
問 39-3	母親：結婚状況	MMMG		
問 39-4	父親：就労の有無	PPJOB		1999. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
問 39-4	母親：就労の有無	MMJOB		2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08)
問 40-1	子どもの人数	CCNUMTTL	CHILDS	1997, 2002, 2005, 2010, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査」 1999. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 1 回全国家族調査」(NFRJ98) 2002. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)

				2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M) 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08) 2011.10 内閣府「経済生活に関する意識調査」
問 40-2	子ども[01-06]:性別	CC[01-06]SEX	KDSEX1-9	※
問 40-3	子ども[01-06]:同居・生死	CC[01-06]LVTG	KDALIVE1-9	※
問 40-4	子ども[01-06]:年齢	CC[01-06]AGE	KDYBRN1-9	※
問 40-5	子ども[01-06]:結婚状況	CC[01-06]MG		2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01)
問 40-6	子ども[01-06]:就労の有無	CC[01-06]JOB	KDWORK1-2	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08)
問 41-1	その他の家族の人数	SZFF0THR	(HOMPOP)	
問 41-2	その他の家族[01-07]:続柄	FFH[01-07]REL	RELATE1-14 RELHH1-14 RELHHD1-14	※
問 41-3	その他の家族[01-07]:性別	FFH[01-07]SEX	GENDER1-14	※
問 41-4	その他の家族[01-07]:年齢	FFH[01-07]AGE	OLD1-14	※
問 42	家族人数(本人除く)	SZFFONLY	HOMPOP	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007, 2010, 2013 厚生労働省「国民生活基礎調査」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08)
	家族人数(本人含む)	SZFFTTL	HOMPOP	※
問 43	世帯主	FFHEAD	RPLACE	※
問 44-1	一時的な別居家族の人数	SZFFOUT		
問 44-2 A	一時的な別居家族[01-06]:続柄	FF0[01-06]REL	RELATE1-14 RELHH1-14 RELHHD1-14	※
問 44-2 B	一時的な別居家族[01-06]:別居理由	FF0[01-06]WHY	WHERE1-14	
問 45-1 1	現在の収入源:自分の収入(全員)	INCSELF	(EARNSHH)	2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2015.6-7 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査(二人世帯以上調査)」
問 45-1 2	現在の収入源:配偶者の収入(全員)	INCSP	ECONSUP (EARNSHH)	
問 45-1 3	現在の収入源:親の収入(全員)	INCPAR	ECONSUP	
問 45-1 4	現在の収入源:配偶者・親以外の家族の収入(全員)	INCFAM	ECONSUP	
問 45-1 5	現在の収入源:年金(全員)	INCPEN	ECONSUP	
問 45-1 6	現在の収入源:失業保険(全員)	INCUEB	ECONSUP	2003.2 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「若年者のキャリア形成に関する実態調査」
問 45-1 7	現在の収入源:貯蓄(全員)	INCSAVE		2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 1994, 1999, 2004, 2008, 2011, 2014 厚生労働省「雇用の構造に関する実態調査」
問 45-1 8	現在の収入源:社会福祉(全員)	INCSOC	ECONSUP	
問 45-1 9	現在の収入源:不定期的な仕事(全員)	INCIRR	ECONSUP	2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
問 45-1 10	現在の収入源:賃貸料所得(全員)	INCRENT		
問 45-1 11	現在の収入源:投資運用(全員)	INCINVEST		
問 45-1 12	現在の収入源:その他(具体的に)(全員)	INCOTHER	ECONSUP	2003.2 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「若年者のキャリア形成に関する実態調査」
問 45-1 13	現在の収入源:わからない(全)	INCNOKN		

	員)			
問 45-2	現在の収入源：中心となるもの（全員）	INCMAIN	ECONSUP	※
問 46	自分の位置する階層	OP10LVL	FAMRNK RANK	1990-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」 1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1999, 2002, 2005, 2008, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」 2001～ 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001, 2004, 2007, 2012 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2004 読売新聞「読売全国世論調査」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2007.8 池田謙一（東京大学）「アジアンパロメータ-2+CSES3 パネル調査」 2009.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査」
問 47	居住地域の規模	SIZEHMT	COMTYPE	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 48	居住形態：持ち家	OWNHOUSE	DWELOWN	2001 内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 2001, 2002, 2003, 2004, 2006, 2008, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2004 内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」 2004 内閣府「住宅に関する世論調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2014.1-3 国土交通省「民間賃貸住宅における共同居住形態に係る実態調査」
	居住形態：民間の賃貸住宅			
	居住形態：社宅・公務員住宅等の給与住宅			
	居住形態：公社・公団等の公営の賃貸住宅			
	居住形態：その他			
問 49-1	世帯年収	SZHSINCM	INCOME INCOME72 INCOME77 INCOME82 INCOME86 INCOME91 INCOME98 INCOME06 REALINC	※
問 49-2	本人年収：全体	SZINCOMA	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98 RINCOM06 RINCOME	※
問 49-3	本人年収：主な仕事	SZINCOMX	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98 RINCOM06 RINCOME	※
問 49-4	配偶者年収：全体	SSSZINCA		1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1

				回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08)
問 49-5	配偶者年収：主な仕事	SSSZINCM		※
問 50-1	兄弟姉妹人数（兄）	XNUMBROE	BRONUM	※
	兄弟姉妹人数（姉）	XNUMSISE	SIBORDER	
	兄弟姉妹人数（弟）	XNUMBROY	(SIBS)	
	兄弟姉妹人数（妹）	XNUMSISY		
問 50-2	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）	XSSNBROE	(SPSIBS)	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08)
	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）	XSSNSISE		
	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）	XSSNBROY		
	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）	XSSNSISY		
問 50-1	15歳の頃の居住地（本人）： 都道府県名	PREF15	REG16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 51-2	15歳の頃の居住地（本人）	TP5LOC15	RES16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
問 51-3	15歳の頃の居住地（本人）： 農山村地域	REMOTE15	RES16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
問 52-1	20歳の頃の居住地（本人）	CTVW20		
	（15歳の頃と別の都道府県の場合）	PREF20		
	20歳の頃の居住地（本人）			
問 52-2	20歳の頃の居住地（本人）： 居住地域規模	TP5LOC20		
問 53-1	15歳の頃の父：雇用関係	PPJB15	PASLF PAWRKSLF	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 53-2	15歳の頃の父：雇用形態	PPJBT15S		
問 53-3	15歳の頃の父：役職	PPJBT15P		
問 54	15歳の頃の父：職種	PPJBXX15	PAJOB PAOCC16 PAOCC80 PAPRES16 PAPRES80	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
	15歳の頃の父：職種 (ISC008)	PPJXXE08		
問 55	15歳の頃の父：企業規模	PPJBSZ15		1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 56	15歳の頃の母：就労地位	MMJBTP15	MAOCC80 MAPRES80 MAWK16 MAWRKSLF	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2013.1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
問 57	最終学校（本人）	XXLSTSCH	COLDEG1 DEGREE EDUC	※
	最終学校（配偶者）	SSLSTSCH	SPDEG SPEDUC	※
	最終学校（父親）	PPLSTSCH	PADEG PAEDUC	※
	最終学校（母親）	MMLSTSCH	MADEG MAEDUC	※

問 58	最終学校の卒業・中退（本人）	DOLSTSCH	DEGREE EDUC	※
	在学中の場合の学年	XGRADE		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J）
問 59-1	高校：学んだ学科	XHSSUB		
問 59-2	高校：進学率	XHSRATE		
問 60-1	専修学校・専門学校への通学経験（本人）	XSPSCH	OCCTRAIN	2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J） 2007. 1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS）
問 60-2	専修学校・専門学校：学科・分野	XXSPSTDY		2014.3 文部科学省「専修学校における生徒・学生支援等に対する基礎調査」
問 60-3	専修学校・専門学校：高等課程の修了	DOSPSUSC		2014.3 文部科学省「専修学校における生徒・学生支援等に対する基礎調査」
問 60-4	専修学校・専門学校：通った時期	WHNSPSCH		
問 60-5	専修学校・専門学校：教育が仕事に役立った程度	USFLSPS		2014.3 文部科学省「専修学校における生徒・学生支援等に対する基礎調査」 2015.12 内閣府「教育・生涯活動に関する世論調査」
問 61-1	大学など：国・公・私立	XUPUBLIC		2003, 2007, 2010, 2014 厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J） 2009.6 野村総合研究所「若者の就業意識に関するアンケート調査」
問 61-2	大学など：学部	XXSCHDPT		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J）
問 62	最終学校の教育が仕事に役立った程度	USFLLSTS		2014.4 東京大学 大学総合教育センター「大学の卒業生に関する調査」「大学への投資効果と新時代における大学システムの在り方に関する調査研究」
問 63	最終学校の卒業・中退（配偶者）	SSDOLSTS		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J）
	在学中の場合の学年（配偶者）	SSXGRADE		
問 64	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）	PSPSCH		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J）
問 65	初職の就労時期	XGETJOB	NEVERWK	1983～（5 年おき）総務省「就業構造基本調査」 1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」（SSM95）
問 66-1	初職の雇用関係	TP1STJB	FIRSTSLF WRKSLFST	2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J）
問 66-2	初職の雇用形態	TP1STJBS		2007.1, 2013. 1-3 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS）
問 66-3	初職の役職	TPFSTJBP		
問 67	初職の職種	XXFSTJB	FIRSTJOB OCCFIRST PRESFRST	
問 68	初職の企業規模	SZSTFFST		
問 69-1	結婚経験	XMARRY	MARITAL MARUNION	※
	結婚の回数	NUMMARRY	MARNUM	1997, 2002, 2005, 2010, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」（SSM2005-J）
問 69-2	初婚年齢	AGE1MG	AGEWED AGEWEDCR	※
	結婚した年齢：2 回目	AGE2MG	AGEWEDCR	
	結婚した年齢：3 回目	AGE3MG	AGEWEDCR	
	結婚した年齢：4 回目	AGE4MG	AGEWEDCR	
末尾 F1	調査員への質問：回答者の協力度	COOP	COOP COOP2	
末尾 F2	調査員への質問：回答者の理解度	USTAND	COMPRED	
末尾 F5	調査員への質問：回答者の居住地域	AREA	COMTYPE	1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」

末尾 F6-1	調査員への質問：回答者の居住形態	TPHOUSE	DWELLING	2001 内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 2001-2012 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001-2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2003 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2004 内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」 2004 内閣府「住宅に関する世論調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08)
末尾 F6-2	集合住宅でのオートロックの有無	AUTOLOCK		
末尾 F7	調査手順（留置／面接の順序）	PROC		
末尾 F8	調査所要時間（分）	DURATION	LNGTHINV	2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一（東京大学）「アジアンパロメーター2+CSES3 パネル調査」

松尾 大地

III.6 GSS・世論調査と JGSS-2016 調査項目（留置調査票）の対応表

注：1）GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。
 2）GSS は 1972 年から 2010 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	最近の世論調査など
Q1	テレビ視聴時間	HRTV	TVHOURS	2000～ NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査（『放送研究と調査』01.8） 2002.1 NHK 放送文化研究所「家族の中のテレビ 2002 調査」（『放送研究と調査』02.8） 2002.10 NHK 放送文化研究所「テレビ 50 年調査」（『放送研究と調査』03.5） 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2005.10, 2010.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」（『放送研究と調査』07.8） 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010 調査」（『放送研究と調査』10.8） 2012.1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」（『放送研究と調査』12.8） 2013.11-12 総務省 情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」
Q2	1 ヶ月の読書冊数	FQ5READ		2000.1, 2005.1, 2010.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2000.1 読売新聞「読書」（『日本の世論』） 2009.9 毎日新聞「第 63 回読書世論調査」（毎日新聞 09.10.26） 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010 調査」 2011.6 毎日新聞「第 65 回読書世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」 2014.3 文化庁「国語に関する世論調査」
Q3	新聞を読む頻度	FQ5NEWSP	NEWS NEWSPRNT	2000.10, 2005.10, 2010.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2001.9 読売新聞「メディア」（読売新聞社世論調査部『日本の世論』02） 2003.2 朝日新聞「新聞読者基本調査」（高山雄二「新聞読者基本調査に見る新聞の読まれ方」『朝日総研レポート』04.6） 2005.10 日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」（『中央調査報』06.7） 2008.12, 2009.9, 2011.9 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」（『中央調査報』09.4, 10.5, 12.5） 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010 調査」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年情報行動調査」（『日本人の情報行動 2010』） 2010.10 公共財団法人 日本生産性本部「仕事と生活の相互作用に関するアンケート調査」 2010.10, 2011.9 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」（『中央調査報』11.4, 12.5） 2011.8 中央調査社「新聞に関する世論調査」（『中央調査報』11.11） 2011.11-12 日本新聞協会「2011 年全国メディア接触・評価調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」
Q4	インターネットでニュース記事を読む頻度	GQ6NWSIN	COMPUSE COMPWORK WKCOMPTR (JOBMINW) (WORK12) COMPUSE USEHOME	2000.4 野村総研「生活者一人アンケート調査」第 2 回調査 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2001.10, 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」（『日本の世論』） 2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2010.10 公益財団法人 新聞通信調査会「第 3 回メディアに関する全国世論調査」 2011.9 公益財団法人 新聞通信調査会「第 4 回メディアに関する全国世論調査」

				2012. 1 NHK 放送文化研究所「世論調査『日本人とメディア』」 2012. 1-2 総務省「平成 23 年通信利用動向調査」 2012. 3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」 2012. 9 公益財団法人 新聞通信調査会「第 5 回メディアに関する全国世論調査」 2014. 12 国立国会図書館関西館図書館協力科「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」
Q5	定期的に行なうスポーツ：頻度	FQSPORT	DOSPORTS GRSPORT	2003. 9 朝日新聞「スポーツ」(『朝日総研』03. 12) 2004, 2006, 2009 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2007. 11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」(『放送研究と調査』08. 4) 2007, 2008, 2009, 2011 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』07. 5, 08. 6, 09. 12, 11. 6) 2010. 10 NHK 放送文化研究所「2010 年国民生活時間調査」 2013. 1 文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」
Q6A	家族と一緒にの夕食：頻度	FQ7FFDNR		2003. 10 味の素(株)「AMC 調査」(『中央調査報』07. 5) 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
Q6B	友人との会食：頻度	FQ7FRSEE	BSTVISIT FRIVISIT SOCFRIEND	2005-2015 内閣府「食育に関する意識調査」 2007-2011 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2011 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M)
Q6C	夕食の用意：頻度(本人)	FQ7CKDNR	COOKING1 HWDUTIES RHHWORK	2002. 11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 2005-2015 内閣府「食育に関する意識調査」 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2004. 11, 2007. 3 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08) 2013. 7-12 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6D	洗濯：頻度(本人)	FQ7WASH	HWDUTIES LAUNDRY1 RHHWORK	2002. 6 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2002. 11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2007-2011 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2011 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M) 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08) 2013. 7-12 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6E	買い物：頻度(本人)	FQ7SHOP	HWDUTIES RHHWORK SHOP1	2002. 11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 2005-2015 内閣府「食育に関する意識調査」 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2004. 11, 2007. 3 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08) 2013. 7-12 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6F	家の掃除：頻度(本人)	FQ7CLEAN	CLEAN1 HWDUTIES RHHWORK	2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2004. 11, 2007. 3 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M) 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08) 2013. 7-12 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6G	ゴミ出し：頻度(本人)	FQ7GARB	HWDUTIES RHHWORK	2013. 7-12 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」

Q7	移動手段：1 自転車	TRNBIKE		総務省統計局「国勢調査」（年号末尾0の大規模調査のみ）
	移動手段：2 バイク	TRNMTRBK		
	移動手段：3 電車	TRNTRAIN		
	移動手段：4 バス	TRNBUS		
	移動手段：5 自動車（自分で運転）	TRNMCAR		
	移動手段：6 自動車（家族が運転）	TRNFCAR		
	移動手段：7 タクシー	TRNTAXI		
	移動手段：8 その他の移動手段	TRNOTHER		
	移動手段：9 主に徒歩	TRNWALK		
Q8	公営ギャンブル：頻度（回数/年）	FQRACE		2002.10 財団法人 社会安全研究財団「パチンコに関する世論・有識者調査」 2006.7 時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」
Q9	パチンコ・パチスロ：プレイ頻度（回/年）	FQPACHI		2002.10 財団法人 社会安全研究財団「パチンコに関する世論・有識者調査」 2006.7 時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」
Q10	過去1年間のギャンブル：重要な人へのうそ	XGMBLLIE		
Q11	過去1年間のギャンブル：回数や金額を増やす	XGMBLBET		
Q12	健康状態（本人）	OP5HLTHZ	HEALTH HEALTH1	2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2004, 2006 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査2005」 2008.4, 2011.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」（『中央調査報』08.6, 11.6） 2009.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS） 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」（『放送研究と調査』09.8） 2012.3 内閣府経済社会総合研究所「生活の質に関する調査」
Q13-1	喫煙経験	DOSMOKE	CIGWEEK EVSMOKE SMOKE SMOKECIG	1994-2013 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2007.6, 2008.6 時事通信社「喫煙に関する世論調査」（『中央調査報』07.8, 08.8） 2008.11, 2009.11, 2010.11 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2011.9 国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部「飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート調査」 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」 2011-2013 厚生労働省「国民生活基礎調査」
Q13-2	禁煙努力	XQTSMOKE	QUITSMK	1994～ 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2007.6, 2008.6 時事通信社「喫煙に関する世論調査」
Q14	飲酒頻度	D07DRINK	DRINK DRINKYR EVDRINK	1994-2013 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2003.5 時事通信社「飲酒に関する世論調査」（『中央調査報』03.6） 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」（JLPS-Y） 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」（JLPS-M） 2009, 11, 2010.11 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2011.9 国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部「飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート調査」 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
Q15 A	生活満足度：居住地域	ST5AREAY	SATCITY	2001.6 内閣府「国土の将来像に関する世論調査」 2002.10, 2010.3, 2012.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所 第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.6 内閣府政府広報室「社会資本の整備に関する世論調査」 2004, 2006, 2008, 2010, 2012 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2006.10 朝日新聞「面接調査（地方自治）」（『朝日総研リポート』06.12） 2008.10 時事通信社「地域社会に関する世論調査」（『中央調査報』08.12） 2009.8 博報堂「スケール・ジャパン」 2015.2-3 国土交通省「住生活に関する意識調査」

Q15 B	生活満足度：余暇利用	ST5LEISY	SATHOBBY	1989-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2000.6 読売新聞「余暇・レジャー」(『日本の世論』) 2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2007.11 NHK放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2008, 2013 統数研「日本人の国民性」
Q15 C	生活満足度：家庭生活	ST5LIFEY	SATFAM SATFAM7	1989-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2002.10, 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2002.11 NHK放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 (『放送研究と調査』03.4) 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2013.10 統数研「日本人の国民性」第13次全国調査
Q15 D	生活満足度：家計状態	ST5ECNY	SATFIN	1989-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002.10, 2010.3, 2012.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2013.10 統数研「日本人の国民性」第13次全国調査
Q15 E	生活満足度：友人関係	ST5FRIY	SATFRND	2003.6 NHK放送文化研究所 第7回「日本人の意識調査・2003」 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト 「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト 「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M) 2010.3, 2012.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2014.11-12 全国大学生生活協同組合連合会「2014 年大学生の意識調査」
Q15 F	生活満足度：健康状態	ST5HLTHY	SATHEALT	2002.10, 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2010.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
G	生活満足度：配偶者との関係	ST5SSREL		2012.3 明治安田生活福祉研究所「男性の幸せに関する意識調査」 2013.10, 12 株式会社社住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
G Q16	幸福度	OP5HAPPZ	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」(『朝日総研レポート』08.5) 2008.2, 2011.3, 2012.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2010.1 大阪大学社会経済研究所「くらしの好みと満足度についてのアンケート」 2012.2 朝日新聞「郵送調査『日本人と絆』」 2013 統数研「日本人の国民性調査」 2013.9 電通こころラボ「日本人の幸福度調査」
Q17 A	希望のなさ：将来の希望が持てない	NOFUTR	HOPELESS OPTIMIST PESSIMST	2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2009.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2010, 2013 リクルートマネージメントソリューションズ「新人・若手の意識に関する調査」 2015 内閣府「平成 25 年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q17 B	目標は達成できない	NOGOAL	PESSIMST (HOPELESS)	2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2010, 2013 リクルートマネージメントソリューションズ「新人・若手の意識に関する調査」 2015 内閣府「平成 25 年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q18 A	精神的健康：おちついた気分	SFMHPEAC	PEACEFUL ATEASE CALM FIDGETY	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2009.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2013.11-12 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」

Q18 B	精神的健康：活力にあふれる	SFMHENGY	ENERGY EXCITED	2009 NP0 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
Q18 C	精神的健康：おちこんだ気分	SFMHDPRS	DOWNBLUE NOCHEER SHAKEBLU	2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009 NP0 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2009.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2013.11-12 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q19	現在の居住地域への居住年数	XLIVEYR	COMYEAR LIVECOM LIVECOM1 LOCLIVED	1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」 2008.2 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 2010.1, 2011.3, 2012.4 内閣府「社会意識に関する世論調査」
Q20	1 ソーラーパネル（太陽光発電）	DOECSLP		2008.3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」 2010.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
	2 深夜電力（深夜電力の割引契約）	DOECMNP		2009.5 内閣府「クールビズに関する特別世論調査」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
	3 エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など	DOECWC		2008.3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」
	4 低公害車（LPG 車やハイブリッド車、電気自動車など）	DOECLMC	(MOREMPG)	2009.5 内閣府「クールビズに関する特別世論調査」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
	5 いずれも利用していない	DOECNONE		
Q21 A	電気はこまめに消す	FQ4DENKI	(REDCEHME)	2007.12 朝日新聞「定期国民意識調査（暮らしと地球環境）」（『朝日総研レポート』08.2） 2010.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」 2012.9-10 環境省「家庭の節電・CO2 削減行動に関する調査」
Q21 B	消費電力を減らす工夫	FQ4ELC	(REDCEHME)	
Q22	現在の居住地域に住み続けたいか	WLLIVE	MOVENEI MOVENOAM MOVESTAT MOVETOWN MOVEUSA	1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」 2008.2 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 2010.1, 2011.3, 2012.4 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2015.8 内閣府「国土形成計画の推進に関する世論調査」
Q23	居住地域の存続についての不安感	AXCONTCM		
Q24	世帯収入のレベル	OP5FFINX	FINRELA	1994, 1999, 2004, 2009, 2014 総務省統計局「全国消費実態調査」 1993 統数研「日本人の国民性」第9次全国調査 1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2001～ 連合総合生活開発研究所「労働者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2013.10 統数研「日本人の国民性」第13次全国調査
Q25	15 歳の頃の世帯収入レベル	OPFFIX15	INCOM16	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M)
Q26	中学3年生の頃の成績	OP5SCHPF		1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1, 2008.1 大阪大学 21 世紀 COE「選好パラメータアンケート調査（2006 年度，2007 年度 日本）」

				2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2007, 2008 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007, 2008 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M)
Q27	階層帰属意識	OP5LEVK	CLASS CLASSY FAMRKN	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1995, 2000, 2005 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 1999, 2002, 2005, 2008, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」 2001～ 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査 2005.3 朝日新聞「日・韓・中・国際調査」(『朝日総研レポート』05.6) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3 パネル調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2009.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査」 2010-2013 池田謙一「国際比較のための価値・信頼・政治参加・民主主義指標に関する 4 波のパネル調査の日本データ(含 WVS2010, ABS3, CSES4)」
Q28	将来の経済的不安	AXECNSF		1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2000.9 生命保険文化センター「ワークスタイルの多様化と生活設計に関する調査」 2001～ 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003-2004 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた政治経済制度の構築」「開かれた社会に関する意識調査」 2007.4, 2010.4 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」 2010.7 厚生労働省「社会保障を支える世代に関する意識等調査」 2011.12-2012.1 内閣府「若者の仕事観や将来像と職業的自立、就労等支援等に関する調査」 2014.8 内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」 2013.11-12 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q29-1	言葉の暴力の被害経験	XSCYP		1999, 2002, 2005, 2008, 2011, 2014 総理府「男女間における暴力に関する調査」
Q29-2	(言葉の暴力の加害者)			
	1 親	XSCYPPA		1999, 2002, 2005, 2008, 2011, 2014 総理府「男女間における暴力に関する調査」
	2 配偶者・恋人	XSCYPSP		1999, 2002, 2005, 2008, 2011, 2014 総理府「男女間における暴力に関する調査」
	3 子ども	XSCYPCC		
	4 その他の家族・親族	XSCYPM		1999, 2002, 2005, 2008, 2011, 2014 総理府「男女間における暴力に関する調査」
	5 職場の上司	XSCYPSV		2012.7-9 厚生労働省「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」
	6 職場の同僚や部下	XSCYPCW		2012.7-9 厚生労働省「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」
	7 その他の知人・友人	XSCYPFA		
	8 知らない人	XSCYPST		
Q30	資産総額(本人と配偶者)	SZHSASST		1984, 1990, 1994, 1999, 2004, 2009, 2014 総務省「全国消費実態調査」
Q31	親・親族からの金銭的援助や土地の贈与(本人と配偶者)	SZHSDEBT		
Q32-1	介護を必要とする家族の有無	CRNDFF		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
Q32-2	回答者が家族の主な介護者	CRGIVFF		2005.11 内閣府「高齢者の生活と意識 第 6 回国際比較調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
Q33	配偶者の有無	MARRYZ		1997, 2002, 2005, 2010, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「出

				生動向調査」
Q34	健康状態（配偶者）	SS5HLTHZ		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08)
Q35 A	夕食の用意：頻度（配偶者）	SSFQ7CK		2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」
Q35 B	洗濯：頻度（配偶者）	SSFQ7WSH		
Q35 C	買い物：頻度（配偶者）	SSFQ7SHP		
Q35 D	家の掃除：頻度（配偶者）	SSFQ7CLN		
Q35 E	ゴミ出し：頻度（配偶者）	SSFQ7GRB		
Q36	家計管理	RR6ACCT		1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1999.1 日本家族社会学会「全国家族調査」 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個性に関する調査」 2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q37	貧富解消政策への賛否	Q5GVEQAA	EQINCOME EQUALIZE EQWLTH EQWLTHY GOVEQINC HELPP00R	2009, 2010 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2011.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS)
Q38	支持政党	XX8PLPTY		1971～ 明るい選挙推進協会「衆議院総選挙／参議院選挙の実態調査」 1998～ NHK「政治意識月例調査」 2000 NES2000pre/post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2002 NES2002pre/post 2002.1 Asian Barometer（池田謙一ほか）「アジア・バロメータ」 2003-2004 早稲田大学 21世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」 2003.9-2005.9 東京大学蒲島・谷口研究室＆朝日新聞「2003年衆院選-04年参院選-05年衆院選世論調査」(『日本政治研究』2-1;3-1) 2005-2007 早稲田大学 21世紀 COE「21世紀日本人の社会・政治意識に関する調査」(GLOPE2005-07) 2007.4-5 朝日新聞「全国世論調査『あなたにとって政治とは』」(『朝日総研レポート』07.9) 2007.5-6～2007.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞「2007年参院選世論調査」(『日本政治研究』5) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007-2009 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M) 2008.6 NHK放送文化研究所 第8回「日本人の意識調査・2008」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.8-10～2010.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞「2009年衆院選-10年参院選世論調査」 2010.6 朝日新聞「緊急世論調査」(『ジャーナリズム』10.7) 2013.10 統数研「日本人の国民性」第13次全国調査 2013.10 NHK放送文化研究所 第9回「日本人の意識調査・2013」

Q39	理想的な子どもの人数（一般論）	APPCCNUM		1997, 2002, 2005, 2010 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 2000, 2005 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2003.1 内閣府「若年層の意識実態調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所 第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.2 厚生労働省「少子化に関する意識調査」 2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2007.1 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査」(JLPS-Y) 2007.1 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査」(JLPS-M) 2010.6 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」
	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	APPCCNMX		
Q40	希望する子どもの性別	APPCCSXB		1995.7 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1997, 2002, 2005, 2010 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1998, 2003, 2008 統数研「日本人の国民性」全国調査 2000, 2005, 2006 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 2009.2 内閣府「アジア地域（韓国、シンガポール、日本）における少子化社会対策の比較調査」
Q41	三世同居観	OP2GNR		2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2008.6 NHK 放送文化研究所 第8回「日本人の意識調査・2008」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
Q42 A	意見についての賛否：離婚	Q4DIVOK	DIVBEST MARDIV MARNOMAR	2002, 2004, 2007, 2009, 2011 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第3回全国家族調査」(NFRJ08) 2011.1 東京都生活文化局「男女平等参画に関する世論調査」 2012.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2013.10 統数研「日本人の国民性」第13次全国調査
Q42 B	意見についての賛否：妻の仕事	Q4WWJBIA	FEWORK FEWORKIF	1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2002, 2004, 2007, 2009 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」(『中央調査報』06.11) 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査2005」 2007.4 日本大学人口研究所「全国調査『仕事と家族』」(『中央調査報』08.4) 2004.11, 2007.8, 2009.10, 2012.10, 2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q42 C	意見についての賛否：女性の幸福	Q4WNMGA	FEMARRY	2003.6, 2008.6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2004.11, 2007.8, 2009.10, 2012.10, 2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」(『放送研究と調査』05.5) 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2014.2-3 博報堂「地域幸せ風土調査」
Q42 D	意見についての賛否：男性の家事	Q4MNCOOK	MEHHWORK	2004.11, 2007.8, 2009.10, 2012.10, 2014.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2014.8 内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査」

Q42 E	意見についての賛否: 役割分担	Q4WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOD	2002. 11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女と役割に関する調査」 2003. 6, 2008. 6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2003. 7 国立社会保障・人口問題研究所「第 3 回全国家庭動向調査」 2004. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03) 2004. 11, 2007. 8, 2009. 10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004. 11, 2007. 8, 2009. 10, 2012. 10, 2014. 8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」 2005. 11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2006. 1 内閣府男女共同参画局「男女の働き方と仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する調査」 2007. 1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS) 2008. 7 国立社会保障・人口問題研究所「第 4 回全国家庭動向調査」 2009. 1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 3 回全国家族調査」(NFRJ08) 2010, 2012 内閣府「国民生活選好度調査」
Q42 F	意見についての賛否: 男性の幸福	Q4MNMGA	MEMARRY	2003. 6, 2008. 6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2004. 12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2012. 3-4 明治安田生活福祉研究所「男性の幸せに関する意識調査」
Q42 G	意見についての賛否: 子どもへの影響	Q4JBMCC	FEPRESCH KIDSUFFR	2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
Q42 H	意見についての賛否: 子どもをもつ必要	Q4NOCCMG	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	2001. 1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2003. 6 NHK 放送文化研究所 第 7 回「日本人の意識調査・2003」 2004. 4 毎日新聞「人口・家族・世代」第 1 回世論調査 2004. 11, 2007. 8, 2009. 10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004. 12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2005. 1 内閣府「国民生活選好度調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」 2008. 6 NHK 放送文化研究所 第 8 回「日本人の意識調査・2008」 2009. 10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2011. 12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」 2013. 10 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」
Q42 I	意見についての賛否: 妻は夫の手助け	Q4WWHPHH	FEHELP	1992. 11 総理府「男女平等に関する世論調査」
Q43	外国人増加の賛否	QFNRIOCR	ETHCHNG LETIN LETIN1 LETINASN LETINEUR LETINHSP (EXCLDIMM)	2000. 11 内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」 2003. 11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナルアイデンティティ』」 2004. 5 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」 2005. 8 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター「多文化共生に関する都市実態調査」研究会「ともに生きる住みよい町づくりアンケート」 2015. 3-4 朝日新聞「戦後 70 年世論調査」
Q44 A	外国人の受入: 工場労働者	OPFNWFC		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q44 B	外国人の受入: 建設作業員	OPFNWCN		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q44 C	外国人の受入: 農林漁業従事者	OPFNWAG		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q44 D	外国人の受入: 介護・看護サービス従事者	OPFNWCR		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q44 E	外国人の受入: 高度専門職従事者	OPFNWPR		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」 2012-2013. 12-1 経済産業省「高度外国人材の受入れニーズ等

				に関する調査」
Q45 A	外国人増加による地域への影響	OP4FN CN		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q45 B	外国人増加による地域への影響：雇用環境の悪化	OP4FNEMP		2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q45 C	外国人増加による地域への影響：文化を豊かにする	OP4FNCLT		2001. 1-2 株式会社ライフデザイン研究所「外国人労働者に関する意識調査」 2004. 5 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」 2014. 7 日本国際交流センター「多文化共生と外国人受け入れに関する自治体アンケート」
Q45 D	外国人増加による地域への影響：治安・風紀が乱れる	OP4FNSFE		2001. 1-2 株式会社ライフデザイン研究所「外国人労働者に関する意識調査」 2004. 5 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」 2004. 7 財団法人 経済広報センター「外国人労働者の受け入れに関するアンケート」
Q46	公的年金の給付と負担のバランス	OP4PENSN		
Q47 A	近隣状況：互いに気にかけている	OPNBMT CN	(ANOMIA9)	1999, 2002, 2005, 2008, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」
Q47 B	近隣状況：手助けしてくれる	OPNBASS	(HELPFUL)	1999, 2002, 2005, 2008, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」
Q48	カジノ合法化の賛否	OPCASINO		2002. 10 財団法人 社会安全研究財団「パチンコに関する世論・有識者調査」 2015. 4 日本カジノスクール「カジノに関する意識調査」
Q49	適切な消費税率への意見 2015	OP7CNSTX		
Q50	所得格差への意見	OPINCDIF		
Q51	自分の墓について	OP7CMTRA		
Q52-1	祖の墓の受け継ぎ	XINHGRV		2005. 1 第一生命「墓に関する意識調査」
Q52-2	先祖の墓：今後どのように受け継ぐか	WLMNGGRV		
Q53	夫婦別姓意識	OP4NAME		2012. 12 法務省「選択的夫婦別氏制度に関する世論調査」 2012. 12 内閣府「家族の法制度に関する世論調査」 2015. 11 朝日新聞「朝日新聞世論調査」
Q54	何歳まで仕事をしたいか	AGERETR		2006, 2012 厚生労働省「高齢期における社会保障に関する意識等調査」 2014. 8 内閣府「人口・経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」
Q55	起業意欲	OP7STBSN		2007. 3 厚生労働省「起業に関する現状及び意識に関するアンケート調査」 2013. 11 日本政策金融公庫総合研究所「起業意識に関する調査」
Q56	学校教育は職務内容に見合っている	OVEREDUC		
Q57	仕事上の能力は職務内容に見合っている	DOUSES KL		
Q58	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：職場	XJOBW		
	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：職場以外	XJOBOW		
	技能を高めるための教育・訓練・研修を受けた経験：なし	XJOBNO		
Q59 A	女性の就業：就職	OP5WJOB		2004. 11, 2007. 3 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q59 B	女性の就業：給与	OP5WINC		
Q59 C	女性の就業：昇進	OP5WPROM		
Q59 D	女性の就業：雇用の安定	OP5WJBSC		
Q60	強い労働組合の賛否	OP5UNION		
Q61 A	老後の不安感：年金生活	OP4FRPSN		1984-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2015. 6-7 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査（二人世帯以上調査）」
Q61 B	老後の不安感：家族・親族の介護	OP4FRFCR		1984-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」
Q61 C	後の不安感：十分な介護サービス	OP4FRCRS		1984-2015 内閣府「国民生活に関する世論調査」

Q62	人への信頼感	OP4TRUST	CANTRUST TRUST TRUST5 TRUSTY (FEWTRSTY) (TRUSTPEO)	2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2003. 9 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査 2005. 11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2008. 10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2013. 10 統数研「日本人の国民性」第 13 次全国調査
Q63	人間観（一般）：人間の本性	OP7GDEV0	WORLD4	2000. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2003. 9 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査 2008. 10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2013. 10 統数研「日本人の国民性」第 13 次全国調査
Q64 A	組織への信頼：大企業	TR3CORPZ	CONBIZ CONBUS CONBUSY	2000. 4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002. 11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007. 7, 2008. 8, 2009. 12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」(『中央調査報』07. 9, 08. 10, 10. 4) 2010 WVS「世界価値観調査」 2014, 2015 エデルマンジャパン「2015 エデルマン・トラストバロメーター」
Q64 B	組織への信頼：宗教団体	TR3RLGPZ	CONCHURH CONCLERG CONCLERY	2000. 4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2008. 2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」(『朝日総研リポート』08. 5) 2010 WVS「世界価値観調査」
Q64 C	組織への信頼：学校	TR3SCHLZ	CONEDUC CONEDUCY CONSCHLS	2000. 4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2001. 2 読売新聞「教育」(『日本の世論』) 2001. 7-2005. 9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002. 12 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 2007. 7, 2008. 8, 2009. 12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008. 2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008. 10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2013. 10 統数研「日本人の国民性」第 13 次全国調査 2013. 10-12 東京大学大学院教育学研究科 中村高康研究室「教育と仕事に関する全国調査」
Q64 D	組織への信頼：中央官庁	TR3BCRAZ	CONFED CONFEDY CONGOVT FEDTRUST	2000. 4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001. 7-2005. 9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002. 11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2007. 7, 2008. 8, 2009. 12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007. 8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSSES3 パネル調査」 2010. 9 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2010」(『放送研究と調査』11. 1) 2010 WVS「世界価値観調査」 2014, 2015 エデルマンジャパン「2015 エデルマン・トラストバロメーター」
Q64 E	組織への信頼：新聞	TR3NWSPPZ	CONPRESS CONPRESY	2000. 4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001. 7-2005. 9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2001. 9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2002. 11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」(『放送研究と調査』03. 3) 2002. 11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002. 12 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 2007. 7, 2008. 8, 2009. 12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008. 2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2010. 9 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2010」(『放送研究と調査』11. 1) 2010 WVS「世界価値観調査」

				2011.9 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」(『中央調査報』12.5) 2014, 2015 エデルマンジャパン「2015 エデルマン・トラストバロメーター」
Q64 F	組織への信頼：労働組合	TR3UNNZ	CONLABOR CONLABOY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q64 G	組織への信頼：病院	TR3HSPLZ	CONMEDIC CONMEDIY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2001.9 読売新聞「社会保障」(『日本の世論』) 2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞「医療」(朝日新聞総合研究センター『朝日総研レポート』02.6) 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2007.7, 2008.8, 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2011.11 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『健康』」
Q64 H	組織への信頼：テレビ	TR3TVZ	CONTV CONTVY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2002.11 NHK放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2007.7, 2008.8, 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2010.9 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2010」(『放送研究と調査』11.1) 2010 WVS「世界価値観調査」 2011.9 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2013.11-12 総務省 情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」 2014, 2015 エデルマンジャパン「2015 エデルマン・トラストバロメーター」
Q64 I	組織への信頼：裁判所	TR3SPCAZ	CONCOURT CONJUDGE CONJUDGY	2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2007.7, 2008.8, 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSSES3パネル調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.12 朝日新聞「定期国民意識調査「あなたと法律・裁判」」(『ジャーナリズム』09.2) 2010 WVS「世界価値観調査」
Q64 J	組織への信頼：学者・研究者	TR3ACDAZ	CONSCI CONSCIY TRSTPROF	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q64 K	組織への信頼：市区町村議会議員	TR3CITYZ	LOCCARE LOCTRUST	1999.3 読売新聞「地域住民意識」(『日本の世論』)
Q64 L	組織への信頼：自衛隊	TR3DEFZ	CONARMY CONARMY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2006.2, 2009.1 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」 2007.7, 2008.8, 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2010 WVS「世界価値観調査」
Q64 M	組織への信頼：警察	TR3COPZ	(TRTCOPS)	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2000.11 読売新聞「治安」(『日本の世論』) 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・

				時系列的調査研究 2001.12 朝日新聞「揺らぐ『生活の安全』」(『朝日総研レポート』02.4) 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 2007.7, 2008.8, 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.12 朝日新聞「定期国民意識調査「あなたと法律・裁判」」 2010.9 NHK 放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2010」(『放送研究と調査』11.1)
Q64 N	組織への信頼：金融機関	TR3FINZ	CONFINAN CONFINAY	
Q65 A	組織への所属：政治団体	MEMPLTGP	GRPPARTY GRPPOL MEMPOLIT TYPOLIT	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメータ-2+CSSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009 年調査 (選挙後調査)」
Q65 B	組織への所属：業界団体	MEMIND	GRPUNION GRPWORK MEMFARM MEMPROF TYPFARM TYPPROF	2000.5 経済企画庁「国民生活選好度調査」 2000 NES2000post 2000.1 JED「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」(『放送研究と調査』03.4) 2002.1 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメータ-2+CSSES3 パネル調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2009 JESIV「2009 年調査 (選挙後調査)」 2010.3, 2011.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2001, 2006, 2011 総務省統計局「社会生活基本調査」 2014, 8-10 内閣府「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」
Q65 C	組織への所属：ボランティアのグループ	MEMVLNTR	GRPCHRTY MEMSERV TYPSEV	2000 NES2000post 2000.1 JED「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」(『放送研究と調査』03.4) 2002.1 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメータ-2+CSSES3 パネル調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2009 JESIV「2009 年調査 (選挙後調査)」 2010.3, 2011.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2001, 2006, 2011 総務省統計局「社会生活基本調査」 2014, 8-10 内閣府「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」
Q65 D	組織への所属：市民運動のグループ	MEMCIVIL	FEJOIN GRNGROUP MEMNAT RACJOIN	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.1 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメータ-2+CSSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009 年調査 (選挙後調査)」 2014.6 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査 (市民意識)」
Q65 E	組織への所属：宗教の団体や会	MEMRL	CHURCHMEN CHURCHTX GRPCHURH GRPRELIG MEMCHURH TYPCHURCH	2000.7, 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメータ-2+CSSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009 年調査 (選挙後調査)」
Q65 F	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	MEMSPORT	GRPSPORT GRPSPTS MEMSPORT TYPSPORT	2000, 2006, 2009 内閣府「体力とスポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」

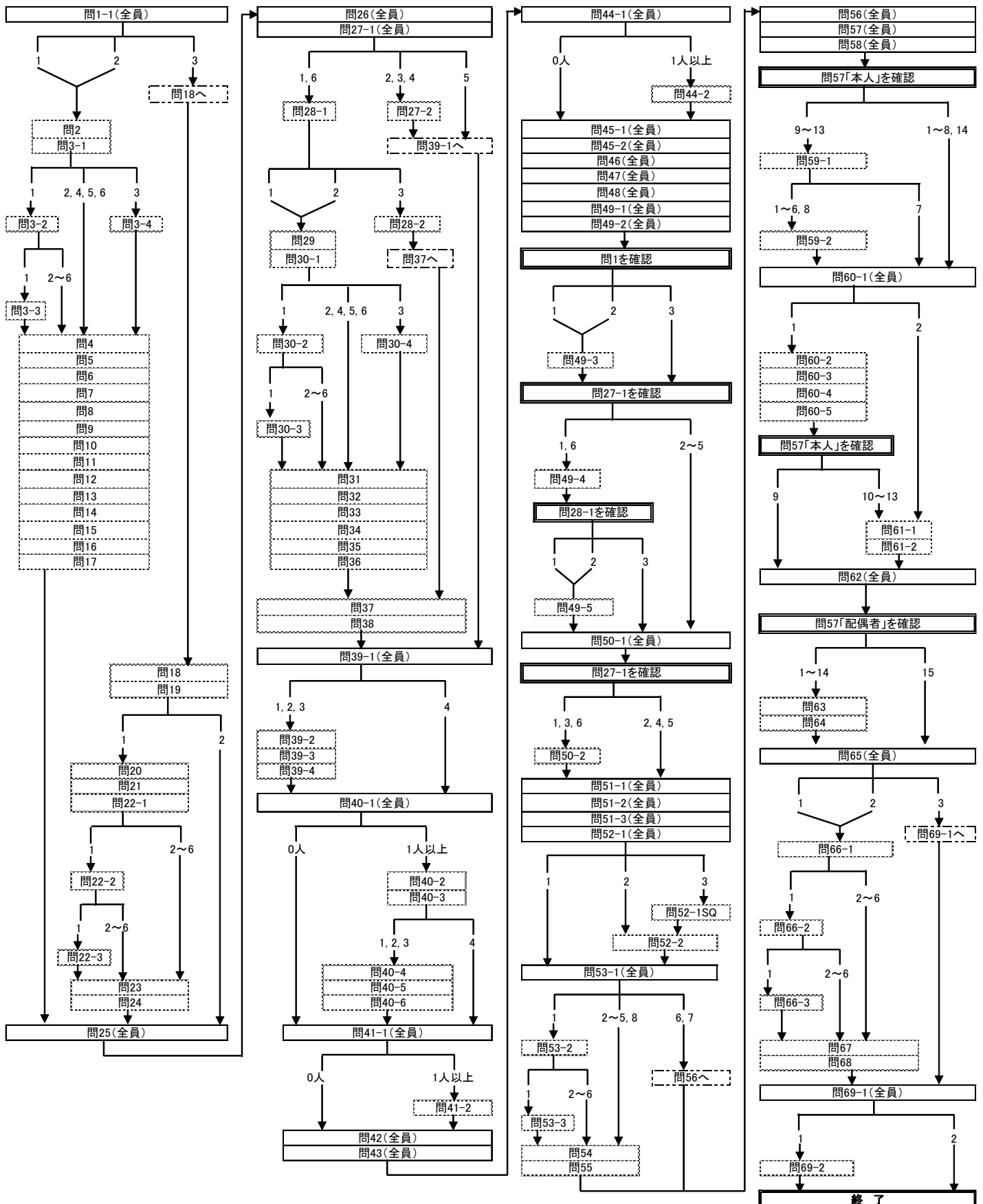
Q65 G	組織への所属：趣味の会	MEMHOBBY	MEMHOBBY MEMLIT TYPHOBBY TYPLIT	2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2007. 8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009 年調査（選挙後調査）」
Q65 H	組織への所属：生協	MEMCOOP		2007. 8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009 年調査（選挙後調査）」
Q66-1	信仰する宗教の有無（本人）	DORL	RELIG	2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001. 12 読売新聞「宗教観」（『日本の世論』） 2002. 12 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 2003. 7, 2008. 6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識調査」 2003. 9 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査 2008. 2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」（『朝日総研リポート』08. 3） 2008. 10 統数研「日本人の国民性」第 12 次全国調査 2008. 11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2013. 10 統数研「日本人の国民性」第 13 次全国調査
Q66-2	信仰する宗教（本人）	XXRL	RELIG	2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2008. 11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2003, 2008, 2013 統数研「日本人の国民性調査」
Q66-3	信仰の度合い（本人）	D03PIOUS	FEELREL RELITEN RELPERSN	2000. 7, 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2008. 11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2003, 2008, 2013 統数研「日本人の国民性調査」
Q67 A	災害発生の可能性：地震	DISQUAKE		2011. 12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」 2013. 11-12 内閣府「防災に関する世論調査」
Q67 B	災害発生の可能性：津波	DISTSNM		2013. 11-12 内閣府「防災に関する世論調査」
Q67 C	災害発生の可能性：高潮や河川の氾濫	DISFLOOD		
Q67 D	災害発生の可能性：豪雪	DISTSNOW		
Q67 E	災害発生の可能性：噴火	DISVOLC		
Q67 F	災害発生の可能性：土砂災害	DISLAND		
Q67 G	災害発生の可能性：原子力発電所の事故	DISNUC	NUKEACC	
Q68	災害発生に対する不安	AXDIS		
Q69	原子力政策への意見	OPNUCPOL	ENERGY FUTENRGY NUKEELEC (NUKEGEN) (NUKEFAM)	2009. 10 内閣府「原子力に関する特別世論調査」 2011. 5 時事通信社「東日本大震災と原子力発電に関する全国世論調査」（『中央調査報』11. 7） 2011. 12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」 2011. 12, 2012. 2, 2012. 3 朝日新聞「定例 RDD 調査」 2013. 3 NHK 放送文化研究所「原発とエネルギーに関する意識調査」 2014. 3 朝日新聞「朝日新聞世論調査」 2015. 9 日本世論調査会「全国面接世論調査」
Q70	放射性物質による食品汚染の不安感	AXFDRAD		
Q71	自然災害時の地域の人どうしの協力	COMMDIS		2013. 11-12 内閣府「防災に関する世論調査」
Q72 A	環境被害：大気汚染*	ENHMAP	(CARSFAM) (ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (INDUSFAM)	2003. 6 内閣府「生活環境、生活型公害に関する世論調査」 2005. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2005, 2009, 2012 環境省「環境問題に関する世論調査」
Q72 B	環境被害：水質汚染*	ENHMWP	(ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (WATERFAM)	
Q72 C	環境被害：土壌汚染	ENHMSP	(GRNCON) (GRNEFFME)	2005, 2009, 2012 環境省「環境問題に関する世論調査」
Q72 D	地域問題：高齢化	ENHMAGNG		
Q72 E	地域問題：買い物の不便さ	ENHMSHOP		
Q72 F	地域問題：空き家の増加	ENHMEMP		
Q72 G	地域問題：犯罪の増加	ENHMDCRM		

Q72 H	地域問題：人口の流出	ENHMEPP		2014.8 内閣府「人口・経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」
Q72 I	地域問題：公共交通機関の不便さ	ENHMTNRS		
Q72 J	地域問題：耕作放棄地の増加	ENHMSLD		
Q72 K	地域問題：鳥や獣による被害	ENHMANML		
Q72 L	地域問題：山林の維持管理	ENHMD		
Q73	仕事の有無	DOWORK		1986～（3年ごと）厚生労働省「国民生活基礎調査」 1983～（5年おき）総務省「就業構造基本調査」 各年版 総務省統計局「労働力調査」
Q74	職場の非正規社員の割合	SZNRWRKR		1986～（3年ごと）厚生労働省「国民生活基礎調査」、 1983～（5年おき）総務省「就業構造基本調査」 各年版 総務省統計局「労働力調査」
Q75	職場の正社員うち女性の割合	SZFWRKR		
Q76	職場の外国人労働者の有無	CLLGFRGN		2004.5 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」 2008～ 厚生労働省「外国人雇用状況」
Q77 A	勤め先：人事上の決定は従業員の意見を反映しない	OP5CPDCS		2015 厚生労働省職業安定局「職場の働きやすさ・働きがいに 関するアンケート」
Q77 B	勤め先：重要な決定は経営者の家族や親族が行う	OP5FMCMP		
Q77 C	勤め先：仕事の分担について家族の事情を考慮	OP5FMMTR		
Q77 D	勤め先：給与は仕事の成果よりも年功序列	OP5SENIR		
Q77 E	勤め先：従業員が不足気味で多忙	OP5MNPWR		
Q77 F	勤め先：女性が管理職として働きやすい	OP5FMMGR		2014.7 一般財団法人 日本経営協会「女性一般意識調査（個人）」 「女性躍進に関する調査（組織）」
Q78 A	仕事が家庭生活の妨げになること	FQ5JBIF		2013.8 厚生労働省職業安定局「働きやすい・働きがいのある 職場づくりに関する報告」
Q78 B	家庭生活が仕事の妨げになること	FQ5FLIF		2013.8 厚生労働省職業安定局「働きやすい・働きがいのある 職場づくりに関する報告」
Q79 A	仕事を1週間連続して休むことができる：家族の世話	HDFMCARE		
Q79 B	仕事を1週間連続して休むことができる：旅行など自分の趣味	HDHOBBY		
Q79 C	仕事を1週間連続して休むことができる：体調が悪い時	HDSICK		
Q80 A	雇用が安定している	WRKSECUR		2014.3 明治安田生活福祉研究所
Q80 B	現在の仕事：高収入である	WRKHIPAY		2005.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査（就業意識）」
Q80 C	現在の仕事：努力しだいで昇進できる	WRKPROMO		
Q80 D	現在の仕事：勤務時間を柔軟に決められる	WRKFREE		
Q80 E	現在の仕事：仕事の量を自分で決められる	WRKVLM		2005.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査（就業意識）」
Q80 F	現在の仕事：仕事にやりがいを感じる	WRKRWRD		1999, 2002, 2005, 2008, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」 2013.8 厚生労働省職業安定局「働きやすい・働きがいのある 職場づくりに関する報告」
Q80 G	現在の仕事：仕事と家庭生活を両立できる	WRKFAMIL		2008.5 厚生労働省「今後の仕事と家計の両立支援に関する調査」
Q80 H	現在の仕事：自分の能力を活かしている	WRKABLT		2005.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査（就業意識）」
Q80 I	現在の仕事：社会にとって有益な仕事である	WRKSOCTY		2005.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査（就業意識）」
Q80 J	現在の仕事：自分の仕事の分担をこなさないと同僚の負担が増える	WRKSHARE		
Q80 K	今の会社や組織で働いていることに誇りを感じる	WRKPRIDE		1999, 2002, 2005, 2008, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」

最後尾	ウェイト	WEIGHT	FORMWT. OVERSAMP WTSS WTSSALL WTSSNR	
-----	------	--------	--	--

松尾 大地

Ⅲ. 7 面接調査票 フローチャート





文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2016 年 2 月
JGSS-2016 面接調査票

「第 10 回 生活と意識についての国際比較調査」 特別調査「働き方と意識についての調査」

(調査企画) 京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎

(調査協力) 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター

(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

IDUSE 識別番号
BLOCK 地域ブロック
PREF 都道府県名
SIZE 市郡規模
SIZE2K 市郡規模(2000 年時点)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

【対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。
10 回を越えた訪問の記録は不要。
接触ができるまで、必ず 4 日以上訪問する。
(同日に 2 度訪問しても 1 日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)】

回収状況
面接票 1 面接完了 DATE (月 日) MONTH DAY 2 面接不能 留置票 1 回収完了 DATEB (月 日) MONTHB DAYB 2 回収不能 【一方でも調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。】
留置票の受取予定日時

SEXA 識別番号
DOBYEAR 識別番号
AGEB 識別番号
MARC 識別番号
FORM 識別番号

【面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。】

N1 調査不能と決定した日時

(64)	(65)	月	(66)	(67)	日	1 午前	(68)	(69)	(70)	時	(71)	(72)	分頃
						2 午後							

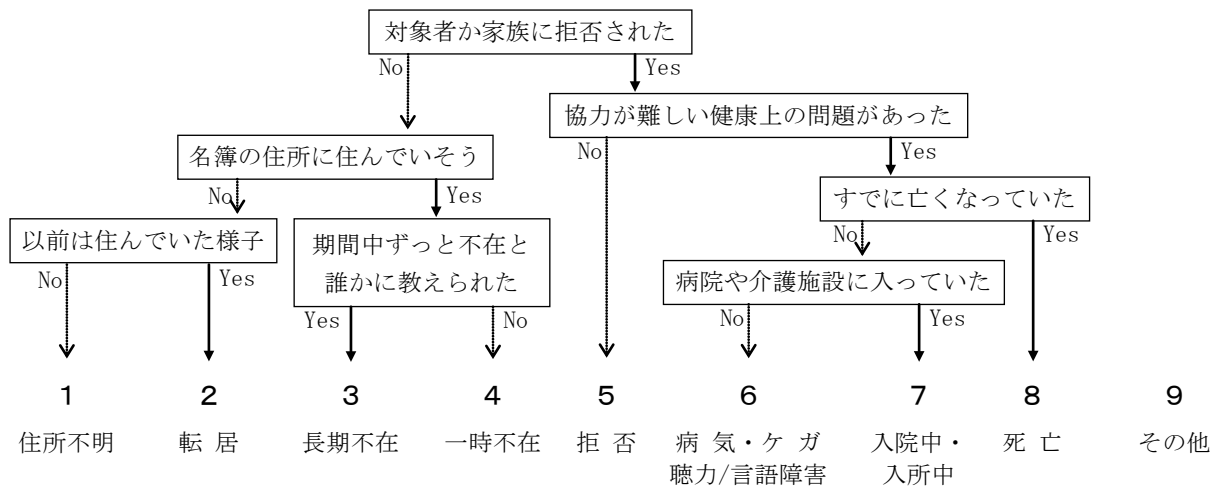
N2-1 対象者の家の種類

1 一戸建て 2 集合住宅（アパート・マンションなど） 3 不 明

N2-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

1 はい 2 いいえ

N3 調査不能の理由



【上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に○をつけ、下の欄に詳しく記入する。】

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）

はじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1 〔回答票 1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をする事になっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)
仕事をした	仕事をもっているが、 病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	仕事をしていない
		6 ページ問 18 へ

問 2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

【サービス残業も含め、実際に働いた時間数を答えてもらう。

副業をもっていない場合は、副業の時間数に0(ゼロ)と記入する。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

主な仕事を週合計で 時間 XJOBHWC	副業を週合計で 時間 SZSJBHWC
---	--

お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 3-1 〔回答票 2〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

TPJB

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5 (オ)	6
雇われて いる人	会社などの 役員	自営業主 ・自由業者	自家営業の 手伝い	内 職	わからない

問 3-2 〔回答票 3〕あなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPJBS

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 3-3 〔回答票 4〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に_____)
- 7 わからない

問 3-4 家族以外に従業員を雇っていますか(アルバイトを含みます)。

TPJBSE

- 1 は い
- 2 いいえ

問 4〔回答票 5〕あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT

	1	2	3
	(ア)	(イ)	(ウ)
SZCMTTL			
およそ		住まいと	日によって
	時間	職場は同じ	行き先が違う
	分		
	SZCMTHR	SZCMTMIN	

問 5〔回答票 6〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

TP4WPLA

- 1 (ア) 官 公 庁
- 2 (イ) 単独事業所 (他に事業所はない)
- 3 (ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)
- 4 (エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)
- 5 わからない

問 6 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

XXWPL

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

XXJOB

XXJE08

(できるだけ詳しく具体的に)

問 8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

【先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

XJOBWK

週

日

問 9 あなたは、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

XJBSCB

週合計で

時間

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR

年間

【1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。】

問 11【回答票 7】あなたが、これまでの仕事で身につけた経験や技能は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。

USFLSKL

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)
とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	ほとんど役立っていない

問 12【回答票 8】同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

SZTTLSTA

1 (ア) 1 人	5 (オ) 30～99 人	9 (ケ) 1,000～1,999 人
2 (イ) 2～4 人	6 (カ) 100～299 人	10 (コ) 2,000～9,999 人
3 (ウ) 5～9 人	7 (キ) 300～499 人	11 (サ) 1 万人以上
4 (エ) 10～29 人	8 (ク) 500～999 人	12 (シ) 官 公 庁
		13 わからない

問 13【回答票 9】あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

JOINUNI

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4
職場の労働組合に 入っている	職場以外の労働組合に 入っている	入っていない	わからない

問 14【回答票 10】現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

ST5JOB

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5 (オ)	6
満足している	どちらかとい えば 満足している	どちらとも いえない	どちらかとい えば 不満である	不満である	わからない

問 15【回答票 11】今働いている会社(自営の場合は今の事業)をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4
近いうちに やめるつもり	当分やめる つもりはない	まったくやめる つもりはない	わからない

問 16【回答票 12】今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

【自営業主が倒産などで失職する場合も含む。】

OP4UNEMP

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5
かなりある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない

問 17【回答票 13】もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4
非常に 容易である	ある程度 容易である	容易ではない	わからない

(現在働いていない人に)

問 18 [回答票 14] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 失業中 | 4 (エ) 主に家事をしている |
| 2 (イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている | 5 (オ) 心身上の事情で働けない |
| 3 (ウ) 学 生 | 6 (カ) その他(具体的に_____) |
| | 7 わからない |

問 19 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

XWORK

1 は い

2 いいえ

7 ページ問 25 へ



最後に収入を得ていた主な仕事についてお聞きます。

問 20 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK

		歳
--	--	---

問 21 [回答票 15] あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 (ア) 定年など退職(引退)する年齢になった | 8 (ク) 仕事や労働条件等が不満だったので |
| 2 (イ) 早期退職(引退)を選んだ | 9 (ケ) 開業や転職のため |
| 3 (ウ) 早期退職(引退)をさせられた | 10 (コ) 家族の介護のため |
| 4 (エ) 健康上の理由で働けなくなった | 11 (サ) 結婚したため |
| 5 (オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された | 12 (シ) 出産・育児のため |
| 6 (カ) 解雇された | 13 (ス) その他(具体的に_____) |
| 7 (キ) 雇用期間や契約期間が終了した | 14 わからない |

問 22-1 [回答票 16] その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

TPLSTJB

- | | | | | | |
|-------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------|------------|
| 1
(ア)
雇われて
いる人 | 2
(イ)
会社などの
役 員 | 3
(ウ)
自営業主
・自由業者 | 4
(エ)
自家営業の
手伝い | 5
(オ)
内 職 | 6
わからない |
|-------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------|------------|



問 22-2 [回答票 17] 当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJBS

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 22-3 [回答票 18] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJBP

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長(係長相当)
- 4 (エ) 課長(課長相当)
- 5 (オ) 部長(部長相当)
- 6 (カ) その他の役職(具体的に_____)
- 7 わからない

問 23 あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

XXLSTJB

XXLJE08

(できるだけ詳しく具体的に)

問 24 【回答票 19】 その会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ていた場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

SZSTFLS

1	2	3	4	5	6	7
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	
1 人	小企業 (2～29 人)	中企業 (30～299 人)	大企業 (300～999 人)	大手大企業 (1,000 人以上)	官公庁	わからない

(全員に)

問 25 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB

1 はい 2 いいえ

問 26 【回答票 20】 あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。
現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

XNUMCOWK

1	2	3	4	5	6	7
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)
0 社	1 社	2 社	3 社	4 社	5 社	6 社以上

ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。

問 27-1 【回答票 21】 あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

【本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も1(ア)「現在、配偶者がいる」に含む。

選択肢5、6は、対象者があえてそのように答えた場合にのみ印を付ける。

以後の設問では、内縁や同棲中は有配偶者とみなす。】

DOMARRY

1	2	3	4	5	6
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)		
現在、配偶者がいる	離別	死別	未婚	離婚を前提に 別居中	同棲中

WNTMRY

問 27-2 【回答票 22】 あなたは何歳までに結婚（再婚）したいですか。

1	2	3
(ア)	(イ)	(ウ)
	年齢には こだわらない	結婚（再婚）する つもりはない

歳までに結婚（再婚）したい

10 ページ問 39-1 へ

10 ページ問 39-1 へ

10 ページ問 39-1 へ

問 28-1 【回答票 23】 配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK

1	2	3
(ア)	(イ)	(ウ)
仕事をした	仕事をもっているが、 病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	仕事をしていない

問 28-2 【回答票 24】 配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPUNEM

1 (ア) 失業中	4 (エ) 主に家事をしている
2 (イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている	5 (オ) 心身上の事情で働けない
3 (ウ) 学 生	6 (カ) その他（具体的に_____）
	7 わからない

9 ページ問 37 へ

問 29 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

【副業をもっていない場合は、副業の時間数に0(ゼロ)と記入する。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

主な仕事を週合計で

--	--	--

 時間 副業を週合計で

--	--

 時間

SSJBHRWK **SSSJBHWK**

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。

2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 30-1 【回答票 25】 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

SSTPJB

- | | | | | | |
|-------------|-------------|---------------|--------------|-----|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | |
| 雇われて
いる人 | 会社などの
役員 | 自営業主
・自由業者 | 自家営業の
手伝い | 内 職 | わからない |

問 30-2 【回答票 26】 配偶者の方の雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJBS

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 30-3 【回答票 27】 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOBP

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職(具体的に_____)
- 7 わからない

問 30-4 配偶者の方は、家族以外に従業員を雇っていますか(アルバイトを含みます)。

SSTPJBSE

- 1 は い
- 2 いいえ

問 31 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 32 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

SSXXJOB

SSXXJE08

(できるだけ詳しく具体的に)

問 33 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

【先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

SSJBDWK

週

日

問 34 配偶者の方は、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおおよその時間をお答えください。

SSXJBSCH

週合計で

時間

問 35 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR

年間

【1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。】

問 36 【回答票 28】 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

SSSZSTFA

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 5 (オ) 30～99 人 | 9 (ケ) 1,000～1,999 人 |
| 2 (イ) 2～4 人 | 6 (カ) 100～299 人 | 10 (コ) 2,000～9,999 人 |
| 3 (ウ) 5～9 人 | 7 (キ) 300～499 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 4 (エ) 10～29 人 | 8 (ク) 500～999 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | | 13 わからない |

(配偶者がいる方に)

問 37 配偶者の方の年齢を教えてください。

SPAGEX

歳

問 38 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG

1 同居

2 別居(単身赴任中)

3 別居(その他の理由)

(全員に)

問 39-1 【回答票 29】 あなた自身のお父様とお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。【二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。別居の場合は、通常利用する交通機関(徒歩、自転車を含む)での所要時間を答えてもらう。】

問 39-2 お父様、お母様の年齢を教えてください。

問 39-3 【回答票 30】 お父様、お母様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 39-4 お父様、お母様は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。

	問 39-1 【回答票 29】 同居・死亡	問 39-2 年齢 【死亡の場合聞かない】	問 39-3 【回答票 30】 婚姻状態 【死亡の場合聞かない】	問 39-4 仕事の有無 【死亡の場合聞かない】
父親	PPLV4G 1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	PPAGE 歳	PPMG 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	PPJOB 1 している 2 していない
母親	MMLV4G 1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	MMAGE 歳	MMMGG 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	MMJOB 1 している 2 していない

問 40-1 これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

【いない場合は 0(ゼロ)と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。】

CCNUMTTL

人

【6 人以上の場合は、補助用紙を使用】

そのお子様全員についてうかがいます。

問 40-2 そのお子様の性別を教えてください。

問 40-3 【回答票 31】 そのお子様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

【別居の場合は、通常利用する交通機関(徒歩、自転車を含む)での所要時間を答えてもらう。】

問 40-4 そのお子様の年齢を教えてください。

問 40-5 【回答票 32】 そのお子様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 40-6 そのお子様は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。

	CC**SEX 問 40-2 性別	CC**LV4G 問 40-3 【回答票 31】 同居・死亡	CC**AGE 問 40-4 年齢 【死亡の場合聞かない】	CC**MG 問 40-5 【回答票 32】 婚姻状態 【死亡の場合聞かない】	CC**JOB 問 40-6 仕事の有無 【死亡の場合聞かない】
第 1 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 2 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 3 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 4 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 5 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない

【続柄コード表】 【養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。】

00 本人			30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	12 次男	22 次女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	13 三男	23 三女		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫					
	15 次男の妻	25 次女の夫					97 その他・不明
	16 三男の妻	26 三女の夫					99 無回答

問 41-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだい、配偶者のご両親などです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。

【いない場合は 0(ゼロ)と記入。養子・連れ子については、問 40 の子どもの中に含めてもらう。】

SZFFOTHR

人

【5 人以上の場合は、補助用紙を使用】

問 41-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、年齢を教えてください。

【続柄は「続柄コード表」を参照し、具体的に記入した上で にコードを記入する。回答者本人からみた続柄であることに注意する。】

FFH**REL 回答者からみた続柄	FFH**SEX 性別	FFH**AGE 年齢
(1)	1 男 2 女	歳
(2)	1 男 2 女	歳
(3)	1 男 2 女	歳
(4)	1 男 2 女	歳

問 42 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

【同居者の人数が、同居の配偶者+同居の父母+同居の子ども+その他の同居家族数になっていることを確認する。】

SZFFONLY

同居者

人

+ 本人 (1 人)

= 合計

SZFFTTL

人

問 43 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

【具体的に続柄を記入した上で にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず 1 名に絞ってもらう。】

FFHEAD

(64) (65)

問 44-1 あなたには、ここにあげるような理由で【[回答票 33]を見せる】一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、「単身赴任」や「離れた大学に通う」等の理由です。いらっしゃる場合、何人ですか。【いない場合は 0(ゼロ)と記入し、問 45 へ。結婚して家を離れている子どもは含めない。】

SZFFOUT

人

【5 人以上の場合は、補助用紙を使用】

問 44-2 その全員について、うかがいます。

	一時的な別居家族(1)	一時的な別居家族(2)	一時的な別居家族(3)	一時的な別居家族(4)
FFO**REL A あなたからみた続柄を教えてください。【具体的に記入した上で にコードを記入する。】				
FFO**WHY 【回答票 33】 B その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()

問 45-1〔回答票 34〕現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

問 45-2〔回答票 34〕そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

【問 45-1 であてはまるものが1つしかなければ、問 45-2 では同じものに○をつける。】

		問 45-1 あてはまる収入源 すべてに○	INCMAIN 問 45-2 中心となる収入源 1つだけに○
INCSELF	自分の収入	1 (ア)	1 (ア)
INCSP	配偶者の収入	2 (イ)	2 (イ)
INCPAR	親の収入	3 (ウ)	3 (ウ)
INCFAM	配偶者・親以外の家族の収入	4 (エ)	4 (エ)
INCPEN	年 金	5 (オ)	5 (オ)
INCUEB	失業保険	6 (カ)	6 (カ)
INCSAVE	貯 蓄	7 (キ)	7 (キ)
INCSOC	社会福祉（生活保護、福祉手当等）	8 (ク)	8 (ク)
INCIRR	不定期的な仕事	9 (ケ)	9 (ケ)
INCRENT	賃貸料所得（家賃、土地、駐車場料金など）	10 (コ)	10 (コ)
INCINVST	投資運用	11 (サ)	11 (サ)
INCOTHER	その他（具体的に_____）	12 (シ)	12 (シ)
INCNOKN	わからない	13	13

問 46〔回答票 35〕かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入りますか。

OP10LVL

一番上 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 一番下

問 47〔回答票 36〕あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

SIZEHMT

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5 (オ)
大都市の中心部	大都市の郊外	中小都市	町村部	人家がまばらな 農山漁村

問 48〔回答票 37〕あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE

- 1 (ア) 持ち家（親などが持ち主の場合も含む）
- 2 (イ) 民間の賃貸住宅
- 3 (ウ) 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 (エ) 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 (オ) その他（具体的に_____）

問 49-1【回答票 38】昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 49-2【回答票 38】そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 49-3（仕事をしている方にのみ質問）【回答票 38】あなたの収入は、先ほどいかがだった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

【問 1 で 1(ア)「仕事をした」または 2(イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3(ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 49-3 の 23 に○をつけ、問 49-4 へ。】

問 49-4（現在、配偶者がいる方にのみ質問）【回答票 38】配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

【問 27-1 で 1(ア)「現在、配偶者がいる」と 6「同棲中」と回答した者にのみ質問する。問 27-1 でそれ以外に回答した場合は、問 49-4 と問 49-5 の 22 に○をつけ、問 50 へ。】

問 49-5（配偶者が仕事をしている方に）【回答票 38】配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

【問 28-1 で 1(ア)「仕事をした」または 2(イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3(ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 49-5 の 23 に○をつけ、問 50 へ。】

	SZHSINCM	SZINCOMA	SZINCOMX	SSSZINCA	SSSZINCM
	問 49-1	問 49-2	問 49-3	問 49-4	問 49-5
	世帯全体	本人	本人の 主な仕事	配偶者	配偶者の 主な仕事
	↓	↓	↓	↓	↓
なし	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
70 万円未満	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
70～100 万円未満	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
100～130 万円未満	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
130～150 万円未満	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
150～250 万円未満	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
250～350 万円未満	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
350～450 万円未満	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
450～550 万円未満	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
550～650 万円未満	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
650～750 万円未満	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
750～850 万円未満	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
850～1,000 万円未満	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
1,000～1,200 万円未満	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)
1,200～1,400 万円未満	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)
1,400～1,600 万円未満	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)
1,600～1,850 万円未満	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)
1,850～2,300 万円未満	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)
2,300 万円以上	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)
回答したくない	20	20	20	20	20
わからない	21	21	21	21	21
配偶者はいない	※	※	※	22 --▶	22
仕事はしていない	※	※	23	※	23

問 50-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

【いない場合は0(ゼロ)を記入。養子・連れ子などの場合に、誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。】

	XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
あなたの兄弟姉妹	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

問 50-2 現在、結婚されている方（あるいは配偶者の方と死別された方）は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

【配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。】

	XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
配偶者の兄弟姉妹	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

あなたが子どもの頃のことについておうかがいします。

問 51-1 あなたが 15 歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

【外国の場合は「外国」と記入し、これ以降の質問にも回答してもらう。】

PREF15

都 道 府 県

コード

【調査員は記入不要】

問 51-2 【回答票 39】 当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC15

1
(ア)
大都市

2
(イ)
中小都市

3
(ウ)
町

4
(エ)
村

問 51-3 そこは農山漁村地域でしたか。

REMOTE15

1 は い

2 いいえ

問 52-1 【回答票 40】 あなたが 20 歳の頃、15 歳の頃と同じ市区町村にお住まいでしたか。15 歳の頃と別の都道府県の場合は、都道府県名をお答えください。

【外国の場合は「外国」と記入し、これ以降の質問にも回答してもらう。市町村合併などで自治体名が変わっていても居住地が変わっていなければ同じ市区町村とみなす。】

CTVW20

1 (ア) 15 歳の頃と同じ市区町村

2 (イ) 15 歳の頃と同じ都道府県内の別の市区町村

3 (ウ) 15 歳の頃と別の都道府県

15 ページ問 53-1 へ

PREF20

都 道 府 県

コード

【調査員は記入不要】

問 52-2 【回答票 41】 20 歳の頃、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC20

1
(ア)
大都市

2
(イ)
中小都市

3
(ウ)
町

4
(エ)
村

問 53-1【回答票 42】あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

PPJB15

1	2	3	4	5	6	7	8
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	
雇われて いる人	会社などの 役員	自営業主 ・自由業者	自家営業の 手伝い	内 職	働いて いなかった	父は いなかった	わからない

問 56 へ

問 53-2【回答票 43】当時のお父さんの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15S

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 知らない

問 53-3【回答票 44】当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15P

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職(具体的に_____)
- 7 知らない

問 54 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

PPJBXX15

PPJXXE08

(できるだけ詳しく具体的に)

問 55【回答票 45】お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

PPJBSZ15

1	2	3	4	5	6	7
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	
1 人	小企業 (2~29 人)	中企業 (30~299 人)	大企業 (300~999 人)	大手大企業 (1,000 人以上)	官公庁	わからない

問 56【回答票 46】あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 仕事はもっていなかった | 7 (キ) 自営業・家族従業者 農林漁業 |
| 2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト | 8 (ク) " 農林漁業以外 |
| 3 (ウ) 常時雇用 一般職 役職なし | 9 (ケ) 内 職 |
| 4 (エ) " 管理職 | 10 (コ) 経営者・役員 |
| 5 (オ) " 専門的な仕事(看護師・教師など) | 11 (サ) 母はいなかった |
| 6 (カ) " 仕事内容はわからない | 12 知らない |

問 57〔回答票 47〕あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

【配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に通った学校が「専門学校」という場合には、以下のようにする。

- 一般に「専門学校」と呼ばれる学校（戦後の専修学校の一般課程・高等課程・専門課程）→その学校以外で最後に通った学校について尋ねる。
- 高等専門学校（工業分野を中心として、中学卒業後に入る5年一貫の高等教育機関。主に国公立）→10（コ）に○をする。
- 戦前の専門学校→6（カ）に○をする。

（注）（コ）と答えた人には、高専と専門学校・専修学校とを混同していないか尋ねる。】

	XXLSTSCH	SSLSTSCH	PPLSTSCH	MMLSTSCH
	本人	配偶者	父親	母親
			↓	↓
（ア）旧制尋常小学校（国民学校を含む）			1（ア）	1（ア）
（イ）旧制高等小学校			2（イ）	2（イ）
戦 （ウ）旧制中学校・高等女学校			3（ウ）	3（ウ）
（エ）旧制実業・商業学校			4（エ）	4（エ）
前 （オ）旧制師範学校			5（オ）	5（オ）
（カ）旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校			6（カ）	6（カ）
（キ）旧制大学・旧制大学院			7（キ）	7（キ）
	↓	↓		
（ク）新制中学校	8（ク）	8（ク）	8（ク）	8（ク）
戦 （ケ）新制高校	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）
（コ）新制高専（注）	10（コ）	10（コ）	10（コ）	10（コ）
後 （サ）新制短大	11（サ）	11（サ）	11（サ）	11（サ）
（シ）新制大学	12（シ）	12（シ）	12（シ）	12（シ）
（ス）新制大学院	13（ス）	13（ス）	13（ス）	13（ス）
わからない	14	14	14	14
結婚したことはない・離別した	※	15	※	※

問 58 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

【「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。】

DOLSTSCH

1 卒業

2 中退

XGRADE

3 在学中（____年生）

（問 57 で本人が（ケ）新制高校、（コ）新制高専、（サ）新制短大、（シ）新制大学、（ス）新制大学院と答えた人に）

問 59-1〔回答票 48〕あなたが通った高校で学んだ学科は何でしたか。2つ以上の場合は主な学科を1つお答えください。

XHSSUB

- | | | |
|--------------|-----------------------|----------------|
| 1（ア）普通科 | 4（エ）農業に関する学科 | 7（キ）高校には行っていない |
| 2（イ）工業に関する学科 | 5（オ）家庭・家政に関する学科 | 8 わからない |
| 3（ウ）商業に関する学科 | 6（カ）その他の学科（具体的に_____） | |



問 59-2〔回答票 49〕その高校では、どのくらいの割合の人が大学・短大に進学しましたか。

XHSRATE

- | | |
|------------|-------------|
| 1（ア）ほとんど全員 | 4（エ）2～3割程度 |
| 2（イ）7～8割程度 | 5（オ）ほとんどいない |
| 3（ウ）半数くらい | 6 わからない |

(全員に)

問 60-1 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。【対象者が新制高専と混同していないか注意。】

XSPSCH

1 通ったことがある

2 通ったことがない →

問 57 で(コ)(サ)(シ)(ス)と回答の場合、問 61-1 へ
問 57 で(ク)(ケ)と回答の場合、問 62 へ

問 60-2 その専門学校・専修学校であなたが学んだ学科もしくは分野を教えてください。複数の専門学校・専修学校に通った場合は、最後に通った専門学校・専修学校での学科もしくは分野を教えてください。

XXSPSTDY

(具体的に)

問 60-3 【回答票 50】 その専門学校・専修学校に通った時期は、【問 57 の「本人」の回答】→

より前ですか、後ですか、同時期ですか。

【↑ 清書して提出】

WHNSPSCH

1 (ア) 前

2 (イ) 後

3 (ウ) 同時期

問 60-4 【回答票 51】 その専門学校・専修学校で受けた教育は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。現在仕事をなさっていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

USFLSPS

1 (ア) とても役立っている (とても役立った)

2 (イ) ある程度役立っている (ある程度役立った)

3 (ウ) あまり役立っていない (あまり役立たなかった)

4 (エ) ほとんど役立っていない (ほとんど役立たなかった)

5 (オ) 働いたことがない

問 60-5 その専門学校・専修学校であなたは、高等学校卒業とみなされる高等課程を修了しましたか。

DOSPSUSC

1 修了した

2 修了していない

(問 57 で本人が (コ) 新制高専、(サ) 新制短大、(シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に)

問 61-1 【回答票 52】 あなたが通った (または現在通っている) 【問 57 の「本人」の回答】→

は、国立でしたか、公立でしたか、あるいは私立 (わたくしりつ) でしたか。【↑ 清書して提出】

XUPUBLIC

1 (ア) 国立

2 (イ) 公立

3 (ウ) 私立

4 わからない

問 61-2 【回答票 53】 その学校でのあなたの学部・学科を回答票の番号でお答えください。

【この回答票 53 だけ、回答番号が番号表記のみとなっている(アイウエオ表記なし)。】

XXSCHDPT

--	--	--

(「777 その他」の場合、具体的に_____)

(全員に)

【↓ 清書して提出】

問 62 【回答票 54】 あなたが通った (または現在通っている) 【問 57 の「本人」の回答】→

受けた教育は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。現在仕事をなさっていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

USFLLSTS

1

(ア)

2

(イ)

3

(ウ)

4

(エ)

5

(オ)

とても役立っている ある程度役立っている あまり役立っていない ほとんど役立っていない 働いたことがない
(とても役立った) (ある程度役立った) (あまり役立たなかった) (ほとんど役立たなかった)

問 63 (16 ページ問 57 の配偶者の学歴について答えた人にのみ) あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

【「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。】

SSDOLSTS

1 卒 業

2 中 退

SSXGRADE

3 在学中 (____ 年生)

問 64 (16 ページ問 57 の配偶者の学歴について答えた人にのみ) あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。【対象者が新制高専と混同していないか注意。】

PSPSCH

1 通ったことがある

2 通ったことがない

(全員に)

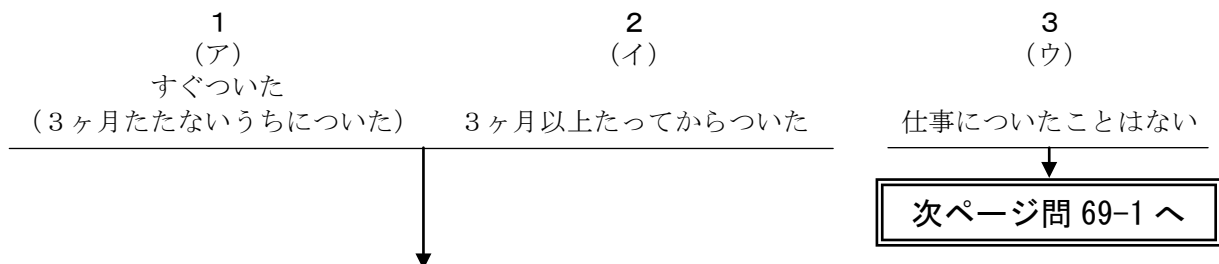
あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

【学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。

在学中の就業を、回答者が初めての仕事と誤って思えば、それについて尋ねる。】

問 65 [回答票 55] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB



問 66-1 [回答票 56] あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

TP1STJB

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5 (オ)	6
雇われて いる人	会社などの 役 員	自営業主 ・自由業者	自家営業の 手伝い	内 職	わからない

問 66-2 [回答票 57] 当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TP1STJBS

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 66-3 [回答票 58] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPFSTJBP

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に_____)
- 7 わからない

問 67 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品品の外回り営業……というように)

XXFSTJB

(できるだけ詳しく具体的に)

問 68【回答票 59】同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

SZSTFFST

- | | | |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 5 (オ) 30～99 人 | 9 (ケ) 1,000～1,999 人 |
| 2 (イ) 2～4 人 | 6 (カ) 100～299 人 | 10 (コ) 2,000～9,999 人 |
| 3 (ウ) 5～9 人 | 7 (キ) 300～499 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 4 (エ) 10～29 人 | 8 (ク) 500～999 人 | 12 (シ) 官 公 庁 |
| | | 13 わからない |

(全員に) 最後に、あなたの結婚歴についておうかがいします。

問 69-1 あなたはこれまでに結婚したことがありますか。ある方は何回ありますか。

XMARRY

1 回結婚したことがある	2 結婚したことがない	→
NUMMARRY ↓		

これで終わります。
長時間のご協力、誠にありがとうございました。

問 69-2 結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

AGE1MG	AGE2MG	AGE3MG	AGE4MG
1 回目 歳	2 回目 歳	3 回目 歳	4 回目 歳

これで終わります。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP

- | | | | |
|--------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| とても協力的 | どちらかといえば
協力的 | それほど
協力的ではなかった | まったく
協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND

- | | | | |
|-------|------------|---------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

(できるだけ詳しく具体的に)

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

(謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に)

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に_____）

F6-1 対象者の家の種類はどれでしたか。

TPHOUSE

- | | |
|--------|----------------------|
| 1 一戸建て | 2 集合住宅（アパート・マンションなど） |
|--------|----------------------|



F6-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

AUTOLOCK

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F7 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

PROC

- | | |
|--------|--------|
| 1 面接が先 | 2 留置が先 |
|--------|--------|

F8 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

【所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。】

DURATION

この面接調査票の調査時刻		所要時間
(開始) _____時_____分頃	(終了) _____時_____分頃	およそ _____分

補助用紙（問 40-2～問 40-6 用）

（問 40-1 で挙げられた子どもについて）

そのお子様全員についてうかがいます。

問 40-2 そのお子様の性別を教えてください。

問 40-3 〔回答票 31〕 そのお子様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

別居の場合は、通常利用する交通機関（徒歩、自転車を含む）での所要時間を答えてもらう。

問 40-4 そのお子様の年齢を教えてください。

問 40-5 〔回答票 32〕 そのお子様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 40-6 そのお子様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

子どもが 6 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

	問 40-2 性別	問 40-3 〔回答票 31〕 同別居・死亡	問 40-4 年齢 死亡の場合聞かない	問 40-5 〔回答票 32〕 婚姻状態 死亡の場合聞かない	問 40-6 仕事の有無 死亡の場合聞かない
第 6 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 7 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 8 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 9 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第 10 子	1 男 2 女	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 (30 分未満) 3 (ウ) 別居 (30 分以上) 4 (エ) 死亡	歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない

補助用紙（問 41-2 用）

（問 41-1 で挙げられた「配偶者・親・子ども以外の同居家族」について）

問 41-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、年齢を教えてください。

配偶者・親・子ども以外の同居家族が 5 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

回答者からみた続柄	コード記入	性別	年齢					
(5) _____	<table><tr><td></td><td></td></tr></table>			1 男 2 女	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 歳			
(6) _____	<table><tr><td></td><td></td></tr></table>			1 男 2 女	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 歳			
(7) _____	<table><tr><td></td><td></td></tr></table>			1 男 2 女	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 歳			
(8) _____	<table><tr><td></td><td></td></tr></table>			1 男 2 女	<table><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 歳			

補助用紙（問 44-2 用）

（問 44-1 で挙げられた「一時的に離れて暮らしている家族」について）

問 44-2 その全員について、うかがいます。

一時的に離れて暮らしている家族が 5 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

	一時的な別居家族(5)	一時的な別居家族(6)	一時的な別居家族(7)	一時的な別居家族(8)
A あなたからみた続柄を教えてください。具体的に記入した上で □□ にコードを記入する。				
〔回答票 33〕 B その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他()

Ⅲ. 9 面接調査票 回答票（サンプル）

面接調査では、ほとんどの設問において調査対象者に下記のような回答票を示して、該当する番号を答えてもらっている。下記は実際に使用した回答票を縮小したものである。

問 1

〔回答票 1〕

(ア) 仕事をした

(イ) 仕事をもっているが、
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ

(ウ) 仕事をしていない

問 11

〔回答票 8〕

(ア) 1 人
(イ) 2～4 人
(ウ) 5～9 人
(エ) 10～29 人
(オ) 30～99 人
(カ) 100～299 人
(キ) 300～499 人
(ク) 500～999 人
(ケ) 1,000～1,999 人
(コ) 2,000～9,999 人
(サ) 1 万人以上
(シ) 官公庁

問 42-2 B

〔回答票 2 8〕

(ア) あなたの仕事の都合
(イ) あなたの学業
(ウ) 家族の仕事の都合
(エ) 家族の学業
(オ) 長期入院
(カ) 老人・福祉施設に入所
(キ) その他 ()

問 44

〔回答票 3 0〕

一番上

一番下

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10



文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2016 年 2 月
JGSS-2016 留置調査票

「第 10 回 生活と意識についての国際比較調査」 特別調査「働き方と意識についての調査」

(調査企画) 京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎

(調査協力) 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター

(調査実施) 一般社団法人 中 央 調 査 社

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV

--	--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。

FQ6NWSIN

1	2	3	4	5	6
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない	インターネットは 利用していない

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ(ウォーキング、水泳、野球など)を行なっていますか。

FQSPORT

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

		ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
FQ7FFDNR	A 家族と一緒にの夕食-----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり-----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意-----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D 洗 濯-----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E 買い物(日用品や食料品の買い物)→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除-----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G ゴミ出し-----→	1	2	3	4	5	6	7

Q7 あなたは、普段の生活で外出する際に(通勤・通学を含む)、どの移動手段を用いていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

TRNBIKE	1	自転車	TRNFCAR	6	自動車(家族が運転)
TRNMTRBK	2	バイク	TRNTAXI	7	タクシー
TRNTRAIN	3	電 車	TRNOTHER	8	その他の移動手段(具体的に_____)
TRNBUS	4	バ ス	TRNWALK	9	主に徒歩
TRNMCAR	5	自動車(自分で運転)			

Q15 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

		満 足 不 満 ← 1 2 3 4 5 →					
(回答例)		1	2	3	4	5	
ST5AREAY	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY	C 家 庭 生 活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5RFIY	E 友 人 関 係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY	F 健 康 状 態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL	G 配偶者（夫や妻）との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q16 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ

幸 せ 不幸せ ← 1 2 3 4 5 →				
---	--	--	--	--

Q17 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

強 く どちらかと どちらとも どちらかと 強 く
 賛 成 いえば賛成 いえない いえば反対 反 対

NOFUTR A 私には将来の希望がもてず、物事が

よい方向に行くとは考えられない ----- 1 2 3 4 5

NOGOAL B 私が目指している目標は

達成できないだろう ----- 1 2 3 4 5

Q18 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

ほとんど ぜんぜん
 いつも いつも ときどき まれに ない

SFMHPEAC A おちついていて、おだやかな気分でしたか → 1 2 3 4 5

SFMHENGY B 活力(エネルギー)にあふれていましたか ---- 1 2 3 4 5

SFMHDPRS C おちこんで、ゆううつな気分でしたか ----- 1 2 3 4 5

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q19 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 生まれてからずっと | 5 5年～10年未満 |
| 2 1年未満 | 6 10年～20年未満 |
| 3 1年～3年未満 | 7 20年～30年未満 |
| 4 3年～5年未満 | 8 30年以上 |

Q20 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

DOECSLP 1 ソーラーパネル（太陽光発電）

DOECMNP 2 深夜電力（深夜電力の割引契約）

DOECWC 3 エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など

DOECLMC 4 低公害車（LPG 車やハイブリッド車、電気自動車など）

DOECNONE 5 いずれも利用していない

Q21 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

よく 時々 あまり まったく
する する しない しない

FQ4DENKI A 電気は、こまめに消す-----→ 1 2 3 4

FQ4ELC B 消費電力を減らす工夫をする -----→ 1 2 3 4

Q22 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE

1	2	3	4
ずっと	当分の間は	できれば	すぐにも
住みたい	住みたい	他の地域に引越したい	他の地域に引越したい

Q23 あなたが今お住まいの地域の存続について、不安を感じることはありますか。

AXCONTCM

1	2	3	4
とても	ある程度	あまり	まったく
感じている	感じている	感じていない	感じていない

Q24 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX

1	2	3	4	5
平均より	平均より	ほぼ平均	平均より	平均より
かなり少ない	少ない		多い	かなり多い

Q25 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15

1	2	3	4	5
平均より	平均より	ほぼ平均	平均より	平均より
かなり少ない	少ない		多い	かなり多い

Q26 中学 3 年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。

OP5SCHPF

1	2	3	4	5
下の方	やや下の方	真ん中のあたり	やや上の方	上の方

Q27 かりに現在の日本の社会全体を、以下の 5 つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。

OP5LEVK

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下

Q28 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

AXECNSF

- | | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| とても
感じている | ある程度
感じている | どちらとも
いえない | あまり
感じていない | まったく
感じていない |

Q29-1 あなたは過去5年間に、ひどくけなされたり、怒鳴^{どな}られたりした経験がありますか。

XSCYP

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

Q29-2 それは誰からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|----------------|---|-----------|----------------|---|-----------|
| XSCYPPA | 1 | 親 | XSCYPSV | 5 | 職場の上司 |
| XSCYPSP | 2 | 配偶者・恋人 | XSCYPCW | 6 | 職場の同僚や部下 |
| XSCYPCC | 3 | 子ども | XSCYPFA | 7 | その他の知人・友人 |
| XSCYPFM | 4 | その他の家族・親族 | XSCYPST | 8 | 知らない人 |

Q30 あなたと、あなたの配偶者が所有している資産（預貯金・株式・不動産などすべて含みます）を合わせると、その総額は時価でどのくらいになりますか。配偶者のいない方はあなた自身の資産についてお答えください。

SZHSASST

- | | | | | | |
|---|----------|----|----------|----|-------------|
| 1 | 負債が残る | 6 | 1500 万円位 | 11 | 6000 万円位 |
| 2 | なし | 7 | 2000 万円位 | 12 | 8000 万円位 |
| 3 | 300 万円未満 | 8 | 3000 万円位 | 13 | 1 億円～2 億円未満 |
| 4 | 500 万円位 | 9 | 4000 万円位 | 14 | 2 億円以上 |
| 5 | 1000 万円位 | 10 | 5000 万円位 | 15 | わからない |

Q31 あなたと、あなたの配偶者は、これまでに、あなたまたは配偶者の親・親族から金銭的援助や土地の贈与を受けたことがありますか（遺産相続も含みます）。総額は時価でおよそどのくらいですか。配偶者のいない方はあなた自身への援助や贈与についてお答えください。

SZHSDEBT

- | | | | | | |
|---|----------|---|----------|---|-----------|
| 1 | なし | 4 | 300 万円位 | 7 | 2000 万円位 |
| 2 | 100 万円未満 | 5 | 500 万円位 | 8 | 3000 万円以上 |
| 3 | 200 万円位 | 6 | 1000 万円位 | 9 | わからない |

Q32-1 あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方はいますか。
(あなたと別々に暮らしている方も含めてお答えください)

CRNDFF

- | | | | |
|---|---|---|-----|
| 1 | い | 2 | いない |
|---|---|---|-----|

Q32-2 あなたは、そのご家族のケアを主にしていますか。

CRGIVFF

- | | | | |
|---|---|---|-----|
| 1 | は | 2 | いいえ |
|---|---|---|-----|

Q33 現在、配偶者（夫や妻）はいますか。

MARRYZ

1 現在、配偶者がいる

2 現在、配偶者がいない

Q37 へ

Q34 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ

良い

1

2

3

4

悪い

5

Q35 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

ほぼ 週に 週に 月に 年に 年に まったく
毎日 数回 1回程度 1回程度 数回 1回程度 していない

SSFQ7CK A 夕食の用意-----→ 1 2 3 4 5 6 7

SSFQ7WSH B 洗 濯-----→ 1 2 3 4 5 6 7

SSFQ7SHP C 買い物（日用品や食料品の買い物）→ 1 2 3 4 5 6 7

SSFQ7CLN D 家の掃除-----→ 1 2 3 4 5 6 7

SSFQ7GRB E ゴミ出し-----→ 1 2 3 4 5 6 7

Q36 家計の管理のことについておたずねします。あなた方ご夫婦の場合は、収入をどのように管理していますか。

RR6ACCT

- 1 夫のこづかい以外は、妻がすべて管理している
- 2 妻のこづかい以外は、夫がすべて管理している
- 3 日常の支出以外は、夫が管理している
- 4 すべての収入をひとつにまとめていて、夫と妻はそれぞれ必要な額をそこから支出している
- 5 夫と妻の収入を一部は一緒にしているが、大部分は夫と妻が別々に管理している
- 6 夫と妻は、それぞれの収入を別々に管理している

（全員の方に）ここからは、政治や政策などについてのあなたのお考えをうかがいます。

Q37 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA

1
賛 成

2
どちらかと
いえば賛成

3
どちらとも
いえない

4
どちらかと
いえば反対

5
反 対

Q38 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
自民党	民主党	公明党	共産党	社民党	維新の 党	おおさか 維新の会	その他の政党 ()	特に支持する 政党はない	わから ない

Q39 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCCNUM

0 1 2 3 4 5
0 人 1 人 2 人 3 人 4 人 5人以上 (具体的に____人)

APPCCNMX

Q40 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB

1 男の子 2 女の子

Q41 あなたは一般に、三世代同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと思いますか。

OP2GMR

1 望ましい 2 望ましくない

Q42 次のA～Iの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

		賛 成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反 対
Q4DIVOK	A 結婚しても、相手に満足できないときは、 いつでも離婚すればよい ----->	1	2	3	4
Q4WWJBIA	B 夫に十分な収入がある場合には、 妻は仕事をもたない方がよい ----->	1	2	3	4
Q4WNMGA	C なんととっても女性の幸福は結婚にある ----->	1	2	3	4
Q4MNCOOK	D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ ----->	1	2	3	4
Q4WWHHX	E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ ----->	1	2	3	4
Q4MNMGA	F なんととっても男性の幸福は結婚にある ----->	1	2	3	4
Q4JBMCC	G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の 子どもによくない影響を与える ----->	1	2	3	4
Q4NOCCMG	H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない ->	1	2	3	4
Q4WWHPHH	I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、 夫の仕事の手助けをする方が大切である ->	1	2	3	4

Q43 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR

1 賛 成 2 反 対

Q44 あなたは、以下の職種で働く外国人をどの程度受け入れるのがよいと思いますか。それぞれについてお答えください。

		積極的に 受け入れる	ある程度 受け入れる	受け入れ たくない
OPFNWFC	A 工場労働者（食品加工、自動車組立、縫製など）----->	1	2	3
OPFNWCN	B 建設作業員（現場労働、資材組立など）----->	1	2	3
OPFNWAG	C 農林漁業従事者（野菜や果物の栽培・収穫、酪農など）->	1	2	3
OPFNWCR	D 介護・看護サービス従事者 ----->	1	2	3
OPFNWPR	E 高度専門職従事者（研究者、技術者、経営者など）---->	1	2	3

Q45 あなたが生活している地域に外国人が増えると、どのような影響があると思いますか。次の A～D の意見についてお答えください。

		そう 思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない
OP4FNECN	A 地域経済が活性化する-----→	1	2	3	4
OP4FNEMP	B 地域住民の雇用環境が悪化する-----→	1	2	3	4
OP4FNCLT	C 地域社会の文化を豊かにする-----→	1	2	3	4
OP4FNSFE	D 地域の治安・風紀が乱れる-----→	1	2	3	4

Q46 公的年金の給付と負担のバランスについて、あなたの考えに近いもの 1つ に○をつけてください。

OP4PENSN

- 1 給付水準を下げて、負担を減らす
- 2 給付水準をある程度下げて、従来どおりの負担を維持する
- 3 給付水準を維持して、負担をある程度増やす
- 4 給付水準を上げて、負担を増やす

Q47 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

		よく あてはまる	あて はまる	どちらとも いえない	あて はまらない	まったく あてはまらない
OPNBMTCN	A 近所の人は、 お互いに気にかけている-----→	1	2	3	4	5
OPNBASS	B 近所の人は、私が困っていたら 手助けしてくれる-----→	1	2	3	4	5

Q48 現在いくつかの自治体や国会において、カジノの合法化に関する議論が起こっています。あなたは賛成ですか、反対ですか。 1つだけ ○をつけてください。

OPCASINO

- 1 日本でのカジノの合法化に反対
- 2 特定の場所に限定するならば、カジノの合法化に賛成
- 3 場所にかかわらず、カジノの合法化に賛成
- 4 賛成とも反対とも決められない
- 5 カジノについて、よく知らない

Q49 あなたは消費税をどのくらいにすべきだと思いますか。

OP7CNSTX

1	2	3	4	5	6	7
0 %	3 %	5 %	8 %	10 %	11～14 %	15 %以上
	(1989～1997 年)	(1997～2014 年)	(現在)			

Q50 日本では所得格差が大きくなりつつあると思いますか。

OPINCDIF

1	2	3	4	5	6	7
強 く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	強 く そう思わない

Q51 最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ○をつけてください。

OP7CMTRA

- 1 私の家（実家）の墓に入りたい
- 2 配偶者の家の墓に入りたい
- 3 自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい
- 4 自分と配偶者だけの墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）
- 5 自分一人の墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）
- 6 合葬式の共同墓（家族以外の人々を含む）に入りたい
- 7 墓に入らず、海や山への散骨にしたい

Q52-1 あなたは、あなたのご実家の「先祖の墓」を受け継いでいますか。

XINHRGRV

- 1 受け継いでいる _____
- 2 まだ受け継いでいないが、将来受け継ぐことになる _____
- 3 きょうだい、または他の親族が受け継ぐので、受け継ぐことはない
- 4 「先祖の墓」はない（どこにあるかわからない）
- 5 その他（具体的に_____）

Q52-2 あなたは、「先祖の墓」をどのようにしたいと思っていますか。

WLMNGGRV

- 1 現在の場所で子どもや親族で引き継ぐ
- 2 お参りしやすい場所に移して、子どもや親族で引き継ぐ
- 3 合葬式の共同墓（家族以外の人もある）に移して、家族が引き継ぐ形はとらない
- 4 永代供養・管理料などを収めて、墓地の管理者（寺や教会など）に管理をお願いする
- 5 その他（具体的に_____）

Q53 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫の名字を名のるべきだ
- 2 現状では、妻が名字を改めて、夫の名字を名のったほうがよい
- 3 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい
- 4 一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでよい

ここからは、職業生活についてうかがいます。

Q54 年金支給開始年齢や退職年齢が変化していますが、あなたは何歳まで仕事をしたいと思いますか。すでに退職されている方は、何歳まで仕事をしたかったですか。

AGERETR

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 50 歳より前 | 5 65 歳くらいまで |
| 2 50 歳くらいまで | 6 70 歳くらいまで |
| 3 55 歳くらいまで | 7 75 歳くらいまで |
| 4 60 歳くらいまで | 8 76 歳以上 |

Q55 もしチャンスとお金があれば、自分で会社・事業を始めてみたいと思いますか。

OP7STBSN

- | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|------------|------|------------------|---------------|--------------------|--------|--------------|
| 強く
そう思う | そう思う | どちらかといえば
そう思う | どちらとも
いえない | どちらかといえば
そう思わない | そう思わない | 強く
そう思わない |

Q56 あなたが受けた学校教育は、あなたの現在の職務内容に見合っていると思いますか。現在仕事をしていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

OVEREDUC

- 1 見合っている
- 2 職務内容に求められる以上の学校教育を受けた
- 3 職務内容に求められるほどの学校教育は受けていない
- 4 仕事についたことはない

Q57 あなたの仕事上の能力は、あなたの現在の職務内容に見合っていると思いますか。現在仕事をしていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

DOUSESKL

- 1 見合っている
- 2 職務内容に求められる以上の能力をもっていると思う
- 3 職務内容に求められる能力をもっていないと思う
- 4 仕事についたことはない

Q58 この1年間に、あなたは職場やそれ以外の場所で、仕事の技能を高めるための教育・訓練・研修を受けたことがありますか。

XJOBW

1 職場で受けた

XJOBOW

2 職場以外の場所で受けた

XJOBNO

3 受けていない

Q59 現在の日本社会では、仕事に関する以下の点について、女性は男性と同じ扱いを受けていると思いますか。

強く
そう思う
そう思う
どちらとも
いえない
そう
思わない
強く
そう思わない

OP5WJOB A 就職について-----→ 1 2 3 4 5

OP5WINC B 給与について-----→ 1 2 3 4 5

OP5WPROM C 昇進について-----→ 1 2 3 4 5

OP5WJBSC D 雇用の安定について-----→ 1 2 3 4 5

Q60 あなたは、「従業員の利益を守るためには強い労働組合が必要である」という意見について、賛成ですか、反対ですか。

OP5UNION

1	2	3	4	5
強く 賛成	賛成	どちらとも いえない	反対	強く 反対

Q61 あなたは以下のことについて、どの程度不安を感じていますか。

とても
感じている
ある程度
感じている
あまり
感じていない
まったく
感じていない

OP4FRPSN A 高齢になり仕事からの収入（配偶者の収入も含む）
がなくなった後、年金で生活を維持できるか不安だ→ 1 2 3 4

OP4FRFCR B 高齢になり体が不自由になった時に、家族・親族の
介護を受けられるか不安だ -----→ 1 2 3 4

OP4FRCRS C 高齢になり体が不自由になった時に、十分な介護
サービスを利用できるか不安だ -----→ 1 2 3 4

Q65 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

MEMPLTGP	A 政治関係の団体や会	-----→1	は い	 2	いいえ
MEMIND	B 業界団体・同業者団体	-----→1	は い	 2	いいえ
MEMVLNTR	C ボランティアのグループ	-----→1	は い	 2	いいえ
MEMCIVIL	D 市民運動・消費者運動のグループ	-----→1	は い	 2	いいえ
MEMRL	E 宗教の団体や会	-----→1	は い	 2	いいえ
MEMSPORT	F スポーツ関係のグループやクラブ	-----→1	は い	 2	いいえ
MEMHOBBY	G 趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）	→1	は い	 2	いいえ
MEMCOOP	H 消費生活協同組合（生協）	-----→1	は い	 2	いいえ

Q66-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL

1 あ る 2 特に信仰していないが、家の宗教はある 3 な い

Q66-2 それは何ですか。

XXRL（具体的に _____）

Q66-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS 1 熱心である
 2 まあまあ熱心である
 3 そんなに熱心ではない

ここからは、あなたのお住まいの地域と自然災害についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q67 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような以下の大規模な災害が発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

			大いに 有りうる	かなり 有りうる	ある程度 有りうる	ほとんど 有りえない
DISQUAKE	A 地震	-----→	1	2	3	4
DISTSNM	B 津波	-----→	1	2	3	4
DISFLOOD	C 高潮や河川の氾濫による水害	----→	1	2	3	4
DISTSNOW	D 豪雪	-----→	1	2	3	4
DISVOLC	E 噴火による災害	-----→	1	2	3	4
DISLAND	F 土砂災害（地滑り、土石流など）	→	1	2	3	4
DISNUC	G 原子力発電所の事故	-----→	1	2	3	4

Q68 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような大規模な災害が発生することに対して、どの程度不安を感じていますか。

AXDIS

1 2 3 4
とても不安 ある程度不安 少し不安 まったく不安ではない

Q69 日本の原子力政策は、今後どの方向に進めるべきだとあなたは思いますか。

OPNUCPOL

- 1 原子炉をさらに増やす
- 2 今ある原子炉は稼働し、数は増やさない
- 3 原子炉の数は減らす、全廃はしない
- 4 原子炉を長期的にはすべて廃止する
- 5 原子炉を即時全廃する

Q70 あなたは、放射性物質による食品の汚染にどの程度不安を感じていますか。

AXFDRAD

- | | | | |
|-------|--------|------|------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| とても不安 | ある程度不安 | 少し不安 | まったく不安ではない |

Q71 あなたの地域で自然災害が起こった場合、あなたの地域の人々は、お互いに協力して当面の危機を乗り切ることができると思いますか。

COMMDIS

- | | | | | | | |
|-------------|------|------------------|---------------|--------------------|--------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 強 く
そう思う | そう思う | どちらかといえば
そう思う | どちらとも
いえない | どちらかといえば
そう思わない | そう思わない | 強 く
そう思わない |

Q72 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

- | | | | | | |
|-----------------|--------------------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| | | とても
深 刻 | ある程度
深 刻 | あまり
深刻ではない | まったく
深刻ではない |
| ENHMAP | A 大気汚染 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMWP | B 水質汚染 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMSP | C 土壌汚染 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMAGNG | D 高齢化 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMSHOP | E 買い物の不便さ(店が遠いなど)----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMEMP | F 空き家の増加 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMDCRM | G 犯罪の増加 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMDEPP | H 人口の流出 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMTRNS | I 公共交通機関の不便さ-----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMDSLD | J 耕作放棄地の増加 -----> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMANML | K 鳥や獣(イノシシ、浣熊など)による被害--> | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ENHMD | L 山林の維持管理-----> | 1 | 2 | 3 | 4 |

最後に、あなたの現在のお仕事について、おうかがいします。

Q73 あなたは現在、収入をとまなう仕事をもっていますか。

DOWORK

1 もっている

2 もっていない

これで終わりです。長時間のご協力ありがとうございました。

Q74 あなたの職場には、非正規社員の方（派遣社員、契約社員、パート、アルバイト、臨時雇用）は、どれくらいいますか。

SZNRWRKR

1

2

3

4

5

0～1割くらい

2～4割くらい

5割くらい

6～8割くらい

9～10割くらい

Q75 あなたの職場で働いている正社員のうち、女性の割合はどれくらいですか。

SZFWRKR

1

2

3

4

5

0～1割くらい

2～4割くらい

5割くらい

6～8割くらい

9～10割くらい

Q76 あなたの職場では、外国出身の人が働いていますか。

CLLGFRGN

1

働いている

2

働いていない

Q77 以下の事柄は、あなたのお勤め先にどの程度あてはまりますか。

強く
そう思う

そう思う

どちらとも
いえない

そう思わない

強く
そう思わない

OP5CPDCS A 人事上の決定は、それによって影響を

受ける従業員の意見を反映していない→

1 2 3 4 5

OP5FMCMP B 重要な決定は、経営者の家族や親族に

よって行われている→

1 2 3 4 5

OP5FMMTR C 仕事の分担について、家族の事情（育児

や介護など）を考慮してもらえ→

1 2 3 4 5

OP5SENIR D 給与は、仕事の成果よりも年功序列

に基づいている→

1 2 3 4 5

OP5MNPWR E 従業員が不足気味で多忙である→

1 2 3 4 5

OP5FMMGR F 女性が管理職として働きやすい→

1 2 3 4 5

裏面もございます

Q78 あなたは、次のような事柄をどの程度頻繁に感じますか。

いつも 良く 時々 あまり まったく
感じる 感じる 感じる 感じない 感じない

FQ5JBIF A 仕事が家庭生活の妨げになること――→ 1 2 3 4 5

FQ5FLIF B 家庭生活が仕事の妨げになること――→ 1 2 3 4 5

Q79 あなたは、以下のような理由で仕事を1週間連続して休むことができますか。

容易に できる 難しい とても
できる できる 難しい 難しい

HDFMCARE A 家族の世話（育児や介護など）――→ 1 2 3 4

HDHOBBY B 旅行など自分の趣味のため――→ 1 2 3 4

HDSICK C 自分の体調が悪い時――→ 1 2 3 4

Q80 以下の項目は、あなたの現在の仕事にどの程度あてはまりますか。

よく どちらとも あてはまら まったく
あてはまる あてはまる いえない ない あてはまらない

WRKSECUR A 雇用が安定している――→ 1 2 3 4 5

WRKHIPAY B 高収入である――→ 1 2 3 4 5

WRKPRIMO C 努力しだいで昇進できる――→ 1 2 3 4 5

WRKFREE D 勤務時間を柔軟に決められる――→ 1 2 3 4 5

WRKVLM E 仕事の量を自分で決められる――→ 1 2 3 4 5

WRKRWRD F 仕事にやりがいを感じる――→ 1 2 3 4 5

WRKFAMIL G 仕事と家庭生活を両立できる――→ 1 2 3 4 5

WRKABLT H 自分の能力を活かしている――→ 1 2 3 4 5

WRKSOCTY I 社会にとって有益な仕事である――→ 1 2 3 4 5

WRKSHARE J 自分の仕事の分担をこなさないと、
同僚の負担が増える――→ 1 2 3 4 5

WRKPRIDE K 今の会社や組織で
働いていることに誇りを感じる――→ 1 2 3 4 5

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。



「第 10 回 生活と意識についての国際比較調査」
特別調査「働き方と意識についての調査」
ご協力のお願い

時下 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度 京都大学大学院 教育学研究科 教育社会学講座 岩井八郎研究室では、日本学術振興会から科学研究費補助金を得て、「働き方と意識についての調査」を実施することになりました。実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この「働き方と意識についての調査」は、大阪商業大学 JGSS 研究センターを中心に過去 10 回継続して実施されてきた「日本版総合的社会調査（略称：JGSS）」の特別調査として、25 歳から 49 歳の皆様を対象に、近年、非常に多様化が進んでいる働き方、暮らし方、考え方を学術的に把握することを目的として実施いたします。

JGSS プロジェクトの過去の調査結果は、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用され、行政機関が発行する各種白書にも掲載されてきました。今回の調査結果についても、さまざまなかたちで社会に還元してまいりたいと考えております。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることはございません。調査の実施を委託しております一般社団法人中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が 2 月中旬から 4 月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいた図書カード(500 円分)は、このようなご時勢に突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びと、この文書に目を通していただいた御礼としてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500 円分)と調査協力機関のペンセットをご用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2016 年 2 月

〔調査企画〕 岩井 八郎(京都大学大学院 教育学研究科 教授)

〔調査協力〕 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター



「第10回 生活と意識についての国際比較調査」

特別調査「働き方と意識についての調査」について

(調査企画) 京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎

(調査協力) 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター

(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

調査の目的

この調査は、学術調査として日本学術振興会の科学研究費の助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外のさまざまな教育・研究機関や行政機関において活用され、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会の問題が分析されます。

調査の時期

調査は2月中旬から4月中旬までの2ヶ月間に全国いっせに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだプロの調査員が、皆様のご都合をお聞きしてから、調査を実施します。調査員は調査員証を携帯しております。



ご協力をお願いする回答者の皆様

日本に在住する満25～49歳の2,100人の方々が対象です。法律にもとづいて、お名前やご住所などをこの調査以外の目的で使用しないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民基本台帳を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきというように、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

お問い合わせ先

○調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

一般社団法人 中央調査社

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12

TEL: 0120-48-5351 (フリーダイヤル)

【月～金曜日 9:00～17:00】

E-mail: office@crs.or.jp

○調査確認や趣旨・内容についてのご質問

京都大学 大学院 教育学研究科 総務掛

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL: 075-753-3003

【月～金曜日 10:00～17:00】

E-mail: iwai.hachiro.2r@kyoto-u.ac.jp

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

【Q & A】 よくあるご質問と回答

◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から 140 箇所を選び、それぞれの地点で約 15 人の方々（合計で 2,100 人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前やご住所などをこの調査以外の目的で使用しないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民基本台帳を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、台帳から何人おきというように、まったく無作為に選ばれています。

◇ 調査員はいつ来るの？

2 月中旬から 4 月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

◇ どんな調査方法？

まず、調査員が皆様のご都合をお聞きします。調査にご協力いただける場合には、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡しください。

◇ どんな質問？

お仕事、家族関係、友人関係、健康状態、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

◇ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、日本学術振興会からの助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。日常的な生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方、働き方や行動の基礎的なデータ（資料）を集めます。この調査の関連調査である「生活と意識についての国際比較調査（日本版総合的社会調査：略称 JGSS）」は、2 年に 1 回、継続して行なわれ、10 回の実績を重ねてきました。その調査結果は日本や海外の多くの教育・研究機関や行政において活用されており、今回行う特別調査の結果も同様に広く公表してまいります。

◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡（フリーダイヤル:0120-48-5351）いただければ幸いです。

◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。口頭での面接の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

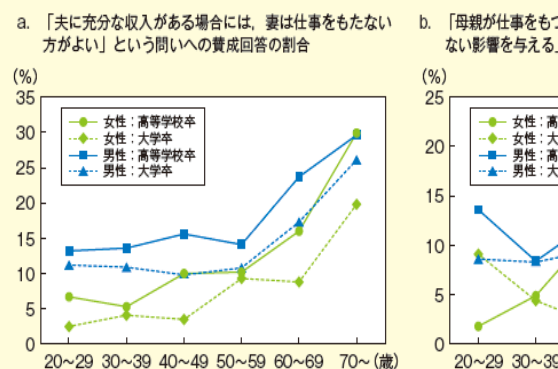
◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約1年半後に、回答分布をまとめた基礎集計表が公表されます。JGSS プロジェクトから得られたこれまでの調査結果は、『日本人の姿』（有斐閣）、『日本人の意識と行動』（東京大学出版会）、『データで見る東アジアの家族観』（ナカニシヤ出版）等の刊行物として公表しています。過去の調査概要、研究報告、基礎集計、質問内容などは、今回の調査の協力機関である大阪商業大学のホームページ (<http://jgss.daishodai.ac.jp/>) に掲載しています。調査の結果は、さまざまな新聞やテレビでも取り上げられています。行政機関の白書でも参照されています。



今回の調査の案内掲載 (<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/aboutus/>)

I-特-25図 女性の就業に関する男女の意識（男女別、平成22年）



(備考) 1. 「日本版General Social Survey (JGSS)」を基に内閣府男女共同参画局が集計。[(文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点)が、東京大学社会科学プロジェクトである。

2. 「賛成」、「どちらかといえば賛成」、「どちらかといえば反対」、「反対」のうち、「

『平成26年版 男女共同参画白書』(内閣府)

◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する一般社団法人中央調査社は、適正なプライバシー保護を行っている機関の証となる「プライバシーマーク」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、誰にアンケートが行われたか、第三者に知られることは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、「専門社会調査士」（一般社団法人社会調査協会の認定）が指導にあたります。

回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果から回答者個人を特定することはできません。個人情報是一定期間後、破棄します。なお、JGSS プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動が続けることができます。2003年11月28日には、(財)日本統計協会から「統計活動奨励賞」を受賞しています。



これまでの調査結果の一部

日本人はよく運動するようになったの？

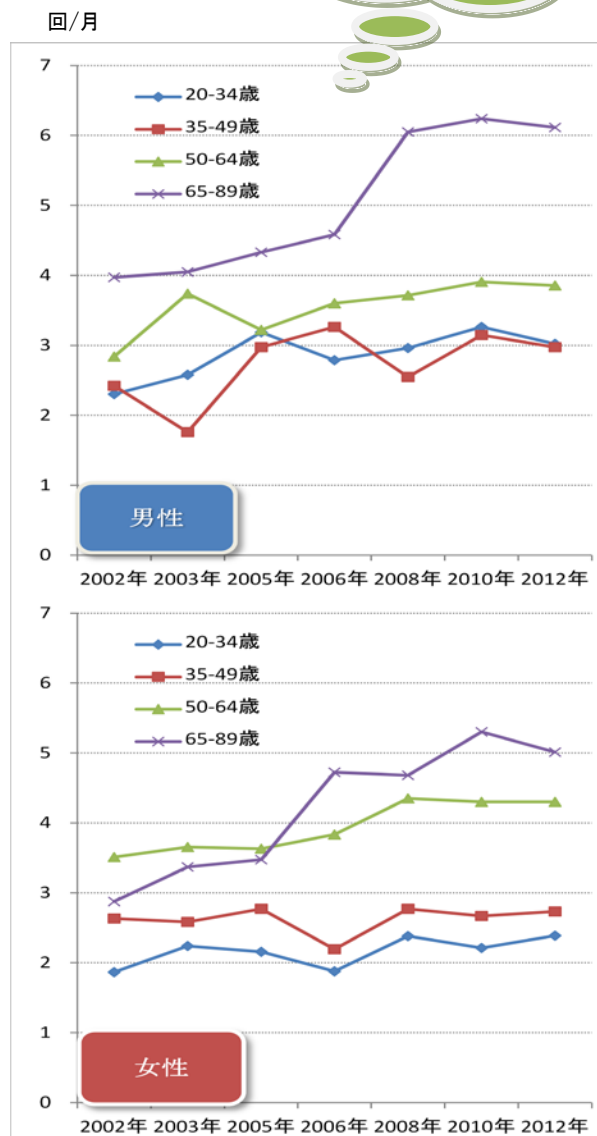


図1 性・年齢別の月あたり運動頻度

日本人のレジャーはどう変化しているの？

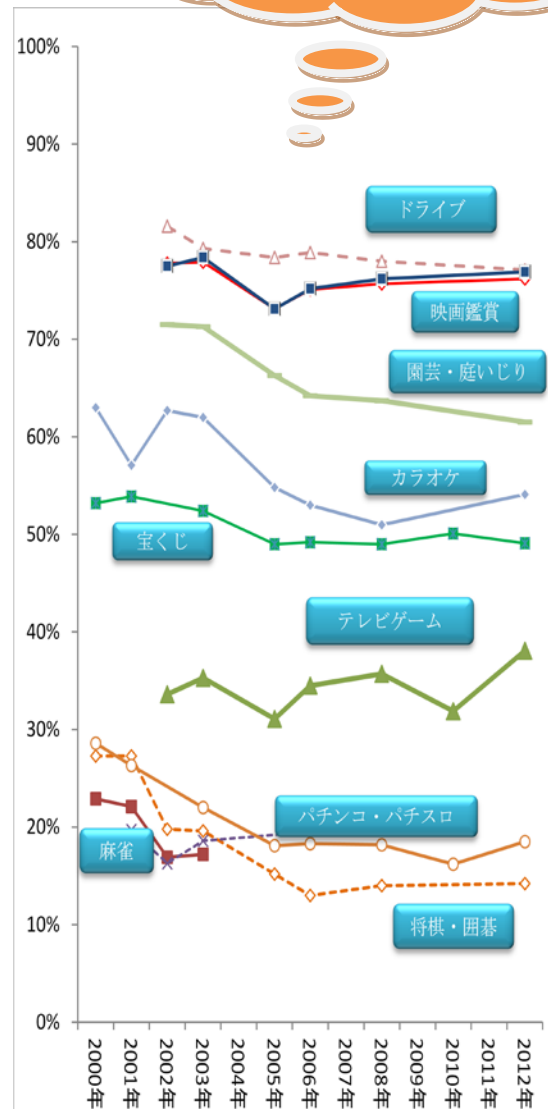


図2 レジャー経験の変化

皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

調査にご協力いただけない場合は、おうかがいした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社 (TEL: 0120-48-5351 / office@crs.or.jp) までご一報いただければ幸いです。

JGSS-2016 調査



第 0441 号

「第 10 回 生活と意識についての国際比較調査」

特別調査「働き方と意識についての調査」

〔 調 査 要 領 〕

2016 年 2 月 中央調査社

1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票（ページ）	
回答票	面接調査で使用
補助用紙（緑色、黄色、桃色）	面接調査が必要があれば使用
留置調査票（青色）	
郵送用依頼状（封書）	調査員が事前に対象者に郵送（500 円分の図書カード同封）
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書カード 500 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品（後述する調査協力機関のもの）。 適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証	実施中は必ず携帯し、首から下げておく
訪問確認カード	

2. 調査対象 満 25 歳～49 歳（昨年末時点）の男女 2,100 名

3. 調査期間 2 月 19 日（金）～4 月 17 日（日）

4. この調査の特徴

この調査は、京都大学 大学院 教育学研究科の岩井八郎教授を主体として、日本学術振興会から科学研究費補助金を得て実施する。

過去に、大阪商業大学 JGSS 研究センターが主体となって、2000 年から 10 回にわたって実施してきた「生活と意識についての国際比較調査」（日本版総合的社会調査：略称 JGSS）の特別調査として、25～49 歳の男女 2,100 名を対象に実施する（JGSS プロジェクトについては 10 ページ参照）。今回の調査では、調査主体は京都大学であり、大阪商業大学 JGSS 研究センターはあくまでも調査協力機関であることに留意する。

調査の実施にあたっては、以下の点について注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・ 1 人の対象者が 2 つの調査票（面接調査票と留置調査票）に回答する。両方を完了しなければならない（面接調査の実施と留置調査票の回収の順序はどちらでもよい）。
- ・ 対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。この依頼状のなかには、500 円分の図書カードが同封されている。調査に協力してくれた対象者には、さらに 500 円分の図書カード（合計で 1,000 円分）を渡すこと。

5. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。

b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 2015 年 12 月 31 日（昨年末）時点のものになっていることを本紙 11 ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。

c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する。このなかには 500 円分の図書カードが同封されているが、こちらから一方的に送ったものなので、調査に協力してもらえない場合でも返却を求めるようなことは絶対にしない。発送の時期は、訪問の 1 週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

6. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1 日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

＊集合住宅の部屋番号等がわからず訪問できない場合について＊

名簿に集合住宅の部屋番号等が記載されていないために、訪問できないことがまれにあるので、その場合は本社管理部もしくは支局調査担当者に連絡する。〔対象者宛に「連絡して欲しい」旨の文書を送付するなどの方法を考えます（ただし、事前依頼状が「宛先不明」等で差し戻されない場合のみ）。〕

b) 訪問日時記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでよい。

（記入例）

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9 月 11 日 (日)	午前 午後 11 時 15 分頃	本人 家族のみ 不在
2	9 月 11 日 (日)	午前 午後 2 時 00 分頃	本人 家族のみ 不在
3	9 月 12 日 (月)	午前 午後 3 時 30 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日 ()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

←本人と会えた際の訪問まで記録
←その後の記録は不要

c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。平日の訪問と土日祝日の訪問を織り交ぜ、不在が多い場合も、会うことができるように努力する（9ページの「在宅率の情報」を参照）。

少なくとも、「その対象者を、4日以上にわたって訪問する」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない（ただし、拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る）。

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日＝計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない（ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい）。

d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる（持参用依頼状：お願いの文書と説明のパンフレットの両方を見せながら）。
- ・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、日本学術振興会の助成、一般社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、他の人では回答できない、対象者は無作為に選ばれている、プライバシーの保護、調査にかかる時間、すべて答えなくてもよい、等々（依頼状・パンフレットや本紙の10ページなどを参照）

e) 謝礼品について

持参した図書カードは、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは「この調査の協力大学のものですが、お納めください」と言いながら手渡す。ペンセットはいつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。調査不能になった場合でも、ペンセットは渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児や小学生など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

7. 面接調査の実施

面接調査と留置調査の実施は、状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。対象者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中のカッコ【】の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。対象者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票〇〇〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 40-1（子どもが 6 人以上の場合）、問 41-1（配偶者・両親・子ども以外の同居家族が 5 人以上の場合）、問 44-1（一時的に別居している家族が 5 人以上の場合）のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

f) 年齢の記入について

対象者本人の年齢は「2015 年 12 月 31 日（昨年末）時点」の年齢であるが、対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢は、12 月 31 日時点の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。対象者が対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢を年号や西暦で答えた場合は、11 ページの年齢早見表を参照する。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている勤め先の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で高齢者を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。
- ・職業の内容を詳しく聞くときには、特に、資格が必要な仕事かどうかに注意する。例えば、「福祉関係の仕事」では資格が要るかがわからないので、「ケアマネージャー」「介護福祉士」「訪問介護の手伝い（資格はない）」などと、資格の有無を含めて、職業の内容を記述する。また、物を作る仕事の場合には、手作業で行なう仕事なのか、機械を操作する仕事なのかを区別するように注意する。例えば、「人形作り」では手作業か機械操作かわからないので、「手作業で人形に色付けをする仕事」「人形の型に材料を流し込む機械の操作」というように詳しく記述する。
- ・楷書体で丁寧に書く（面接時に速記しても、後で書き直しておく）。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。
（例）セイ産技術→生産技術、 コセキジム→戸籍事務、 ジキ→磁気、 ソージ→掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。
（例）大学ノ教授→大学の教授、 子供服ノ販売→子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。
（例）「公用車、運転業務」→「公用車の運転業務」
「看護師、市立病院」→「市立病院の看護師」など

h) 16 ページ問 57～18 ページ問 64 の学歴関連の質問群について

これらの質問群は、調査企画者からの要望で、特に注意して聴き取りにのぞんでほしい箇所なので、次ページ見開きで解説する。

i) 面接調査後の記入

面接票・留置票の表紙下部の D 欄には、面接票 問 27-1（婚姻状態）の回答と同じ数字に○をつける。面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」F1～F8 に記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

h) 16 ページ問 57～18 ページ問 64 の学歴関連の質問群について 特別注意事項

この問 57 で、特に「本人」と「配偶者」の正しい回答が得られないと、以降の問 58～問 64 も正しいデータとなりません。

問 57 [回答票 47] あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

【配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に通った学校が「専門学校」という場合には、以下のようにする。

●一般に「専門学校」について尋ねる。→その学校以外で最後に通った一貫の高等教育機関。主に国公立→10(コ)に○をする。
●高等専門学校について尋ねる。
●戦前の専門学校について尋ねる。
【(注) (コ) と答えられないか尋ねる。】

	本人	配偶者	父親	母親
			↓	↓
(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）			1 (ア)	1 (ア)
(イ) 旧制高等小学校			2 (イ)	2 (イ)
戦 (ウ) 旧制中学校・高等女学校			3 (ウ)	3 (ウ)
(エ) 旧制実業・商業学校			4 (エ)	4 (エ)
前 (オ) 旧制師範学校			5 (オ)	5 (オ)
(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校			6 (カ)	6 (カ)
(キ) 旧制大学・旧制大学院			7 (キ)	7 (キ)
(ク) 新制中学校	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
戦 (ケ) 新制高校				
後 (コ) 新制高専 (注)				
(サ) 新制短大				
(シ) 新制大学				
(ス) 新制大学院				
わからない				
結婚したことはない・離別				

問 58 あなたは最後に通った学校を卒業
【「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。

1 卒業

2 在学中

〔戦後の〕新制の学校についての補足
いわゆる一般的な（戦後の）専門学校は、(ク)～(ス)の選択肢のどれにも含まれない（あとの問 60 で別途尋ねることになっている）。
例えば、「高校卒業後、専門学校卒業→社会人」という対象者の最終学校は「(ケ) 新制高校」であり、「(コ) 新制高専」ではない。
回答票 47 には、一般的な専門学校と「(コ) 新制高専」とを混同しないように注釈をつけているが、本人・配偶者・父親・母親で (コ) の回答があった場合はすべて、対象者に混同していないか確認する。

（問 57 で本人が (ケ) 新制高校、(コ) 新制高専、(サ) 新制短大、(シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に）

問 59-1 [回答票 48] あなたが通った高校で学んだ学科は何でしたか。2 つ以上の場合には主な学科を 1 つお答えください。

- | | | |
|----------------|--------------------|------------------|
| 1 (ア) 普通科 | 4 (エ) 農業に関する学科 | 7 (キ) 高校には行っていない |
| 2 (イ) 工業に関する学科 | 5 (オ) 家庭・家政に関する学科 | 8 わからない |
| 3 (ウ) 商業に関する学科 | 6 (カ) その他の学科（具体的に） | |

問 59-2 [回答票 49]

〔高校に行っていない主なケース〕

- ・高専に通っていた多くの人（例外あり）
- ・「高卒認定」（高等学校卒業程度認定試験）に合格した人（2004 年度（平成 16 年度）までは「大検」（大学入学資格検定）と呼ばれていたもの）

※〔旧制の学校の回答があった場合の年齢目安〕

- ・74 歳以下の人の最終学校が「(ア) 旧制尋常小学校」となることはありえない。
- ・80 歳以下の人の最終学校が「(イ) 旧制高等小学校」～「(キ) 旧制大学・旧制大学院」となることはありえない。

(全員に)

問 60-1 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。【対象者が新制高専と混同していないか注意。】

1 通ったことがある

2 通ったことがない

問 60-2 その専門学校・専修学校で何を学んだか、何を教わったか、具体的に教えてください。

(具体的に)

【16 ページ問 57 の「本人」の回答を書き込む箇所】
実査時は、調査員自身でわかるような略称のメモで構わないが(例えば「チュウ(又は中)」「コウ(又は高)」「コウセン(又は高セン)」「ダイ(又は大)」「イン(又は院)」など)、実査終了後には忘れないうちに「中学校」「高校」「高専」「短大」「大学」「大学院」と清書しておく(“新制”は省略可)。

問 60-3 【回答票 50】 その専門学校・専修学校に通った時期は、【問 57 の「本人」の回答】より前ですか、後ですか、同時期ですか。

【↑清書して提出】

1 (ア) 前

2 (イ) 後

3 (ウ) 同時期

問 60-4 【回答票 51】 その専門学校・専修学校で受けた教育は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。現在仕事をなさっていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

1 (ア) とても役立っている(とても役立った)

2 (イ) ある程度役立っている(ある程度役立った)

3 (ウ) あまり役立っていない(あまり役立たなかった)

4 (エ) ほとんど役立っていない(ほとんど役立たなかった)

5 (オ) 働いたことがない

問 60-5 その専門学校・専修学校であなたは、高等学校卒業とみなされる高等課程を修了しましたか。

1 修了した

2 修了していない

同上

(問 57 で本人が(コ)新制高専、(サ)新制短大、(シ)新制大学、(ス)新制大学院と答えた人に)

問 61-1 【回答票 52】 あなたが通った(または現在通っている)【問 57 の「本人」の回答】より

は、国立でしたか、公立でしたか、あるいは私立(わたくしりつ)でしたか。【↑清書して提出】

1 (ア) 国立

2 (イ) 公立

3 (ウ) 私立

4 わからない

問 61-2 【回答票 53】 その学校でのあなたの学部・学科を回答票の番号でお答えください。

【この回答票 53 だけ、回答番号が番号表記のみとなっている(アイウエオ表記なし)。】

--	--	--

(「777 その他」の場合、具体的に)

同上

(全員に)

問 62 【回答票 54】 あなたが通った(または現在通っている)【問 57 の「本人」の回答】より受けた教育は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。現在仕事をなさっていない方は、最後に収入を得ていた主な仕事についてお答えください。

【↓清書して提出】

回答票 53 は、回答番号が三桁の番号表記のみ。
この回答は、16 ページ問 57 の「本人」の回答が

5

(オ)

「(コ) 高専」なら →100 番台か 777 その他

「(サ) 短大」なら →200 番台か 777 その他

「(シ) 大学」なら →300 番台か 777 その他

「(ス) 大学院」なら →400 番台か 777 その他 となる。

「777 その他」と回答した場合は、具体的に学部・学科の内容を答えてもらい、該当欄に記入する。

8. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

b) 調査員ではなく対象者自身が記入

留置調査票は、対象者に手渡し、対象者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

c) 回収の日時の約束

対象者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。

d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行なう。

- ・「〇〇様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」

「かまわない」→確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。

記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。

「見られたくない」→対象者本人に、記入漏れがないかもう一度確認してもらう。

e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号 (no)」を○印で囲む。

9. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄の面接不能／回収不能に印を付ける。
- ・面接調査票の2ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「対象番号 (no)」の上から×印を付ける。

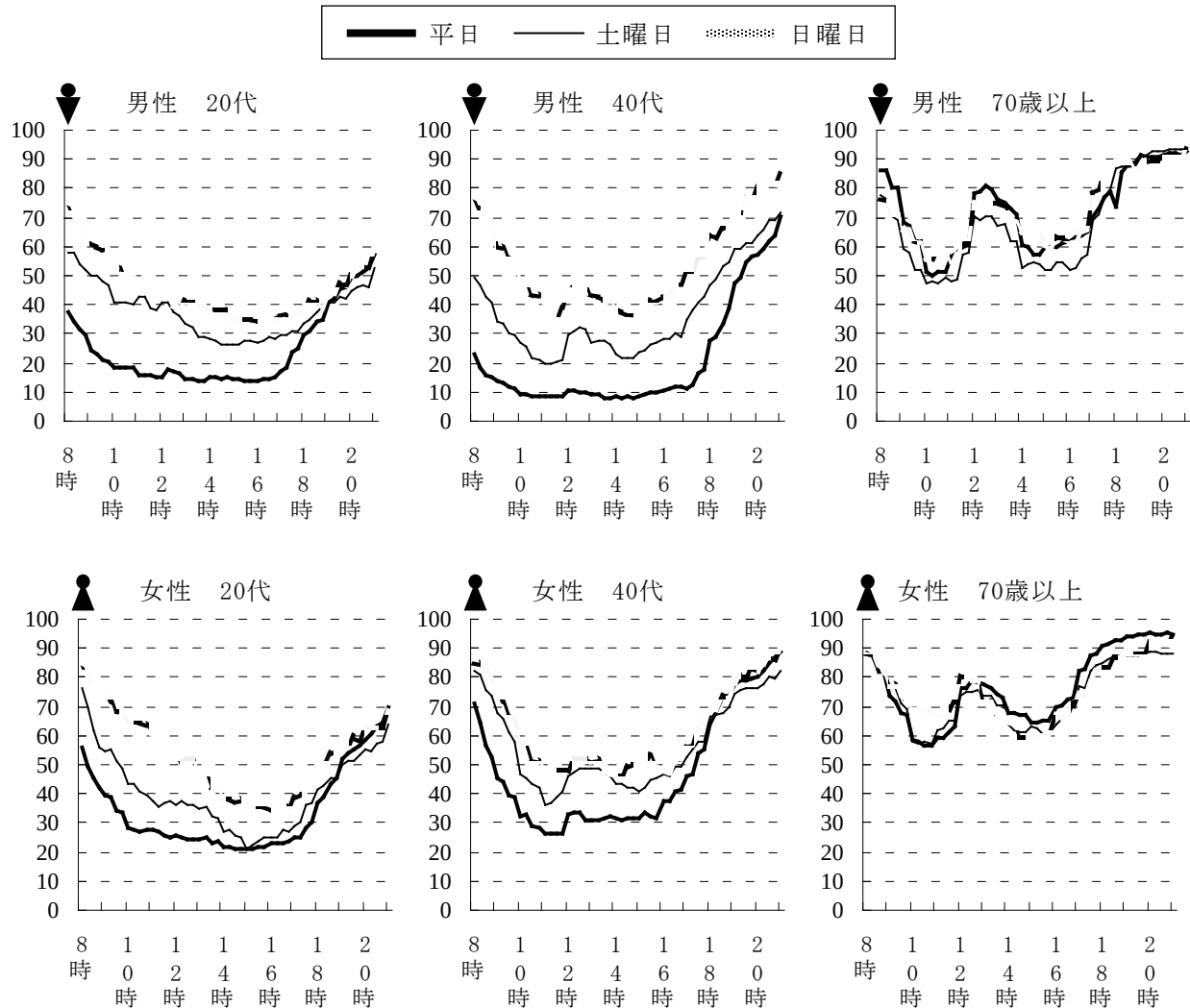
10. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・対象者名簿の「対象番号 (no)」に○印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
- ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。
(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)
- ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

◇◇◇ 在宅率の情報 ◇◇◇

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。
ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



◇◇◇ 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例 ◇◇◇

Q. この調査の目的は？

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方、健康状況、仕事についての実態などをアンケートのかたちで調査して、それらが年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

Q. 「第10回」とある「生活と意識についての国際比較調査」とは？「JGSS」とは何のことか？

今回調査の協力機関である大阪商業大学 JGSS 研究センターが、1999 年から継続してきた調査（英語正式名称は Japanese General Social Surveys (JGSS)=日本版総合的社会調査）で、日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。継続して実施することにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを分析し、外国で実施した調査との比較研究も行っています。今回皆様をお願いしている「働き方と意識についての調査」は、姉妹調査のような位置づけとなります。

Q. どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から 140 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名程度を選ばせていただきました（合計で 2,100 人の対象者になります）。対象者は、全国の自治体の住民基本台帳から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民基本台帳を閲覧しています。

Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から 140 地点を選び、各地点から満 25 歳～49 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 2,100 人を無作為に選びました。

Q. どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、面接のアンケートが 30 分程度、記入式のアンケートが 30 分程度です。

Q. 家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

Q. プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですので、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

Q. どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

Q. 調査の結果は発表するのか？

調査実施から約 1 年半後には調査結果を発表し、論文や出版物として公表したり、学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なったりします。各新聞社にも分析結果を公表します。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

京都大学 大学院 教育学研究科（調査実施時のみ）……………<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/aboutus/JGSS>
研究センター……………<http://jgss.daishodai.ac.jp/>

◇◇◇ 年齢早見表 (2015 年版) ◇◇◇

対象者本人の年齢は、2015 年 12 月 31 日（昨年末）現在のものとする。面接票のなかでは、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢も尋ねている。対象者以外の人々の年齢は、昨年末現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。年号や西暦で答えた場合に、この表を参照すればよい。

年号	西暦	干支	年齢
大正 4	1915	卯 うさぎ	100
5	1916	辰 たつ	99
6	1917	巳 へび	98
7	1918	午 うま	97
8	1919	未 ひつじ	96
9	1920	申 さる	95
10	1921	酉 とり	94
11	1922	戌 いぬ	93
12	1923	亥 いのしし	92
13	1924	子 ねずみ	91
14	1925	丑 うし	90
15/昭和元年	1926	寅 とら	89
昭和 2	1927	卯 うさぎ	88
3	1928	辰 たつ	87
4	1929	巳 へび	86
5	1930	午 うま	85
6	1931	未 ひつじ	84
7	1932	申 さる	83
8	1933	酉 とり	82
9	1934	戌 いぬ	81
10	1935	亥 いのしし	80
11	1936	子 ねずみ	79
12	1937	丑 うし	78
13	1938	寅 とら	77
14	1939	卯 うさぎ	76
15	1940	辰 たつ	75
16	1941	巳 へび	74
17	1942	午 うま	73
18	1943	未 ひつじ	72
19	1944	申 さる	71
20	1945	酉 とり	70
21	1946	戌 いぬ	69
22	1947	亥 いのしし	68
23	1948	子 ねずみ	67
24	1949	丑 うし	66
25	1950	寅 とら	65
26	1951	卯 うさぎ	64
27	1952	辰 たつ	63
28	1953	巳 へび	62
29	1954	午 うま	61
30	1955	未 ひつじ	60
31	1956	申 さる	59
32	1957	酉 とり	58
33	1958	戌 いぬ	57
34	1959	亥 いのしし	56
昭和 35	1960	子 ねずみ	55
36	1961	丑 うし	54
37	1962	寅 とら	53
38	1963	卯 うさぎ	52
39	1964	辰 たつ	51
40	1965	巳 へび	50

年号	西暦	干支	年齢
41	1966	午 うま	49
42	1967	未 ひつじ	48
43	1968	申 さる	47
44	1969	酉 とり	46
45	1970	戌 いぬ	45
46	1971	亥 いのしし	44
47	1972	子 ねずみ	43
48	1973	丑 うし	42
49	1974	寅 とら	41
50	1975	卯 うさぎ	40
51	1976	辰 たつ	39
52	1977	巳 へび	38
53	1978	午 うま	37
54	1979	未 ひつじ	36
55	1980	申 さる	35
56	1981	酉 とり	34
57	1982	戌 いぬ	33
58	1983	亥 いのしし	32
59	1984	子 ねずみ	31
60	1985	丑 うし	30
61	1986	寅 とら	29
62	1987	卯 うさぎ	28
63	1988	辰 たつ	27
64/平成元年	1989	巳 へび	26
平成 2	1990	午 うま	25
3	1991	未 ひつじ	24
4	1992	申 さる	23
5	1993	酉 とり	22
6	1994	戌 いぬ	21
7	1995	亥 いのしし	20
8	1996	子 ねずみ	19
9	1997	丑 うし	18
10	1998	寅 とら	17
11	1999	卯 うさぎ	16
12	2000	辰 たつ	15
13	2001	巳 へび	14
14	2002	午 うま	13
15	2003	未 ひつじ	12
16	2004	申 さる	11
17	2005	酉 とり	10
18	2006	戌 いぬ	9
19	2007	亥 いのしし	8
20	2008	子 ねずみ	7
21	2009	丑 うし	6
22	2010	寅 とら	5
23	2011	卯 うさぎ	4
24	2012	辰 たつ	3
25	2013	巳 へび	2
26	2014	午 うま	1
27	2015	未 ひつじ	0

《お願い》

この基礎集計表・コードブックを利用して発表を行われた方は、
その掲載誌などを下記の JGSS 研究センター宛に 1 部お送り下さい。
本誌の掲載内容やデータの修正については、JGSS ホームページで掲示いたします。

大阪商業大学 JGSS 研究センター

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10

Tel : 06-6785-6013 Fax : 06-6785-6011

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

<http://jgss.daishodai.ac.jp>

2017 年 10 月 31 日発行（非売品）

科学研究費補助金・基盤研究 B（15H03485）・基盤研究 A（26245060）

日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2016

編集・発行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点

大阪商業大学 JGSS 研究センター

京都大学大学院 教育学研究科

教育社会学講座

印刷

キンコーズ・ジャパン(株)